シャム

遲羅に於ける信用組合制度（通商公報 1030）大 12

ユーゴ・スラヴィア

平　實　ユーゴースラヴィア信用組合と資本形成狀態（經濟時報 4-9）昭 7

3. 無盡講及無盡會社

會田萬作　農村社會に於ける無盡講（帝國農會報 19-8）昭 4

*愛知縣內務部　信託無盡〔年刊〕

秋野茂廣　農村金融と無盡講（庶民金融 7-13）昭 6

荒尾徹　無盡簿記法改訂案に就いて（無盡通信 14-5）昭 10

淺野研眞　佛教イデオギローとしての無盡思想（無盡通信 11-4/6, 12-1/2, 4/5）昭 9

同　佛教的經濟制度としての無盡（無盡通信 14-3）昭 10

淺野信一　無盡會社の經營に就いて（企業經營 2-3）昭 5

同　無盡簿記改正に就て（無盡通信 3-6, 4-1/4）昭 5

同　事業方法書並事業方法の研究（無盡通信 4-5/6）昭 5

同　營業無盡に於ける無盡契約（銀行研究 20-4）昭 6

同　無盡の現狀に就て（法律時報 3-8）昭 6

同　誰にも分る無盡利回の計算（無盡之研究 5-1）昭 6

同　大藏省の無盡業改善案に對する私見（無盡通信 5-2）昭 6

同　新無盡業法を讀みて（無盡通信 5-4）昭 6

同　東京市及附近に於ける無盡會社の現況（庶民金融 7-9）昭 6

同　私案無盡業法施行細則（庶民金融 7-10）昭 6

同　無盡業の營業區域制限に關する議會討議の回顧（庶民金融 7-12）昭 6

同　無盡會社取締役の辯償責任に就て（無盡通信 7-6）昭 7

淺野信一　無盡の給付未濟口拂込濟掛金は差押へ得るや（無盡通信 8-2）昭 7

同　保險募集取締規則と營業無盡取締に就て（庶民金融 8-1/2）昭 7

同　營業無盡の團制度を檢討す（無盡通信 10-4）昭 8

同　無盡取引の三段階—無盡簿記改訂論（無盡通信 11-2/6；12-4）昭 9

同　無盡利益金考（無盡通信 14-1）昭 10

吾妻光俊　無盡一營業區域外に於ける無盡契約の効力（法學協會雜誌 49-3）昭 6

馬場蕾　朝鮮無盡令の改正に就て（無盡通信 5-4）昭 6

同　朝鮮無盡業の回顧（朝鮮 196）昭 6

土井稻村　批評論者より觀たる無盡の興味（企業經營 3-4）昭 5

江手勝平　無盡給付金の遲延に對して加入者は責任はない（庶民金融 9-6）昭 8

遠藤正男　豐後日田の融通講制度（社會經濟史學 4-11）昭 10

後藤駒吉　賴母子講の現狀及び其整理方法に就て（斯民 30-3）昭 10

半澤毅整　掛金限度貸付に就て（無盡通信 2-4）昭 4

原口武夫　庶民金融機關としての營業無盡（法律時報 7-8）昭 10

早瀨脩　負債整理と賴母子講の制度に就て（產業組合 315）昭 6

同　農村の負債整理と無盡の制度（庶民金融 8-5/6）昭 7

林繁藏　朝鮮信託業令と朝鮮無盡業令の改正に就て（朝鮮 194）昭 6

廣瀨豐作　無盡の起源に就て（庶民金融 5-9）昭 4

*星野喜代治　無盡業法施行細則其他 東京 全國無盡集會所 昭 6 267 頁 菊〔無盡講習錄 1〕

細谷喜一　無盡其他金融事業に關する營業許可の性質と管轄の問題（警察協會雜誌 399, 401）昭 8

福田禮　無盡會社と營利問題（無盡通信 13-2）昭 10

福田順次郎　無盡簿記改正意見（庶民金融 5-1）昭 4

古川二郎　臺灣の無盡業に就いて（無盡通信 5-1）昭 6

同　臺灣無盡業の特典性（無盡通信 13-1）昭 10

古谷敬二　無盡契約に關する一考察（無盡通信 6-3/5）昭 6

古谷敬二　無盡利廻に就ての若干の考察（無盡通信 8-4）昭 7

同　「抽籤入札に依らざる無盡金の給付」に就て（無盡通信 9-2）昭 8

同　營業無盡の法律關係（法律時報 7-8）昭 10

同　無盡法制定の必要（無盡通信 14-1）昭 10

同　無盡契約に關する一考察（無盡通信 6-3/4；7-6；8-1/4；9-3；11-2/3, 14-2）昭 6/10

藤本豐　無盡金融と貸付金融の協力に就て（無盡通信 12-1）昭 9

同　無盡業の貸付擴張策に對する構成資金に就いて（無盡通信 12-4）昭 9

同　助成化を目的とする營業無盡業法改正の重點（無盡通信 14-3）昭 10

同　無盡業に於ける最低資本金引上の問題に就いて（無盡通信 14-4）昭 10

飯田豐吉　無盡業法講義（無盡通信 2-4）昭 4

*同　無盡講習錄 2 東京 全國無盡集會所 昭 6

*池田無盡研究所　無盡研究資料總覽 東京（池田龍藏編）同所 昭 6 46 頁 四六〔池田無盡研究叢書 1〕

*池田龍藏　稿本「無盡の實際と學說」批評紹介文集 昭 2〔非賣品〕

*同　稿本, 無盡の實際と學說 全國無盡集會所 昭 5 菊〔3 版, 大 7, 390 頁〕

I. 前論 1. 緒言 i. 無盡研究の緊急 ii. 無盡研究の現狀 iii. 無盡研究の範圍 2. 無盡の概念 i. 無盡講の定義 ii. 營業無盡の定義

II. 本論 1. 經濟史的研究 i. 無盡講の沿革 ii. 營業無盡の沿革 2. 經濟原論的研究 i. 無盡の經濟上の性質 ii. 無盡の現狀 iii. 無盡の社會的經濟的價値 3. 經濟政策的研究 i. 無盡の助長 ii. 無盡の取締

III. 餘論 1. 無盡の將來 2. 海外に於ける無盡類似制度 3. 無盡研究資料 附錄

*同　支那の無盡に關する研究 東京 無盡之研究社 昭 5 324 頁 四六

同　無盡立法の重大缺陷と更始一新策大綱（無盡通信 3-1）昭 5

同　無盡業者の預金取扱必要及方法論（無盡通信 4-5）昭 5

同　無盡に關する資料總覽（無盡通信 3-1；4-6；5-1）昭 5/6

*同　無盡講義 東京 全國無盡集會所 昭 6 179 頁 菊〔無盡講習錄 2〕

*同　新無盡業法逐條舊法對照解說 東京 無盡之研究社 昭 6 159 頁 菊

池田龍藏　無盡業法改正案の逐條的批判（無盡通信 5-4）昭 6

同　無盡講論（法律時報 5-4）昭 8

同　類似無盡概論—理論と實際（無盡通信 9-6；10-1）昭 8

同　無盡會社經營の特殊性（無盡通信 10-2；11-1）昭 8/9

*同　營業無盡の特殊性研究—無盡會社經營論の中核 昭 9

同　營業無盡（金融大辭典 I 卷 4 頁）昭 9

同　無盡講（金融大辭典 III 卷 4 頁）昭 9

同　無盡掛金樣式の名稱に就て（無盡通信 11-5）昭 9

同　無盡剩餘金に關する一考察（無盡通信 11-6）昭 9

同　營業無盡危急存亡の秋（無盡通信 12-1）昭 9

同　無盡業法關係通牒例示改正の急務（無盡通信 12-2）昭 9

*同　營業無盡とは 東京 昭 10 iii, 29 頁 菊

同　營業無盡の轉化時代來る（無盡通信 13-1）昭 10

壹岐重四郎　一の無盡會社論（無盡通信 7-1/6；8-1/6；9-1）昭 7/8

稻葉岩吉　無盡の起原に就て（庶民金融 7-11）昭 6

井上準之助　無盡業は日本特有の金融機關（無盡通信 5-1）昭 6

井澤希次郎　賴母子講負債整理の方法に就て（農業と經濟 2-1）昭 10

*岩手縣內務部　無盡講の整理に關する調査 昭 10 ii, 18 頁 菊

井關孝雄　中小農商工金融機關としての無盡の地位（無盡通信 5-3）昭 6

同　無盡會社合併についての無盡業法の缺陷（無盡通信 5-5）昭 6

同　無盡倉庫の研究（無盡通信 7-2/3）昭 7

同　滿蒙新國家に於ける獨特の無盡一儲蓄會（無盡通信 7-6）昭 7

同　營業無盡改革論（庶民金融 8-10）昭 7

同　「營業無盡改革論」再論（庶民金融 9-2）昭 8

同　賴母子講と營利無盡との本質上の差違（庶民金融 9-5）昭 8

井關孝雄 營業無盡の根本的弊害其の救治策（庶民金融 9-10） 昭 8
同 無盡取引の本質 （庶民金融 9-10） 昭 8
同 金融機關としての營業無盡に於ける抽籤入札（團）制度の可否（庶民金融 9-11） 昭 8
同 無盡集會所の調査會の類似無盡案を評す（庶民金融 10-1） 昭 9
同 無盡契約は特別の有名契約ではない（庶民金融 10-2/3） 昭 9
同 營業無盡の全國的現勢調査の必要（庶民金融 10-4） 昭 9
同 無盡集會所改造論（無盡之研究 10-2） 昭 10
同 無盡業改善意見の批判（無盡之研究 10-7） 昭 10
同 無盡會社の收益源泉の內容（庶民金融 11-2） 昭 10
同 無盡はどんな社會に於いて行はれたか一營利無盡に無理があると言ふ三つの前提（庶民金融 11-5） 昭 10
戒能通孝 判例に現はれた無盡の法律關係（法律時報 3-8） 昭 6
同 無盡講再論一立法問題を中心として（法律時報 5-4） 昭 8
同 無盡一講債權の讓渡の可能性—その要件（法學協會雜誌 52-4） 昭 9
同 無盡講一無盡講總代の選任方法〔判批〕（法學協會雜誌 53-7） 昭 10
金田平一郎 我古法に於ける「無盡金」不受理制（法律時報 3-8） 昭 6
柏井象雄 營業無盡に於ける一の矛盾—特に營業無盡の利用者に關する問題を中心として（庶民金融 11-9） 昭 10
同 無盡會社の庶民金融機關としての意義（庶民金融 11-10） 昭 10
春日井薫 相互組織金融の缺陷と其救濟策—無盡會社改革問題を中心に（銀行研究 28-2） 昭 10
同 無盡改革問題の考察 （無盡之研究 10-3） 昭 10
川上高雄 高利貸と無盡の內幕（財政經濟時報 17-10） 昭 5
河津澄家 無盡集會所機構改造に就て（無盡之研究 10-2） 昭 10
*風間賢作 無盡の計算 大 13
木村才彌 繰越缺損金に對する取扱と無盡會社（稅 10-9） 昭 7
木島由四郎 日掛無盡と長期庶民金融（無盡之研究 6-4） 昭 7
木島由四郎 無盡の有機的長所（庶民金融 9-11） 昭 8
*同 營業無盡論 2 卷 無盡學會 上 昭 9 183 頁 下 昭 10 293 頁 四六
同 無盡論のある一節 （無盡通信 12-2/5） 昭 9
同 無盡業の改善と發展（無盡通信 13-4/5） 昭 10
小口信二 無盡の本質に就いて（庶民金融 10-8） 昭 9
同 無盡の本質及無盡會社の改善策に就いての再論（庶民金融 10-10） 昭 9
小池莊介 貧富共榮の無盡 （庶民金融 5-10） 昭 4
小町谷操三 賴母子講の表現管理人の責任（法學協會雜誌 49-11） 昭 6
小西俊雄 賴母子講の現在及將來（帝國農會報 22-6） 昭 7
同 農村相互無盡の現在及將來（庶民金融 8-7） 昭 7
*小坂珠城 無盡業態の研究 東京 文雅堂 昭 5 350 頁 菊
1. 總論 2. 無盡業の現狀 3. 無盡會社の見方 4. 無盡業の損益 5. 無盡掛金者の損益 6. 無盡業の改善策
同 定期預金利廻と無盡の金利（銀行研究 19-1） 昭 5
同 無盡會社の設立と其資本金（企業經營 2-6） 昭 5
同 無盡の企業的妙味 （企業經營 3-3） 昭 5
同 信用給付の調査基準 （無盡通信 4-4） 昭 5
同 信用組合と營業無盡との金融的異同（銀行研究 21-4） 昭 6
同 無盡金融の特異性 （金融三屆 2-2） 昭 6
同 無盡の話（無盡通信 5-1/2） 昭 6
同 預金部資金の運用と無盡業者（無盡通信 6-5） 昭 6
同 營業無盡の本質 （庶民金融 7-10） 昭 6
同 無盡業經營の轉機 （無盡通信 8-2） 昭 7
同 無盡金利の特異性（無盡通信 13-6） 昭 10
兒島高信 朝鮮に於ける信託無盡の二業令に就て（金融組合 36/40） 昭 6
*栗栖赳夫 無盡及無盡會社論 3 版 東京 文雅堂 昭 1 228 頁 四六〔近世商業經濟叢書〕

*栗栖赳夫 無盡業法講話 東京 啓明社 昭 5 404 頁 菊
I. 緒論 1. 無盡又は賴母子制度の發達 2. 金融企業としての無盡の發達 3. 無盡講—民事上の無盡
II. 本論 1. 無盡業法の制定 2. 無盡業法の編成 3. 本法に於ける無盡の意義 4. 無盡業の意義及主體 5. 無盡會社 6. 會社に非ざる無盡業者 7. 無盡業務
III. 無盡業法規集
同 無盡業法改正と營業主體の制限（無盡通信 5-2） 昭 6
同 無盡業者の證券投資と其の改善（無盡通信 5-3） 昭 6
同 無盡業法改正案を評す（財政經濟時報 18-1） 昭 6
草場勇 判例賴母子講 （研究資料彙報 7-4） 昭 7
串本友三郎 無盡業公營論 （藤本アナリスト 4-4） 昭 5
楠見一正 賴母子講（經濟學辭典 IV 卷 2 頁） 昭 6
同 無盡業 （經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7
同 無盡の本質と無盡會社改善の根本方針（銀行研究 27-3） 昭 9
同 無盡の團制度に就いて （經濟時報 6-4） 昭 9
同 無盡本質論（經濟時報 6-2；無盡通信 11-6；庶民金融 10-6） 昭 9
同 無盡の概念と無盡業法改正の必要（經濟時報 7-4） 昭 10
*共生無盡株式會社 共生無盡二十年史 東京 同社 昭 7 142 頁 四六
前田美韶 營業區域外に於て爲されたる無盡契約に關して（金融組合 17） 昭 5
*滿鐵庶務部調査課 支那に於ける無盡の慣習 昭 3 25 頁〔パンフレット 48〕
*滿鐵經濟調査會 滿洲人の無盡並賴母子講に關する調査〔有馬凱馬〕 昭 7
松村兆十郎 物品給付無盡を取締れ（無盡之研究 10-9） 昭 10
松崎壽 無盡業法改正案に就て （經濟時報 2-12；無盡通信 5-4） 昭 6
同 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡 （大阪商大經濟研究年報 4） 昭 8
同 無盡業概說（銀行研究 27-4） 昭 9
同 無盡業者の資金運用方法に就て（經濟時報 6-5；無盡通信 12-3） 昭 9
同 物品給付無盡業に就て （經濟時報 6-11；無盡通信 13-3） 昭 10
同 庶民金融より見たる無盡業の改善（法律時報 7-8） 昭 10
*南弘道 無盡金融の社會的基礎 東京 先進社 昭 6 319 頁 四六
1. 社寺に起源せる無盡の沿革 2. 無盡の意義と其社會性 3. 無盡の將來的發展性 4. 營業無盡の發達と其利弊 5. 營業無盡の現勢と地方的分野 6. 無盡會社の營業と其機構 7. 無盡經營の實際問題 8. 無盡會社鑑別の一般的知識 9. 現行營業無盡改善案批見 10. 無盡業改善意見と業法改正 11. 新無盡業法と其解說 12. 庶民金融の實情と其批判
美濃部達吉 無盡業者の無盡の本質に反する契約の效力〔判批〕（國家學會雜誌 49-10） 昭 10
*道端道秀 無盡の研究 東京 有隣書院 昭 9 64 頁 菊
*三菱合資會社 無盡 大 8〔下層金融機關調査 2〕
光川正三 通帳擔保貸の日步は高すぎる（無盡之研究 5-1） 昭 6
三浦初治 無盡制度論（無盡通信 12-6） 昭 9
水口吉藏 營業區域外に於ける無盡契約の效力（法律論叢 9-4） 昭 5
同 商法判例研究—214, 無盡株式會社の取締役の責任 （法律論叢 11-4） 昭 7
同 無盡と掛金の一時拂込〔判批〕（法律論叢 14-7） 昭 10
守部市義 日向國木城村の賴母子講（經濟商業論纂 2） 昭 7
守山對翠 相互無盡會社制の提唱（無盡之研究 10-9） 昭 10
柳榮健治 無盡簿記改訂論の骨子 （無盡通信 10-2/6） 昭 8
同 無盡とは（拓殖大學論集 4-1） 昭 8
同 無盡の利廻計算 （拓殖大學論集 4-2） 昭 8
同 淺野信一氏の「無盡取引の三段階」を讀む （無盡通信 12-4；13-2） 昭 9/10
同 新舊無盡簿記 （拓殖大學論集 5-2） 昭 10
中川元 無盡簿記の改正に就て （無盡通信 6-5） 昭 6
同 無盡經營の要諦より見たる大都市と地方農村に於ける無盡經營の對象（無盡通信 7-1） 昭 7
同 營業無盡と其の認識 （無盡通信 8-4） 昭 7
同 無盡掛金表調製に關する考察（無盡通信 10-6） 昭 8
同 無盡業經營上の要諦（無盡通信 13-5） 昭 10
同 資金運用問題に關する一考察（無盡通信 13-6） 昭 10

*中川靜人 編 全國無盡會社業績大鑑 2卷 東京 無盡之研究社 昭9 1卷 459頁, 2卷 424頁 菊

中川與之助 妙心寺の無盡講 (經濟論叢 **22**-4) 昭1

中非宏 無盡取引帳様式の改正を論ず (庶民金融 **5**-3/4) 昭4

*中村政榮 長崎むじん物語 繪入 東京 昭1〔稀書複製會第5期刊行書〕

*同 利廻算法ながさき無盡物語〔池田龍藏解說〕東京無盡學會 昭10 42頁 菊

中野覺平 無盡講の公證契約書の形式に就て (日本公證人雜誌 **2**-1) 昭6

中島精二 複利法に依る無盡利廻りの見方 (無盡通信 **6**-2) 昭7

成實清松 賴母子講掛金の數學的研究 (庶民金融 **9**-6/7) 昭8

西垣千次 農村に於ける賴母子講の革新 (農政研究 **11**-1) 昭7

野川雄作 無盡の法律的性質 (無盡研究 **6**-2) 昭7

*農林省經濟更生部 農村金融資料 2卷 菊
1. 賴母子講に關する調査 昭10 21頁
2. 中小工業者の金融問題 48頁

小幡孫二 無盡掛金に就て (商學 5/6) 昭6

同 無盡利廻に就ての若干の考察 (無盡通信 **8**-4) 昭7

小川庄太郎 合理的掛金に就て (無盡通信 **4**-3) 昭5

小川千代松 無盡の基礎的知識 (無盡通信 **5**-1) 昭6

大口四郎 無盡利益金の研究 (無盡通信 **6**-1) 昭6

同 昭和五年下半期無盡會社利益金營業費の研究 (無盡通信 **6**-1/3) 昭6

同 無盡會社掛金表の研究 (無盡通信 **6**-4/6) 昭6

大橋多計三 無盡講の法律的性質と講惣代の選任方法〔判例〕(無盡通信 **5**-2) 昭6

同 免許取消を受けた無盡會社の法律關係 (無盡通信 **5**-3) 昭6

同 營業無盡に基く債權の時效 (無盡通信 **5**-4) 昭6

同 解約無盡契約の復活と無盡金の濟納掛金への充當 (無盡通信 **5**-6) 昭6

同 講掛金懈怠の宥恕 (無盡通信 **6**-3) 昭6

同 賴母子講と落札後の掛金義務 (無盡通信 **6**-4) 昭6

大橋多計三 賴母子講の管理人たる事を表示したる者の責任 (無盡通信 **6**-5) 昭6

同 制限區域外に於ける營業無盡契約の效力 (無盡通信 **7**-1) 昭7

同 無盡金取立委任と受任者の死亡 (無盡通信 **7**-2, 4) 昭7

同 無盡會社取締役の責任成立要件としての「債務超過」に就て (無盡通信 **7**-5) 昭7

同 無盡講の決議方式 (無盡通信 **8**-1) 昭7

同 無盡會社取締役の辨償責任 (無盡通信 **8**-2/3) 昭7

同 無盡講持口權を目的とする流質契約 (無盡通信 **8**-4) 昭7

同 確定日附なき無盡債權讓渡に對する第三者の承認並に業法十二條に關して (無盡通信 **9**-1) 昭8

同 無盡講の代表者の權利讓渡 〔判批〕(無盡通信 **9**-2) 昭8

同 無盡講世話人の爲したる掛戻債權の讓渡 (無盡通信 **9**-3) 昭8

同 賴母子講に於ける講會の決議 (無盡通信 **9**-4) 昭8

同 無盡會社の代表取締役の決定 (無盡通信 **10**-2) 昭8

同 最初より缺口ある無盡契約の效力 (無盡通信 **10**-3/4) 昭8

*同 無盡判例集 東京 全國無盡集會所 昭9 657頁 菊

同 無盡業法第十一條に關する判決 (無盡通信 **11**-1) 昭9

同 信用組合の無盡兼營問題 (無盡通信 **11**-3/4) 昭9

同 無盡債權の消滅時效に就て (銀行研究 **29**-1) 昭10

同 判例に現れたる營業無盡 (法律時報 **7**-8) 昭10

同 無免許無盡に關する一判例 〔判批〕(無盡通信 **13**-1) 昭10

同 無盡會社と無盡關係者との契約禁止に關する判決 〔判批〕(無盡通信 **13**-6) 昭10

同 無盡業法改善管見 (無盡通信 **14**-2/4) 昭10

同 約款に反する掛金の一時拂込 〔判批〕(無盡通信 **14**-3) 昭10

岡良賢 實際に現れたる無盡に關する法律問題 (無盡通信 **5**-1/3) 昭6

同 無盡契約復活問題に關する判例と其研究 (無盡通信 **6**-1/2) 昭6

岡良賢 無盡の債權と其擔保 (無盡通信 **7**-1) 昭7

同 無盡と代理權 (無盡通信 **9**-4/5) 昭8

*岡崎公宏 無盡會社破綻物語一銀行無盡會社の破綻と其の對策 3版 東京 東京經濟書房 昭9 449頁 四六

大宮四郎 營業無盡基本問題に關する若干點 (庶民金融 **9**-9) 昭8

同 營業無盡改革苦言 (庶民金融 **10**-2) 昭9

同 無盡から「小口貸付」等に變化しつゝある無盡會社 (庶民金融 **10**-9) 昭9

太田政吉 庶民金融としての無盡業 (銀行論叢 **25**-6) 昭10

大內兵衞 我國に於ける中小商工業の地位と無盡 (無盡通信 **13**-6) 昭10

大山鷹之介 不完全な庶民金融機關 〔無盡の話〕(エコノミスト **9**-11) 昭6

大崎範一 無盡業の會計 (會計 **5**-5/6) 大8

酒美保造 無盡記帳法改正私案 (無盡通信 **6**-4) 昭6

同 無盡掛金表の研究 (無盡通信 **10**-4) 昭8

佐々木辰夫 日本農村經濟に於ける賴母子講の地位 (無盡通信 **11**-2/3) 昭9

同 最近に於ける賴母子講整理狀況一主として山口, 島根兩縣下について (無盡通信 **12**-2/3) 昭9

*關經雄 無盡叢談 昭4

同 中小金融機關としての無盡 (エコノミスト **8**-12) 昭5

瀨底正雄 無盡數學 (無盡通信 **14**-2) 昭10

柴田定雄 本邦に於ける無盡の史的考察 (稻門經濟 5) 昭5

*司法省調査課 賴母子講の法律關係 昭9〔司法研究第18報告書集1〕

下村孝彌 繰越缺損金に對する取引と無盡會社 (稅 **10**-9) 昭7

鹽田內藏太郎 賴母子講の整理 (產業組合時代 **24**-10) 昭8

末弘嚴太郎 無盡契約の效力一認許せられたる約款の趣旨に反する無盡契約 〔判批〕(法學協會雜誌 **53**-7) 昭10

末川博 無盡契約と掛金の一時の拂込 〔判批〕(民商法雜誌 **2**-2) 昭10

同 賴母子講總代の選任 〔判批〕(民商法雜誌 **2**-2) 昭10

菅谷幸一郎 現行無盡簿記改正案一二に就て (無盡通信 **4**-1) 昭5

杉山安太郎 循環式無盡に就いて (無盡通信 **13**-2) 昭10

庶民金融研究所 全國無盡會社の營業費・無盡益金・貸付金利調査 (庶民金融 **11**-2) 昭10

田部廣 賴母子講 (掛通講) 給付金請求權差押に就いて (法曹會雜誌 **10**-1) 昭7

同 賴母子講の非該關係人能力に就て (法曹會雜誌 **10**-4) 昭7

*泰生也 無盡簿記の研究 無盡之研究社 昭5〔無盡研究叢書7〕

高際敏彌 契約々款〔無盡〕に加除したき條項 (無盡通信 **5**-3/6; **6**-1) 昭6

同 改善したき無盡の缺點 (無盡通信) (**8**-1/6; **9**-1/6; **10**-1/2, 4/6; **11**-1/5; **12**-1/6; **13**-1/4) 昭7/10

同 入札差金の研究 (無盡通信 **13**-5/6) 昭10

同 下り坂の無盡挽回策 (無盡之研究 **10**-5/7, 9) 昭10

田中忠夫 支那に於ける無盡 (支那 **16**-3) 大14

田添良治 無盡業革新の基調 (無盡之研究 **10**-9) 昭10

東京支部廿日會 集金益整理の研究 (無盡通信 **7**-4/6; **8**-1/3) 昭7

富田謙太郎 不動產金融の重要性を論じて營業無盡の使命に及ぶ (無盡通信 **3**-1) 昭5

同 無盡と商行爲法論 (無盡通信 **11**-4/5) 昭9

友松圓諦 無盡の起源に就て (無盡通信 **9**-5/6) 昭8

*浦松德太郎 無盡業要鑑 東京 全國無盡集會所 大12 92頁

若林正臣 賴母子講と農村 (產業組合 269) 昭3

渡邊德太郎 無盡の起源及東京に於ける其發達變遷 (無盡通信 **5**-1) 昭6

*山田稔 無盡講演集 京都 京都府無盡協會 昭9 191頁 菊

山口麻太郎 壹岐に於ける無盡 (賴母子講) の研究 (社會經濟史學 **5**-3/4) 昭10

山川隆平 江戶時代に於ける「講」の職能に就て (大阪史談會報 6) 昭5

山本豐 農村に於ける賴母子講の問題 (帝國農會報 **25**-3) 昭10

山村翠 貯蓄目的の加入者に對する利殖率保證の方法は無いものか（無盡通信 7-1） 昭 7

山野昭明 大阪式無盡の採算（無盡研究 5-1） 昭 6

山下三哉 庶民金融と營業無盡（政治經濟時論 7-7） 昭 7

矢野次郎 内野組合頼母子講貯金制度（產業組合時代 24-10） 昭 8

吉澤新作 無盡の現況に就て（銀行通信錄 574） 昭 8

*由井健之助 頼母子講と其の法律關係 東京 岩波書店 昭 10 352 頁 菊

袖木重三 講（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

*全國無盡集會所 無盡論文集 第一輯 東京 同所 昭 4 212 頁 菊

*同 無盡業法規 昭 6

*同 無盡業法講義（大野龍太・星野喜代治） 東京 昭 6 267 頁 菊

*同 無盡講義 東京 昭 6 179 頁 菊

*同 新無盡業法經過 昭 6

*同 金錢債務臨時調停法と營業無盡の機構に就て 昭 7 11 頁 菊

*同 金錢債務臨時調停法制定經過と無盡業 東京 同所 昭 7 120 頁 菊

*同 無盡簿記精義 東京 同所 昭 7 237 頁 菊

*同 無盡實務講習錄（吉澤新作） 2 卷 東京 同所上 昭 10 470 頁 下 561 頁 菊

*同 全國無盡會社要覽〔年刊〕

營業區域外に於ける無盡契約の效力（銀行判例 3-6） 昭 5

營業無盡の儲らぬ話（金融知識 6-5） 昭 10

本邦無盡業現況，列國の金保有高，英國の國際收支（國勢グラフ 2-5） 昭 8

茨城縣下無盡狀況並に漁業者利用調査（水產界 570/71） 昭 5

過去十ヶ年間に於ける無盡業の趨勢（無盡通信 5-5） 昭 6

京城に於ける無盡講（朝鮮經濟雜誌 146） 昭 3

滿洲に於ける無盡講の現狀（無盡通信 10-1） 昭 8

滿洲に於ける無盡の慣習（滿洲評論 3-3） 昭 7

無盡簿記改善案に就て（庶民金融 11-7） 昭 10

無盡業法第六條違反行爲と取引の效力〔判批〕無盡金請求事件上告棄却（企業經營 2-1） 昭 5

無盡業法改正意見要綱（庶民金融 11-7） 昭 10

無盡業改善意見（無盡通信 14-1） 昭 10

無盡業關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 11 頁） 昭 9

無盡業令改正ニ關スル要望書〔資料〕（無盡通信 4-1） 昭 5

無盡會社營業費の研究〔大口生〕（無盡通信 5-5） 昭 6

無盡會社取締役責任の範圍（銀行判例 7-2） 昭 7

無盡會社と其外務員〔腰塚太郎〕（保險及金融 7-12） 昭 5

無盡掛戻債權の讓渡〔判批〕（銀行判例 9-1） 昭 8

無盡に於ける一時拂込の特約の效力（銀行判例 14-1） 昭 10

無盡の法律問題（銀行判例 9-1/3） 昭 8

無盡利用の年末金融（經濟知識 4-5） 昭 5

年末金融の種々相，信用組合，保險無盡，質屋（財政經濟時報 18-12） 昭 6

大藏省の無盡業法改正案（無盡通信 5-2） 昭 5

大阪式無盡の缺口と給付拒絕に關する考察〔吉澤生〕（無盡通信 12-3） 昭 9

最近に於ける無盡業の概觀（金融三層 2-3） 昭 6

頼母子講（無盡講）に關する調査（經濟評論—叢文閣 2-2） 昭 10

頼母子講に關する調査諸表（農務時報 78） 昭 10

頼母子講總代の選任〔判批〕（銀行判例 14-1） 昭 10

東京の無盡會社の丈くらべ（金融三層 2-10） 昭 6

中小金融改善の波に乘る無盡業（無盡通信 13-3） 昭 10

融資年二億の無盡業〔瓊川生〕（實業の日本 33-16） 昭 5

全國無盡集會所總會に於ける大藏大臣の挨拶（銀行論叢 14-5） 昭 5

4. 勞働者銀行

a. 一般

*長谷川亮介 經濟革命と勞働銀行運動 1 版 東京 大阪屋號 昭 1 277 頁 附錄 17 頁 四六

*ヘルツォーグ モリス式勤勞銀行 西崎正譯 東京 岩波書店 昭 6 244 頁 四六

藤田進一郎 勞働銀行（社會事情研究 18-9） 昭 5

*井關孝雄 庶民銀行 東京 先進社 昭 6 368 頁 四六

神田孝一 勤勞相互金融施設に關する實驗（社會政策時報 138） 昭 7

河島海雄 勞働銀行の勃興（銀行論叢 2-5） 大 13

木村秀太郎 勞働銀行運動（銀行論叢 6-1/3） 昭 1

*コンプリックス 勞働銀行 井關孝雄譯 東京 先進社 昭 6 262 頁 四六

*長沼弘毅 勞働銀行研究 東京 自治刊行社 昭 10 641 頁 四六

同 勞働銀行運動と勞働組合（勞働立法 2-3） 昭 10

奥田勳 勞働銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

島田德 勞働銀行（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

竹島冨三郎 勞働交換銀行（經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7

同 勞働交換銀行（金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

*鐵道大臣官房保健課 勞働銀行論 大 15〔勞働問題研究資料 46〕

手塚壽郎 ロバート・オーウエンの勞働交換銀行（商學討究 1-下） 昭 1

勞働銀行の發達（藤本ビルブローカー銀行週報 351） 大 12

b. 各國別

アメリカ合衆國

*長谷川亮介 經濟革命と勞働銀行運動 大阪屋號 昭 1 277 頁

猪谷善一 米國の勞働銀行（企業と社會 21） 昭 2

岩城弘一 米國勞働銀行の發達（銀行研究 6-3） 大 13

岩崎靜也 米國勞働組合の銀行經營に付て（銀行論叢 5-6） 大 14

金內良輔 米國勞働者銀行運動の發達（金融研究 2-9; 3-1） 大 14 昭 1

北澤新次郎 米國に於ける勞働銀行に就て（早稻田商學 2-2） 昭 1

松岡孝兒 合衆國に於ける勞働銀行に就て（經濟論叢 22-3） 昭 1

*三菱合資會社資料課 米國に於ける勞働組合の銀行設立運動に就て 大 13

陸奥國太郎 合衆國に於ける勞働銀行の發達（銀行研究 8-6） 大 14

長沼弘毅 米國に於ける勞働銀行運動（無盡通信 6-1/6; 7-1/6; 8-2, 4/6; 9-2/4, 6） 昭 6/8

長岡保太郎 米國に於ける勞働組合の銀行經營運動（社會政策時報 60） 大 14

十龜盛次 米國に於ける「勞働銀行」の本質と特異性—（銀行研究 18-5/6） 昭 5

米國勞働銀行の發達に就て（商工月報 5-11） 昭 4

美國勞動銀行之發達（銀行週報 494） 民 16

勞働者銀行開業〔米國財界近事の一節〕（朝鮮銀行月報 14-7） 大 12

最近米國勞働銀行の營業狀態（銀行通信錄 533） 昭 5

ドイツ

楠見一正 獨逸の勞働者銀行（經濟論叢 23-3） 昭 1

フランス

淺野研眞 フランスの勞農銀行に就て（無盡通信 4-5） 昭 5

津田善雄 巴里勞働農民銀行の捜索（財政經濟時報 16-11） 昭 4

イギリス

早坂二郎 英國勞働銀行の功罪—勞働組合資本主義の解剖（財政經濟時報 16-6） 昭 4

手塚壽郎 ロバート・オーウエンの勞働交換銀行（商學討究 1-下） 昭 1

イタリー

鶴岡操 伊太利國立勞働銀行の制度，組織及業務（產業組合 361） 昭 10

オーストリア・

ウイーン勞働者銀行の七年間（產業組合 303） 昭 6

5. 質屋及金貸業者

i. 質　　屋

a. 一　　般

阿部　滂　公設質舗の設置に就て（臺灣時報 8）大 9

秋野茂廣　下層的金融と質舗（庶民金融 8-6）昭 7

春木一郎　質權の發達史に於ける füducia に就て（法學協會雜誌 43-10/12）大 14

藤野　惠　公益質屋制度に關する一考察（法律時報 3-8）昭 6

同　農村社會事業としての公益質屋の經營（斯民 26-1）昭 6

神戸正雄　公益質庫制度（時事經濟問題 56）昭 2

北村令二　質屋國營論（社會事業研究 18-9）昭 5

幸田成友　質屋に就て（商學研究 4-1）大 13

楠見一正　公益質屋（經濟學辭典 II 卷 2 頁）昭 6

前田稔靖　公營質舗の經營に就て（大阪商工時報 25）大 9

*同　質屋公營論　昭 2 33 頁〔非賣〕

前田繁一　公益質屋（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　質屋（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

長沼弘毅　質に關する研究（無盡通信 12-6；13-1）昭 9/10

中村文彥　公益質屋概說（社會事業研究 23-5）昭 10

二町仁二　質屋取締に就て（法律時報 3-8）昭 6

岡野文之助　都市下層金融制としての質屋考（都市問題 1-7/8）大 14

大谷善治　歐洲に於ける金貸と質屋の歷史（庶民金融 5-3, 5）昭 4

隅土　滿　公設質屋の重要性（社會事業研究 18-9）昭 5

鄧　孝思　公益當舗鼇談（社會科學論叢 3-5）民 20

*東京市政調査會　公設質舗の助成（岡野文之助）昭 1 408 頁 菊〔都市庶民金融に關する調査 4〕

質屋と其沿革（金融三屑 4-8）昭 8

b. 各　國　別

日　　本

*愛知縣學務部　公益質屋經營の實際　昭 8〔公益質屋參考資料〕

*群馬縣學務部　公益質屋關係法規　昭 5

*廣島縣學務部　公益質屋例規〔不詳〕

*北海道廳內務部　公益質屋參考資料　昭 2

*北海道廳社會課　公益質屋手引草　昭 3

*福岡縣內務部　公益質屋の設置と經營　昭 8

*福島縣學務部　公益質屋關係法規　昭 3

*同　公益質屋の經營　昭 5〔社會事業研究資料 3〕

*藤野　惠　公益質屋法要論 2 版 東京 良書普及會 昭 3 343 頁 菊

同　公益質屋事務に關する若干問題（自治研究 7-4）昭 6

同　農村社會事業としての公益質屋の經營—特に分庫制度に就て（斯民 26-1）昭 6

*藤戸計太　質屋及當舗之研究　昭 5〔朝鮮金融經濟叢書 2〕

池田英次郎　沒落過程にある私設質屋（庶民金融 7-9）昭 6

*鹿兒島縣學務部　公益質屋の話　昭 4/5

小早川欣吾　我國中世に於ける動產質（社會經濟史學 2-9）昭 7

隈本和平　公益質屋の經營及實務に就て（連帶時報 12-5）昭 7

*熊本縣社會課　公益質庫の實際　昭 2

黑羽兵治郎　大阪に於ける質屋組合の推移—明治 28 年質屋取締法發布以前（經濟時報 5-1）昭 8

同　大阪に於ける質屋營業方法の變遷（經濟時報 5-6）昭 8

同　質屋取締條例改正請願運動（經濟史研究 41）昭 8

楠見一正　私營質屋業の概況（經濟論叢 27-4；庶民金融 4-5）昭 3

松井精一　公益質屋—市營質舗に就いて（大大阪 11-10/11）昭 10

*三重縣學務部　公益質屋經營の實際　昭 5

*三菱合資會社　我國の質屋　大 8〔下層金融機關調査〕

持永義夫　時局国救と公益質屋（社會事業 16-10）昭 7

同　公益質屋の現況（自治研究 9-9, 11）昭 8

*內務省社會局　公益質屋關係法規　昭 2

*同　公益質屋の實例　昭 7 63 頁 菊

*同　公益質屋事務講習會講演集　昭 8 242 頁 菊

*同　公益質屋經營の實際　昭 9〔公益質屋資料 3〕

中田榮次郎　臺灣公設質舗の成績に就て（臺灣時報 38）大 11

根本清六　公營質舗問題の歷史的考察（三田評論 272/3）大 9

*新潟縣學務部　公益質屋に就て　昭 3〔社會事業パンフレット 3〕

*同　公益質屋經營の栞　昭 4〔社會事業パンフレット 7〕

*同　公益質屋の經營に就て　昭 5 29 頁〔社會事業パンフレット 8〕

二町仁二　質屋取締に就て（法律時報 3-8）昭 6

岡野文之助　地方農村金融と質屋制度（產業組合 269）昭 3

同　公益質屋の現狀と其の問題（都市問題 19-3）昭 9

*大阪市社會局　質屋と金貸業　昭 1

澤田　謙　公益質屋法案（公民講座 29）昭 2

*滋賀縣學務部　公益質屋に就て　昭 8

清水虎雄　農村金融と公益質屋（社會事業 18-2）昭 9

*靜岡縣學務部　庶民金融と公益質屋〔不詳〕〔資料 16〕

*同　公益質屋に關する參考資料〔不詳〕〔資料 21〕

菅　吉男　室町時代の質屋（庶民金融 7-10/13；8-1/5）昭 6/7

*社會局社會部　公益質庫の現勢　大 15 菊

*商工省商務局　公益質屋金融特ニ東京府社會事業協會經營公益質屋ノ實情ニ就テ（小倉千里）東京 昭 10 32 頁 菊〔小資業改善資料 6〕

*臺北市役所　臺北市御成町公設質舗概況　昭 6

*同　臺北市公設質舗概況〔年刊〕

高柳眞三　仙臺藩の質物奉公（法學 2-4）昭 8

瀧川政次郎　奈良時代に於ける人身質入（法律學研究 29-2）昭 6

田中市助　公益質屋法案に就て（市町村雜誌 399）昭 2

寺尾宏二　土倉（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

*東京府社會事業協會　東京府社會事業協會經營公益質業の現況〔大正 15 年 9 月調〕昭 1

*東京市政調査會　公設質舗 昭 1〔都市庶民金融に關する調書 4〕

*同　公益質舗に關する參考法律案　昭 1

*東京市社會局　東京市內細民の入質に關する調査 大 10 菊〔東京市社會局叢書 2〕

*東京市統計課　市內質屋に關する調査　昭 5〔東京市の狀況 108〕

*東京市役所　質屋業の統計調査　昭 1

*同　無產者金融機關としての質屋の研究 東京 東京市役所 昭 6 139 頁 四六

*富山縣社會部　公益質屋の設置に就て　昭 2

*馬屋原彪次郎　公益質屋卽行論　昭 6

*山口縣學務部　公益質屋便覽　昭 4

沒落して行く質屋（庶民金融 7-11）昭 6

公益質舗に關する東京市政調査會の法律案（都市問題 3-6）昭 1

公益質屋法案反對に對する東京市政調査會の所見（都市問題 4-4）昭 2

公益質屋の現況と設置の急務〔絲蔭生〕（庶民金融 4-1）昭 3

公益質屋事業成績（朝鮮調査月報 4-4）昭 8

日本一の市營西野田質舗を訪問する（大大阪 11-11）昭 10

質屋關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

質屋問題に就て（朝鮮經濟雜誌 5-4/5）大 9

質屋利用の年末金融（經濟知識 4-5）昭 5

臺灣の公設質舗（大阪商工時報 43）大 11

ド　イ　ツ

藤野　惠　伊佛獨に於ける公益質屋制度（法學協會雜誌 45-11）昭 2

フ　ラ　ン　ス

*岐阜縣內務部　佛國公益質屋に關する法令　昭 5

藤野　惠　伊佛獨に於ける公益質屋制度（法學協會雜誌 45-11）昭 2

*內務省社會局　佛國公益質屋ニ關スル法令　昭 2

イ　タ　リ　ー

藤野　惠　伊佛獨に於ける公益質屋制度（法學協會雜誌 45-11）昭 2

滿洲國

楠見一正　大連市の公設質屋（商業及經濟研究 55）昭 4

奉天に於ける日支質屋業の現況及其比較（奉天商業會議所月報 119）大 11

滿洲人側質屋同業組合の業態（東洋貿易時報 **10**-12）昭 9

當鋪夜話〔乘化庵主人〕（滿蒙 **11**-2）昭 5

支那

有本邦造　支那典當業會計概說（會計 **34**-3）昭 9

傅介涛　我國典當業性質的分析（政治評論 173）民 24

池上二郎　當鋪の研究（東亞事情研究 4）昭 3

何躬行　最近上海當業概況（商業月報 **12**-9）民 21

河村東洋　典權について（東亞經濟研究 **19**-1）昭 10

蔡斌咸　救濟農村聲中之典當業（新中華 **2**-15）民 23

張一凡　我國典當業之研究（中國經濟 **2**-7）民 23

宇多佐助　上海の質屋業（山口高商調査課時報 **2**-5）昭 5

同　杭州典業の調査（山口高商調査課時報 **3**-1）昭 6

山上金男　中國當鋪の研究（東亞經濟研究 **17**-1/2, 4）昭 8

福州市錢當兩業同趨衰落（中央銀行月報 **3**-10）民 23

廣東全省典當業間數（工商半月刊 **7**-1）民 24

北平當鋪之研究（錢業月報 **14**-3）民 23

山東的典當業調査（工商半月刊 **6**-24）民 23

上海之典押業（社會月刊 **1**-12）民 18

上海特區典當業發表一年來營業報告（中央銀行月報 **3**-11）民 23

ii. 貸金業者

a. 一　般

江頭恒治　金貸（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

楠見一正　貸金業者（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

前田繁一　金貸業（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

西田福次郎　高利貸の眞相と其取締に就て（法律時報 **3**-8）昭 6

西村稠　アーノルド・ベンネットに於ける守錢奴の研究（商學 9）昭 7

大谷善治　歐洲に於ける金貸と質屋の歷史（庶民金融 **5**-3, 5）昭 4

b. 各　國　別

日　本

伊奈健次　本邦佛寺の高利貸徵利認容の根據について（史淵 11）昭 10

猪股薰　恩給擔保貸付（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

川上高雄　高利貸と無盡の內幕（財政經濟時報 **17**-10）昭 5

黑羽兵治郎　維新以後に於ける大阪の金錢貸付業（經濟時報 **5**-5）昭 8

善生永助　朝鮮に於ける金貸業（朝鮮 197）昭 6

農村のダニ高利貸〔常磐學人〕（產業組合 360）昭 10

イギリス

英國の金貸業法（庶民金融 **11**-7）昭 10

インド

プレマニー　印度の高利貸（日印協會會報 51）昭 7

同　印度の高利貸（大阪不動產新聞 6）昭 8

印度の高利貸（印度甲谷陀日本商品館館報 48）昭 6

支那

鈴江言　中國的地立高利貸者與農民 陶直夫譯（新創造 **2**-1/2）民 21

6. 中小商工業金融

a. 一　般

波多野鼎　中小商工業者金融論（庶民金融 **6**-5）昭 5

*服部文四郎　世界の不景氣と中小商工業者 東京文明協會 昭 5〔文明協會ニュース 11 の內〕

同　中小商工業の金融（早稻田政治經濟學雜誌 18）昭 5

同　中小商工業金融と信用組合（經濟法律論叢 **4**-1）昭 8

賓來市松　中小工業金融に就て（信託と證券 **2**-6）昭 4

細矢祐治　中小商工業者金融改善問題（銀行研究 **16**-5）昭 4

石井健吾　中小商工業金融に就て（龍門雜誌 499）昭 5

一色信一　中小商工業金融に就て（社會政策時報 129）昭 6

*井關孝雄　中小商工業庶民金融論 東京 改造社 昭 10 283 頁 四六〔現代金融經濟全集 5〕

同　中小工業金融の一般知識（庶民金融 **11**-4）昭 10

同　中小商工金融の庶民金融の上に於ける地位及特質（產業能率 **8**-10）昭 10

金子泉　中小商工業者と庶民金融（無盡通信 **12**-2/3）昭 9

春日井薰　相互組織金融の缺陷と其の救濟策（銀行研究 **28**-2）昭 10

串本友三郎　中小商工業金融に對する希望（藤本アナリスト **4**-16）昭 5

楠見一正　中小商工業金融問題管見（銀行研究 **21**-2）昭 6

同　中小商工業金融（金融大辭典 II 卷 4 頁）昭 9

前田繁一　中小商工農業金融と其の適否（經濟往來 **5**-5）昭 5

*同　中小商工業金融の實際〔實用經濟講座—非凡閣 1 の內 162 頁〕昭 9

西尾豐　中小商工業金融に就て（財政經濟時報 **17**-11）昭 5

同　中小商工業金融の再考察（財政經濟時報 **19**-9）昭 7

小畑源之助　中小工業金融に就て（工業 38; 竹原經濟時報 31）昭 4

小川信雄　中小商業に於ける金融の現狀（社會政策時報 179）昭 9

岡野文之助　中小商工業の金融に就て（銀行論叢 **9**-5）昭 2

同　中小商工業者の金融的防衛（銀行研究 **14**-7）昭 3

ランスブルグ, アルフレッド　中小商工業の資金需要への金融（庶民金融 **8**-9/10）昭 7

齋藤修一　中小商工業金融問題（企業經營 **2**-3）昭 5

下田將美　中小商工業者の金融問題（經濟往來 **5**-5）昭 5

*須田直　中小商工業者金融難の解決と資本金運用法 東京 鳳山堂 昭 6 176 頁 四六倍

鈴木島吉　中小商工業者の資金融通に就て（銀行通信錄 516）昭 4

同　中小工業金融に就て（工業要錄 **6**-1）昭 5

田中貫　中小商工業の金融に就て（銀行通信錄 534）昭 5

寺島成信　中小商工業の救濟改善に就て（經濟往來 **5**-5）昭 5

外山福男　中小商工業金融と地方自治團體（自治研究 **6**-8/9, 12）昭 5

內池廉吉　中小商工業の金融に就て（經濟往來 **5**-5）昭 5

渡邊鐵藏　中小商工業の金融に就て（無盡通信 **5**-6）昭 6

山口正太郎　中小商工業金融の問題（社會事業研究 **18**-9）昭 5

諸外國に於ける中小金融政策（エコノミスト 8-12）昭 5

小產者金融と產業組合〔K・M 生〕（大阪銀行通信錄 360/62）昭 2

東京商工會議所〔案〕中小商工業の資金融通策（中外財界 **4**-15）昭 4

中小工業の金融疏通とカルテル（東洋經濟新報 1268）昭 2

b. 各　國　別

日　本

阿部賢一　中小產業更生の途 金融を中心として（エコノミスト 8-12）昭 5

天宅敬吉 中小金融改善の一提案（エコノミスト 7-21） 昭 4

同 中小金融改善の一提案（庶民金融 5-10） 昭 4

青木茂 中小商業金融難緩和策（銀行論叢 13-4） 昭 4

有馬駿介 銀行による商工小口金融の開始（經濟往來 5-5） 昭 5

*檜六郎 中小商工農業者は沒落か？ 更正か？ 東京 大衆公論社 昭 5 471 頁 四六

堀江歸一 商工業者に對する復興資金（エコノミスト 2-9） 大 13

同 小中商工業の金融を如何にする（エコノミスト 5-13） 昭 2

細井藤兵衞 中小商工業者に對する金融上の考慮（銀行研究 15-1） 昭 3

細井安次郎 中小商工業者の金融問題（商店界 10-6） 昭 5

細矢祐治 我金融制度と中小產業資金の問題（銀行研究 14-8） 昭 3

同 中小商工業者金融改善問題（銀行研究 16-5） 昭 4

藤本豐 中小業の金融機構に對する管見（無盡通信 14-2） 昭 10

藤城敬二 商工金融と銀行支店制度の改善（銀行研究 8-4） 大 14

同 中小商工業金融難と其對策（銀行研究 18-3） 昭 5

同 中小產業者金融の現狀と普通銀行（銀行研究 21-4） 昭 6

藤田謙一 中小商工業者の金融難（貿易 2-83） 昭 3

藤原泰 信託會社と中小企業金融（銀行研究 28-1） 昭 10

井上準之助 中小金融と金輪再禁止問題（無盡通信 7-1） 昭 7

*入江弘 中小工業の金融問題 東京 工業組合中央會 昭 10 202 頁 菊

石井健吾 銀行恐慌と小商工金融（エコノミスト 5-13） 昭 2

同 中小商工業金融に就いて（經濟往來 5-11） 昭 5

石川千代壽 中小商工資金の貸出（商店界 12-10） 昭 7

一色信一 中小工業金融と興銀（財政經濟時報 18-8） 昭 6

井關孝雄 中小農商工金融機關としての無盡の地位（無盡通信 5-3） 昭 6

同 商工組合中央金庫論（我觀 13-9; 庶民金融 11-8） 昭 10

泉芳德 中小商工業金融と市街地信用組合（臺灣の產業組合 56） 昭 6

同 中小商工業金融と市街地信用組合（臺灣時報 135） 昭 6

神戸正雄 輸出及工業組合の輸出金融（時事經濟問題 32） 大 14

同 中小工業金融の助成（時事經濟問題 64） 昭 2

春日井薰 中小商工業者金融問題の核心（都市問題 10-6） 昭 5

片岡安 產業組合と中小工金融（竹原經濟時報 39） 昭 5

勝正憲 商工中央金庫法案（經濟知識 14-4） 昭 10

川崎清 中小商工業金融に付て（社會及國家 168） 昭 5

川瀨和夫 中小商工業金融に就て（銀行論叢 13-6） 昭 4

河田嗣郎 中小商工業者救濟の道（經濟時報 2-1） 昭 5

*經濟攻究會 中小商工業金融の現狀と諸改善案 昭 5

*金融研究會 中小農商工業に對する金融について 東京 （梶原仲治） 昭 7 142 頁 四六〔講演集 10〕

岸信介 中小工業金融概況（工業經濟研究 3） 昭 8

末島陽太郎 小產業に對する金融（銀行論叢 1-6） 大 12

小平權一 產業組合の使命と中小商工業の問題（地方行政 43-4） 昭 10

小出成五 中小產業金融に就て（財政經濟時報 17-10） 昭 5

小池四郎 銀行の中小業金融に備へよ（經濟往來 5-5） 昭 5

窪田角一 產業組合の資金借入と府縣の保證又は損失補償（產業組合 358） 昭 10

久藤隆治 小賣商問題の金融的解決（庶民金融 5-2） 昭 4

工藤昭四郎 中小商工業金融の現狀（工政 174） 昭 9

倉橋藤治郎 小商工業の金融問題（經濟往來 5-5） 昭 5

*倉持德久 中小商工業金融及中央銀行の研究 東京 有斐閣 昭 7 343 頁 菊

栗栖赳夫 中小工業金融機關の改善（無盡通信 7-1） 昭 7

同 中小商工業金融の諸問題（勞働立法 1-2） 昭 9

楠見一正 松崎壽：本邦中小工業金融論（經濟時報 6-5） 昭 9

楠見一正 商，工業組合の金融上の缺陷と中央金融機關の必要（經濟時報 7-9） 昭 10

同 中小商工業金融に於ける普通銀行の地位（社會政策時報 182） 昭 10

前田繁一 銀行合同と中小商工農の金融問題（經濟往來 4-8） 昭 4

同 前貸金融（金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

牧村宏 不動產資金化の問題—中小商工業者の救濟策（稅 10-9） 昭 7

牧野元次郎 中小商工業に對する金融に就て（庶民金融 5-7） 昭 4

同 中小商工業金融の現狀と對策（政治經濟時論 5-11） 昭 5

同 中小商工業金融に就て—都市として如何に對策すべきか（都市問題 13-6） 昭 6

牧野輝智 中小商業者金融難の打開策〔經濟時評〕（經濟往來 5-7） 昭 5

松崎壽 帝都復興及商工業復興の金融對策（銀行研究 5-3） 大 12

同 中小工業の金融問題（銀行研究 15-1） 昭 3

同 中小工業金融と工業銀行新設論（銀行研究 15-4） 昭 3

同 小中工業者の組合金融論（銀行研究 17-2） 昭 4

同 中小工業金融機關私見（銀行研究 17-4） 昭 4

同 中小工業者の信用調査機關に就て（經濟時報 1-4） 昭 4

同 中小商工業の金融（工業之大日本 26-8/9） 昭 4

同 中小工業金融と其金融機關（社會政策時報 100） 昭 4

*同 中小工業金融と債務保證信用保險並に動產抵當設定論〔大阪商科大學創立五十周年記念論文集の內 22 頁〕 昭 5

同 中小工業の金融問題（銀行研究 19-1） 昭 5

同 最近の中小商工業金融施設（銀行研究 19-5） 昭 5

同 現時の中小商工業金融問題（無盡通信 3-5） 昭 5

同 最近の中小商工業金融問題（商業及經濟研究 58） 昭 5

同 政府及地方自治體と中小商工業金融（經濟時報 2-10） 昭 6

同 中小商工業の金融施設に就て（砂糖經濟 1-2） 昭 6

松崎壽 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡（大阪商科大學經濟研究年報 4） 昭 8

*同 本邦中小工業金融論 東京 文雅堂 昭 9 508 頁 菊·

1. 緒論 2. 中小工業の金融方法 3. 中小工業の金融機關 4. 中小工業金融に對する公私の特殊施設 5. 中小工業金融の改善論批判 6. 中小工業金融改善私論 7. 最近の中小工業金融問題 8. 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡

同 罹災中小商工業者の金融問題（銀行研究 27-5） 昭 9

同 名古屋市の中小商工業金融施設に就て（經濟時報 6-1） 昭 9

同 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡（無盡通信 11-3/4） 昭 9

同 中小商業者の金融問題（銀行研究 28-4） 昭 10

同 商工中央金庫設立問題（銀行研究 28-6） 昭 10

同 商工中央金庫の設立可否（經濟時報 7-2） 昭 10

松崎伊三郎 既設信用組合を無視せる小商工資金の融通（東洋經濟新報 1104） 大 13

*長崎市役所 長崎市に於ける小商工業者の金融狀態 昭 6〔市政調査資料 3〕

長瀨虎郎 中小工業金融の實態（財政經濟時報 17-10） 昭 5

*中橋德五郎 中小商工業の保護 昭 4

*日本商工會議所 中小商工業金融改善策に關する資料 昭 7 162 頁 菊

*同 中小商工業金融改善ニ關スル統計資料 昭 9 37 頁 菊

*西尾豐 編 中小商工業金融の現狀と諸改善策 東京 經濟攻究會 昭 5

*農林省經濟更生部 中小商工業者の金融問題 東京〔不詳〕 48 頁〔農村金融資料 2〕

野澤務 中小商工業の金融問題（エコノミスト 5-20） 昭 2

岡田純夫 所謂中小商工業金融に對する疑問（銀行研究 18-5） 昭 5

岡野文之助 最近に於ける中小商工業金融難對策（都市問題 10-5） 昭 5

*岡崎公宏 中小商工業者金融機關の研究—不動貯金銀行の社會性 6 版 東京 天人社 昭 7 206 頁 四六

奧野平 中小商工金融改善問題（銀行論叢 12-5） 昭 4

*大藏省預金部 中小商工業者運轉資金融通方法要綱—同部資金運用委員會決定案 昭 3

小野英二郎 我國力の發展と中小工業への金融（銀行通信錄 480） 昭 1

*大阪府 全額補償付中小商工業資金融通制度 昭9 42頁 四六

*大阪商大經濟研究所 大阪市に於ける中小商工業金融調査（楠見一正） 3分冊：1分冊 昭9, 377頁, 2分冊 昭10 318頁, 3分冊 昭10 583頁 菊

*大阪商工會議所編 我國に於ける中小工業資金融通概況 昭9 64頁 菊

大内兵衛 我が國に於ける中小商工業の地位と無盡（無盡通信 **13**-6） 昭10

*產業能率研究所 中小商工業者の金融策（坂本重關） 東京 同文館 昭6 208頁 四六〔能率叢書〕

更級學 產業組合金融と產繭處理一組合製糸，乾繭倉庫，繭市場に對する金融に就て（產業組合 347） 昭9

佐々木綱雄 財界大動搖の波動を受けた中小工商業者へ對する運轉資金の融通（產業 **5**-7） 昭3

瀨戸道一 農村振興並に小商工業者の救濟と金融組合（金融組合 46） 昭7

柴田善三郎 府の失業救濟と中小工業金融（工業 43） 昭5

下田將美・他 中小商工業者の金融に就て（濟經往來 **5**-5） 昭5

*下關商工會議所 下關の中小商工金融 昭4

鈴木島吉 事業界の整理と中小工業資金問題（銀行論叢 **11**-1） 昭3

同 我國事業界の整理と中小工業資金（財政經濟時報 **15**-6） 昭3

同 事業界の整理と中小工業金融（銀行論叢 **12**-2） 昭4

*商工省商務局 小賣金融機關に就て（井關孝雄） 東京 昭10 49頁 四六〔小賣業改善資料 5〕

*同 小賣金融特に日本興業銀行に於ける其の取扱事情に就て 東京 昭10 42頁 菊〔小賣業改善資料 8〕

*同 貯蓄銀行に依る小賣金融殊に不動貯金銀行ニコニコ賃付の實際に就て（小山强次） 東京 昭10 120頁 四六〔小賣業改善資料 10〕

*臺灣銀行調査課 臺灣に於ける中小金融に就て 昭5 59頁 菊

高岡齋 中小工業の生きる道（工業 43） 昭5

武田敏信 中小商工業の將來性と金融問題（銀行論叢 **24**-3） 昭10

竹俣高敏 中小工業金融の前途に就いて（銀行研究 **27**-5） 昭9

同 中小工業金融の發展方向と工業組合制度（銀行研究 **28**-6） 昭10

瀧谷功 最近に於ける中小商工業金融問題（北海財務 76） 昭10

田中實 中小商工業の金融に就て（銀行通信錄 534） 昭5

田中吉六 最近に於ける我國中小商工業金融の現狀（我觀 111） 昭8

*東京府內務部 中小商工業者金融狀況 昭5

*同 中小商工農資金融通に關する座談會記錄 昭7 61頁 菊

*東京市 中小商工業者の金融問題 東京〔n.d.〕48頁 菊〔中小商工業振興調査會資料 2〕

*東京市產業局 中小商工業者の金融問題（業者側から見た） 昭10

*東京市政調査會 都市金融の概況 大14〔都市庶民金融に關する調査 1〕

*東京市役所 東京市に於ける中小商工業者の實際 上編 東京 工政會出版部 昭7 217頁 菊

*東京商工會議所 中小商工業の金融窮迫に關する資料 昭2

*同 政府の中小商工業者に對する運轉資金融通に關する調査 昭3

*同 中小商工業金融と我國金融機關の現狀 昭4 101頁〔商工調査 20〕

*東京實業組合聯合會 中小商工業者金融建議書 昭4

外山福男 中小商工業金融と地方自治團體（自治研究 **6**-8/19, 12） 昭5

常岡修三 中小工業資金の借方（通信見本市 **5**-1） 昭6

鶴岡三郎 中小金融問題に就て（無盡通信 **6**-5/6） 昭6

同 政府の中小金融對策に就て（無盡通信 **8**-6；**9**-1） 昭7/8

*朝鮮銀行調査部 鮮內中小工業と其の金融改善策 昭7〔調査 57〕

*朝鮮殖產銀行調査課 中小商工金融と我國金融機關の現狀 昭5〔商工調査〕

內海源男 中小商工業金融問題對策一東京商工會議所の建議（都市問題 **9**-3） 昭4

渡邊鐵藏 銀行經營批判一中小商工業者に對する銀行金融の改善（經濟往來 **4**-5） 昭4

同 中小工業融資と其方策（工業要錄 **6**-1） 昭5

米山梅吉 中小工業の金融改善策（經濟知識 **2**-5） 昭4

吉田悌二郎 府縣の中小商工業金融損失補償制度（工業經濟研究 4） 昭8

湯川寬吉 我國中小商工業者の金融改善に關する私見（銀行通信錄 501；工業之大日本 **24**-9） 昭2

結城豐太郎 中小商工業者の金融改善（庶民金融 **2**-4） 昭3

銀行金融座談會〔中小商工金融問題〕（銀行論叢 **15**-6） 昭5

本邦の中小商工業金融に就て（日本興業銀行調査月報） 昭9

補償制度による資金融通の實狀（庶民金融 **9**-5/6） 昭8

各府縣都市に於ける中小商工業資金補償融通實施狀況（大阪商工會議所月報 325） 昭8

簡單に出來る中小商工業家の無擔保金融（實業の日本 **33**-6） 昭5

興銀の中小商工業融資方針（銀行通信錄 561） 昭7

小賣商人の年末金融（經濟知識 **4**-6） 昭5

小賣商の金融制度を見る（金融知識 **4**-2） 昭9

農村中小商工業低資元利支拂資金融通割當（銀行通信錄 570） 昭8

大阪府の中小商工融資實施（實業の日本 **33**-9） 昭5

大阪に於ける時局匡救中小商工業資金融通概況（大阪商工會議所月報 314） 昭8

資金難の小商工業者（經濟調査月報 62） 昭5

商工小口貸付の開始（日本書夜銀行の卷）（經濟知識 **3**-5） 昭5

商工省の計畫する商工中央金庫の效果（金融知識 **4**-4） 昭9

商工中央金庫案を繞る大藏商工兩省の對立（ダイヤモンド **23**-25） 昭10

商工中央金庫の及ぼす中小商工業への效果と限度（東洋經濟新報 1666） 昭10

小商工農の年末金融（經濟知識 **4**-5） 昭5

中央金庫を要望する商業組合運動（ダイヤモンド **22**-21） 昭9

中小金融の具體案現はる（エコノミスト **8**-5） 昭5

中小工業金融問題（市町村雜誌 431） 昭4

中小工業金融問題（無盡通信 **4**-4） 昭5

中小工業金融の助成（時事經濟問題 64） 昭2

中小工業金融と當業者の覺悟（工業要錄 **6**-1） 昭5

中小工業の金融問題（廣島商工會議所月報 106/07） 昭5

中小工業の金融問題（マネージメント **12**-12） 昭10

中小工業の根本問題と金融調査（工業之大日本 **24**-6） 昭2

中小工業の根本調査と金融問題（工業之大日本 **24**-6） 昭2

中小商業金融機關としての市街地信用組合（京都經濟時報 62） 昭10

中小商業救濟に金融組合設立計畫（國產奬勵 **1**-4） 昭5

中小商業者の窮狀問題は金融難と經營策（エコノミスト **12**-12） 昭9

中小商工業金融問題に就て（京都經濟時報 4） 昭5

中小商工業金融に關する建議書一資料（工政 123） 昭5

中小商工業の金融に就て（銀行通信錄 534） 昭5

中小商工業の金融施設に就て（砂糖經濟 **1**-2） 昭6

中小商工業資金融通地方損失補償制度（京都經濟時報 30） 昭7

中小商工業者の金融（財政經濟時報 **21**-8） 昭9

中小商工業者の融資問題はドウなるか〔松浦生〕（實業の世界 **27**-5） 昭5

中小商工業融資の實情（財政經濟時報 **16**-4） 昭4

中小商工金融の現狀と商工中央金庫問題（京都經濟時報 67/68） 昭10

約束された商工中央金庫（產業組合中央金庫制に倣ふか）（金融知識 **5**-6） 昭10

湯川寬吉氏の中小商工金融の改善その他に關する私見三題（工業 15） 昭2

アメリカ合衆國

栗栖赳夫 米國に於ける中小工業金融（ダイヤモンド **23**-30） 昭10

米國政府の中小商工業金融對策（銀行通信錄 593/96） 昭10

ベルギー

ベルギ國の中小工業に對する金融狀況（海外經濟事情 **3**-18） 昭5

ドイツ

楠見一正 獨逸貯蓄銀行と中小商工業金融（經濟時報 **2**-3） 昭5

同 獨逸中小工業金融機關としての Industrieschaft.（經濟論叢 **32**-2/4） 昭6

同 獨逸大銀行と中小工業金融（經濟論叢 **33**-6/5） 昭6

同 獨逸中小工業金融と公法的工業金融組合の實績（經濟時報 **2**-12） 昭6

同 獨逸中小工業金融と私法的工業金融組合の實績（經濟時報 **3**-1） 昭6

楠見一正　工業金融組合（經濟學辭典 II 卷 2 頁）昭 6

佐々木辰夫　ドイツに於ける中小商工業金融の問題（我觀 103）昭 7

田中喜一　獨逸に於ける中小工業長期金融の一形態（刑政 **45**-7；研究資料彙報 **7**-3）昭 7

獨逸に於ける中小產業金融（インドゥストリイシャフト）問題（商工月報 **7**-2）昭 6

英獨國に於ける中小商工業資金政策〔漢堡總領事報告〕（海外經濟事情 38）昭 3

フランス

中小工業に對する金融〔フランス〕（貿易 **29**-11）昭 4

イギリス

井關孝雄　英國に於ける中小商工業者の庶民金融機關（銀行論叢 **23**-2/3）昭 9

*横濱市　ロンドンに於ける小賣商と其金融機關（柴田丈夫）昭 5〔商工講演集 2〕

英獨國に於ける中小商工業資金政策〔漢堡總領事報告〕（海外經濟事情 38）昭 3

英國の中小工業に對する金融問題（海外經濟事情 **2**-19；工業 39）昭 4

イタリー

イタリー國の小工業資金問題の實情（海外經濟事情 **4**-28）昭 6

滿洲國

北條秀一　大連市內小賣商人の金融問題（滿蒙 **12**-12）昭 6

中小商工農業者救濟に低資要求（大連商工月報 205）昭 7

7. 消費者金融

a. 一　般

井出光之助　月賦販賣の仕方と金融（實業界 **36**-4）昭 3

今津正二　月賦信用の特質（經濟論叢 **30**-4）昭 5

井關十二郎　商店金融安定の方法（實業界 **36**-4）昭 3

樫尾謙　商業銀行と消費金融（商業經濟論叢 **7**-上）昭 4

川瀨和夫　所謂サラリーマン金融に就て（銀行論叢 **14**-3；銀行通信錄 530）昭 5

熊田克郎　俸給生活者金融と都市銀行（大大阪 **6**-6）昭 5

楠見一正　俸給者金融に就て（經濟時報 **1**-11）昭 5

森川太郎　景氣政策としての消費信用（銀行研究 **29**-2）昭 10

向井鹿松　割賦販賣制度と消費金融（三田學會雜誌 **21**-6）昭 2

大下禎五郎　消費信用制度に就て（公民講座 47' 49）昭 3

武田春次郎　消費金融（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

芳谷有道　割賦信用及び其の影響に就いて（彦根高商論叢 8）昭 5

同　割賦金融と資本の有効利用（彦根高商論叢 15）昭 9

b. 各　國　別

日　本

喜多一重　電話擔保金融（金融大辭典 II 卷 4 頁）昭 9

松井辰之助　共同割賦信用會社設立案—所謂低下時に於ける販賣經營政策としての購買力强化案（經濟時報 **4**-10）昭 8

アメリカ合衆國

岩井仙吉　米國の月賦販賣制度と其金融機關（銀行研究 **12**-4）昭 2

丸岡淳夫　アメリカの月賦販賣に關する金融會社（經營と經濟 **1**-2）昭 6

竹林庄太郎　アメリカの自動車割賦販賣業に於ける金融會社に就て（經濟時報 **3**-7, 9/10）昭 6

アメリカに於ける割賦販賣金融制度（庶民金融 **7**-9）昭 6

ドイツ

水田淳亮　獨逸に於ける消費金融制度の實績（山口高商調査課時報 **2**-2）昭 5

8. 雜

i. 商業銀行小額金融

a. 一　般

池田藤四郎　新經營策—小口貸附連鎖銀行（ダイヤモンド **17**-5）昭 4

熊田克郎　俸給生活者金融と都市銀行（大大阪 **6**-6）昭 5

b. 各　國　別

日　本

*原田昌雄・伊原德三郎　我國大銀行制度發達の下に於ける大銀行の中小業者に對する金融方策を論ず〔鳳聚會懸賞當選論文 5, 6, 7 の內〕同會　昭 5

藤城敬二　中小產業者金融の現狀と普通銀行（銀行研究 **21**-4）昭 6

同　普通銀行に於ける小口貸出（銀行研究 **25**-1）昭 8

楠見一正　中小工業金融に於ける普通銀行の地位（社會政策時報 182）昭 10

綠川光雄　小口信用貸付業務の將來（銀行論叢 **14**-3）昭 5

及川透　大銀行と小口個人貸付（中央銀行會通信錄 304）昭 3

普通銀行による中小金融の成否（金融知識 **4**-3）昭 9

普通銀行と中小金融問題（無盡通信 **3**-5）昭 5

三井銀行の俸給生活者金融開始（銀行通信錄 534）昭 5

商工小口貸付の開始—日本晝夜銀行の卷（經濟知識 **3**-5）昭 5

アメリカ合衆國

井關孝雄　米國普通銀行の小口信用貸付部の實績（銀行論叢 **20**-3/5）昭 8

川上良兒　米國大銀行に於ける小額貸付の運用と收益（銀行論叢 **12**-2）昭 4

松崎壽　米國商業銀行の小額金融（銀行研究 **21**-4）昭 6

*日本興業銀行　小口貸付課　昭 8　61 頁　菊

米國銀行の小口金融成績（大阪銀行通信錄 390）昭 5

米國に於ける小額金融問題—小額金融法に依る金融會社及銀行の營む小口信用貸付に就て（工業 45）昭 5

ドイツ

楠見一正　獨逸大銀行と中小工業金融（經濟論叢 **33**-5/6）昭 6

同　獨逸信用銀行の小額金融に於ける地位（經濟時報 **3**-7）昭 6

ii. 小口貸付會社

淺野信一　小口貸付會社法案に就て（無盡通信 **10**-6）昭 8

井關孝雄　米國の小口貸付會社の現狀（庶民金融 **9**-11；**10**-1, 4/7, 9/11；**11**-1/3, 5/10；**12**-2/3）昭 8/11

楠見一正　米國に於ける小額貸付會社の實績調査（經濟時報 **3**-4）昭 6

iii. モリス・プラン銀行

*ヘルツォーグ，ピーター　モリス式勤勞銀行　西崎正譯　東京　岩波書店　昭 6　244 頁　四六

同　モリス式庶民金融機關（金融組合 29/31）昭 6

福田猛雄　彈壓されたモリス金融の話（經濟知識 **12**-1）昭 9

井關孝雄　日本に於けるモーリス式金融會社（庶民金融 **7**-9/10）昭 6

同　モーリス・プラン銀行（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

春日井 薫　モーリス金融の破綻と其善後策—庶民金融難の本體と之が改善の根本方針（銀行研究 27-1）　昭 9

片山七兵衛　漁業金融として「モリス・プラン」應用の一考察（水產界 564）　昭 4

河井杜芳　モリス式金融會社の考察（無盡通信 11-6；12-1）　昭 9

川戸藤吉　我が庶民金融の實情とモリス・プランの出現（庶民金融 8-6）　昭 7

桐生梅吉　水產金融に對する「モリス・プラン」の研究（水產界 559/60）　昭 4

楠見一正　モーリス・プラン銀行（經濟學辭典 V 卷 2 頁）　昭 7

小川清次　モーリス・プランと無盡金融の類似性（無盡通信 7-2）　昭 7

岡本春三　モーリス式銀行經營法（銀行論叢 13-5/6；14-2/3）　昭 4/5

同　　モーリス式銀行經營法（庶民金融 5-10; 6-1/7, 9/11）　昭 4/5

島田　德　モリス勤勞銀行と其保險制度（保險學雜誌 336）　昭 8

同　　庶民金融統制問題とモリス・プラン（法律時報 5-4）　昭 8

米國のモーリス・プラン銀行法案（庶民金融 9-8）　昭 8

モーリス式銀行の本質と中小金融制度の必要（東洋經濟新報 1607）　昭 9

モリス式金融の話（經濟知識 9-1）　昭 8

大量生產，消費を永續させるモリス式庶民金融法とは何か（國際パンフレット通信 250）　昭 4

iv. 簡易保險積立金運用

平井宣英　簡易生命保險積立金の投資に付て（生命保險經營 5-4）　昭 8

今井田清德　三等郵便局舍改善と簡易保險積立金の貸付（遞信協會雜誌 215）　昭 1

簡易保險局積立金運用課同人　簡易保險積立金公共貸付の增加（遞信協會雜誌 325）　昭 10

小林政一　簡易生命保險積立金（金融大辭典 I 卷 1 頁）　昭 9

桑山鐵男　簡易積立金運用に就て（保險銀行時報 1304）　昭 2

*名古屋遞信局　簡易保險郵便年金事業成績概況〔年刊〕

*大阪遞信局　大阪遞信局管內簡易生命保險積立金貸付狀況　昭 6〔局報 683 附錄〕

武田泰郎　地方自治團體より觀たる昭和五年度簡易保險積立金運用計畫（自治研究 6-7）　昭 5

*遞信省簡易保險局　簡易生命保險積立金運用概說　昭 2

*同　　簡易生命保險積立金貸付狀況　昭 6

積立金運用課　昭和八年度に於ける簡易生命保險積立金及郵便年金積立金の運用計畫（遞信協會雜誌 299）　昭 8

吉川潤二郎　社會救濟の上より觀たる簡易積立金貸付標準（保險銀行時報 1089）　大 11

v. 其　　他

*鐵道省大臣官房保健課　國有鐵道共濟組合貯金部の業態〔年刊〕

XIV. 國際金融

1. 一　　般

a. 一　　般

*アインチッヒ，ポール　國際金融爭覇戰　小池四郎譯　東京　同文館　昭 6　231 頁　四六

*同　　國際金融爭覇戰　山本米治　譯　東京　千倉書房　昭 6　191 頁　四六

同　　國際金融爭覇戰（日本讀書協會會報 126）　昭 6

同　　國際金融戰の內幕（外國の新聞と雜誌 254）　昭 6

*同　　世界金融外交戰　伊知地軍司　譯　東京　澤野書店　昭 7　210 頁　四六

アンダースン　國際金融市場の若干問題（大阪銀行通信錄 369）　昭 3

*青木一男　國際金融問題〔大思想エンサイクロペヂアー春秋社 16 の內 51 頁〕　昭 4

青木得三　國際金融（銀行通信錄 465）　大 13

青地玄三郎　歐洲復興と國際信用設定諸案（商業と經濟 3）　大 11

朝村銀之助　國際金融と對支經濟政策（東方時論 7-1）　大 11

グラスゴウ，ジョージ　外交と金融問題（外國の新聞と雜誌 251）　昭 6

曉　　岑　世界之金融問題與國聯金代表會議（東方雜誌 28-5）　民 20

服部文四郎　爲替相場の理論と實際及び之が金融政策（早稻田政治經濟學雜誌 1）　大 14

同　　國際決濟銀行の設立と國際金融の中心（早稻田商學 6-3/4）　昭 5

*同　　國際經濟と金融　東京　明善社　昭 10　522 頁　菊

1. 國際經濟と經濟的機構　2. 世界的不景氣と日本の經濟　3. 世界の赤字　4. 世界的不景氣と關稅戰　5. 歐洲と國際經濟　6. 國際經濟と日本精神　7. 金輸出再禁止の影響　8. 國際貿易と國際金融の理論的實際　9. 爲替下落と景氣回復理論の檢討　10. 爲替管理　11. 世界に於ける貿易上のブロック　12. 米國の新平價切下げと我財界に及ぼす影響　13. ベルガの金本位離脫と金本位ブロック　14. 我國の金問題　15. 金の價格の動搖　16. 銀と國際經濟　17. 國際資本の動きと景氣の推移　18. 國際金融上に占むる米國の地位　19. オープン・エンド・モアゲージと國際金融　20. 貿易金融　21. 財政的インフレーションの行方　22. 低金利とインフレーション

平野　清　ゼノア會議と國際金融問題（銀行研究 3-2）　大 11

同　　爲替問題と金融對策（銀行研究 6-6）　大 13

同　　世界金融市場の二大分野（エコノミスト 2-22/23）　大 13

堀江歸一　國際間の通貨並信用問題（三田學會雜誌 15-11/12）　大 10

同　　國際信用復興問題（三田學會雜誌 17-1）　大 12

同　　國際金融中心點に關する研究（改造 7-10）　大 14

同　　歐洲戰爭に基づく國際金融上の關係（三田學會雜誌 19-1）　大 14

*同　　世界經濟と國際金融　東京　政治教育協會　昭 2　324 頁　菊〔政治ライブラリー 2〕

*同　　世界經濟と國際金融〔堀江歸一全集—改造社 4—國際經濟論　上　の內 245 頁〕　昭 4

細野孝一　世界金融の爭覇（國際知識 15-3）　昭 10

藤原　泰　國際金融市場（經濟學辭典 II 卷 1 頁）　昭 6

*井川忠雄　國際金融論　東京　改造社　昭 10　278 頁　四六〔現代金融經濟全集 10〕

1. 總說　2. 爲替統制　3. 貿易統制　4. 各國爲替並貿易統制施設概觀　5. 結論

池田　實　國際金融（經濟學辭典 II 卷 2 頁）　昭 6

今野源八郎　アインチッヒ：國際金融爭覇戰（經濟學論集 1-4）　昭 6

色川俊次郎　國際金融の前途（經濟知識 13-6）　昭 10

石田隆一　國際金融爭覇戰（銀行論叢 16-4/6）　昭 6

同　　國際的金融危機の一ケ年（銀行論叢 17-2）　昭 6

同　　英國の金本位停止以後に於ける國際金融界の諸現象（銀行論叢 18-1）　昭 7

石田隆一 國際金融恐慌以來の各國金融爲替政策（銀行論叢 18-4/5） 昭 7

一野喜三郎 海外銀行界（銀行論叢 14-6；15-1） 昭 5

龜島泰治 外國銀行（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

神戸正雄 國際的の金融聯合（時事經濟問題 53） 昭 1

*春日井薫 國際金融各論 東京 文雅堂 昭 4 201 頁 菊

1. 國際投資 i. 國際投資の意義及び種類 ii. 國際投資の原因及び其發達 iii. 國際投資の利害 iv. 國際投資の現狀 v. 國際投資政策 2. 國際貸借 i. 國際貸借の意義 ii. 國際貸借の原因 iii. 國際貸借の決濟 iv. 國際貸借の調査及び改善 3. 國際爲替 i. 國際爲替の意義及び原因 ii. 國際爲替手形 iii. 金本位國間の爲替 iv. 爲替相場 v. 銀爲替（異金屬本位間の爲替） vi. 國際爲替政策 4. 貿易金融 i. 貿易金融の意義及び其特質 ii. 貿易金融機關 iii. 貿易金融の取引 iv. 貿易金融政策

川上良兒 銀行中心國外進出の限界〔新らしき銀行經營論〕（銀行論叢 17-5） 昭 6

*金原賢之助 國際金融總論 東京 同文館 昭 6 268 頁 四六〔世界經濟問題叢書 1〕

1. 國際金融の意義及び動因 2. 國際的資金移動の方法 3. 外國爲替に依る國際的資金の移動 4. 國際金融と國際收支 5. 國際收支の均衡，不均衡 6. 國際收支の諸型式 7. 國際金融と貨幣制度 8. 金の國際的移動 9. 資本の國際的移動 10. 國際金融市場

*同 國際資本金融爭覇戰 東京 春秋社 昭 8 63 頁 菊〔世界經濟問題講座 2—世界經濟現勢〕

同 外國爲替と國際金融市場の現狀（信託協會會報 7-2） 昭 8

同 國際金融（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

*金融研究會 國際金融（森賢吾）昭 5 246 頁 四六〔講演集 4〕

北崎進 對外金融政策（經濟及商業 3-4） 大 13

熊田克郎 國際金融市場の回顧と展望—國際金融の綜合的觀察（銀行研究 18-5） 昭 5

*牧野輝智 國際金融〔社會經濟體系—日本評論社 15, 17, 19 の內 32, 38, 28 頁〕 昭 3

增井光藏 國際短期資本（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

松岡孝兒 ミロオの金なき國際交換決濟制に就いて（經濟論叢 40-3） 昭 10

松崎壽 國際信用設定策としてのター・ミューラン案（商業及經濟研究 25） 大 11

同 普通銀行の國際的金融業務（銀行研究 8-4） 大 14

松崎壽 英國金本位停止と國際金融界（財界要報 108） 昭 6

宮內乾 國際金融問題の轉機—米國金本位の停止と倫敦會議に於ける論爭（自治研究 11-2） 昭 10

森廣藏 米國株恐慌と國際金融（エコノミスト 7-22） 昭 4

*ナドラー，ジユー・ナイー・アデンエム 國際金融市場論— 1 東京銀行集會所 譯 東京 東京銀行集會所 昭 10 141 頁 菊

*中村至道 戰時經濟と金融 東京 東京銀行集會所 昭 10 '90 頁 菊〔銀行叢書 20〕

西山武 國際金融理論の一研究（銀行研究 18-3） 昭 5

尾上利治 國際金融上より見たる戰後の諸國國債に就て（國民經濟雜誌 32-5） 大 11

奥村永藏 金融爭覇戰と金本位（大阪銀行通信錄 417） 昭 7

*大藏省臨時調査局金融部 戰後の國際金融 大 8〔財政經濟時事問題研究 1〕

大藏省理財局 國際信用計畫の沿革及其の內容（財政經濟調査 2-2） 大 10

大野信三 短期資金の國際的な移動の原因と結果（經濟商業論纂 9） 昭 10

*大島堅造 最近の爲替と國際金融 東京 一元社 昭 10 477 頁 菊

1. 非常時爲替の諸現象 2. 爲替上より見たる國際的對立 3. 爲替相場決定に關する理論 4. 圓貨の現狀 5. 對英爲替 6. 對米爲替 7. ドイツのマルク問題 8. フラン爲替とギルダー爲替 9. 日支爲替と日滿爲替 10. 我國の爲替市場 11. 非常時爲替に於ける取引上の諸注意 12. 最近の銀問題 13. フランスの金本位問題 14. インフレーションと爲替 15. 金融上より見たる米國のインフレーションとその救濟

ラモント，ダブルユー・テイー 國際金融と通信（外國の新聞と雜誌 167） 昭 3

陸春臺 譯 銀價與世界金融之面々觀（天職 1-14） 民 20

亮侯 英國停用金本位與世界金融（經濟週刊 48） 民 20

作田莊一 世界の貨幣交通（經濟論叢 19-3/4） 大 13

靜如 譯 國際現金交換制度之研究（銀行週報 706/07） 民 20

重松湧行 世界經濟會議と金融武裝（明倫 1-4） 昭 9

スインガー，ポール 歐米四大銀行家の會合と關係國の金融事情（銀行通信錄 499） 昭 2

スプレーグ 國際準備資金設置賛成論（調査月報 9-3） 大 8

田中金司 アインチッヒ著「國際金融爭覇戰」を讀む（國民經濟雜誌 50-5） 昭 6

*東京朝日新聞社經濟部 國際財話 5 版 東京 日本評論社 大 13 422 頁 四六

*津島壽一 國際金融の話〔橫濱經濟研究所編經濟講演集 2 79 頁の內〕 昭 10

和田秀雄 國際貸借と金融關係（統計集誌 600） 昭 6

*ワレンベルグ，マルクス 外國銀行支店設置に關する各國の取扱現狀並に國際協約案 森喜世彥 譯 朝鮮銀行東京調査部 大 10 54 頁 菊

ウイリス，ヘンリー・パーカー 國際金貨決濟資金論（調査月報 9-8） 大 8

山口三郎 世界金融界の動向と金本位の將來（東洋 36-2） 昭 7

山成喬六 國際銀行聯盟の必要（財政經濟時報 6-8） 大 8

山崎靖純 爲替銀行（金融大辭典 I 卷 3 頁） 昭 9

*安井辰衞 國際金融論 2 版 東京 文雅堂 大 13 146 頁 四六

*財政經濟時報社 爲替銀行の職分（髭原仲治）東京 同社〔經濟講演集 1 の內〕 大 11

英國有力銀行家の見たる世界金融の實相（中外財界 3-6） 昭 3

英蘭銀行の利上と國際金融市場の現狀（東洋經濟新報 1336） 昭 4

外國銀行の爲替乘替の話（經濟知識 5-1） 昭 6

銀行業の海外發展に就て（中央銀行會通信錄 206） 大 9

金相場の暴騰と國際金市場の展望（東洋經濟新報 1623） 昭 9

金融の國際化（保險銀行時報 1540） 昭 6

國際金融の激變と爲替相場（東洋經濟新報 1523） 昭 7

國際金融資本家の座間會（エコノミスト 10-4） 昭 7

國際金融爭奪戰（國際パンフレット通信 415） 昭 6

國際金融と不況 附：列國の利子配當受取勘定，列國の國債（國勢グラフ 1-7） 昭 7

國際聯盟債券計畫失敗（東京經濟雜誌 2045） 大 9

國際信用計畫の沿革及其內容（財政經濟調査 2-2） 大 10

國際短期資金の話（金融知識 6-3） 昭 10

紐育株式崩壞前後の世界の金融と前途（東洋經濟新報 1382） 昭 5

最近著しくなつた世界金融の低金利化（中外財界 5-2） 昭 5

世界金融市場の二大分野（エコノミスト 2-23/24） 大 13

ター・ミューラン計畫解說（調査月報 12-6） 大 11

中央銀行大會に於ける阿部日銀名古屋支店長の演說—國際金融に就て（中央銀行會通信錄 344） 昭 6

b. 各國別

日本

海老原竹之助 我國際金融界の過去及將來（銀行研究 17-1） 昭 4

*服部文四郎 日本の國際金融〔經濟學全集—改造社 42 現代日本經濟の研究 下の內 166 頁〕 昭 5

*同 我が金融經濟と國際金融 東京 銀行集會所 昭 6 182 頁 菊

同 我が金融經濟と國際金融（銀行通信錄 538/41） 昭 6

平野清 爲替問題と金融對策（銀行研究 6-6） 大 13

廣岡光治 日露關係の整調—對露のクレヂット設定問題（外交時報 632） 昭 6

池田了實 國際資本市場に於ける日本の地位（銀行研究 22-2） 昭 7

池田龍藏 對外信用の失墜と其原因（エコノミスト 2-3） 大 13

井上悌雄 對露クレヂットを即時設定せよ（財政經濟時報 18-7） 昭 6

*井上準之助 我國際金融の現狀及改善策 2 版 東京 岩波書店 昭 1 251 頁 菊

1. 戰時の國際金融 2. 休戰後の國際金融 3. 震災後の國際金融 4. 爲替相場の恢復と金解禁問題 5. 國際金融の改善策

加藤和根 本邦普通銀行と外國爲替業務（銀行論叢 1-3） 大 12

松崎壽 爲替銀行改善問題私見（銀行研究 4-7） 大 12

同 普通銀行の國際金融業務（銀行研究 8-4） 大 14

森賢吾 歐米事情と我國の信用（大阪銀行通信錄 355） 昭 2

岡田喜三郎 銀行の立場より見たる外國爲替取引（商事研究 5-4） 大 14

大島堅造 米國の金融恐慌と對米爲替の前途（エコノミスト 11-6） 昭 8

田中金司 井上準之助著「我國際金融の現狀及改善策」（國民經濟雜誌 41-3） 昭 1

谷口吉彥　米國の金融恐慌と我爲替對策の轉換（エコノミスト **11**-7）　昭 8

*東京銀行集會所　我が金融經濟と國際金融 全 昭 6

友岡久雄　井上準之助著「我國際金融の現狀及改善策」（法政大學論集 3）　昭 1

*横濱正金銀行調査課　戰時及戰後に於ける我國の對外金融（井上準之助）大 11 120 頁〔調査資料 11〕

*全國經濟調査機關聯合會　海外に於ける日本の信用（森賢吾）　昭 2〔彙報別册 22〕

The Operation of Foreign Banks in Japan（愛知の貿易 **2**-9）　昭 5

我金融經濟と國際金融（銀行通信錄 538）　昭 5

我國の國際收支と金の移動（財界觀測 **11**-9）　昭 6

アメリカ合衆國

アンダーソン　米國の輸出貿易と世界金融との關係（銀行論叢 **15**-1）　昭 5

服部文四郎　國際金融上に占むる米國の地位（早稻田商學 **10**-3/4）　昭 9

細野孝一　世界金融の爭覇—英米佛の三巴（國際知識 **15**-3）　昭 1

森廣藏　米國株恐慌と國際金融（エコノミスト **7**-22）　昭 4

西村勝太郎　米國國際金融政策に就いて（銀行論叢 **25**-4）　昭 10

高木友三郎　國際資本場裏の英米（國際知識 **11**-3）　昭 6

高島佐一郎　英米佛の國際金融爭覇戰上の一局面—金本位運用上の一般の國際的統制を念ふ（國民經濟雜誌 **51**-2）　昭 6

山室宗文　英佛の國際金融爭覇（經濟知識 **6**-3）　昭 6

米國海外銀行の發展（銀行通信錄 530）　昭 5

米國と國際金融（講蒙經濟時報 108）　大 10

國際金融界注視の的—米國の金利高は世界にどう響く（國際パンフレット通信 269）　昭 4

國際金融の中心としての紐育（銀行通信錄 553）昭 7

倫敦並に紐育の金融的地位（商業及經濟研究 31）　大 12

最近英米の貿易及其國際金融の地位（大阪銀行通信錄 310）　大 12

ドイツ

柏塚辰雄　大戰後に於ける獨逸海外銀行（商業及經濟研究 55）　昭 4

露獨間の銀行取引開始（朝鮮銀行月報 **13**-2）大 11

フランス

アインチッヒ，ポール　國際金融中心としての巴里（外國の新聞と雜誌 207）　昭 4

細野孝一　世界金融の爭覇—英米佛の三巴（國際知識 **15**-3）　昭 10

マルサル　佛國諸銀行の國際取引解說（調査月報 **21**-9）　昭 6

高島佐一郎　英米佛の國際金融爭覇戰上の一局面—金本位運用上一般の國際的統制を念ふ（國民經濟雜誌 **51**-2）　昭 6

横濱正金銀行調査部　國際金融中心市場としての巴里（銀行論叢 **14**-4）　昭 5

ジヤック，ルネ　巴里は國際金融市場として倫敦の地位に代り得るや（調査月報 **22**-6）昭 7

佛國金融市場の世界的進出（藤本アナリスト 12）昭 5

佛蘭西資金と世界景氣（ダイヤモンド **20**-11）昭 7

巴里は國際金融の中心たり得るや（正金週報 3）昭 5

世界的金融中心となつた巴里〔海外金融思潮〕（銀行論叢 **16**-5）昭 5

イギリス

英國商務省　英國 1930 年國際收支（調査月報 **21**-6）　昭 6

橋本修　國際金融市場としての倫敦（龍門雜誌 499）　昭 5

細野孝一　世界金融の爭覇—英米佛の三巴（國際知識 **15**-3）　昭 10

石田隆一　英國の金本位停止以後に於ける國際金融界の諸現象（銀行論叢 **18**-1）昭 7

松野清次郎　世界金融市場としての倫敦の將來（商業及經濟研究 14）　大 8

松崎壽　英國金融覇權の失墜と世界經濟（經濟時報 **3**-8）　昭 6

高島佐一郎　英米佛の國際金融爭覇戰上の一局面—金本位運用上一般の國際的統制を念ふ（國民經濟雜誌 **51**-2）　昭 6

山室宗文　國際金融中心市場としての倫敦の地位（銀行論叢 **4**-6）　大 14

同　英佛の國際金融爭覇（經濟知識 **6**-3）　昭 6

ジッヤク，ルネ　巴里は國際金融市場として倫敦の地位に代り得るや（調査月報 **22**-6）昭 7

英國平衡資金の作用（銀行論叢 **23**-1）　昭 9

英國國際貸借愈々惡化（ダイヤモンド **19**-30）昭 6

英國と金融覇權〔スタティスト〕（財界觀測 **12**-12）　昭 7

英蘭銀行の露國金貨問題解決（調査月報 **11**-11）大 10

イギリスの金融政策と世界貿易（世界經濟 **3**-3）昭 8

倫敦並に紐育の金融的地位（商業及經濟研究 31）大 12

最近英米の貿易及其國際金融の地位（大阪銀行通信錄 310）　大 12

戰後に於ける倫敦の金融上の地位（國民經濟雜誌 **28**-5）　大 9

戰後の英國の金融及商業的地位（藤本ビルブローカー銀行週報 292）　大 11

ロシア

英蘭銀行の露國金貨問題解決（調査月報 **11**-11）大 10

露獨間の銀行取引開始（朝鮮銀行月報 **13**-2）大 11

對露クレヂット問題（商工月報 **7**-6）　昭 6

支那

顧季高　國際金融趨勢及中國應取之金融政策（銀行週報 832）　民 23

陳建晨　戰時金融的特殊性與其統制（新中華 **2**-13）　民 23

*朝鮮銀行調査課 中國建設銀行司とその國際性 昭 9 18 頁 菊

日支金融關係の將來（讀書會雜誌 **12**-9）　大 14

支那の金融市場と外國爲替（商工經濟研究 **3**-2）昭 3

2. 貿易金融

a. 一　般

アレキサンダー　產業及貿易と銀行業との關係（大阪銀行通信錄 279）　大 9

フオレスター　棉花貿易の金融一斑（大阪銀行通信錄 278）　大 9

服部文四郎　貿易金融に就て（國民經濟雜誌 **30**-6）　大 10

同　國際金融と國際貿易（銀行研究 **2**-6）　大 11

*同　國際貿易と金融 東京 文明協會 昭 1 167 頁 四六

1. 國際貿易と我が財界との關係　2. 國際貿易と金融政策　3. 我が國際貿易金融の現狀　4. 我が國際貿易金融の改善　5. 我が國に於ける國際貿易金融機關　6. 我が國際貿易金融機關の改善

同　貿易金融（金融大辭典 III 卷 4 頁）昭 9

エルマン　輸出信用と信用保險（調査月報 **20**-3）　昭 5

古屋美貞　爲替銀行（經濟學辭典 1 卷 1 頁）昭 5

稻坂硅　通船荷證券添附の荷爲替に就て（銀行論叢 **3**-4）　大 13

石井卓爾　輸出入金融の實際（商學評論 **10**-2/3）　昭 6

伊藤義路　輸出信用保險に就て（內外研究 **1**-2）　昭 3

岩崎博　輸出金融制度としての信用保險（銀行研究 **13**-6）　昭 2

岩谷靜治　輸出入貿易金融の實際（銀行論叢 **9**-3）　昭 2

加賀覺次郎　國際貿易と其金融機關（大阪銀行通信錄 263）　大 8

神戶正雄　輸出貿易助長金融政策（時事經濟問題 20）　大 13

同　最近の貿易と物價と金融と（時事經濟問題 27）　大 13

金井滋直　歐米の輸出信用保險（保險銀行時報 1456/60）　昭 5

同　歐米の輸出信用保險制度（龍門雜誌 495/96）　昭 4/5

川中信也　爲替銀行本支店間計算制度に就て（銀行研究 **4**-2）　大 12

梶原仲治　外國貿易と其金融（銀行通信錄 412）大 9

*金融研究會　國際貿易と金融（堀越善重郎）昭 4 80 頁 四六〔講演集 2〕

小林政一　爲替前貸（金融大辭典 1 卷 1 頁）昭 9

小林絲　簡便なる外國爲替賣買損益記入帳（銀行研究 **13**-5）　昭 2

兒玉謙次　貿易金融發達史（經濟知識 **11**-6/7）昭 9

上坂酉三　貿易企業上より觀たる輸出金融問題（銀行研究 **10**-1）　昭 1

上坂酉三　貿易金融策としての輸出信用保險制度（銀行研究 **11**-6；**12**-1）昭 1/2

*同　輸出信用の保險並保證 東京 文雅堂 昭 3 304 頁 四六〔銀行講座〕

1. 緒論 2. 輸出信用保險發生の理由 i. 私經濟的觀察 ii. 國民經濟的觀察 3. 輸出信用保險の本質 i. 輸出貿易と保險との關係 ii. 輸出信用危險 iii. 輸出信用保險 4. 輸出信用保險の企業的發達 i. 獨逸に於ける輸出信用保險 ii. 米國に於ける輸出信用保險 iii. 英國に於ける輸出信用保險 5. 輸出信用保險擔保證政策 i. 英國に於ける輸出信用保證政策 ii. 獨逸に於ける輸出信用保險政策 6. 輸出信用保險に關する國際會議 7. 我國輸出振興上より觀たる輸出信用保險制度 i. 我國輸出振興の要綱 ii. 最近に於ける我國の輸出金融對策 iii. 我國輸出金融策としての輸出信用保險制度 8. 結論 附論 我國輸出振興の根本問題 附：輸出荷爲替の方法

同　輸出信用補償制度論（早稻田商學 **5**-4）昭 5

同　貿易證券としての受取船荷證券（早稻田商學 **7**-1）昭 6

同　輸出資金前貸（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

同　輸出信用保險（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

同　輸出信用補償制度（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

小山傳三　歐米に於ける輸出信用保證及保險制度（橫濱商業專門學校研究論集 2）昭 6

小島昌太郎　輸出信用保險制度創定の提案（經濟論叢 **23**-3）昭 1

同　輸出信用保險に就て（經濟論叢 **23**-4）昭 1

同　輸出信用保險に就て（大阪銀行通信錄 382）昭 4

松崎壽　輸出振興策と貿易金融（銀行研究 **7**-4）大 13

同　貿易金融（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

中井省三　輸出補償制度に就て（企業經營 **1**-3）昭 4

野元純彥　荷受式船荷證券と銀行業者の態度（海事 **2**-3）大 14

岡田喜三郎　銀行の立場より見たる外國爲替取引（商事研究 **5**-4）大 14

*大藏省理財局　輸出信用計畫一國際聯盟信用計畫と英國輸出信用制度 大 10〔英佛駐劄財務官報告 9〕

*齋藤眞　輸出金融保險の提唱 橫濱 橫濱輸出協會 昭 1

清水文之輔　輸入貿易の金融問題（東京經濟雜誌 2109）大 11

下村重美・岸清一　保險制度と信用保險（保險評論 **23**-3）昭 5

スパルデング　銀價の變動と東洋爲替及銀行（大阪銀行通信錄 268）大 8

*商工省商務局　各國に於ける輸出信用保證及保險制度の概況（加藤祐次郎）昭 3

*瀧谷善一　輸出信用保險の組織に就て〔經營學論集一同文館 4 の內〕昭 5

*田中鐵三郎　貿易と金融〔港灣講演集一港灣協會 2 の內 58 頁〕昭 3

富永祐治　輸出補償制度案に就て（經濟時報 **1**-9）昭 4

*富田勇太郎　輸出資金及國際貸借改善に就て 大 14

內田貞　貿易の趨勢と金融市場（經濟時論 **7**-2）大 8

渡邊良吉　貿易經營に於ける信用調査（經營と經濟 **2**-5）昭 6

ウイザース　國際金融と對外貿易（東京經濟雜誌 2022）大 8

佐田信太郎　戰後各國の貿易金融施設（銀行研究 **1**-2）大 10

橫濱輸出協會　輸出金融保險の提唱（產業評論 **1**-3）昭 1

吉岡堅太郎　爲替預金（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

雪野清　輸出金融實務解說（銀行研究 **11**-5/6；**12**-1, 3；**13**-1, 3, 5/6；**14**-3）昭 1/3

*同　輸出金融實務解說 東京 文雅堂 昭 3 301 頁 四六〔銀行講座〕

貿易業者の不始末と銀行の不注意（財政經濟時報 **7**-7）大 9

貿易不振と金融の前途（ダイヤモンド **14**-29）昭 1

貿易金融問題と歐洲の貿易（海外經濟彙報 9）大 10

貿易金融論一輸出補償制度の本質と我國輸出補償の展望（大阪商工會議所月報 338/39）昭 10

貿易金融と其の緩和策（銀行通信錄 549）昭 6

貿易手形の不振（ダイヤモンド **8**-4）大 9

外國貿易組合及外國貿易金融會社の計畫（東洋經濟新報 979）大 10

海外市場の特徵と輸出金融一一米人の考察（東洋貿易研究 **9**-2）昭 5

國際信用保險（保險銀行時報 1369/70）昭 3

對外貿易の信用に就いて（調査月報 **11**-11）大 10

輸出手形再割引に對する非難と辯明（銀行通信錄 407）大 8

b. 各國別

日本

外務省通商局　亞國に於ける外國投資狀況と日亞貿易の金融策（移民情報 **2**-8）昭 5

服部文四郎　我貿易金融機關の改善（早稻田商學 **2**-1）昭 1

同　日本貿易金融論（明治學院高商論叢 4）昭 9

東川嘉一　對露輸出クレヂツト（工業 60）昭 6

平野不令　我國に於ける輸出信用保險（保險銀行時報 1742）昭 10

菱沼勇　輸出補償法に就て（內外商工時報 **17**-7）昭 5

藤原泰　橫濱正金銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

石濱知行　正金銀行論（經濟 **1**-2）昭 9

石井卓爾　臺灣銀行休業當時に於ける貿易金融の實際（商學評論 **6**-2）昭 2

石澤久五郎　橫濱正金銀行（金融大辭典 III 卷 6 頁）昭 9

加賀覺次郎　貿易金融改善と銀行引受手形問題（大阪銀行通信錄 262）大 8

神戶正雄　輸出及工業組合の輸出金融（時事經濟問題 32）大 14

木谷一彥　正金鮮銀抗爭の卷（續）（ダイヤモンド **20**-34）昭 4

戶泉憲淏　浦鹽朝鮮銀行支店の檢査に就て（ソヴエート聯邦事情 **1**-6）昭 5

近藤文二　輸出信用保險の實現（經濟時報 **1**-10）昭 5

松崎壽　我國銀行と貿易金融（銀行研究 **1**-1）大 10

*日本銀行調查局　對歐輸出貿易金融問題 大 10

島長二郎　正金の不當利得問題（經濟知識 **11**-4）昭 9

清水文之輔　貿易金融機關設置の可否（東京經濟雜誌 2096）大 10

上坂酉三　我が貿易業と國際信用問題（銀行研究 **10**-5）昭 1

同　クレヂット設定を中心としたる對露貿易金融問題（銀行研究 **21**-1）昭 6

*橫濱正金銀行調查課　生絲金融と外國爲替 大 12

湯川寬吉　我國輸出貿易の金融改善に關する私見（銀行通信錄 500）昭 2

川口貿易の金融事情（東洋貿易研究 **6**-5）昭 2

金解禁と正金銀行の決算（エコノミスト **8**-7）昭 5

正金銀行勘定に現はれた昨年下期の爲替市場（東洋經濟新報 1393）昭 5

對南貿易の金融（東洋經濟新報 1216）昭 1

朝鮮銀行浦鹽支店閉鎖問題（滿蒙事情 112）昭 6

橫濱正金銀行建相場（財政經濟時報 **8**-8）大 10

橫濱正金銀行の發行する C 號指圖書の性質（法曹會雜誌 **4**-8）大 15

橫濱正金銀行の正貨現送と其理由聲明（銀行通信錄 537）昭 5

アメリカ合衆國

アンダーソン　米國の輸出貿易と世界金融との關係（銀行論叢 **15**-1）昭 5

福田敬太郎　アメリカ合衆國に於ける官營貿易銀行の創設（國民經濟雜誌 **56**-5）昭 9

佐田信太郎　米國の貿易金融と「エツヂ」法（銀行研究 **1**-3）大 10

同　米國戰後の貿易金融會社（銀行研究 **1**-3；**2**-1）大 10/11

米國貿易金融會社の業務內容（東拓月報 10）大 10

米國第一聯合對外貿易金融組合の宣言書〔紐育總領事報告〕（通商公報 810）大 10

米國外國貿易金融會社計畫（藤本ビルブロ－カー銀行週報 240）大 10

米國に於ける新貿易金融會社設立（通商公報 829）大 10

米國に於ける輸出信用に關する施設（調査月報 **10**-7/8）大 9

米國の貿易金融機關設立計畫（東拓月報 6）大 10

米國輸出入銀行の創立（調査月報 **24**-10）昭 9

歐洲小邦に對する經濟的信用借與並に米英佛の輸出貿易促進策（調査月報 **10**-11）大 9

丁抹

ソレンセン　丁抹の輸出信用保險制度（調査月報 **19**-12）昭 4

丁抹に於ける官營輸出信用保險制度（經濟月報 **1**-3）昭 4

ドイツ

獨逸の輸出信用保險計畫（海外商報 608）昭 1

ドイツの輸出信用保證狀況（海外經濟事情 4-17）昭 6
獨逸對外取引決濟機構現況（海外經濟事情 8-3）昭 10
ドイツ對蘇聯邦金融及保障條件（海外經濟事情 6-20）昭 8
ドイツ輸出信用保證制度並特別財產設定（海外經濟事情 4-36）昭 6
ドイツ輸出信用保險制度の成績（海外經濟事情 4-19）昭 6
金融關係より見たるドイツ輸出助成の現況（海外經濟事情 3-22）昭 5

フランス

*外務省條約局　貿易に基く債務の支拂調節に關する墺他利國政府及佛蘭西政府間の交換公文　昭 7　11 頁　菊
近藤文二　佛蘭西國營輸出信用保險（經濟論叢 28-6）昭 4

佛國の官營輸出信用保險（銀行通信錄 515）昭 3
佛國の輸出信用制度と新設銀行（調査月報 9-8）大 8
佛蘭西貿易銀行の設立（銀行通信錄 409）大 8
歐洲小邦に對する經濟的信用供與並に米英佛の輸出貿易促進策（調査月報 10-11）大 9

イギリス

ホープ　英國貿易金融機關の改善（大阪銀行通信錄 266）大 8
石田祿次郎　英國の輸出信用保險と輸出金融制度（愛知の貿易 2-5）昭 5
松山晋二郎　英國輸出信用保證局の新保證契約と最近の業績（海外經濟事情 5-19）昭 7
*日本銀行調査局　英國貿易事情の變化及最近に於ける英國銀行の海外發展計畫　大 9
尾形繁之　英國の輸出信用補償制度（商業及經濟研究 58）昭 5
*大藏省理財局　輸出信用計畫—國際聯盟信用計畫と英國輸出信用制度　大 10〔英佛駐劄財務官報告 9〕
*商工省商務局　英國政府の輸出信用保險及輸出金融制度の概況（石田祿次郎譯）昭 4
上坂酉三　英國に於ける輸出信用保證政策（銀行研究 12-4）昭 2

英國爲替平衡資金の話（金融知識 4-6）昭 9
英國に於ける輸出信用保險制度（調査月報 18-9）昭 3
英國の官營輸出信用保險制度（大阪商工會議所月報 257）昭 3
英國の輸出信用保險制度（海外商報 608）昭 1
英國の輸出信用保證制度效力延長（海外經濟事情 7-20）昭 9
英國輸出貿易信用保險法に就て（貿易 26-8）昭 1
英國輸出信用保證制度（調査月報 16-9）昭 1
英國輸出信用保證制度改善策（海外經濟事情 1-14）昭 3
英國輸出信用保證制度の運用（海外商報 795）昭 2
英國輸出信用保證用手形（海外經濟事情 4-46）昭 6
香港上海銀行の對滿洲商策（東拓月報 15）大 10
歐洲小邦に對する經濟的信用供與並に米英佛の輸出貿易促進策（調査月報 10-11）大 9

イタリー

伊國輸出クレヂット保險制度（海外經濟事情 7-22）昭 9

滿洲國

西一雄　滿洲の貿易と其の金融に就て（滿洲電氣協會會報 19）昭 8

ロシア

半野憲二　浦鹽方面の貿易金融概況（朝鮮及滿洲 246）昭 3
波多野義熊　勞農聯邦の貿易金融（東亞經濟研究 15-3）昭 6
東川嘉一　對露輸出クレヂット（工業 60）昭 6
井上悌雄　對露クレヂットを即時設定せよ（財政經濟時報 18-7）昭 6
大山卯次郎　浦潮鮮銀問題（國際知識 11-2）昭 6
友笠恭助　勞農クレヂット設定と我海運（海運 112）昭 6
上坂酉三　クレヂット設定を中心としたる對露貿易金融問題（銀行研究 21-1）昭 6

ドイツ對蘇聯邦金融及保障條件（海外經濟事情 6-20）昭 8
露國官憲の浦鹽鮮銀支店壓迫問題（滿蒙事情 108）昭 5
ロシヤに於ける貿易融資問題（海外經濟事情 1-33）昭 3
ソヴエート手形を國際決濟銀行で再割引（露紙抄譯 79）昭 6

支那

子明　外國銀行振收莊票影響於金融及貿易（銀行週報 509）民 16
土屋計左右　輸入爲替の取決と銀行（上海時論 4-10）昭 4
受百　中俄貿易與遠東銀行（銀行週報 518）民 16

廢兩改元と外國銀行團其後の態度（東洋貿易研究 9-21）昭 8
廢兩改元と天津銀行公會の實行方法（銀行通信錄 568；海外經濟事報 6-15）昭 8
金單位關稅支拂通貨の比率は爲替銀行の相場に依る旨の海關告示（上海經濟月報 4-3）昭 5
南洋銀行業の概況及其經營方法（銀行週報 138）民 9
南洋に於ける支那銀行（東洋時報 264）大 9
上海各銀行の對外爲替元建變更（經濟月報 5-5）昭 8
上海之外商匯兌銀行（中央銀行月報 3-10）民 23
淮商と錢業との關係（銀行週報 193）民 10

3. 國際銀行

アインチヒ，ポール　國際決濟銀行　大山巍譯（日本讀書協會會報 114）昭 5
青木隆　國際決濟銀行に就て（中央銀行會通信錄 317）昭 4
フェイス　國際決濟銀行は何をしたか（國際パンフレット通信 396）昭 6
ゲロールド　國際銀行の設立へ（文明協會ニュース 8）昭 4
ギブソン，エイチ　國際發券銀行設立の要（大阪銀行通信錄 291）大 10
同　國際發券銀行創設の提唱（調査月報 12-1）大 11
後藤新平　東洋銀行設立の議（外交時報 401）大 10
服部文四郎　國際決濟銀行の設立と國際金融の中心（早稻田商學 6-3/4）昭 5
皮宗石　金的移動與國際清算銀行（武大社會科學季刊 1-3）民 19
ヒッチコック　國際銀行設立案（調査月報 12-1）大 11
*堀越鐵藏　國際決濟銀行に於て　東京　經濟學協會　昭 7　37 頁　四六〔非賣〕
藤原泰　國際銀行（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6
岩井仙吉　國際決濟銀行定款譯文（銀行研究 18-2）昭 5
岩井茂　賠償問題大觀—國際決濟銀行の成立まで（商工經濟研究 6-1）昭 6
春日井薰　賠償金戰借支拂と國際決濟銀行（明大商學論叢 10-4）昭 6
加地良七　國際決濟銀行の設立に就て（銀行研究 17-4）昭 4
*金融研究會　國際決濟銀行と世界恐慌（田中鉄三郎）東京　昭 8　218 頁　四六〔講演集 11〕
*國際聯盟東京支局　世界農業恐慌　附：國際農業抵當銀行　東京　同局　昭 6　344 頁　菊〔同聯盟經濟叢書 2〕
同　國際聯盟の下に創設された國際農業抵當銀行の組織及機能（帝國農會報 21-7）昭 6
熊田克郎　國際銀行創設の意義とその將來（臺灣時報 123）昭 5
同　國際決濟銀行の實際的活動とその方向（大阪銀行通信錄 404/05）昭 6
楠見一正　國際決濟銀行の創立（經濟時報 1-5）昭 4
松岡孝兒　世界不況對策としての國際貸付銀行案（經濟論叢 34-3）昭 7
同　世界大戰前に於ける國際銀行設立案の發展に就いて（經濟史研究 42）昭 8
松崎壽　ワンダーリップ氏の國際銀行案（銀行研究 2-3）大 11
森田久　國際決濟銀行の內容（國際知識 10-5）昭 5
中村重夫　ケインズの超國家的銀行案（銀行研究 29-4）昭 10
中島正信　國際決濟銀行と國際經濟（早稻田商學 9-2）昭 8
*日本銀行調査局　國際決濟銀行條例草案及定款 昭 4
*同　國際決濟銀行營業報告〔自昭 6 年 年刊〕
オブスタ，アイ　國際爲替銀行を設立せよ（調査月報 10-1）大 11
岡本春三　國際決濟銀行の創立（銀行論叢 13-3）昭 4
大竹虎雄　國際銀行に就て（銀行研究 19-3）昭 5

大竹 虎雄 國際決濟銀行に就て（銀行研究 **19**-3） 昭 5

大澤 吉五郎 營業を開始した國際銀行（中央銀行會通信錄 325） 昭 5

坂本 重關 國際銀行に對するカッセル教授の所說（銀行研究 **18**-2） 昭 5

嶋居 庄藏 國際決濟銀行の近況に就て（銀行通信錄 589） 昭 10

清水 文之輔 國際中央銀行論（東京經濟雜誌 2114） 大 11

鹽津 誠作 國際決濟銀行の成立と機能（內外調查資料 5） 昭 4

鈴木 良雄 萬國中央銀行の提案（三田學會雜誌 **16**-1） 大 11

臺灣銀行調查課 國際決濟銀行（臺灣時報 136） 昭 6

高宮 晉 國際決濟銀行第五年度報告書（經濟學論集 **6**-1） 昭 11

田中 鐵三郎 國際決濟銀行創立會議（經濟知識 **3**-3） 昭 5

同 國際決濟銀行に就て（貿易 **33**-5） 昭 8

同 國際決濟銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

鶴岡 操 世界に於ける產業組合金融機構及狀況並國際產業組合銀行の使命（帝國農會報 **23**-2） 昭 8

仲 廉 國際淸算銀行之現況與任務（銀行週報 707） 民 20

ヴァンダーリップ 歐洲金準備銀行設立案（調查月報 **12**-1） 大 11

安井 快之 國際決濟銀行に就て—Paul Einzig "The Bank for International settlements" を讀みて（國際問題 6） 昭 6

賠償專門委員會の齎した國際決濟銀行案と各國別評（國際パンフレット通信 282） 昭 4

獨逸の賠償問題 附：國際決濟銀行（銀行通信錄 537） 昭 5

英蘭銀行ノルマンの新國際銀行建設案（世界經濟 1） 昭 6

影の薄い國際決濟銀行（金融知識 **6**-4） 昭 10

國際銀行案とフランス金融團の立場（世界經濟 1） 昭 6

國際銀行の成立（ダイヤモンド **18**-1） 昭 5

國際不動產銀行（商工經濟研究 **7**-4） 昭 7

國際不動產抵當銀行の設立（臺灣經濟ニュース 15） 昭 6

國際決濟銀行の營業作用（銀行通信錄 535） 昭5

國際決濟銀行の業績と將來（エコノミスト **8**-24） 昭 5

國際決濟銀行の開業と賠償公債發行（銀行通信錄 533） 昭 5

國際決濟銀行の規定內容（エコノミスト **8**-2） 昭 5

國際決濟銀行の目標と其の活動（稅務相談所時報 98） 昭 6

國際決濟銀行の設立經過及其の組織職能（稅務相談所時報 **9**-2/4） 昭 6

國際決濟銀行の職能と活動（國際資料 **2**-1） 昭 6

國際決濟銀行と世界物價安定（銀行通信錄 540） 昭 6

國際決濟銀行條例〔假譯〕（商工月報 **6**-6） 昭 5

國際農業抵當銀行の話（經濟知識 **6**-3） 昭 6

國際農業抵當銀行の組織及職能（銀行通信錄 546） 昭 6

設立國際銀行兩大提案之比較（銀行週報 90） 民 8

ソヴエート手形を國際決濟銀行で再割引（露紙抄譯 79） 昭 6

中期クレヂット國際銀行の創設案（國際資料 **2**-2） 昭 6

4. 國際投資及國際資本移動

a. 一 般

阿部 賢一 米國の國際モラトリアム提案（エコノミスト **9**-13） 昭 6

赤木 進 國際投資管理論（國際法外交雜誌 **29**-5） 昭 5

荒木 秀一 イヤマーク（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

デヴス，ミエル・エー 外國投資問題（中央銀行會通信錄 295/300, 302） 昭 2/3

エドワーヅ 對外投資に關する政府の監督（調查月報 **19**-4） 昭 4

江口 行雄 資本逃避の概念（彥根高商論叢 16） 昭 9

エルマン，リエックス 資本の國際流通と金の移動（銀行通信錄 507） 昭 3

荻田 健治 海外放資及利權の國際管理（神戶高商學友會報 151） 大 10

服部 文四郎 國際資本の動きと景氣の推移（早稻田政治經濟學雜誌 37） 昭 9

平井 常次郎 貨幣の國際的移動（商業及經濟研究 20） 大 9

平野 淸 國際貨借改善の根本義（銀行研究 **9**-4） 大 14

堀江 歸一 對外放資の伸縮性（三田學會雜誌 **15**-5） 大 10

同 國際貨借の理論と償金問題（三田學會雜誌 **15**-7） 大 10

同 對外債務廢棄問題（三田學會雜誌 **16**-8） 大 11

法政大學經濟學部研究室 重要資本市場に於ける有價證券發行と國際的資本交錯（法政大學論集 **5**-1） 昭 5

深見 義一 世界經濟資本移動の概觀（國民經濟雜誌 **49**-4/5） 昭 5

古屋 美貞 外國投資に對する統制の問題（銀行論叢 **18**-2） 昭 7

藤井 茂 國際支拂差額（國民經濟雜誌 **56**-5） 昭 9

同 淸算協定の實績とその將來（東洋貿易研究 **14**-10） 昭 10

池田 了實 爲替相場と外債公債（銀行論叢 **1**-5） 大 12

稻田 周之助 國際貨借關係の處理（外交時報 396） 大 10

井上 準之助 最近の南洋事情と投資問題（東洋 **31**-12） 昭 3

色川 俊次郎 外貨債と資本逃避防止法（信託協會會報 **7**-2） 昭 8

石川 潔太 國際貨借の改善（統計學雜誌 519） 昭 4

猪谷 善一 世界經濟と資本輸出（國際知識 **11**-6） 昭 6

鍵本 博 國際投資と景氣變動—主として外國證券放資について（經營と經濟 **3**-5） 昭 7

神戶 正雄 貿易外の國際收支勘定（時事經濟問題 46） 昭 1

カッセル 資本の國際的移動と爲替相場との關係（調查月報 **16**-11） 昭 1

同 金本位離脫國の國際收入決濟手段（調查月報 **24**-12） 昭 9

春日井 薫 國際貨借計算の諸方法（明大商學論叢 **11**-4） 昭 7

加藤 千松 貿易外の國際收入に就て（海運月報 **12**-12） 昭 2

川口 西三 歐米各國間の借金整理問題（商業と經濟 **4**-1） 大 12

川上 良兒 銀行の國外進出の限界〔新しき銀行經營論〕（銀行論叢 **17**-4） 昭 6

金原 賢之助 金の國際的移動に就て（三田學會雜誌 **25**-7） 昭 6

同 國際收支に關する若干の考察（政治經濟研究 第五册の內）〔不詳〕

*同 國際貨借の現狀 春秋社 昭 8 81 頁 菊〔世界經濟問題講座〕〔非賣〕

*金融研究會 世界經濟と國際貨借（津島壽一） 東京 同所 昭6 158頁 四六〔講演集 9〕

兒玉 謙次 國際貨借の常道は進步に在り（銀行通信錄 528） 昭 5

小島 精一 歐洲國際資本の注目すべき一動向（中央公論 **42**-2） 昭 2

同 太平洋岸に於ける列國資本の動き（經濟往來 **5**-2） 昭 5

栗栖 趙夫 外債の募集に就て（銀行研究 **5**-3/4） 大 12

同 外債の研究（銀行研究 **6**-1/3） 大 13

同 外債研究一斑（銀行研究 **7**-1） 大 13

同 商法と外債に就て（銀行研究 **7**-4） 大 13

クロスビー 新國際貨借關係より生ずる危險（調查月報 **10**-7/8） 大 9

牧村 宏 爲替の變動と資本逃避（稅 **10**-8） 昭 7

*牧野 輝智 國際貨借 東京 日本評論社 昭 5 202 頁 四六〔時事經濟問題講座 5〕

同 外國證券（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

同 外債（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

同 在外正貨（金融大辭典 II 卷 4 頁） 昭 9

增井 光藏 世界經濟に於ける短期資本（經濟往來 **8**-7） 昭 8

松岡 孝兒 貨幣價値安定より見たるクレヂットに就て（經濟論叢 **34**-1） 昭 6

松崎 壽 國際信用設定策としてのター・ミュラン案（商業及經濟研究 25） 大 11

同 對外放資（經濟學辭典 IV 卷 2 頁） 昭 6

メルヒオール，パリー 資本移動と金準備（經濟情報 **6**-11） 昭 6

宮川貞一郎 資金の海外逃避（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

モレッツ 資本の國際的移動（調查月報 **19**-2） 昭 4

楠崎 敏雄 國際貨借の均衡に就て（經濟商業論纂 8） 昭 9

名和 統一 國際貨借觀念の批判（自由通商 **6**-1） 昭 8

二瓶士子治　各國の國際貸借（柳澤統計研究所季報 19）昭 1
同　最近各國國際貸借對照表外二表（柳澤統計研究所季報 21）昭 2
西野入愛一　外國資本（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同　海外投資（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
野崎龍七　外在資金（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
大隈重信　資本の社會化と其國際的運用（銀行通信錄 411）大 9
同　對外投資と物價調節（東京經濟雜誌 2050）大 9
岡野鑑記　賠償問題と國際モラトリアム（商學 6）昭 7
奥野平　資本の逃避とは（銀行論叢 **15**-4）昭 5
大藏省理財局　聯合國間の債權債務處理問題（財政經濟調査 **3**-5/6）大 11
大野信三　短期資金の國際的な移動の原因と結果（經濟商業論纂 9）昭 10
*尾崎敬義　殖民地銀行及海外銀行を中心とする特殊銀行制度の研究　大 12
バンルヴェ　國際債務と世界の動向（改造 **13**-9）昭 6
ラソスブルグ　資本の輸出入問題（調査月報 **18**-2）昭 3
ラスウエル　國際投資市場（國際經濟通信 23）大 12
齋藤太一　外國爲替に於ける國外投資（商事研究 **4**-1）大 12
榊原二郎　外資輸入と通貨膨脹に就て（銀行研究 **6**-3）大 13
靜如譯　金匯兌本位制與國際現金流動之關係（銀行週報 716）民 20
清水泰次　新借款團につきて（國際法外交雜誌 **21**-2）大 11
執無　金本位之命運與國際信用（銀行週報 724, 728）民 20
左右田誠一　外資輸入と金融市場の影響如何（銀行研究 **5**-1）大 12
菅谷重平　內國資本保護の商業政策的方法（銀行論叢 **4**-5）大 14
*鈴木茂三郎　世界經濟と國際資本戰〔經濟學全集一改造社 40 の內 261 頁〕昭 5
鈴木島吉　資本移動の圓滑化問題と日本（經濟知識 **9**-6）昭 8
シャハト　外資輸入論（調査月報 **17**-12）昭 2
高見澤平太郎　外貨債の買入手引（經濟知識 **3**-4）昭 5
武田義之　國際貸借に就て（ヘルメス 6）昭 1
田中金司　國際短期資本と金本位制（東洋經濟新報 1486）昭 7
テリー　國際債務の決濟と債權國の資金の移動（調査月報 **15**-11）大 14
德地屋初之進　債權國論（國民經濟雜誌 **27**-2/3）大 8
*東京朝日新聞經濟部編　國際資本戰　東京　日本評論社　大 14　432 頁　四六
*東京商工會議所　各國支拂猶豫令　東京　昭 3〔商工調査 16〕
津村秀夫　國際貸借改善と海事金融案（工業之大日本 **26**-10）昭 4
張志澄　戰後國際資本市場的鳥瞰（中國經濟 **2**-2）民 23
*朝鮮銀行東京調査部　外國銀行支店設置に關する各國の取扱現狀並國際協約案　大 10
上田貞次郎　世界的不況に對する一考察—國際貸借關係の修正が必要（如水會會報 95）昭 6
內海靜太郎　國際貸借の現狀と其改善策—人絹織物輸出策を樹て（エコノミスト **7**-19）昭 4
和田秀雄　國際貸借と金融關係（統計集誌 601）昭 6
渡邊精吉郎　銀貨國に對する投資の方法（東洋經濟新報 1640）昭 10
*渡邊省二　國際貸借と爲替問題　福岡　昭 1
ウインクラー　國際投資の將來（外國の新聞と雜誌 314）昭 9
ウインストン　外國貨付と輸出貿易との關係（調査月報 **17**-11）昭 2
山崎靖純　輸出資本の話（中央公論 **45**-9）昭 5
山科禮藏　南米に對する金融機關に就て（銀行通信錄 449）大 12
同　南米投資と金融機關（インヴエストメント **7**-5）昭 3
*横濱正金銀行調査課　爲替安定の研究　1. 國際貸借決濟に關する創設案（村田八郎）大 11
*同　國際債務問題　大 12〔調査報告 43〕

外國銀行支店設置に對する各國の取扱現狀及國際協約案（大阪銀行通信錄 291/92）大 10
銀貨國に對する投資の方法（東洋經濟新報 1640）昭 10
復興と外債（經濟資料 **10**-1）大 13
各國爲替相場の移動と國際金移動（東洋經濟新報 1508）昭 7
各國の資金流出防止協定（大阪銀行通信錄 280）大 9

國際銀行界に於ける猶太人〔SY生〕（大阪銀行通信錄 436）昭 8
國際間の債務高調（調査月報 **23**-6）昭 8
國際金移動（財界觀測 **15**-4）昭 8
國際貸借項目分類型式（調査月報 **17**-11）昭 2
國際貸借と外國爲替の話（上道）（產業評論 **2**-4）昭 2
國際的貨幣資本の移動（財界觀測 **14**-7/8）昭 8
國際的債務の切下げ〔世界經濟會議に關する資料〕（內外調査資料 7 月）昭 8
國際投資市場（國際經濟通信 23）大 12
國債長期取引と國際市場〔池田生〕（インヴエストメント **4**-4）昭 1
磅を國際收支から觀る（ダイヤモンド **21**-9）昭 8
ラテン・アメリカに於ける外資（拓務時報 11）昭 7
勞働給與とトランスファー・モラトリアム（財界觀測 **15**-2）昭 8
最近國際資本流動狀況（工商半月刊 **5**-1）民 22
世界各國の負擔する借金（世界經濟 **2**-4）昭 8
世界に於ける國際債務關係（ダイヤモンド **21**-12/13）昭 8
積極政策と外債（政治經濟評論 97）昭 2
一九三二年國際現金移動概觀（工商半月刊 **5**-12）民 22
資本の國際的移動現況（調査月報 **17**-12）昭 2
主要各國（英米佛伊獨和白其他）の國際貸借に關する調査資料（調査月報 **16**-7）昭 1
對外放資の原理（東拓月報 1）大 9
對外投資の可否に就て（調査月報 **11**-1）大 10
對外投資と資本的貨物の輸出（調査月報 **17**-12）昭 2
輸出貿易に依る海外投資（東拓月報 7）大 10
重要資本市場に於ける有價證券發行と國際的資本交錯（法政大學論集 **5**-1）昭 5

b. 各國別

日本

青木一男　資本逃避防止法に就て（銀行通信錄 558 附錄）昭 7
青木得三　何故に對滿投資を抑制する（外交時報 728）昭 10
外務省通商局　亞國に於ける外國投資狀況と日亞貿易の金融策（移民情報 **2**-8）昭 5
吳覺農　日本對華投資與貿易侵略（國際貿易導報 **2**-11）民 20
後藤新平　東洋銀行設立の議（外交時報 401）大 10
濱田峰太郎　對支銀借款問題に絡んで一銀價對策の批判（上海週報 863）昭 6
原邦造　列國の投資家日本に注目す（貿易 **31**-9）昭 6
橋本喜作　復興と外資輸入論（銀行論叢 **1**-6）大 12
廣岡光治　日露關係の整調〔對露クレヂット設定問題〕（外交時報 639）昭 6
堀江歸一　對支借款問題と日支經濟關係（中央公論 **34**-7）大 8
同　悲しむべき外資輸入（エコノミスト **1**-7）大 12
同　外資輸入に對する政府の處置を難ず（東京工場懇話會會報 14）大 12
同　國際貸借理論と我國經濟界の危機（改造 **5**-7）大 12
同　外債募集の影響如何（エコノミスト **2**-3）大 13
同　外債成立と金融（エコノミスト **2**-5 大 13
星野辰雄　東京市佛貨公債問題の將來（インヴェストメント **7**-5）昭 3
堀田正由　正貨現送と外資抑制（金融研究 **2**-11）大 14
*福田德三　國際信義の立場より見たる東京市佛貨債問題　債券協會　昭 1〔非賣〕
同　國際信義と東京市佛貨債問題（インヴエストメント **4**-4）昭 1
同　La question de l'emprunt en Frances de la Ville de Tokyo.（商學研究 **8**-1）昭 3
同　東京市佛貨債事件の敗訴（改造 **10**-3）昭 3
福間謙造　敗許となつた佛貨公債物語（經濟知識 **5**-3）昭 6
馮肇樑　日本對華投資及其國貨之調查（錢業月報 **7**-8）民 16
飯田清三　外貨邦債の强制買入に就て（電氣經濟時論 **4**-12）昭 7
井川忠雄　國際貸借改善問題偶感（貿易 **28**-3）昭 3
池田了實　國際資本市場に於ける日本の地位（銀行研究 **22**-2）昭 7
*今井五介　海外企業投資保證銀行私案　昭 1
井村薰雄　自由なる活動を要求する滿蒙に於ける我が巨額の投資（東亞 **5**-2）昭 7
稻垣新太郎　新借款團と我優越地位（日本及日本人 759）大 8

井上 元 外貨邦債の買付（インヴェストメント 6-3） 昭 2
同 東京佛貨公債訴訟問題） インヴェストメント 7-3） 昭 3
井上 悌雄 對露クレヂットを即時設定せよ（財政經濟時報 18-1） 昭 6
井上 準之助 我國の國際貸借と金解禁問題（經濟論叢 23-1） 昭 1
同 最近の南洋事情と投資問題（東洋 31-2） 昭 3
同 國際貸借改善の第一目標（エコノミスト 7-20） 昭 4
入江 昂 我が國際貸借の現狀と其の見方に就て（斯民 25-5） 昭 5
色部 米作 比島に於ける邦人企業と其將來（臺灣農事報 235） 昭 1
色川 俊次郎 外貨債と資本逃避防止法（信託協會會報 7-2） 昭 8
石井 健吾 國際貸借の現狀と其改善策—國際貸借改善について（エコノミスト 7-19） 昭 4
石川 潔太 國際貸借の改善（統計學雜誌 519） 昭 4
板橋 菊松 東京市の佛貨公債と國債的訴訟（インベヴェストメント 4-1/2） 昭 1
一宮 房次郎 對支新借款團の提議（支那 10-11） 大 8
伊藤 欽亮 無暴なる外債償還案（財政經濟時報 3-3） 大 15
伊藤 再藏 外債を如何に表現すべき哉（我觀 27） 昭 1
神戸 正雄 外債乎內債乎（時事經濟問題 15） 大 12
同 外資輸入問題の考察（銀行論叢 1-2） 大 12
同 復興と外債問題批判（銀行論叢 1-6） 大 12
同 外債憧憬の我經濟界（時事經濟問題 19） 大 13
同 外債の悲哀と國民の反省（時事經濟問題 21） 大 13
同 變態的の外資流入（時事經濟問題 22） 大 13
同 外債熱の再發（時事經濟問題 23） 大 13
同 短期外資輸入計畫（時事經濟問題 36） 大 14
同 正貨の現送と外資輸入の制限（時事經濟問題 40） 大 14
同 外債交涉の不成績（時事經濟問題 41） 大 14
神戸 正雄 國際間に於ける證券の移動と我が佛貨公債（時事經濟問題 41） 大 14
同 資本家の日支協同（時事經濟問題 42） 昭 1
同 我國最近の國際貸借（時事經濟問題 42） 昭 1
同 外債返還と爲替（時事經濟問題 48） 昭 1
同 最近外資輸入額と政府關係の對支借款（時事經濟問題 48） 昭 1
同 昨年の貿易と國際貸借（時事經濟問題 55） 昭 2
同 外資利用の傾向（時事經濟問題 57） 昭 2
同 外國貿易の過去及前途 附：國際收支（時事經濟問題 78） 昭 4
同 國際貸借改善策（時事經濟問題 80） 昭 4
同 國際貸借改善策（時事經濟問題 90） 昭 5
春日井 薫 資本の海外流出問題—弗買問題の必然性と其統制（銀行研究 21-6） 昭 6
加藤 千松 貿易外の國際收入に就て（海運月報 12-12） 昭 2
河合 良成 外債失敗と其影響（エコノミスト 2-5） 大 13
木村小左衞門 國際貸借改善の話（經濟知識 2-6） 昭 4
金原 賢之助 外國爲替と資本逃避防止法（信託協會會報 7-2） 昭 8
北村 忠夫 對滿投資問題（中外財界 9-3） 昭 9
淸澤 冽 ドルの日本侵入の意義とその程度（濟經往來 4-6） 昭 4
侯 厚培 日人在華之鐵路投資及其侵略政策（國際貿易導報 2-11） 民 20
同 日本對華企業投資及其內容之解剖（經濟學季刊 3-1） 民 21
兒玉 謙次 我が國際貸借の前途を憂ひて（銀行通信錄 456） 大 13
近藤 泥牛 外資輸入の好機至る（電氣界 187） 大 12
瞿 荊洲 英美日三國對於中國金融之策動（新中華 3-9） 民 24
熊本 吉郎 外債に現はれた我國際信用（經營と經濟 1-1） 昭 6
栗栖 赳夫 外債としての物上擔保附社債（銀行研究 6-6） 大 13
同 商法と外債に就て（銀行研究 7-4） 大 14
同 米國金融恐慌と外債金貨約款の法律的考察（法律時報 5-5） 昭 8

栗栖 赳夫 外債が我社債制度に與へた影響（ダイヤモンド 21-37/38） 昭 8
牧野 輝智 我國の外資問題（中央公論 44-6） 昭 4
同 我國の國際貸借と朝鮮臺灣（東洋 34-9） 昭 6
*滿鐵庶務部 滿蒙に於ける日本の投資狀態 昭 3〔滿鐵調査資料 76〕
松本 烝治 外債募集と外貨換算の標準（インヴェストメント 1-5） 大 14
松永安左衞門 民間外資抑制の暴擧（エコノミスト 3-22） 大 14
松崎 壽 對外放資と在外工場の設立（商業及經濟研究 32/33） 大 12/13
同 外資輸入抑止の可否（銀行研究 10-1） 昭 1
同 金解禁と國際貸借の改善（銀行研究 15-2） 昭 3
松澤 勇雄 金計算に基づく昨年の國際收支（ダイヤモンド 22-3） 昭 9
*綠川 光雄 資本逃避防止法の解釋と運用 附：關係法令及外貨債所有の手續 大阪大同書院 昭 7 166 頁 四六
三木 純吉 外貨債强制買上問題私議（銀行研究 24-1） 昭 8
三土 忠造 國際貸借の改善と資本利用の革新（銀行論叢 10-2） 昭 3
森 賢吾 最近の外債成立顚末（銀行通信錄 463/65） 大 13
同 外債に就て（大阪銀行通信錄 357） 昭 2
同 我邦に對する世界諸國の信用程度（銀行通信錄 495） 昭 2
森野 潤 滿洲經營と資金關係（自由通商 8-10） 昭 10
森田 久 我國に於ける外資輸入と其支配力（邦文の外國雜誌 1-6） 昭 6
同 支那滿蒙に對する日本の投資（邦文の外國雜誌 1-7） 昭 6
村田元三郎 外貨債救濟私案（エコノミスト 10-23） 昭 7
永雄 策郎 對滿投資に關する高橋藏相の意見（農業と經濟 2-4） 昭 10
長岡 克曉 低資の對支融通を中止せよ（エコノミスト 2-10） 大 13
成瀨 義春 外債は極力廻避すべし（財政經濟時報 10-1/8） 大 12
同 外資輸入計畫は何を語るか（財政經濟時報 10-11） 大 12
二瓶 士子治 我が外國貿易の近狀と國際貸借（統計學雜誌 501） 昭 3
蜷川 新 對支四國借款團と日本の利害（外交時報 33-9） 大 10
*日本商工會議所 國際貸借改善と國產愛用 昭 9〔國產愛用運動パンフレット 3〕
西澤 基一 日本資本と滿洲國土着資本の現狀（經濟時報 6-1） 昭 9
野田 文一郎 國際貸借の改善と見本市（東洋 34-2） 昭 6
野村證券調査部 戰慄すべき外國資本家の魔手（國產奬勵 1-1） 昭 5
小川 德一 對露クレヂット問題（研究論集 4-2） 昭 6
大濱 喜一郎 絕大なる米國の投資力と我國の立場（經濟時論 7-7, 11） 大 8
岡部 三郎 日支國交上障礙の一たる西原借款（外交時報 61-6） 昭 7
同 對支借欵整理方針の再認識（外交時報 712） 昭 9
岡崎 幸壽 勞農の勘察加傭船と我國際貸借改善問題（海運 109） 昭 6
奧野 平 海外投資 爲替統制 正貨現送〔時事經濟問題解說〕（銀行論叢 17-3） 昭 6
太田垣士郎 外債成立が內國債に及ぼせし影響（銀行研究 6-4） 大 13
大竹 虎雄 東京市の外債（都市問題 6-3/5） 昭 3
同 東京市佛貨公債訴訟事件に就て（自治研究 7-3） 昭 6
プラター，エチ・エム 米國から觀た日米間の國際貸借（ダイヤモンド 19-8） 昭 6
林 志臬 日本投資東北鳥瞰（經濟月刊 3-4） 民 20
笠信太郎 資本逃亡の質と量（經濟往來 6-11） 昭 6
齋藤 良衞 滿蒙投資を急げ（外交時報 649） 昭 6
阪本巳之松 七朱一厘の外債は寧ろ低利（エコノミスト 2-5） 大 13
阪谷 芳郎 米國の外債應募と日本の債券民衆化（インヴェストメント 1-6） 大 14
櫻田 勝三 英貨公債の日米取引（銀行研究 4-4） 大 12
佐藤 勝弘 吾國國際貸借に就て（東北經濟論叢 2） 昭 5
佐藤 雄能 佛貨公債の購入整理（會計 8-6） 大 10
靜 如 日本人在滿洲投資之概況（銀行週報 518） 民 16
志立 鐵次郎 支那投資方針革新の要（財政經濟時報 7-5） 大 9

清水文之輔 外資輸入の可否（東京經濟雜誌 2137） 大 12

白川威海 英貨債の借替（經濟知識 3-4） 昭 5

左右田誠一 外資輸入と金融市場の影響如何（銀行研究 5-1） 大 12

素我譯 日本對華投資的檢討［Tochbigo 著］（社會雜誌 1-5） 民 20

*杉山直治郎 東京市佛貨公債訴訟意見書 昭 1〔非賣〕

鈴木茂兵衞 不動產價格の變動に就て（銀行論叢 7-2） 昭 1

鈴木茂三郎 弗買ひ（改造 13-12） 昭 6

同 滿蒙新國家と日本の金融資本（改造 14-5） 昭 7

*商工省商務局 海外に於ける主要本邦商社の投資事業 昭 4

田口文男 國際貨借改善策としての產業合理化と國產愛用（內外商工時報 17-8） 昭 5

高木富五郎 今後の對支投資と支那の現實（東亞 4-2） 昭 6

高橋練逸 國際貨借の現狀と其改善策—自力主義の改善策（エコノミスト 7-19） 昭 4

高見澤平太郎 外貨債の買入手引（經濟知識 3-4） 昭 5

高山武雄 鞏絲金融策として米資輸入問題（銀行研究 7-3） 大 13

*瀧本誠一・向井鹿松 本邦貿易差及其他國際貨借の變遷〔日本產業資料大系—中外商業新報社 10 の內〕 昭 1/3

寺島成信 國際貨借の現狀と其改善策—國際貨借問題の解決策（エコノミスト 7-19） 昭 4

陳迹 日本資本在華的支配機構（時事月報 11-8） 民 23

*東京市電氣局 東京市佛貨公債訴訟事件の經過 昭 6

*朝鮮銀行調查課 日滿間の確定資金流出入豫想 昭 10〔昭 10 調查 15〕

上田文三郎 朝鮮へ注ぎ込みたる內地の資金（朝鮮公論 20-12） 昭 7

內池廉吉 支那投資の方針（外交時報 31-1） 大 9

八木正一郎 英貨公債乘替問題（企業經營 2-5） 昭 5

*山一證券株式會社 外貨公社債條件集 昭 7 35 頁 菊〔非賣〕

山成喬六 西原借款を中心にして（エコノミスト 7-4） 昭 4

山科禮藏 南米投資と金融機關（インヴェストメント 7-5） 昭 3

*橫濱正金銀行調查課 爲替安定の研究—國際貨借決濟に關する創設案 大 11

*同 米國に於ける外債市場と日本公社債に就て 昭 3 41 頁〔調查報告 70〕

吉田五郎 新投資物としての外貨債（ダイヤモンド 19-5/6） 昭 6

吉村貫一 新舊外債の條件（財政經濟時報 11-4） 大 13

吉野作造 西原借款の不始末（中央公論 41-1） 昭 1

米貨邦債と英貨邦債の比較（東洋經濟新報 1556） 昭 8

米國の日本投資額（內外商工時報 19-4） 昭 7

米國の對日投資額（東洋經濟新報 1493） 昭 7

電力外債買戻しの重要性（ダイヤモンド 20-37） 昭 7

英貨債の借換と公社債市價の前途（ダイヤモンド 18-15） 昭 5

英國の對支クレヂット運動と日本の立場（エコノミスト 13-30） 昭 10

英債償還の責任者（東京經濟雜誌 2030） 大 8

外貨邦債反撥す（東洋經濟新報 1519） 昭 7

外貨邦債の强制買上問題（財界觀測 13-12） 昭 7

外貨邦債の利廻—利廻は高きも輸入は何れ程起るか疑問（東洋經濟新報 1365） 昭 4

外貨邦債の投資價値（藤本アナリスト 4-17） 昭 5

外貨邦債投資の考察（財界觀測 11-2） 昭 6

外貨公債の研究（東洋經濟新報 1230） 昭 2

外貨債崩落と其の影響（ダイヤモンド 19-30） 昭 6

外貨債の知識（經濟知識 8-2） 昭 7

外貨債投資の知識（ダイヤモンド 20-31） 昭 7

外國資本による內國企業の統制は之を排擊すべきか（財界研究 6-6） 昭 4

外國資本の侵略と其の對策—外國人株主の權利制限に就て（財界研究 10-3） 昭 6

外債惡用の程度如何（エコノミスト 2-4） 大 13

外債五億五千萬（ダイヤモンド 12-6） 大 13

外債の條件は問題にあらず（財政經濟時報 11-5） 大 13

外債成立の結果（東洋經濟新報 1086） 大 13

外資の輸入と其方向（東洋經濟新報 1161） 大 14

外資輸入如何（ダイヤモンド 11-9） 大 12

外資輸入難—米國金融市場の外債に對する態度（東拓月報 3-7） 大 11

外資輸入の動機と其影響（財政經濟時報 12-5） 大 14

外資輸入の近況（東洋經濟新報 1478） 昭 6

外資輸入の困難と爲替の前途（東洋經濟新報 1336） 昭 4

外資輸入の利害如何（東洋經濟新報 1043） 大 12

外資輸入の總額と其使途（エコノミスト 3-1） 大 14

外資輸入を要する國情（エコノミスト 1-5） 大 12

外資輸入と貿易の入出超（東洋經濟新報 1552） 昭 8

外資輸入と國の經濟（エコノミスト 2-10） 大 13

排日と日支資本提携（東京經濟雜誌 2134） 大 12

澑刺たる內地產業資本の北滿躍進（東洋貿易時報 10-12） 昭 9

北滿ビール界—日本資本の進出（滿洲評論 5-25） 昭 8

株式の形に於ける外國資本の輸入趨勢（野村經濟週報 342） 昭 5

爲替崩落の原因と我國際收支（東洋經濟新報 1514） 昭 7

爲替管理と外貨債相場（ダイヤモンド 20-16） 昭 7

企業の形に於ける外國資本の侵入趨勢（野村經濟週報 340） 昭 5

近年の我國際收支の動向（東洋經濟新報 1635） 昭 10

興銀の外資輸入不認可問題（東洋經濟新報 1053） 大 12

國外の募債狀況（ダイヤモンド 12-24） 大 13

國外資金の利用（ダイヤモンド 14-33） 昭 1

國際新資本團と日本の經濟利害（ダイヤモンド 7-13） 大 8

國際收支の實情と圓價の前途（ダイヤモンド 23-27） 昭 10

國際貨借改善の前途（貿易 29-11） 昭 4

國際貨借改善と今後の施設（エコノミスト 8-3） 昭 5

國際貨借改善は？—吾等の希望する社會政策（エコノミスト 10-6） 昭 7

空前の巨額に上れる外資輸入の實情（中外財界 1-20） 昭 1

滿蒙に於ける日本の投資額（大連商工月報 203） 昭 7

滿蒙に投資された我國の資本（上海經濟月報 194） 昭 7

滿洲に於ける日本の地位——來人の觀たる滿鐵借款問題（東洋貿易研究 7-3） 昭 3

滿洲の貿易と滿洲への投資〔リットン報告書經濟文書續稿〕（エコノミスト 11-3/4） 昭 8

またまた持ち上つた對支銀借款運動（金曜會 パンフレット 53） 昭 6

民間外資輸入の抑制（ダイヤモンド 13-28） 大 14

內地の資本家はどんな事業に投資すべき乎（滿洲經濟時報 262） 昭 7

內地資本の滿洲國進出（大連商工月報 225） 昭 9

內地資金の對滿流入（滿洲經濟時報 142） 昭 9

南洋投資現狀と前途（エコノミスト 3-19） 大 14

日本資本の滿洲進出（支那時報 20-6） 昭 9

日本資本の進出（滿洲評論 5-25） 昭 8

日本在華之重要工業投資及其勢力（工商半月刊 3-22） 民 22

日米關係と米資輸入（東京經濟雜誌 2128） 大 12

日米收支關係の解剖（エコノミスト 9-12） 昭 6

日英兩國の對支投資額（支那時報 20-3） 昭 9

日佛協同對滿投資計畫（支那時報 19-5） 昭 8

倫敦市場に於ける邦債の昂騰と其の原因（東洋經濟新報 1509） 昭 7

最近 3 箇年の對滿投資（大連商工月報 253） 昭 10

再禁財界の展望—金融爲替市場（エコノミスト 10-1） 昭 7

再禁財界の展望—國際貨借はどうなる（エコノミスト 10-1） 昭 7

昨年度のわが國際貨借（エコノミスト 13-27） 昭 10

政府の外資抑壓方針（財政經濟時報 12-19） 大 14

正貨現送と海外他店借（ダイヤモンド 18-29） 昭 5

正貨拂下の續行と外資輸入の抑制（ダイヤモンド 13-29） 大 14

一九二二年國際貨借に關する商務省調查（調查月報 13-6） 大 12

資本進出の第二段（大連商工月報 214） 昭 8

新外債に對する批判と影響（太陽 30-4） 大 13

新放資高の推移と外資流出入超過（東洋經濟新報 1236） 昭 2

新借款團と我國の地位（東洋經濟新報 852） 大 8

新事業勃興で內地資金流入顯著（大連商工月報 218） 昭 8

對外債務の趨勢（ダイヤモンド 13-17） 大 14

對滿投資の統制（滿洲評論 5-15） 昭 8

對滿投資の增加と資本市場の態度（ダイヤモンド 23-31） 昭 10

對滿投資所見（經濟滿日 21） 昭 9

對滿投資と貿易（財界觀測 19-3） 昭 10

對滿投資と國際貨借（電通經濟週報 2-9） 昭 10

對滿投資と滿鐵解體論（滿洲評論 4-24） 昭 8

對滿投資統制に就て（エコノミスト 13-3） 昭 10

對露クレヂット問題（商工月報 7-6） 昭 6

對支借款問題（金曜會パンフレット 54） 昭 6

對支借款を中心として觀たる銀對策（大連商工月報 190） 昭 6

對支借款整理の經過（ダイヤモンド 23-20） 昭 10

對支投資機關並に主要投資（支那 **10**-1）　大 8
調整を要する對滿投資（金融知識 **6**-3）　昭 10
我國外債の起源と其の消長（銀行通信錄 522）　昭 4
我國近年の外資輸入額（東洋經濟新報 1321）　昭 3
我國の外資輸入と高金利—長期金利の將來（東洋經濟新報 1616）　昭 9
我國の國際收支と金の移動（財界觀測 **11**-9）　昭 6
我對滿投資の現狀—政府の對滿政策確立を望む（東洋經濟新報 1625）　昭 9
預金の激增と貸出の著減—米國の國際收支（國勢グラフ **3**-6）　昭 9
輸入外資の活動方向と內容（エコノミスト **3**-19）　大 14
財閥の滿洲融資（ダイヤモンド **20**-13）　昭 7
財界注目の焦點たる國際貨借の問題（中外財界 **5**-3）　昭 5
重大な危機に曝された滿蒙の邦人と投資（中外財界 **3**-12）　昭 3

アメリカ合衆國

アンダーソン　米國民間の對歐短期貸付高（調査月報 **10**-12）　大 9
荒山泰次　米國資本の輸出（銀行論叢 **1**-3）　大 12
米國商務省　米國 1925年國際貸借（調査月報 **16**-10）　昭 1
同　英米間の 1928 年國際收支（調査月報 **19**-11）　昭 4
同　米國の東洋に於ける直接投資（調査月報 **21**-3）　昭 6
ドメラッキー　世界經濟の攪亂—米國の資本輸出は何處迄延びるか（國際パンフレット通信 366）　昭 5
江上友吉　米國の外債投資に就て（銀行研究 **11**-6）　昭 1
江口行雄　アメリカ金融資本とラテン・アメリカ（銀行研究 **17**-5/6）　昭 4
同　ラテン・アメリカに於ける英米の資本闘爭（彥根高商研究部月報 15）　昭 5
原勝　米國の在支經濟勢力の解剖（東亞 **7**-12）　昭 9
平野一郎　米國資本の招商局乘取問題（新天地 **13**-2）　昭 8
堀江歸一　國際貨借に於ける合衆國の地位（三田學會雜誌 **17**-8）　大 12
古屋美貞　米國の外國投資（銀行論叢 **11**-6）　昭 3
*藤本ビル・ブローカー銀行調査部　米國の海外貿易と外國投資　大 10　25 頁〔非賣〕
生島廣治郎　米國の對外經濟政策と歐洲の對米債務支拂難（國際知識 **12**-8/9）　昭 7
稻原勝治　實現化せる弗の東漸—支那の外資輸入（支那 **22**-1）
色部米作　比島に於ける邦人企業と其將來（臺灣農事報 235）　昭 1
伊藤秀一　國際借款團と米國（三田學會雜誌 **28**-1）　昭 9
岩井仙吉　米國銀行家の外債に對する態度（銀行研究 **14**-4）　昭 3
岩田千雄　資本輸出とアメリカ合衆國（財政經濟時報 **16**-7）　昭 4
片上淳　アフリカに於ける英米資本の爭覇（新興科學の旗のもとに **1**-3）　昭 3
勝間田正造　米國と短期資金の國際的移動（ダイヤモンド **19**-13）　昭 6
清澤洌　ドルの日本侵入の意義とその程度（經濟往來 **4**-6）　昭 4
胡漢民　米支銀借款問題に就て（支那時報 **14**-3）　昭 6
コリングス　南米に於ける米國の投資（外國の新聞と雜誌 157）　昭 2
瞿荊洲　英美日三國對於中國金融之策動（新中華 **3**-9）　民 24
クリッシンガー　世界の資金調達に對する米國の貢獻（調査月報 **12**-12）　大 11
栗栖趙夫　米國金融恐慌と外債金貨約款の法律的考察（法律時報 **5**-5）　昭 8
串田萬藏　米國の海外投資を待つ（經濟知識 **4**-3）　昭 5
マッデン，パ・テ　海外米國投資家の保護（朝鮮及滿洲 251）　昭 3
丸岡重堯　米國金融資本の世界征服（改造 **10**-8）　昭 3
松本佳三　紐育倫敦兩資本市場の爭覇（經濟論叢 **26**-2）　昭 3
松崎壽　米國に於ける對外放資機關の發達（商業及經濟研究 23/24）　大 10
三隅棄藏　米國資本の世界に於ける分布（ブラジル **3**-7）　昭 4
守屋德夫　米國に於ける海外投資者（朝鮮及滿洲 250）　昭 3
モロー　米國に於ける外國公債應募者に關する調査（調査月報 **17**-2）　昭 2
モールトン　米國の對外貨付制限に就て（調査月報 **12**-2）　大 11
村田孜郎　米國對支投資の研究（支那 **22**-3）　昭 6

中村忠彰　米國戰後の海外投資（國民經濟雜誌 **26**-3）　大 8
ノールマン，エル・バン　危難に瀕せるアメリカの海外投資（我觀 67）　昭 4
小汀利得　世界を席捲する「弗」の威力（國際知識 **7**-4）　昭 2
大濱喜一郎　絕大なる米國の投資力と我國の立場（經濟時論 **7**-7, 11）　大 8
*大藏省臨時調査局　米國の對外投資　大 8〔財政經濟時事問題研究 11〕
オツペンハイマー　米國市場に於ける獨逸起債の手續（調査月報 **16**-6）　昭 1
大下積五郎　米國の對外放資增大と世界經濟の危機（銀行研究 **14**-5）　昭 3
ブラター，エィチ・エム　米國から觀た日米間の國際貸借（ダイヤモンド **19**-8）　昭 6
リー，ジョージ・ブロンソン　共匪，土匪，軍閥私鬪の現狀に於て支那は外款救濟の見込なし—米國の銀借款說を否認す（新天地 **11**-5）　昭 6
ローゼンシュタイン，ヂョセフ　米國の對ソ信用問題（經濟研究—經濟研究社 **3**-8）　昭 10
阪谷芳郎　米國の外債應募と日本の債券民衆化（インヴェストメント **1**-6）　大 14
櫻田勝三　英貨公債の日米取引（銀行研究 **4**-4）　大 12
白井芳太郎　米國の外國株投資に就て（銀行研究 **15**-2）　昭 3
祝世康　美國在坎拿大的投資（銀行週報 824）　民 22
竹原友三郎　米國海外投資の發達と將來（竹原經濟時報 14）　昭 3
竹原寅之助　最近に於ける英米の海外投資（國民經濟雜誌 **57**-6）　昭 9
竹中龍雄　歐洲大戰以來の米國國際收支に對する考察（會計 **28**-2/4）　昭 6
玉置房一　米國資本家の露國進出（外交時報 619）　昭 5
田中九一　アメリカの對支投資（世界經濟 5）　昭 6
上田恭輔　滿蒙開發の爲めに米國資金の放入を歡迎せよ（滿蒙 40）　大 12
ウィリアム　米國の國際貸借（大阪銀行通信錄 309）　大 12
同　米國の一九二一年國際貸借研究（調査月報 **13**-4）　大 12
八木正一郎　紐育の外國證券上場問題（竹原經濟時報 4）　昭 2
*安田保善社調査部　米國海外投資の現況政策並に機關　昭 5
楊哲明　美國對外投資之傳統政策（東方雜誌 **32**-11）　民 24
*橫濱正金銀行調査課　紐育發行外國債放資　利廻　大 8
*同　米國戰時對外債權整理問題（酒井忠美）　昭 1〔調査報告 65〕
*同　米國に於ける外債市場と日本公社債に就て　昭 3　41 頁〔調査報告 70〕
吉田高次　米國の對支銀借款問題（上海週報 864）　昭 6

アメリカの對外投資（財界研究 **6**-2）　昭 4
米英兩國對外投資の現狀（エコノミスト **8**-5）　昭 5
米國銀行團の對支發展（支那 **10**-7）　大 8
米國銀行業の海外活動（東洋經濟新報 838）　大 8
米國銀行家の外國投資觀（藤本銀行週報 308）　大 11
米國海外銀行の發展（銀行通信錄 530）　昭 5
米國海外投資狀況〔1931 年〕（海外經濟事情 **5**-23）　昭 7
米國開戰後海外投資增加に就て（通商公報 602）　大 8
米國金融業者の外債引受賣出等に對する國務省の取締權限（銀行通信錄 536；海外經濟事情 **3**-36）　昭 5
米國國際貸借の均衡〔1927 年〕（海外經濟事情 **1**-25）　昭 3
米國民間の對歐短期貸付に就て（調査月報 **11**-1）　大 10
米國に於ける對外信用調査（通商公報 877）　大 10
米國に於ける對外信用調査委員設置法案（通商公報 877）　大 10
米國の海外投資（財界研究 **10**-2）　昭 6
米國の海外投資概要〔1929 年〕（海外經濟事情 **4**-4）　昭 6
米國の海外投資問題〔紐育總領事報告〕（通商公報 1087）　大 12
米國の海外投資に關する商務省の調査（調査月報 **21**-1）　昭 6
米國の海外直接投資額狀況—1929 年現在（海外經濟事情 **4**-8）　昭 6
米國の關稅と對外投資（國際事情 264）　昭 5
米國の國際貸借均衡〔1928 年〕（海外經濟事情 **1**-35）　昭 4
米國の國際貸借と對外放資（調査月報 **13**-1）　大 12
米國の日本投資額（內外商工時報 **19**-4）　昭 7
米國の產業投資と政治借款（東洋貿易研究 **12**-12）　昭 8
米國の對墨投資狀況（移民情報 **3**-4）　昭 6
米國の對外貨付（ダイヤモンド **8**-24）　大 9

米國の對外債權處理（調査月報 **11**-9） 大 10
米國の對外投資 （調査月報 **18**-4） 昭 3
米國の對外投資 （貿易 **31**-12） 昭 6
米國の對外投資（大阪銀行通信錄 411） 昭 7
米國の對外投資不安（ダイヤモンド **20**-11） 昭 7
米國の對外投資能力（調査月報 **10**-7/8） 大 9
米國の對日投資額（東洋經濟新報 493） 昭 7
米國の對歐貸付（米國事情 10） 大 10
米國の對歐貸付奬勵（調査月報 **10**-9） 大 9
米國の對歐投資減退の暗示 （エコノミスト **8**-20） 昭 5
米國の對支貿易及投資（大連商工月報 185） 昭 6
米國の對支銀借款運動 （金曜會パンフレット 50） 昭 5
米國の對支產業投資と政治借款（東洋貿易研究 **12**-12） 昭 8
米國の對支單獨借款（支那 **11**-5） 大 9
米國の對支投資（政治經濟時論 **6**-3） 昭 6
米國の對東洋直接投資（滿蒙事情 117） 昭 6
米國昨年の海外投資激減（東洋經濟新報 1398） 昭 5
米國政府の外債取締問題 （外國の新聞と雜誌 161） 昭 2
米國一九二四年國際貸借說明書（調査月報 **15**-10） 大 14
米國一九三〇年末に於ける對外投資（海外經濟彙報 10） 昭 6
米國一九三三年中の國際收支 （海外經濟彙報 5） 昭 9
米國資本の英國產業への侵入（財界研究 **7**-2） 昭 4
米國資本の北滿進出事情（大連商工月報 210） 昭 8
米國商務省調査：1927 年國際貸借統計摘要 （調査月報 **18**-12） 昭 3
米國財界に於ける對外貸付可否の論調 （調査月報 **16**-1） 昭 1
米國財政家の對獨借款意見 （國際經濟通信 24） 大 12
米支借款說の再燃（支那時報 **17**-4） 昭 7
美國對東方投資額（工商半月刊 **3**-5） 民 20
英米爲替相場と米國投資政策（大阪銀行通信錄 308） 大 12
英米國際資本戰（產業評論 **2**-4） 昭 2
英米の國際貸借と對外投資（調査月報 **18**-1） 昭 3
英米の對獨投資と獨逸の對外負債 （東洋經濟新報 1463/64） 昭 6
英米對外債務額の比較（調査月報 **10**-12） 大 9
外國起債市場としての紐育及巴里の現狀（內外調査資料 12） 昭 6
外資輸入難—米國金融市場の外債に對する態度（東拓月報 **3**-7） 大 11
合衆國の羅典亞米利加への投資現狀 （經濟月報 **3**-2/3） 昭 6
合衆國の對外投資（世界經濟 6） 昭 6
現金移動對初貨幣運用及美法兩國資本市場之影響（中央銀行月報 **2**-8） 民 22
比島產業發展に關する投資概況 （海外經濟事情 **3**-11） 昭 5
北米合衆國の海外投資狀況（海外經濟事情 **5**-13） 昭 7
北滿に於ける米國の投下資本（日滿經濟 **4**-10） 昭 10
北滿に於ける米國資本（哈爾賓日本商工會議所 北滿經濟月報 10） 昭 10
北滿に於ける米國投資活動（滿日調査通報 9） 昭 8
本年上半季の米國市場外債募集額激增（銀行通信錄 538） 昭 5
改善漸く顯著な英米の海外投資（國際經濟週報 **16**-41） 昭 10
上半期の英米新投資著減（東洋經濟新報 1412） 昭 5
南アメリカに於ける米國の投資狀況（海外經濟事情 2） 昭 4
日米收支關係の解剖（エコノミスト **9**-12） 昭 6
紐育に於ける外債市場と公社債に就て（銀行通信錄 510/11, 514） 昭 3
紐育投機市場と外國資金〔H. O. 生〕（銀行論叢 **13**-4） 昭 4
最近の英獨米三國の短期資金移動狀況（銀行通信錄 559） 昭 7
最近頓に問題にされて來た米資の英國侵入（中外財界 **4**-8） 昭 4
昨年中米國に於ける外債發行高 （銀行通信錄 544） 昭 6
世界恐慌下に呻吟するアメリカ資本の對滿野心（東亞 **5**-2） 昭 7
戰後に於ける米國の海外投資 〔紐育總領事報告〕（通商公報 598） 大 8
自 1896 年至 1933 年米國國際貸借（日本興業銀行調査月報） 昭 9
1914—30 年に於ける米國金融市場の外國證券 （經濟月報 **4**-6） 昭 7
1925 年米國市場公募の外國債（調査月報 **16**-3） 昭 1
1928 年紐育市場に於ける外國起債 （調査月報 **19**-3） 昭 4

一九三二年中の米國短期資金移動（大阪銀行通信錄 430） 昭 8
支那に於ける亞米利加銀行增設の可否論（調査時報 **6**-7） 昭 1
支那に於ける米國と列國の投資額（東亞驛譯通信 41） 昭 6
ソ聯邦に對する米國のクレヂット （露紙抄譯 149） 昭 8
對外放資制限と米國政府（調査月報 **12**-6） 大 11
大戰を契機として驚くべき進展を示せる米國海外投資事情の一斑（財界研究 **6**-6） 昭 4
對支借款團と米國の要求（支那 **10**-15） 大 8
對ソ融資の新銀行團組織さる（露紙抄譯 151） 昭 8
智利人の見たる米國資本の南米進出と其の對策（移民地事情 36） 昭 4
東洋に於ける米國直接投資（東亞 **4**-3） 昭 6
中國と英米の接近—銀借款，銀プール其他（金曜會パンフレット 49） 昭 5
預金の激增と貸出の著減—米國の國際收支（國勢グラフ **3**-6） 昭 9
在支米國銀行の發展（上海 542） 大 12
續出する對米債務不履行 （ダイヤモンド **20**-20） 昭 7

アルゼンチン

外務省通商局 亞國に於ける外國投資狀況と日亞貿易の金融策（移民情報 **2**-8） 昭 5

アルゼンチン國の國際貸借關係及其改善策（海外經濟事情 **4**-37） 昭 6
國際貸借關係より見たる亞國經濟界の實況（海外經濟事情 **1**-45） 昭 4

ベルギー

白耳義國立鐵道會社の外債募集 （調査月報 **17**-1） 昭 2
白耳義の國際貸借（調査月報 **16**-5） 昭 1
白耳義 1925 年國際貸借（調査月報 **17**-1） 昭 2

ブラジル

辻 小太郎 ブラジル投資の過去現在及將來（ブラジル **1**-10） 昭 2

ブラジルに於ける各國の投資と各種企業（ブラジル **5**-6/9） 昭 6
伯國棉の輸入及投資に關する考察 （ブラジル **2**-8） 昭 3
伯國に於ける佛國投資（通商公報 1084） 大 12
伯國に投下された獨逸の資本 （ブラジル **2**-10） 昭 3

ブルガリア

勃牙利に於ける外資活躍狀況 （海外經濟事情 4） 昭 3

ドイツ

獨逸國統計局 獨逸 1928 年國際貸借 （調査月報 **19**-7） 昭 4
同 國際資本關係に於ける獨逸（調査月報 **21**-3） 昭 6
同 獨逸 1930 年國際收支 （調査月報 **21**-8） 昭 6
同 獨逸の一九三二年九月三十日現在對外債務現在高（調査月報 **23**-6） 昭 8
細貝 正邦 獨逸海外銀行の研究（大阪銀行通信錄 286） 大 10
*神戸高商商業研究所 獨逸の外資輸入と賠償支拂の將來（增井光藏） 昭 6 48 頁 菊〔講演集 51〕
前田 薰一 獨逸の國際貸借に就て （金融研究 **2**-7） 大 14
增井 光藏 獨逸の外資輸入と賠償支拂の將來（國民經濟雜誌 **50**-2, 4） 昭 6
三浦 義道 獨逸に於ける國際强制投資問題（保險學雜誌 289） 大 10
*日本銀行調査局 戰後に於ける獨逸海外銀行の復興狀況 昭 2〔經濟彙報 4〕
*同 獨逸トランスファー・モラトリウムを續りて 昭 9〔海外經濟彙報號外 13〕
岡野 鑑記 獨逸最近のモラトリアム問題（外交時報 712） 昭 9
*大藏省臨時調査局 佛獨兩國の對外投資 大 8〔財政經濟時事問題研究 8〕
オッペンハイマー 米國市場に於ける獨逸起債の手續（調査月報 **16**-6） 昭 1
ロング，アール・シー 獨逸の弗債券買戾し法（外國の新聞と雜誌 275） 昭 7
十龜 盛次 ドイツの對外債務支拂停止に就て（エコノミスト **12**-13） 昭 9
朱 揆 德國實業聯合投資中國之計劃及其批評（東方雜誌 **28**-11） 民 20
田中 鐵三郎 ドイツのトランスファー・モラトリアム （大原社會問題研究所雜誌 **1**-3） 昭 9

田中鐵三郎　獨逸のトランスファー.モラトリアム（大阪銀行通信錄 444）昭 9

*東京商工會議所　獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令 東京 昭 7 215 頁 菊〔商工調査 43〕

*朝鮮銀行調査課　獨逸の國際モラ問題とマルク切下に就て 昭 9

アムステルダムに於ける獨逸銀行と和蘭割引市場（藤本銀行週報 524）大 15

米國財政家の對獨借款意見（國際經濟通信 24）大 12

ドイツ外債モラトリアム宣言（大阪銀行通信錄 443）昭 9

獨逸外債の低利借換に就て（日本興業銀行調査月報）昭 9

獨逸銀行に對する外資の侵入（大阪銀行通信錄 412）昭 6

獨逸國内に於ける國際的資本〔漢堡總領事報告〕（通商公報 1189）大 13

獨逸國際收支輓近の推移（海外經濟彙報 12）昭 9

獨逸國際收支決濟概況〔1933 年度〕（海外經濟事情 7-52）昭 9

獨逸國際貸借〔1932年〕（海外經濟事情 6-26）昭 8

獨逸モラの眞相とその影響（エコノミスト 12-16）昭 9

獨逸に於ける外國資本（調査月報 21-10）昭 6

獨逸に於ける外國資本の致扈（財界研究 9-2）昭 5

獨逸に於ける外資の流出〔破綻前後の獨逸財政資料〕（内外調査資料 11 月）昭 6

ドイツの外債問題（財界觀測 14-12）昭 8

獨逸の國際收支（調査月報 24-6）昭 9

ドイツの國際收支と外債モラトリアム（世界經濟 3-1）昭 8

獨逸の「クレディット」設定と同國三大銀行（調査月報 9-9）大 8

ドイツのモラ斷行と其經濟的效果に就て（銀行論叢 23-2）昭 9

獨逸の新外債に就て（銀行通信錄 468）大 14

獨逸の對外債務（調査月報 12-9）大 11

獨逸の對外債務支拂問題に關する外國債權者會議に就て（海外經濟彙報 6）昭 8

獨逸の對外債務支拂猶豫宣言（銀行通信錄 570）昭 8

獨逸の對露國際シンジケート其他の諸計畫（朝鮮銀行月報 13-2）大 11

獨逸の對露投資事業（朝鮮銀行月報 13-9）大 11

獨逸の「ヤング」案改訂希望と「クレディット」設定問題（銀行通信錄 546）昭 6

獨逸對外モラトリアム（東洋經濟新報 1551）昭 8

ドイツ對外債務トランスファー問題（海外經濟事情 6-20）昭 8

獨逸人の對外放資額（東洋經濟新報 854）大 8

獨露借款成立〔漢堡總領事報告〕（通商公報 803）大 10

獨露金融株式會社の創立並に其他の銀行業（朝鮮銀行月報 12-12）大 11

獨支債務決濟問題の眞相（支那 15-7）大 13

弗條款附帶の馬克債券支拂問題（獨逸）（海外經濟事情 6-38）昭 8

英米の對獨投資と獨逸の對外負債（東洋經濟新報 1463/64）昭 6

延長される獨逸のモラ（金融知識 6-2）昭 10

伯國に投下された獨逸の資本（ブラジル 2-10）昭 3

哈爾賓獨逸銀行創立計畫（滿蒙實業彙報 76）大 10

最近の英獨米三國の短期資金移動狀況（銀行通信錄 559）昭 7

世界に於ける獨逸海外銀行の活動（東拓月報 4）大 9

1932 年度の獨逸國際收支（銀行通信錄 567）昭 8

支那に於ける獨逸の投資（〔上海〕經濟月報 8-10）民 23

德國在華的投資（工商半月刊 6-16）民 23

フランス

青木得三　聯合國藏相會議と英佛債務（國際知識 5-4）大 14

ガリヤール　佛國人所有の有價證券及び外國人所有の佛國有價證券（調査月報 15-6）大 14

福田德三　La question de l'emprunt en France de la Ville de Tokyo（商學研究 8-1）昭 3

福間謙造　敗訴となつた佛貨公債物語（經濟知識 5-3）昭 6

石川進　佛投資團の對滿投資申出（東洋 36-11）昭 8

金野豐　英佛共同公債の消却（大阪銀行通信錄 274）大 9

メニヤール　佛國の國際貸借（調査月報 16-1）昭 1

同　佛國 1927 年國際貸借（調査月報 18-10）昭 3

*日本銀行調査局　一九三三年佛國國際收支に就きて 昭 9〔海外經濟彙報號外 15〕

*大藏省臨時調査局　佛獨兩國の對外投資 大 8〔財政經濟時事問題研究 8〕

ロジイエー　佛國に於ける資本の逸出及有價證券輸入取締（調査月報 16-11）昭 1

平貞藏　佛蘭西の海外投資に就て（世界經濟 1）昭 6

*東京商工會議所　獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令 昭 7 215 頁 菊〔商工調査 43〕

ウォルフ　佛國資本輸出制限の解除に就て（調査月報 18-4）昭 3

道佐慶夫　佛蘭西に於ける東京市債の私法問題（法律新報 97/98）昭 2

英銀行團の對佛貸付契約（大阪銀行通信錄 430）昭 8

フラン恐慌下に於ける資本逸出問題（財界研究 9-5）昭 5

フランス投資團の活動（協和 109）昭 8

外國起債市場としての紐育及巴里の現狀（内外調査資料 12）昭 6

伯國に於ける佛國投資（通商公報 1084）大 12

法國在華的投資（工商半月刊 6-14）民 23

法國準備在滿投資與北滿工業　北鐵管理局譯譯處編輯科 譯（北滿半月乘 4-20）大同 2

北滿に於ける佛國資本（北滿經濟月報 12）昭 10

佛國國庫の民間會社竝外國政府に對する最近の資金融通（調査月報 22-5）昭 7

佛國國際貸借（調査月報 16-9）昭 1

佛國の弗外債銷却方針（調査月報 22-10）昭 7

佛國の對滿投資調査（支那時報 19-4）昭 8

佛國資本家の外國證券投資に對する缺陷（銀行通信錄 546）昭 6

佛國對滿投資團代表の活動（支那時報 19-5）昭 8

佛支新鐵道借款成立（支那時報 17-4）昭 7

日佛協同對滿投資計畫（支那時報 19-5）昭 8

和蘭の對佛貸付（海外經濟彙報 5）昭 9

1932 年度佛蘭西國際收支（日本興業銀行調査月報）昭 9

イギリス

青木得三　聯合國藏相會議と英佛債務（國際知識 5-4）大 14

米國商務省　英國 1929 年國際貸借（調査月報 20-4）昭 5

江口行雄　ラテン・アメリカに於ける英米の資本鬪爭（彦根高商研究部月報 15）昭 5

英國大藏省　1925年英國國際貸借（調査月報 16-3）昭 1

英國商務省　英國 1926 年國際貸借（調査月報 17-3, 10）昭 2

同　英國 1927 年國際貸借（調査月報 18-3）昭 3

長谷川正三郎　英國對外投資抑制政策に就て（金融研究 2-12）大 14

藤井茂　英國の海外投資狀態（國民經濟雜誌 55-4）昭 8

神戸正雄　英國の外債應募解禁（時事經濟問題 41）大 14

春日井薰　英國の海外投資力（銀行研究 8-2）大 14

片山淳　アフリカに於ける英米資本の爭覇（新興科學の旗のもとに 1-3）昭 3

ケインズ　1925/27 年の英國國際貸借に關する考察（調査月報 18-2）昭 3

同　英國 1923 年及 1923/27 年國際貸借（調査月報 18-4）昭 3

キッディ　英國外債の其國際金融上の地位に及ぼしたる影響（調査月報 11-3/4）大 10

キンダスリー, ロバート　英國の對外投資に關する新研究（調査月報 19-5）昭 4

同　英國の 1928 年度對外投資額（調査月報 20-10）昭 5

同　英國の 1929 年に於ける對外投資及同收入（調査月報 22-1）昭 7

瞿荊洲　英美日三國對於中國金融之策動（新中華 3-9）民 24

松本佳三　紐育倫敦兩資本市場の爭覇（經濟論叢 26-2）昭 3

*日本銀行調査局　英國外債抑制撤廢事情 大 14〔改 51〕

同　國際債務猶豫に關する英國政府の聲明〔政變前後の英國財政資料〕（内外調査資料 11 月）昭 6

*大藏省臨時調査局　英國の對外投資 大 8〔財政經濟時事問題研究 7〕

大野彌曾次　1925 年より同 27 年に至る最近 3 ヶ年間の英國對外收支の均衡（東亞經濟研究 12-2）昭 3

清水溫三　再燃せる英國の借款政策（上海時論 3-6）昭 3

シラス　印度に於ける金と英國資本（調査月報 20-2）昭 5

スポールディング　英國銀行海外支店設置の可否（調査月報 9-8）大 8

竹原寅之助　最近に於ける英米の海外投資（國民經濟雜誌 57-6）昭 9

富田亥之七　英國の海外投資（金融研究 2-3, 5）大 14

*朝鮮銀行東京調査部 最近英國銀行の海外發展 大9
矢内原 忠 雄 戰後のイギリスの資本輸出（我等 11-2） 昭 4
米英兩國對外投資の現狀（エコノミスト 8-5） 昭 5
米國資本の英國產業への侵入（財界研究 7-2） 昭 4
英米國際資本戰（產業評論 2-4） 昭 2
英米の國際貸借と對外投資（調査月報 18-1） 昭 3
英米の對獨投資と獨逸の對外負債（東洋經濟新報 1463/64） 昭 6
英米對外債務額の比較（調査月報 10-12） 大 9
英銀行團の對佛貸付契約（大阪銀行通信錄 430） 昭 8
英國外債抑制撤廢事情（銀行通信錄 480） 昭 1
英國銀行の戰後海外發展計畫〔堀越日本銀行倫敦監督役報告〕（大阪銀行通信錄 273） 大 12
英國海外投資の地理的分布（南支那及南洋情報 2-23；調査月報 22-10） 昭 7
英國金貨拂債券の支那通貨に對する判決に就て（調査月報 23-2） 昭 8
英國に於ける金本位停止と國際貸借のバランス（財界觀測 11-8） 昭 6
英國に於ける資金流出禁止論（外報摘要 373） 昭 1
英國の海外投資額（海外經濟彙報 9） 昭 6
英國の國際收支（國勢グラフ 2-5） 昭 8
英國の國際貸借研究（調査月報 13-4） 大 12
英國の國際貸借と對外投資（調査月報 18-3） 昭 3
英國の國際貸借狀況（調査月報 10-3） 大 9
英國の新投資振はず（東洋經濟新報 1399） 昭 5
英國の對露投資企業（朝鮮銀行月報 13-3） 大 11
英國の對支クレヂット運動と日本の立場（エコノミスト 13-30） 昭 10
英國の對支投資とリースロス卿の訪支目的（國際思潮 25） 昭 10
英國の對中南米投資（東洋貿易研究 13-11） 昭 9
英國の在外資本現在高に關する調査（調査月報 21-1） 昭 6
英國昨年の新投資（東洋經濟新報 1084） 大 13
英國昨年の新投資（東洋經濟新報 1385） 昭 5
英國新資本輸出額の計算（調査月報 20-1） 昭 5
英國投資に於ける海外投資（藤本アナリスト 4-9） 昭 5
現金移動對初貨幣運用及美法兩國資本市場之影響（中央銀行月報 2-8） 民 22
不引合な英國の海外投資（財界研究 9-2） 昭 5
印度に於ける金と英國資本（調査月報 20-2） 昭 5
改善漸く顯著な英米の海外投資（國際經濟週報 16-41） 昭 10
上半期の英米新投資著減（東洋經濟新報 1412） 昭 5
北滿洲に於ける英國資本（北滿經濟月報 4） 昭 10
南米に鎬を削る英米資本戰（國際パンフレット通信 295） 昭 4
南米諸國に對する英國の投資（東洋貿易研究 13-9/10） 昭 9
南京府政の幣制改革と英國の對支クレヂット問題〔南京山人〕（海運 163） 昭 10
日英兩國の對支投資額（支那時報 20-3） 昭 9
磅を國際收支から觀る（ダイヤモンド 21-9） 昭 8
倫敦に支店を有する外國銀行の營業狀態（銀行通信錄 400） 大 8
最近英國の海外放資に就て（銀行通信錄 480） 昭 1
最近の英獨米三國の短期資金移動狀況（銀行通信錄 559） 昭 7
最近頓に問題にされて來た米資の英國侵入（中外財界 4-8） 昭 4
昨年中英國に於ける各國の起債額（銀行通信錄 531） 昭 5
1920/26 年英露間國際貸借（調査月報 17-6） 昭 2
1929 年度英國の國際收支（正金週報 14） 昭 5
1932/33 年に於ける英本國の海外投資狀況（經濟月報 6-11） 昭 9
支那幣制改革に躍る英國資本（金融知識 6-6） 昭 10
支那に於ける英國銀行の發達（滿蒙實業彙報 100） 大 12
對外放資解禁問題と英國（ダイヤモンド 13-34, 36） 大 14
中國と英米の接近—銀借款，銀プール其他（金曜會パンフレット 49） 昭 5

イ ン ド

シ ラ ス 印度に於ける金と英國資本（調査月報 20-2） 昭 5
田 中 金 司 印度に於ける外資輸入問題（國民經濟雜誌 40-4） 昭 1
印度に於ける金と英國資本（調査月報 20-2） 昭 5

カ ナ ダ

加奈陀に於ける英米資本の現況（海外經濟事情 3） 昭 3

キ ュ ー バ

長 田 三 郎 米國の對玖馬投資とその影響（經濟論叢 38-1） 昭 9

滿 洲 國

青 木 得 三 何故に對滿投資を抑制する（外交時報 728） 昭 10
井 村 薰 雄 自由なる活動を要求する滿蒙に於ける我巨額の投資（東亞 5-2） 昭 7
石 川 進 佛投資團の對滿投資申出（東洋 36-11） 昭 8
石 川 鐵 雄 對支新借款團と滿蒙開放（東方時論 5-10） 大 9
加 藤 一 雄 支那及滿洲に於ける各國の投資（世界經濟情報 1-4/5） 昭 8
岸 田 英 夫 滿洲國と四國借款團（東洋 36-1） 昭 8
同 滿蒙に於ける外國企業投資の基調に就て（外交時報 699） 昭 9
北 村 忠 夫 對滿投資問題（中外財界 9-3） 昭 9
*北 岡 芳 邑 我滿蒙投資の業績を溫ぬ 昭 6
*小 泉 吉 雄 列國の對滿資本輸出について 滿洲文化協會 昭 7 85 頁 菊
同 列國の對滿資本輸出に就て（滿鐵調査月報 12-10） 昭 7
小 島 精 一 滿洲開發資金の調達策（東洋 35-7） 昭 7
*滿洲國財政部 貿易上より觀たる滿洲國國際收支の將來 新京 昭 10 29 頁 菊
*同 滿洲國國際收支(康德 1) 新京 昭 10 29 頁 菊
松 田 雪 堂 滿蒙借款の現狀と將來（財政經濟時報 19-10） 昭 7
森 野 潤 滿洲經營と資金關係（自由通商 8-10） 昭 10
森 田 久 支那滿蒙に對する日本の投資（邦文の外國雜誌 1-7） 昭 6
村 井 啓 太 郎 資金は自然に流れ來る（新天地 14-4） 昭 9
永 雄 策 郎 對滿投資に關する高橋藏相の意見（農業と經濟 2-4） 昭 10
永 田 久 太 郎 滿洲に於ける事業投資と金銀（協和 2） 昭 2
*日本興業銀行調査課 對滿投資に關する若干の考察 大 8
西 澤 基 一 日本資本と滿洲國土着資本の現狀（經濟時報 6-1） 昭 9
齋 藤 良 衞 滿蒙投資を急げ（外交時報 649） 昭 6
靜 如 日本人在滿洲投資之概況（銀行週報 518） 民 16
澁 谷 禮 治 朝鮮と滿洲との金融關係（朝鮮 216） 昭 8
鈴 木 茂 三 郎 滿蒙新國家と日本の金融資本（改造 14-5） 昭 7
田 畑 僞 彥 滿洲國に於ける外國人投資事情（國際パンフレット通信 621） 昭 8
*太平洋問題調査會研究部 滿洲に於ける各國投資狀況 昭 4
高 田 友 吉 資金招致の七條件（新天地 14-4） 昭 9
*東亞經濟調査局編 對外投資の現狀 附：移民送金並びに貿易外收入〔日本經濟年誌昭和 6 年の內〕 昭 7
富 田 勇 太 郎 日滿金融統制のお話（經濟知識 10-3） 昭 8
*朝鮮銀行調査課 事變後の我が對滿投資額に就て 昭 10〔昭 10 調査 2〕
*同 對滿資金流出入及び投資額推定再論 昭 10〔昭 10 調査 12〕
*同 日滿間の確定資金流出入豫想 昭 10〔昭 10 調査 15〕
愛國投資會社の設立（大連商工月報 213） 昭 8
米國の滿洲國進出運動（支那時報 18-6） 昭 8
米國資本の北滿進出事情（大連商工月報 210） 昭 8
大連銀市場に於ける資本逃避問題（大連商工月報 209） 昭 8
哈爾賓獨逸銀行創立計畫（滿蒙實業彙報 76） 大 10
哈爾賓に於ける各國人投資額及通貨（哈爾賓商業會議所月報 10） 大 11
漫潮たる內地產業資本の北滿躍進（東洋貿易時報 10-12） 昭 9
法國準備在滿投資與北滿工業（北鐵管理局飜譯處編輯科 譯）（北滿半月栞 4-20） 大同 2
北滿ビール界へ日本資本の進出（滿洲評論 5-25） 昭 8
北滿に於ける米國の投下資本（日滿經濟 4-10） 昭 10
北滿に於ける米國資本（哈爾賓日本商工會議所 北滿經濟月報 10） 昭 10
北滿に於ける米國投資活動（滿日調査通報 9） 昭 8
北滿に於ける佛國資本（北滿經濟月報 12） 昭 10
北滿に於ける歐洲三大國の投資狀態（露西亞事情 224） 昭 8
北滿に於ける波蘭資本の現況（北滿經濟月報 14） 昭 10
北滿に於ける列國の投資（支那時報 18-4） 昭 8
北滿に於ける諸外國人の投資額（東洋貿易時報 6-18） 昭 5
香港上海銀行の北滿進出（滿蒙實業彙報 84） 大 11
佛國の對滿投資調査（支那 24-10；支那時報 19-4） 昭 8

佛國對滿投資團代表の活動（支那時報 19-5） 昭 8
フランス投資團の活動（協和 109） 昭 8
各國の對滿投資熱（國際評論 2-12） 昭 8
北滿洲に於ける英國資本（北滿經濟月報 4） 昭 10
呼海鐵道の借款設（滿蒙事情 115） 昭 6
滿蒙に於ける日本の投資額（大連商工月報 203） 昭 7
滿蒙に投資された我國の資本（〔上海〕經濟月報 194） 昭 7
滿蒙の經濟機構と之を繞る列國の資本戰（東亞 5-3） 昭 7
滿蒙投資と其の障害（エコノミスト 10-15） 昭 7
滿洲貿易の發達と列國の投資（大連商工月報 203） 昭 7
同（內外商工時報 20-10） 昭 8
滿洲貿易と滿洲への投資（エコノミスト 11-3） 昭 8
滿洲開發と資金調査機構（滿日調査通報 11） 昭 8
滿洲國國際收支を評す（東洋經濟新報 1677） 昭 10
滿洲國に進出する內地資本の分野（經濟情報 8-16） 昭 8
滿洲に於ける日本の地位——一來人の觀たる滿鐵借款問題（東洋貿易研究 7-3） 昭 3
滿洲の貿易と滿洲への投資〔リットン報告書經濟文書續稿〕（エコノミスト 11-3/4） 昭 8
滿洲の貿易と列國の投資（支那時報 17-1） 昭 7
內地の資本家はどんな事業に投資すべき乎（滿洲經濟時報 262） 昭 7
內地資本の滿洲國進出（大連商工月報 225） 昭 9
內地資金の對滿流入（滿洲經濟時報 142） 昭 9
熱河省に於ける外國資本の營業狀況（滿鐵調査月報 14-6） 昭 9
日本資本の滿洲進出（支那時報 20-6） 昭 9
日本資本の進出（滿洲評論 5-25） 昭 8
日佛協同對滿投資計畫（支那時報 19-5） 昭 8
列國の滿洲國投資具體化（銀行通信錄 574） 昭 8
列國の對北滿投資額（エコノミスト 10-21） 昭 7
列國の對滿經濟進出（支那 24-12） 昭 8
列國の對滿資本輸出に就て（滿鐵調査月報 12-10） 昭 7
列國の對滿投資（上海 921） 昭 9
列强の對滿投資計畫（外交時報 694） 昭 8
列强の對滿投資と貿易額（支那時報 20-3） 昭 9
列强資本家の滿洲進出（支那時報 20-6） 昭 9
最近 3 箇年の對滿投資（大連商工月報 253） 昭 10
世界各國在北滿之投資情形及滿洲與各國間之貿易的關係（中東半月栞 3-21/22） 大同 1
世界恐慌下に呻吟するアメリカ資本の對滿野心（東亞 5-2） 昭 7
資本進出の第二段（大連商工月報 214） 昭 8
資本輸出地としての滿洲（エコノミスト 10-19） 昭 7
支那及滿洲に於ける各國の投資（世界經濟情報 1-4） 昭 8
支那資本團の滿洲進出（經濟滿日 21） 昭 9
支那資本滿洲に陸續進出（銀行通信錄 579） 昭 9
支那資本滿洲進出運動（外交時報 705） 昭 9
支那資本の滿洲進出運動（支那時報 20-5） 昭 9
新事業勃興で內地資金流入顯著（大連商工月報 218） 昭 8
上海銀行團進出（奉天商工月報 306） 昭 6
對滿投資には金銀兩建採用（滿日調査通報 16） 昭 8
對滿投資の現狀と今後（經濟情報 9-23） 昭 9
對滿投資の增加と資本市場の態度（ダイヤモンド 23-31） 昭 10
對滿投資所見（經濟滿日 21） 昭 9
對滿投資と貿易（財界觀測 19-3） 昭 10
對滿投資と國際貸借（電通經濟週報 2-9） 昭 10
對滿投資統制に就て（エコノミスト 13-3） 昭 10
低資輸入運動の經過顚末（滿蒙經濟時報 115） 大 11
調整を要する對滿投資（金融知識 6-3） 昭 10
我對滿投資の現狀——政府の對滿政策確立を望む（東洋經濟新報 1625） 昭 9
財閥の滿洲融資（ダイヤモンド 20-13） 昭 7
重大な危機に曝された滿蒙の邦人と投資（中外財界 3-12） 昭 3

メキシコ

米國の對墨投資狀況（移民情報 3-4） 昭 6
墨國に於ける農業投資希望者に對する注意事項（通商公報 861） 大 10
列强の墨西哥投資（調査月報 12-7） 大 11

オランダ

木全省吾　蘭領東印度に於ける國際投資に就て（山口高商調査課時報 4-3） 昭 7
*臺灣總督府官房　蘭領東印度に於ける外國人の投資 昭 1〔南支那及南洋調 128〕
獨蘭借款成立〔漢堡總領事報告〕（通商公報 803） 大 10

和蘭の對佛貸付（海外經濟彙報 5） 昭 9
列國投資狀況—蘭領東印度（通商公報 1106） 大 12
スマトラ農業に對する外國投資〔支那及南洋情報〕（臺灣時報 123） 昭 5

オーストラリア

外國起債に關する濠洲政府の新政策（調査月報 17-11） 昭 2

ポーランド

北滿に於ける波蘭資本の現況（北滿經濟月報 14） 昭 10

ロシア

*外務省情報部　露西亞に於ける外國資本 大 12 38 頁
廣岡光治　日露關係の整調〔對露クレヂット設定問題〕（外交時報 639） 昭 6
井上悌雄　對露クレヂットを卽時設定せよ（財政經濟時報 18-1） 昭 6
千卓譯　俄國對華投資（新亞細亞 8-3） 民 23
ミハレーウィッチ，エ・ヴ　露國經濟界に於ける外資（調査月報 9-7） 大 8
森須次郎　露國農業と外債償還（國家學會雜誌 33-2） 大 8
小川德一　對露クレヂット問題（研究論集 4-2） 昭 6
ローゼンシュタイン，ヂョセフ　米國の對ソ信用問題（經濟研究—經濟研究社 3-8） 昭 10
鈴木亮三　露國の農業と外債償還力（商業及經濟研究 14） 大 8
玉置房一　米國資本家の露國進出（外交時報 619） 昭 5
ヴィアトール　ロシアの對外負債と支拂能力（國際パンフレット通信 501） 昭 7

獨逸の對露投資事業（朝鮮銀行月報 13-9） 大 11
英國の對露投資企業（朝鮮銀行月報 13-3） 大 11
舊ロシヤの債務問題（國際事情 436） 昭 10
列國對露債權額（調査月報 13-1） 大 12
露國に於ける外國資本に就て（哈爾賓商業會議所月報 4） 大 11
露國に於ける外資企業（朝鮮銀行月報 12-11） 大 10
露國の外債廢棄と債權諸國の對策（經濟資料 5-1） 大 8
1920/26 年英露間國際貸借（調査月報 17-6） 昭 2
1931 年度ソヴエト聯邦國際收支（正金週報 15） 昭 7
對露クレヂット問題（商工月報 7-6） 昭 6
對露クレヂット問題を各國はどうして居るか（國際パンフレット通信 419） 昭 6
東支鐵道對露西亞銀行關係斷絕（調査時報 5-4） 大 14

支那

安東不二雄　支那關稅金建實施と外債償還基金（內外調査資料 2-5） 昭 5
馬寅初　如何使用上海遊資及外國餘資流入內地以爲復興農村之準備（銀行週報 860） 民 23
同　利用外資的三種方法（中山文化教育館季刊 1-1） 民 23
同　利用外資方式中之華洋合資問題（銀行週報 882） 民 24
ブラックスリー，エイ・ケー　支那に對する列國の投（國際パンフレット通信 448） 昭 6
土井章　最近支那の外債と新借款の意義（支那 24-11） 昭 8
魏友棐　錢業不參加小借款銀團之討論（錢業月報 15-4） 民 24
吳覺農　日本對華投資與貿易侵略（國際貿易導報 2-11） 民 20
濱田峯太郎　對支銀借款問題に絡んで一銀價對策の批判（上海週報 863） 昭 6
濱口雄幸　支那の借款問題（大阪銀行通信錄 263） 大 8
樊季子　我國利用外資之過去與將來（東方雜誌 31-5） 民 23
牟澤玉城　對支借款問題（外交時報 435） 大 11
原勝　米國の在支經濟勢力の解剖（東亞 7-12） 昭 9
服部文四郎　銀價の暴落と對支銀貨付問題（外交時報 629） 昭 6
樋口弘　列國對支投資の新動向（ダイヤモンド 23-29） 昭 10
平野一郎　米國資本の招商局乘取問題（新天地 13-2） 昭 8
彭學沛　中國與外國間貨借關係（銀行月刊 7-1） 民 16
方秋葦　利用外資之檢討（中國經濟 2-7） 民 23
堀江歸一　對支借款問題と日支經濟關係（中央公論 34-7） 大 8

福田省三 レーマー：支那に於ける外國投資に就て（支那研究 32） 昭 8
船津辰一郎 國民黨の黨是と在支外人の投資事業（外交時報 601） 昭 5
馮肇樑 日本對華投資及其國貨之調查（錢業月報 7-8） 民 16
稻原勝治 尖銳化せる弗の東漸—支那の外資輸入（支那 22-1） 昭 6
石川鐵雄 對支新借款團と滿蒙開放（東方時論 5-10） 大 9
石塚忠 支那の阿片事業と外國投資に就て（國際パンフレット通信 596） 昭 8
一宮房次郎 對支新借款團の提議 （支那 10-11） 大 8
*伊藤文吉 支那に於ける列強の經濟的關係 京都 大 12 270 頁 四六 〔政治研究 6〕
泉哲 中華民國の借款政策（外交時報 671） 大 9
夏頌聲 外人在華投資設廠應絕對加以限制（錢業月報 11-4） 民 20
干卓 譯 俄國對華投資 （新亞細亞 8-3） 民 23
神戸正雄 資本家の日支協同 （時事經濟問題 42） 昭 1
金子二郎 國民政府の財政難と外資の輸入（支那 24-11） 昭 8
金内良輔 支那の借款整理と滿洲の鐵道問題（東方公論 6-1） 昭 6
加藤一雄 支那及滿洲に於ける各國の投資（世界經濟情報 1-5） 昭 8
河津暹 支那借款問題（國家學會雜誌 33-7） 大 8
胡漢民 米支銀借款問題に就て （支那時報 14-3） 昭 6
侯厚培 日人在華之鐵路投資及其侵略政策（國際貿易導報 2-11） 民 20
同 日本對華企業投資及其內容之解剖（經濟學季刊 3-1） 民 21
胡叔仁 評歐士實擬貸生銀與中國（錢業月報 10-12） 民 19
小島精一 對支投資戰の激化 （國際知識 14-11） 昭 9
瞿荊洲 英美日三國對於中國金融之策動（新中華 3-9） 民 24
久保田賢一 啓發されんとする滿蒙の沃野は邦人の移住よりも邦資の投下（日華の貿易 2-2） 大 12
戈公振 日人控制下的東北金融 （時事月報 7-3） 民 21
蘆然 外國銀行在我國之勢力與侵略（錢業月報 13-6） 民 22
蘆然 如何利用外資 （錢業月報 13-7） 民 22
邱瑾 Remer, C. F： 華僑滙款與中國國際收支平衡 （工商半月刊 7-13） 民 24
*滿鐵庶務部調查課 各國の對支投資機關 昭 3 〔パンフレット 39〕
*同 支那の對外政治借款 昭 4 296 頁 〔滿鐵調查資料 112〕
*同 支那の對外交通政治借款 昭 5 〔滿鐵調查資料 140〕
松田雪堂 滿蒙借款の現狀と將來（財政經濟時報 19-10） 昭 7
松本忠雄 支那債務整理會議—日本の財界の運命を支配する（東洋 34-1） 昭 6
明養 國際對華投資的分析 （生活 8-35） 民 22
三宅靜一郎 支那に於ける外國投資 （支那 25-1） 昭 9
森次勳 在支列強資本的研究 （國際評論 3-4） 昭 9
森田久 支那滿蒙に對する日本の投資（邦文の外國雜誌 1-7） 昭 6
村田孜郎 米國對支投資の研究 （支那 22-3） 昭 6
長岡克曉 低資の對支融通を中止せよ（エコノミスト 2-10） 大 13
*長野朗 支那を舞臺とする列國資本戰 東京 支那問題研究所 昭 3 223 頁 菊
同 列國の對支投資（日本讀書協會會報 92） 昭 3
*根岸佶 支那に於ける國際財團 大 13 〔復興叢書 3〕
同 對支銀借款と幣制改革（大學と社會 1-1） 昭 6
蛯川新 對支四國借款團と日本の利害（外交時報 396） 大 10
西澤英一 支那財政の整理と外債（財政經濟時報 10-5） 大 12
岡野一朗 支那に於ける外國金融資本（國際知識 8-5/6） 昭 3
同 支那に於ける國際資本戰の動向（外交時報 623） 昭 5
岡部三郎 日支國交上障礙の一たる西原借款（外交時報 655） 昭 7
同 對支借款整理方針の再認識（外交時報 712） 昭 9
大村達夫 北支に於ける列國の投資（經濟往來 9-8） 昭 9
大山卯次郎 注目すべき支那の銀借款問題（支那 22-3） 昭 6

*北京銀行公會 四國新銀團往來函件 民 10
雷嘯岑 國際資本戰在中國的近況（時事月報 4-1） 民 20
*レーマー, シー・エフ 列國の對支投資 東亞經濟調查局譯 3 卷 昭 9 255, 193, 286 頁 菊 〔經濟資料通卷 188/90〕
I. 總論—外國の投資及び支那の國際經濟—金融的地位 1. 緒論 2. 支那の人口及び資源 3. 傳統的支那 4. 現代的經濟關係 5. 支那に於ける外國投資の一般的描寫 6. 事業投資の概觀 7. 事業投資の意義 8. 支那政策の外債 9. 外國の投資と國際貸借 10. 華僑よりの送金 11. 貿易及び正貨移動 12. 支那の國際貸借 13. 支那の國際的經濟的地位 14. 結論
II. 各國篇 15. 支那に於けるアメリカの投資 16. 支那に於けるイギリスの投資 17. 支那に於ける日本の投資 18. 支那に於けるロシアの投資 19. 支那に於けるフランスの投資 20. 支那に於けるドイツの投資 21. 支那に於けるベルギー, オランダ, イタリー及びスカンディナヴィア諸國の投資
李權時 外國幾近的國際收支均衡（銀行週報 826） 民 22
李紫翔 我國利用外資之過去與將來（東方雜誌 31-5） 民 23
李史翼・陳湜 列強對華投資的爭奪戰發端（世界月刊 4-3） 民 19
李自牧 譯 外國資本在中國基本工業上的地位（社會雜誌 1-2） 民 20
リー, ジョージ・ブロンソン 共匪, 土匪, 軍閥私鬪の現狀に於て支那は外款救濟の見込なし—米國の銀借款說を否認す（新天地 11-5） 昭 6
林志臬 日本投資東北鳥瞰 （經濟月刊 3-4） 民 20
佐々間貞次郎 借款から見た支那の現狀（北京週報 351/52） 昭 4
佐々弘雄 中國國際借款問題—胡漢民氏の失脚に關聯して （エコノミスト 9-6） 昭 6
*佐藤貞次郎 列國の對支投資 東京 東亞經濟調查所 昭 10 779 頁 菊
靜軒 譯 國際在華資本戰之轉變（國聞週報 7-5） 民 19
世界經濟批判會 支那にのびる列強資本の觸手—支那に於ける資本の支配機構（中央公論 47-4） 昭 7
子明 中國國際貸借之悲觀 （銀行週報 768） 民 21
志立鐵次郎 支那投資方針革新の要（財政經濟時報 7-5） 大 9
清水文之輔 新借款團と支那改造（東京經濟雜誌 2058） 大 9
清水溫三 再燃せる英國の借款政策（上海時論 3-6） 昭 3
宗質俊 外籍銀行在我國之勢力（經濟學季刊 2-3） 民 20
滄水 四國銀行團對華之最近宣言：四國銀行團對華宣言之臆測 （銀行週報 314） 民 12
葬 對華投資與利用外資（錢業月報 10-10） 民 19
孫懷仁 中國利用外資之研究 （申報月刊 4-1） 民 24
スフォルサ 支那の工場と歐米資本家（國際事情 326） 昭 7
朱家驊 從外資侵入觀察列強在華之經濟勢力（中國經濟 2-5） 民 23
周君猛 東北的國際投資戰與東北事變的各國對華政策（先導 1/3） 民 21/22
朱捘 德國實業聯合投資中國之計劃及其批評（東方雜誌 28-11） 民 20
田場盛義 最近に於ける列強の對支投資（東亞 6-3） 昭 8
*高木陸郎 上海を中心とする列國の投資狀態〔上海事變の經過の內〕 昭 7
高木富五郎 今後の對支投資と支那の現實（東亞 4-2） 昭 6
田中九一 列國最近の對支投資戰 （經濟 1-4） 昭 9
谷瀨平文 國民政府の制定せる「應用外國技術資本辦法」の意義（滿洲評論 2-25） 昭 7
陳迹 日本資本在華的支配機構（時事月報 11-8） 民 23
陳素之 在中國領土內的列強資本戰（社會雜誌 1-1） 民 20
戸田海市 支那投資の國際的共同 （經濟論叢 9-1） 大 8
同 支那の產業に對する投資（經濟論叢 16-6） 大 12
トルガショーフ 支那に對する外國の借款連合 （東洋 26-8/12） 大 12
土屋計左右 中華民國の國際貸借 （東亞 5-9） 昭 7
張漢 譯 在華列強資本的研究（中國經濟 2-5） 民 23
趙惠謨 從金融方面觀察各國在華之經濟勢力（中國經濟 2-5） 民 23
仲英 中國農業的衰落過程與國際資本戰（世界雜誌 1-2） 民 20
宇蒼 借入外資之我見 （錢業月報 11-1） 民 20
內池廉吉 支那投資の方針 （外交時報 364） 大 9
山鹿彥一 支那に於ける國際資本戰の話（經濟知識 12-1） 昭 9
山成喬六 西原借款を中心にして（エコノミスト 7-4） 昭 4

余 醒 民 支那國際收支均衡問題（支那 **26**-9）昭 10

吉田 高次 米國の對支銀借款問題 （上海週報 864）昭 6

吉野 作造 西原借款の不始末（中央公論 **41**-1）昭 1

善生 永助 支那投資と新借款團問題（財政經濟時報 **6**-7） 大 8

米國銀行團の對支發展（支那 **10**-7） 大 8

米國の對支貿易及投資（大連商工月報 185） 昭 6

米國の對支產業投資と政治借款（東洋貿易研究 **12**-12） 昭 8

米國の對支單獨借款（支那 **11**-5） 大 9

米國の對支投資 （政治經濟時論 **6**-3） 昭 6

米國對支銀借款運動（金曜會パンフレット 50）昭 5

米支借款說の再燃 （支那時報 **17**-4） 昭 7

美國對東方投資額（工商半月刊 **3**-5） 民 20

獨支債務決濟問題の眞相（支那 **15**-7） 大 13

英國金貨拂債券の支那通貨に對する判決に就て（調査月報 **23**-2） 昭 8

英國の對支クレヂット運動と日本の立場 （エコノミスト **13**-30） 昭 10

英國の對支政治及經濟投資 （東洋貿易研究 **12**-11）昭 8

英國の對支投資とリースロス卿の訪支目的（國際思潮 25） 昭 10

外國在華投資與商品輸入之發展及其影響（中行月刊 **7**-2） 民22

外國人の支那に於ける投資概觀 （臺灣時報 125）昭 5

外人在華商業投資概觀（工商半月刊 **6**-17） 民 23

銀價對策としての對支銀融問題（東亞 **4**-2） 昭 6

銀行團の由來及其經過の回顧（銀行週報 272）民 12

排日と日支資本提携（東京經濟雜誌 2134） 大 12

發表されたる借款契約（支那 **10**-8） 大 8

比荷意及北歐諸國在華投資 （工商半月刊 **6**-24）民 23

法國在華的投資（工商半月刊 **6**-14） 民 23

佛支新鐵道借款成立（支那時報 **17**-4） 昭 7

各國在華投資之概況〔南〕（錢業月報 **10**-10） 民 19

華僑滙款減少（銀行週報 876） 民 23

金銀風潮與借款問題（國聞週報 **8**-8） 民 20

購車借款に關する支那銀行團の聲明 （上海 414）大 10

またまた持ち上つた對支銀借款運動（金曜會パンフレット 53） 昭 6

南京政府の幣制改革と英國の對支クレヂット問題〔南京山人〕（海運 163） 昭 10

*南洋の支那銀行 大 9〔臺灣銀行調査彙報 2〕

日本在華之重要工業投資及其勢力 （工商半月刊 3-22） 民 20

日英兩國の對支投資額（支那時報 **20**-3） 昭 9

歐米列强の對支活動（支那時報 **21**-1） 昭 9

ラモント最近宣布對支新銀團の趣旨 （銀行月刊 2-2） 民 11

列國の支那に投資したる鐵道の現狀 （商工月報 5-7） 昭 4

*列國の對支企業投資〔支那近代の政治經濟の內〕昭 7

列國の對支舊債回收問題（支那時報 **20**-6） 昭 9

列國の對支產業投資（東洋貿易研究 **12**-10） 昭 8

列國の對支投資（中央公論 **49**-5） 昭 9

政府が華僑の投資を奬勵 （東洋貿易時報 8-44）昭 7

1931年度支那の國際貸借（支那 **23**-10） 昭 7

支那幣制改革に躍る英國資本（金融知識 **6**-6）昭 10

支那建設銀公司設立問題（外交時報 706） 昭 9

支那に於ける亞米利加銀行增設の可否論（調査時報 **6**-7） 昭 1

支那に於ける米國と列國の投資額 （東亞驛譯通信 41） 昭 6

支那に於ける獨逸の投資 （〔上海〕經濟月報 **8**-10）昭 9

支那に於ける英國銀行の發達 （滿蒙實業彙報 100）大 12

支那に於ける外國資本（東亞驛譯通信 134） 昭 8

支那に於ける邦人企業投資額（工業 59） 昭 6

支那に於ける國際財團 〔小沿革〕（經濟資料 **14**-9）昭 3

支那に於ける列國の投資 （政治經濟時論 **8**-11）昭 8

支那に於ける投資の新傾向 （東亞驛譯通信 46）昭 6

支那に於ける優先權付借款（支那 **10**-19） 大 8

支那に對する列國の投資：附錄 ケロッグ不戰條約，支那に關する九ヶ國條約（國際パンフレット通信 448） 昭 6

支那に對する主要國の投資狀況（ダイヤモンド **20**-11；資源 **1**-3） 昭 7

支那に投下されたる列國の資本及企業 （國際知識 **10**-11） 昭 5

支那の國際貸借關係（〔上海〕經濟月報 96） 昭 9

支那資本團の滿洲進出（經濟滿日 21） 昭 9

支那資本滿洲に陸續進出（銀行通信錄 579）昭 9

支那資本滿洲進出運動（外交時報 705） 昭 9

支那資本の滿洲進出運動（支那時報 **20**-5） 昭 9

新銀團目的與中國人民之心理解剖 （銀行週報 183）民 10

新四國借款團の成立に就て （東京經濟雜誌 2056）大 9

新借款團の目的（支那 **11**-11） 大 9

新借款團と我國の地位（東洋經濟新報 852） 大 8

上海銀行團進出（奉天商工月報 306） 昭 6

對支大借款はどうなる一更に又一つ對支借款，其後の各借款の成行，對支借款の正體，支那側の態度及意嚮（金曜會パンフレット 54） 昭 6

對支銀貸付に就て（東亞 **4**-2） 昭 6

對支銀行團の醵明（支那 **14**-7） 大 12

對支銀行團の整理案（上海 540） 大 12

對支銀借款案行惱み（外交時報 629） 昭 6

對支共同援助に帝國は斷然反對（天津經濟新報 **14**-14） 昭 9

對支新借款團の成立（支那 **11**-2） 大 9

對支新借款團の組織（支那 **10**-17） 大 8

對支新借款團成立の影響如何（東京經濟雜誌 2006）大 8

對支新借款團成立の經過（外交時報 395） 大 10

對支新借款團成立の裏面（支那 **13**-8/9, 12） 大 11

對支新借款團組織（銀行通信錄 404） 大 8

對支借款團と米國の要求（支那 **10**-15） 大 8

對支借款團と新業上の機會均等（支那 **11**-2） 大 9

對支借款概要 （漢口實業週報 364/72） 大 11

對支借款問題 （金曜會パンフレット 54） 昭 6

對支借款を中心として觀たる銀對策（大連商工月報 190） 昭 6

對支借款整理の經過（ダイヤモンド **23**-20） 昭 10

對支投資機關並に主要投資（支那 **10**-1） 大 8

天津大公報 海外僑胞回國投資（國聞週報 **7**-29）民 19

德國在華的投資（工商半月刊 **6**-16） 民 23

中國建設銀公司の創立經過內容とその諸意義（東亞 **7**-8） 昭 9

中國建設銀公司正式成立（銀行通信錄 581） 昭 9

*中國に於ける列國資本の對立〔日本經濟年報 7 の內〕 昭 7

中國に於ける列强投資と烏瞰（上海 **12**-8） 昭 9

中國と英米の接近一銀借款，銀プール其他（金曜會パンフレット 49） 昭 5

中法實業銀行旅滬中國借權團成立（銀行月刊 **1**-12；銀行週報 **5**-45） 民 10

我國的國際貸借關係（工商半月刊 **6**-17） 民 23

在支米國銀行の發展（上海 542） 大 12

在支外國銀行の營業成績 （朝鮮銀行月報 **14**-5）大 12

在支外國銀行の概觀（海外經濟彙報 9） 昭 10

スウェーデン

瑞典の資本輸出入（調査月報 **17**-4） 昭 2

ス イ ス

外資遁入に惱むスイス銀行界（財界要報 118） 昭 7

瑞西の國際貸借と外國の貸付（調査月報 **18**-8）昭 3

瑞西 1926 年國際貸借（調査月報 **18**-1） 昭 3

5. 戰債及賠償金

i. 一 般

阿部 勇 ローザンヌ會議—その意義と展望（エコノミスト **10**-13） 昭 7

阿部賢一 國際モラトリアム提案（エコノミスト **9**-13） 昭 6

蔦 盧 戰債問題與賠償問題（銀行週報 706/07） 民 20

圓地與四松 ローザンヌ會議の意義と業蹟（經濟往來 **7**-8） 昭 7

同 ローザンヌ會議と戰債賠償問題（國際パンフレット通信 512） 昭 7

服部文四郎 フーヴァーモラトリアムの本質と其の影響（早稻田政治經濟學雜誌 23）昭 6

林 毅陸 フーヴァー提案を中心として （三田評論 408） 昭 6

土方成美 世界恐慌と國際モラトリアム（改造 **13**-8） 昭 6

本多熊太郎 モラトリアム問題は佛國外交の勝利—歐洲の安定は前途遼遠（外交時報 641） 昭 6

堀越鐵藏　賠償及戰債支拂延期の提案に就いて（ダイヤモンド 19-20）昭 6

澤澤甲子男　國際モラトリアムと賠償戰債の棒引（外交時報 640）昭 6

稻原勝治　ローザンヌ會議を打診する（外交時報 663）昭 7

岩崎博　對獨賠償及對米戰債問題の經過（銀行研究 24-5）昭 8

金子鷹之助　戰債賠償問題と世界恐慌史の發端（關東學院商學 1）昭 9

春日井薫　賠償金戰債支拂と國際決濟銀行（明大商學論叢 10-4）昭 6

小島精一　フーヴァ・モラトリアムの役割とその効果に就て—米國の立場を中心としての考察（世界經濟 2）昭 6

*クーチンスキー, アール　ドーズ案實施ノ一年 東京大 15　23 頁〔邦文パンフレット通信 30〕

牧野輝智　戰債及賠償金猶豫と世界景氣（外交時報 639）昭 6

松本重治　賠償問題をめぐりて—戰債モラ宣言の政治的側面（經濟往來 6-8）昭 6

松村光三　賠償金及戰債猶豫問題（大學と社會 5）昭 6

メルツ, チャールス　賠償戰債及び獨逸の財政（外國の新聞と雜誌 254）昭 6

三宅嘉十郎　ドーズ案の實施と財界の前途（銀行研究 7-3）大 13

問漁　十二年來國際賠款及戰債問題（人文月刊 2-6）民 20

森賢吾　フーヴァの提案と獨逸の恐慌（財政經濟時報 18-8）昭 6

同　・他　國際モラトリアムの本質と世界經濟への影響（東洋經濟新報 1457）昭 6

西村熊雄　ローザンヌ賠償會議（國際知識 12-8）昭 7

西野入愛一　フーヴァ案の經濟的效果並にヤング案との關係（外交時報 639/40）昭 6

同　フーヴァー・モラトリアム（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

新渡戸稻造　フーヴァー提案の與ふる教訓（實業之日本 34-16）昭 6

*野村合名會社調査部　ドーズ案を中心として 大 13

小汀利得　戰債賠償の猶豫と世界景氣（外交時報 639）昭 6

大石利德　戰債, 賠償金猶豫問題（產業組合 310）昭 6

*岡野鑑記　賠償及戰債問題 東京 森山書店 昭 7　627 頁　四六

1. 賠償問題の發生　2. 賠償問題　3. 獨逸貨幣制度の崩壞とマルクの安定　4. ドウズ案とマッケナ報告　5. ドウズ案の實施と獨逸の財政及經濟　6. 賠償支拂能力問題　7. ヤング案　8. 東方賠償問題　9. 戰債問題　10.（續）　11. 國際モラトリアム　12. モラトリアム下の世界恐慌と賠償及戰債問題の將來

同　戰債賠償問題はどう解決されるか（經濟往來 8-7）昭 8

同　戰債及賠償問題（金融大辭典 II 卷 5 頁）昭 9

奥野平　フーヴァモラトリアムとは—時事經濟問題の解說（銀行論叢 17-2）昭 6

*大藏省理財局　戰債支拂と賠償支拂との關係 昭 6〔計數上の調査資料〕

大竹虎雄　戰債賠償問題と國際經濟會議（斯民 28-5）昭 8

大山卯次郎　米國大統領の提案と其の波紋（外交時報 639）昭 6

*陸軍省官房　米國提案三分の一軍縮案に絡む賠償戰債問題に就て 昭 7

笠信太郎　賠償問題の現段階—賠償戰債モラトリアムは何をもたらすか（中央公論 46-8）昭 6

平貞藏　フーヴァー案と佛蘭西（世界經濟 2）昭 6

高木信威　ローザンヌ會議（その投機性と未收穫問題）（外交時報 664）昭 7

竹村豐太郎　ロイド・ヂョーヂ著：賠償金及戰債の眞相（商學論叢 5）昭 7

*東京商工會議所編　賠償及戰債支拂猶豫問題と世論 東京 同所 昭 6　47 頁　菊

津島壽一　戰債賠償問題と世界經濟（生命保險經營 3-錄附 2）昭 6

仲旅　戰債與賠款問題（銀行週報 708/10）民 20

渡邊鐵藏　フーヴァー・モラトリアム案の効果（外交時報 641）昭 6

山室宗文　戰債賠償支拂猶豫と世界經濟〔賠償問題をめぐりて〕（經濟往來 6-8）昭 6

山內正瞭　賠償及び戰債の過去現在及將來（拓殖大學論集 2-1）昭 6

*山崎靖純　フーヴァ景氣はどうなる—ドイツ賠償戰債問題の解剖 昭 6　123 頁　四六

柳澤愼之助　ローザンヌ會議と其後に來るもの（外交時報 665）昭 7

*横濱正金銀行頭取席調査課　（ドーズ）案から（ヤング）案まで 昭 4〔調査報告 72〕

米田實　米國戰債の棒引如何—「英獨會商と賠償問題」（外交時報 640）昭 6

米田實　ローザンヌ協定に接して（外交時報 664）昭 7

ジェームス, エドウィン・エル　獨逸の賠金と聯合國の債務（外國の新聞と雜誌 243）昭 6

同　戰債, 賠償金問題の現在はどうなつてゐるか（國際パンフレット通信 429）昭 6

*全國經濟調査機關聯合會　戰債賠償問題に就て（津島壽一）昭 6　29 頁　菊

賠償問題と戰債モラトリアムの經過（國際資料 1-1）昭 6

賠償及戰債國際會議に關する英佛意見交換申入（海外經濟事情 5-1）昭 7

賠償戰債問題（エコノミスト 9-13; 10-2, 4/9, 12/15）昭 6/7

賠償, 戰債モラトリアム（藤本アナリスト 5-7）昭 6

賠償戰債の棒引問題（エコノミスト 9-13）昭 6

賠償と戰債問題（外國の新聞と雜誌 185）昭 4

賠償と戰債の成行（外國の新聞と雜誌 259）昭 7

米大統領の賠償戰債支拂猶豫提唱（エコノミスト 9-13）昭 6

米大統領のモラトリアム提案と獨逸金融恐慌（大阪銀行通信錄 408）昭 6

米佛協定成る—モラトリウム交涉（外交時報 639）昭 6

米國大統領の戰債並に獨逸賠償金支拂猶豫提案（銀行通信錄 546）昭 6

フーヴァー案に對する各國の論調（邦文の外國雜誌 1-7）昭 6

フーヴァ提案と財界人の意見（ダイヤモンド 19-21）昭 6

イギリスの賠償及び戰債觀〔英國エコノミスト〕（世界經濟 13）昭 7

國際モラ課題の展開（エコノミスト 9-14）昭 6

國際モラの價値（竹原經濟時報 54）昭 6

國際支拂延期の提議（ダイヤモンド 19-20）昭 6

何のモラトリアムか？（批判 2-7）昭 6

歐洲主要諸國の對米戰債支拂額と獨逸賠償金受取額（銀行通信錄 533）昭 5

「ローザンヌ」會議の話（經濟知識 8-2）昭 7

ローザンヌ會議の成果（エコノミスト 10-14）昭 7

ローザンヌ會議と中歐諸國の危機（東洋經濟新報 1507）昭 7

迫り來る戰債賠償問題の破局　ローザンヌ會議への展望（財界觀測 12-11/12）昭 7

戰債賠償棒引か世界破局か〔コール「戰債賠償問題」の結論〕（財界觀測 12-12）昭 7

戰債賠償金支拂延期の眞相（財界觀測 11-1）昭 6

戰債賠償金猶豫案の大連錢鈔市場に及ぼせる影響（滿蒙事情 118）昭 6

戰債賠償問題の現在はどうなつて居るか（國際パンフレット通信 429）昭 6

戰債賠償問題を中心とする世界經濟難（京都經濟時報 33）昭 7

戰債と賠償の總關係（中外財報 6-7）昭 6

支拂猶豫提案と內外財界（ダイヤモンド 19-21）昭 6

示されたフーヴァ案（ダイヤモンド 19-21）昭 6

ii. 戰　債

a. 一　般

圓地與四松　戰債問題の動向（經濟往來 8-3）昭 8

グラスゴウ, ジョージ　戰債と軍備（外國の新聞と雜誌 249）昭 6

堀江歸一　歐洲戰債の整理問題（エコノミスト 3-1）大 14

池田了實　戰債支拂猶豫問題と低金利の歸趨（銀行研究 21-4）昭 6

石濱知行　世界の癌・戰債問題（中央公論 48-5）昭 8

小島昌太郎　戰債モラトリアムの協定（經營と經濟 2-2）昭 6

熊田克郎　戰債交涉紛糾と世界經濟逆轉（大阪銀行通信錄 427）昭 8

クレグイッチ, エル　戰債問題（世界情勢 1-1）昭 9

增井光藏　戰債問題の前途（國民經濟雜誌 54-2）昭 8

松本重治　戰債モラ宣言の政治的側面〔賠償問題をめぐりて〕（經濟往來 6-8）昭 6

松永義治　フーヴァ大統領の戰債モラトリアム提議と其の影響（市町村雜誌 451）昭 6

マヂヤール, エル　戰債問題の実銳化（世界經濟恐慌研究 1-3）昭 8

*モルトン　聯合國間債務の起源と現狀 東京 文明協會〔文明協會ニュース 9 輯の內〕昭 4

*日本興業銀行調査課　戰債問題鳥瞰 大 8

小幡淸金　戰債問題の決算的考察（經濟集志 7-1）昭 9

岡野鑑記 最近の戰債問題（商學 10） 昭 8
サイモンド 戰債問題の運命（ダイヤモンド 21-13） 昭 8
田川大吉郎 今後に處するの道 戰債問題（國際知識 12-9） 昭 7
同 戰債と軍縮（國際知識 12-10） 昭 7
高柳松一郎 戰債モラトリアムの世界經濟に及ぼす影響（財界要報 10-5） 昭 6
田中直吉 戰債問題と世界經濟豫備會議（法學論叢 29-5） 昭 8
津島壽一 戰債問題と世界經濟（保險及金融 8-8） 昭 6
張愼修 1933 年之戰債問題（外交月刊 4-1） 民 23
宇都宮鼎 戰債整理問題を論ず（外交時報 484） 大 14
山室宗文 戰債整理と歐洲復興問題（エコノミスト 3-20） 大 14

フーヴァ氏の戰債モラトリアムと物價（臺灣經濟ニュース 22） 昭 6
紛糾する戰債問題（エコノミスト 10-24） 昭 7
最近の戰債問題（國勢グラフ 2-2） 昭 8
世界經濟會議と戰債問題の再燃（ダイヤモンド 20-35） 昭 7
戰債問題の概觀（中外財界 6-7） 昭 6
戰債問題の現狀及びその前途（財界觀測 13-12） 昭 7
戰債問題の再吟味〔勝間田生〕（ダイヤモンド 21-1） 昭 8
戰債問題の実銳化（インタナショナル 7-5） 昭 9
戰債問題をめぐりて（世界經濟 2-2） 昭 8
戰債問題を繞る暗雲（財界觀測 13-11） 昭 7
戰債問題略史（外國の新聞と雜誌 276） 昭 7
戰債問題は何處へ行く〔XYZ〕（財政經濟時報 20-3） 昭 9
戰債モラ景氣の持續性（財界觀測 11-2） 昭 6
戰債と國際貿易（貿易 33-2） 昭 8

b. 各 國 別

日 本

小川鄕太郎 不況の最大癌戰債問題と日本（經濟知識 9-6） 昭 8

アメリカ合衆國

*外務省歐亞局第二課 歐洲諸國ノ對米戰債問題 昭 10 336 頁 菊
生島廣治郎 戰債問題と米國（外交時報 674） 昭 8
町田美一郎 米國に於ける戰債帳消論（三田學會雜誌 27-11） 昭 8
松井七郎 米國の戰債問題に就いて（同志社論叢 44） 昭 9
*日本銀行調査局 米國と戰債 昭 4〔紐育代理店監査役一月三十日附報告〕
小汀利得 對米戰債問題解決と佛國（外交時報 517） 昭 1
大山卯次郎 米國の戰債減額說に就て（外交時報 633） 昭 6
*横濱正金銀行頭取席調査課 米國戰時對外債權整理問題 昭 1〔調査報告 65〕
米田實 米國戰債棒引如何（外交時報 640） 昭 6

米佛協定成る〔モラトリアム交涉〕（外交時報 639） 昭 6
米國戰債と獨逸賠償金の各國分布圖（財界要報 105） 昭 6
英米戰債協議の成行（世界經濟 4-3） 昭 9
最近の戰債問題一主として對米戰債,外貨邦債と電力外債, 農業經營調査（國勢グラフ 2-2） 昭 8
對米戰債支拂所要額（調査月報 24-7） 昭 9

フランス

小汀利得 對米戰債問題解決と佛國（外交時報 517） 昭 1
同 フラン慘落と戰債問題（外交時報 521） 昭 1
*日本銀行臨時調査委員會 佛國の製鐵問題佛國對聯合與國貸附金 大 8
*大藏省理財局 佛蘭西對外戰時債務償還に關する米佛協定 昭 1〔英佛駐劄財務官報告 7〕

米佛協定成る〔モラトリアム交涉〕（外交時報 639） 昭 6

イギリス

フレザー 英國は戰時公債の借換を如何にして行ふべきか（調査月報 17-2） 昭 2

*日本興業銀行調査課 磅戰債と英帝國 大 8〔海外經濟事情報告 55〕

英米戰債協議の成行（世界經濟 4-3） 昭 9

滿 洲 國

李政 戰債緩付後再論東三省宜速行甘末爾金本位制（商業月報 11-8） 民 20

iii. 賠 償

a. 一 般

阿部勇 賠償の終焉？ロザンヌ會議（中央公論 47-8） 昭 7
有澤廣巳 賠償不拂聲明と歐洲の危機（經濟往來 7-2） 昭 7
同 ブリューニングの賠償金不拂聲明と歐洲政局（經濟往來 7-2） 昭 7
ドメジャン 賠償支拂問題に就て（調査月報 19-2） 昭 4
圓地與四松 ローザンヌ會議の意義と業績（經濟往來 7-8） 昭 7
*外務省情報部 金フラン問題と 1901 年の賠償問題 大 13
*外務省條約局 東方賠償問題關係諸協定チエッコスロヴァキア國との協定, 協定債權國間の取極, 埃他利國, ハンガリ國, ブルガリア國 解放債務 昭 7 40 頁 菊〔條約集 175〕
*平尾彌五郎 世界恐慌と賠償問題 東京 大畑書店 昭 7 409 頁 菊
堀江歸一 國際貨借の理論と償金問題（三田學會雜誌 15-7） 大 10
稻原勝治 ローザンヌ會議を打診する（外交時報 663） 昭 7
岩井茂 賠償問題大觀一國際決濟銀行の成立まで（商工經濟研究 6-1） 昭 6
笠川金作 ヤング案と其機構（世界經濟 2） 昭 6
*キディ, アーサー 賠償問題の近情と國際經濟 世界思潮研究會譯 東京 同會 大 12 25 頁〔國際經濟通信 16〕
北崎進 歐洲財界の癌賠償問題の解決（中外財界 4-12） 昭 4
*增井光藏 賠償問題 神戶 寶文館 昭 1 144 頁 附錄 85 頁 菊〔神戶高等商業學校商業研究所叢書 1〕
1. 賠償問題の循環 2. 講和條約の賠償規定 3. 1921 年の倫敦協定 4. 獨逸の賠償支拂能力 5. 歐洲經濟復興問題 6. ゼノア會議 7. 賠償問題の行詰 8. ルール占領問題 9. 賠償問題の進捗 10. ドーズ案 附錄 賠償委員會第一專門委員會報告書
*增井光藏・蠟山政道 賠償問題, 世界恐慌とブロック經濟 東京 日本評論社 昭 7 156 頁, 附錄 96 頁 菊〔現代經濟學全集 29〕
松永義治 フーヴァー大統領の戰債モラトリアム提議と其影響（市町村雜誌 451） 昭 6
森賢吾 賠償最終解決案に就て（外交時報 596） 昭 5
森田久 賠償問題解決と世界復興（外交時報 664） 昭 7
名和統一 賠償問題（經濟學辭典 IV 卷 5 頁） 昭 6
*日本銀行調査課 賠償專門家委員會報告 附：佛國財界近狀（下山元一） 大 13
西村熊雄 ローザンヌ賠償會議（國際知識 12-8） 昭 7
小汀利得 賠償金問題の由來（經濟知識 1-2） 昭 4
岡野鑑記 賠償問題と國際モラトリアム（商學 6） 昭 7
奧田唯輔 アドルフ・ウエバーの賠償問題殊にヤング案及びドイツ國民經濟觀（商業及經濟研究 12-1） 昭 6
*大藏省理財局編 カンヌ會議と賠償問題 大 11
*大藏省理財局 賠償法規 大 14
大竹虎雄 東方賠償問題一獨逸以外の諸國の賠償問題（國際知識 11-4/5） 昭 6
笠信太郎 賠償問題の現段階一賠償戰債モラトリアムは何をもたらすか（中央公論 46-8） 昭 6
*佐々木勝三郎 ドウズ案を中心としての賠償問題の過去及現在 東京 國際聯盟協會 昭 1 345 頁 四六〔國際聯盟協會パンフレット 57〕
世界經濟批判會 賠償問題最近時の發展一バーゼルからバーゼルへ（中央公論 47-3） 昭 7
シャハト, ヒャルマア 賠償問題の新意義（改造 13-9） 昭 6
田川大吉郎 賠償金, 借金, 軍縮, 平和（國際知識 11-8） 昭 6
柳澤愼之助 新賠償協定の成立（外交時報 590） 昭 5
米田實 フーヴァー氏の新提案一英獨會商と賠償問題（外交時報 638/40） 昭 6

賠償會議成功と新協定の內容（東洋經濟新報 1508） 昭 7

賠償會議は何故行詰つたか（エコノミスト **7**-8）昭 4

賠償改訂問題の切實化 外三〔國際經濟の癌賠償問題はどうなる〕（エコノミスト **9**-13）昭 6

賠償金支拂の經濟に及す影響（英國事情 4）大 10

賠償問題—フーヴァー氏の提案（露紙抄譯 82）昭 6

賠償問題決定（外交時報 391）大 10

賠償問題に關する特別諮問委員（國際資料 **2**-1）昭 6

賠償問題の解決（國際法外交雜誌 **20**-6）大 10

賠償問題の解決と世界經濟の前途（東洋經濟新報 1510）昭 7

賠償問題の根本點（外交時報 452）大 12

賠償問題を中心とする國際關係（商工月報 **8**-1）昭 7

賠償再改訂の切實化（エコノミスト **9**-13）昭 6

賠償戰問題—ドウズ賠償案の機構（エコノミスト **10**-6）昭 7

第二次賠償會議の諸問題（エコノミスト **8**-3）昭 5

開かれたローザンヌ賠償會議（エコノミスト **10**-13）昭 7

フーヴァー問題の經過と輿論—賠償問題（ダイヤモンド **19**-21）昭 6

ローザンヌ賠償會議大團圓（商工月報 **8**-7）昭 7

ローザンヌ賠償會議の失敗と其後（財界觀測 **12**-3）昭 7

b. 各　國　別

日　本

名和 統一　日本と賠償問題（商業及經濟研究 57）昭 5

アメリカ合衆國

石濱 知行　アメリカ帝國主義と賠償問題（中央公論 **45**-6）昭 5

前田 幸太郎　米國提案〔獨逸賠償金取立猶豫問題〕の動機と其れの豫想せらるる結果（東洋貿易研究 **10**-9）昭 6

對米戰債の現狀とその前途（東洋經濟新報 1530）昭 7

ドイツ

阿部　勇　ドイツ資本主義の危險と賠償問題（世界經濟 2）昭 6

阿部　勇　緊急命令—賠償問題をめぐるドイツの危機（世界經濟 8）昭 7

有澤 廣巳　フーヴァーは獨逸を守り得るか（經濟往來 **6**-8/9）昭 6

*外務省情報部　對獨賠償問題に關する公文書　昭 1

土方 成美　獨逸賠償問題と世界經濟（經濟學論集 5）昭 6

藤野　靖　本年度獨逸賠償金に就て（外交時報 632）昭 6

生島 廣治郎　獨逸賠償金支拂理論の考察（國民經濟雜誌 **50**-1）昭 6

岩城 忠一　市有化に於ける賠償問題〔獨逸社會化委員會と賠償問題 I〕（內外研究 41）昭 6

カレンダ, ハロルド　フーヴァー案の獨逸に對する意義（邦文の外國雜誌 **1**-8）昭 6

*カール, クノル　獨逸側より觀たる賠償金問題〔日獨文化協會編—日獨文化講演集 7 の內〕昭 6

河內 岩夫　ドイツ賠償問題（拓殖文化 **11**-3）昭 6

*神戶高等商業學校商業研究所　獨逸の賠償能力 大 10〔商業研究所彙報 10〕

*同　獨逸賠償金問題の前途（增井光藏）大 10/11〔講演集 4 の內〕

*神戶商業大學商業研究所　獨逸賠償金支拂理論の考察（生島廣治郎）昭 6 40 頁 菊 講演集 50〕

*同　獨逸の外資輸入と賠償支拂の將來（增井光藏）昭 6〔講演集 51〕

小島 精一　獨逸財界と賠償問題—本邦財界との類似性に觸れて（エコノミスト **9**-11）昭 6

同　獨逸資本主義の危機と賠償問題の前途（東洋經濟新報 1480）昭 7

クラウス, ヨハネス　獨逸の賠償金支拂問題と外國貿易の古典學說（拓殖大學論集 **1**-1）昭 5

前田 幸太郎　米國提案〔獨逸賠償金取立猶豫問題〕の動機と其れの豫想せらるる結果（東洋貿易研究 **10**-9）昭 6

增井 光藏　獨逸の外資輸入と賠償支拂の將來（國民經濟雜誌 **50**-2, 4）昭 6

三谷 隆信　對獨賠償問題の解說（經濟知識 **2**-1）昭 4

森田　久　獨逸賠償額の査定と債券化（外交時報 582）昭 4

*中山 治三郎　獨逸賠償金問題　大 11〔橫濱正金銀行調査課通報號外 9〕

*日本銀行調査局　獨逸賠償問題經過概要（自平和條約締結至「ドウズ」案倫敦協定）附：獨逸支拂額及聯合國分配額（平和條約賠償規定拔萃）東京 同所　大 13 64 頁 菊

*同　獨逸側より看たる賠償改訂問題 昭 4〔獨逸情報 4, 1〕

*同　賠償問題を中心として見たる佛獨關係の推移　昭 6〔佛國經濟報告 6, 3〕

*岡野 鑑記　獨逸の賠償問題〔橫濱高商開校記念論文集の內 50 頁〕昭 2

同　獨逸最近のモラトリアム問題（外交時報 712）昭 9

奧田 唯輔　アドルフ・ウェバーの賠償問題殊にヤング案及ドイツ國民經濟觀（商業と經濟 **12**-1）昭 6

*大藏省理財局　賠償支拂計畫に基く獨逸の賠償金支拂概況—第一回報告　大 10〔英佛駐剳財務官戰後財政經濟報告 25〕

大竹 虎雄　獨逸賠償問題（斯民 **24**-12）昭 4

*同　對獨賠償問題に就て〔日獨文化協會編　日獨文化講演集 7 の內〕昭 6

高木 友三郎　世界恐慌と獨逸賠償問題（外交時報 627）昭 6

*高城 仙次郎　獨逸の償金支拂能力　東京　大 12 110 頁

津島 壽一　對獨賠償最終解決案概說（內外調査資料 5）昭 4

筒井　潔　獨逸賠償問題大觀（國際知識 **9**-3）昭 4

*橫濱正金銀行調査課　巴里會議に於ける獨逸賠償問題（長松宗一）大 10 41 頁〔調査報告 22〕

*同　獨逸賠償問題の經過　大 12

米田　實　ドイツ賠償問題（政經論叢 **6**-3/4：明大創立滿五十年紀念論文集 政治經濟學篇）昭 6

同　英獨會商と賠償問題（外交時報 638/40）昭 6

同　ドイツ賠償問題の一面（東洋 **35**-3）昭 7

同　再燃のドイツ賠償問題（國際知識 **12**-2）昭 7

米國戰債と獨逸賠償金の各國分布圖（財界要報 105）昭 6

ドイツ賠償金棒引論の擡頭（エコノミスト **9**-5）昭 6

獨逸賠償免除論（外交時報 403）大 10

獨逸賠償問題經過の大要（銀行通信錄 520）昭 4

獨逸賠償問題に就て（財界研究 **6**-5）昭 4

獨逸賠償問題の飛躍的展開（ダイヤモンド **20**-22）昭 7

獨逸賠償問題の其後（ダイヤモンド **19**-16）昭 6

獨逸賠償問題の前途（ダイヤモンド **19**-4）昭 5

獨逸賠償特別諮問委員會の報告書（調査月報 **22**-4）昭 7

獨逸が支拂ひたる賠償金總額と各國の分配額（銀行通信錄 549）昭 6

獨逸國民經濟と賠償問題（大日本山林會報 477）大 11

獨逸に對する聯合國の賠償要求に就て（調査月報 **11**-5）大 10

獨逸の賠償金支拂と信用組合法案（調査月報 **12**-4）大 11

獨逸の賠償問題（銀行通信錄 536/37）昭 5

ドイツの賠償問題に關する一般輿論（海外經濟事情 **5**-1）昭 7

獨逸のモラ斷行と其經濟的效果に就て（銀行論叢 **23**-2）昭 9

獨逸の位地と賠償延期の效果（東洋經濟新報 1456）昭 6

獨逸のヤング案改訂希望とクレディット設定問題（銀行通信錄 546）昭 6

獨逸の財政苦と賠償問題の將來（ダイヤモンド **19**-22）昭 6

獨逸は賠償金を支拂得るか（調査月報 **11**-5）大 10

現在まで獨逸の支拂ひたる賠償金總額及び聯合國分配額（海外經濟彙報 8）昭 6

破滅に瀕せる獨逸—獨逸賠償問題の前史—獨逸恐慌の進展と賠償問題—三つの大會—破局—ダナート銀行破綻の經緯—ドイツ救濟問題をめぐる各國の對立（改造 **13**-9）昭 6

借入金に據らざる獨逸の賠償支拂〔破綻前後の獨逸財政資料〕（內外調査資料 11 月）昭 6

ローザンヌ協定に依る獨逸國の賠償負擔輕減（調査月報 **22**-10）昭 7

德國賠償問題與國際關係之前途（中行月刊 **3**-2）民 20

フランス

頌　平　賠款延付聲中巴黎金融市場國際地位之觀察（銀行週報 706）民 20

*日本銀行調査課　賠償專門家委員會報告　附：佛國財界近狀（下山元一）　大 13
*同　賠償問題を中心として見たる佛獨關係の推移　昭 6〔佛國經濟報告 6, 3〕
平　貞藏　賠償問題と佛關西の政治事情（世界經濟 8）　昭 7

フランスは恐慌及び賠償問題を如何に見るか？（世界經濟 13）　昭 7

イギリス

友岡久雄　賠償支拂延期とイギリス（世界經濟 2）　昭 6
米田實　英獨會商と賠償問題（外交時報 638）　昭 6

支那

土井章　團匪賠償金は如何に處分されつゝあるか（東亞 6-11）　昭 8
*和田喜八　獨支協定と獨逸の對支賠償金問題　上海　東亞同文書院研究部　大 13　70 頁

團匪賠償金問題に就て（滿鐵調査月報 11-10）　昭 6
團匪賠償金の返還と鐵道投資（帝國鐵道協會會報 32-10）　昭 6
團匪賠償金の使途に就て（工業 60）　昭 6
支那に對するドーズ案—米人の眼に映じたる新支那の建設（東洋貿易研究 8-4）　昭 4

XV. 戰時金融及非常金融

1. 戰時金融

a. 一般

荒木光太郎　戰時金融の根本問題（經濟往來 9-2）　昭 9
有澤廣巳　戰爭と銀行（中央公論 49-10）　昭 9
金融研究分科　金融界の前途並びに戰時金融問題の檢討（產業研究 8）　昭 9
森武夫　戰時經濟と金融（銀行通信錄 585/86）　昭 9
同　戰時金融（金融大辭典 II 卷 5 頁）　昭 9
*大藏省臨時調査局金融部　世界戰爭に於ける主要交戰國金融事項要覽　大 8
*同　世界戰爭に於ける戰費及財源要覽〔大正 8 年 3 月調〕
田川大吉郎　戰時公債には利子を付するな（東洋經濟新報 1537）　昭 8
*東京銀行集會所　戰時財政經濟特に政府と銀行との關係　昭 6

歐洲大戰中に於ける列國の戰費財源概說（資源 4-2）　昭 9
戰時金融論（民國社會新聞 7-21）　民 23
戰時金融と物價（藤本ビルブローカー銀行週報 165）　大 8

b. 各國別

日本

楢崎研二　戰時金融政策に就て一前途を望んで日淸，日露戰時を觀る（自由通商 7-10）　昭 9

アメリカ合衆國

*藤本ビルブローカー銀行調査部　英米佛の戰費と金融　大 8
大內兵衞　米國戰時金融政策（國家學會雜誌 33-6）　大 8
千家恒麿　戰時金融會社（金融大辭典 II 卷 1 頁）　昭 9

米國戰時金融會社の低利資金融通額（通商公報 876）　大 10

ドイツ

有澤廣巳　ドイツに於けるインフレーションと戰爭費用負擔（經濟學論集 8-1）　昭 4
串本友三郎　獨逸ライヒスバンクの戰時金融政策（法と經濟 2-2, 4）　昭 9
櫻田藤吉　戰時及戰後の獨逸銀行（商業及經濟研究 12, 14）　大 7/8

フランス

開戰後に於ける佛蘭西銀行貸上金に付て（調査月報 9-8）　大 8

イギリス

フレザー　英國は戰時公債の借換を如何にして行ふべきか（調査月報 17-2）　昭 2
*藤本ビルブローカー銀行調査部　英米拂の戰費と金融　大 8
奧田勳　歐洲大戰と英國金融市場（銀行論叢 8-6; 9-1）　昭 2
吉田繁吉　大戰當時の英國金融對策（銀行論叢 1-5）　大 12

支那

支那の軍費と金融の現狀（外國の新聞と雜誌 157）　昭 2

2. 非常金融

a. 一般

相原文雅　モラトリアムの概念と日英佛の實例（法學研究 2-3/4）　大 12

エドワード，ホールデン　戰後の財政及金融問題（大阪銀行通信錄 260）　大 8
播磨龍城　支拂猶豫令の功過と焦眉の急務（法律新聞 2684）　昭 2
服部文四郎　非常時の金融（早稻田政治經濟學雜誌 33）　昭 9
蛭川正夫　非常時に於ける不動產金融對策を顧みて（金融三層 4-9）　昭 8
土方成美　世界恐慌と國際モラトリアム（改造 13-8）　昭 6
堀切善兵衞　不況回復は低金利政策より（政治經濟時論 7-9）　昭 7
細矢祐治　經濟復興金融の理論と實際（銀行研究 6-1）　大 13
池田龍藏　財界整理と銀行との關係（金融研究 2-4）　大 14
磯村豐太郎　失業救濟公債發行私見（政治經濟時論 5-9）　昭 5
岩田新　Moratorium について（企業と社會 15）　昭 2
春日井薰　通貨膨脹時代の金融—銀行業者の戒心自重を要望す（銀行研究 22-4）　昭 7
同　財界救濟の金融的諸策を論評す—平價切下，債務額減免，元利支拂延期，特別貸付，通貨膨脹等（銀行研究 23-1）　昭 7
小泉計太郎　支拂猶豫（經濟學辭典 III 卷 1 頁）　昭 6
松村勝太郎　經濟不況時に於ける農村金融（產業組合 305）　昭 6
松岡孝兒　世界不況對策としての國際貸付銀行案（經濟論叢 34-3）　昭 7
武藤山治・小島精一・勝田貞次　財界救濟會社の提唱（經濟往來 7-6）　昭 7
長岡保太郎　失業對策としての金融政策（社會政策時報 74）　昭 1
西村勝太郎　罹災者中小商工業者への融資策（關西大學學報 123）　昭 9
能仁充孚　不況時代と信託資金—信託係が直面しなければならない若干の問題（信託協會會報 6-4）　昭 7
岡田純夫　銀行一齊休業の一考察（銀行研究 12-5）　昭 2
大森研造　恐慌の對策と銀行業者（經濟論叢 10-6）　大 9
リエッス，アンドレ　經濟危機と銀行の職分（銀行通信錄 436）　大 11
榊原二郎　不況對策と限產銀行（企業經營 2-1）　昭 5
佐倉重夫　失業對策としての金融政策（社會政策時報 58）　大 14
新川傳介　エミール・レーデラー：世界經濟恐慌に於ける信用問題（長崎高商研究館彙報 19-3/5）　昭 7
末松玄六　モラトリアムに關する若干の考察（彥根高商論叢 14）　昭 8
須々木庄平　モラトリアム側面觀（商工經濟研究 2-3）　昭 2
高橋美之　オープン・マーケット・オペレイション—非常時財政に於けるその機能とその行衞（信託協會會報 8-6）　昭 9
竹野竹三郎　支拂猶豫令論（法學新報 37-6/12）　昭 2
谷口知平　支拂停止（經濟學辭典 III 卷 2 頁）　昭 6
豐崎稔　景氣惡化と金融資本の政策（大阪銀行通信錄 407）　昭 6

復興と外資（經濟資料 10-1）　大 13
復興と通貨（法律新聞 2220）　大 13
フーヴァ・モラトリアムと各國財政（世界經濟 13）　昭 7
經濟復興策としての無擔保貸付（東洋經濟新報 1080）　大 13
金融緩和への期待を問ふ—金融政策としての時局匡救インフレーションの効果（財界觀測 13-5）　昭 7
戰債モラと財政の關係—財界恐慌の世界的展望（エコノミスト 9-15）　昭 6
中央銀行制度と財界變動對策（ダイヤモンド 15-12）　昭 2
財界混亂に對する對策（工業 10）　昭 2

b. 各國別

日本

馬場鍈一　日銀特融問題と財界（銀行論叢 11-4）　昭 3
濱岡五雄　大震災と金融對策問題（大阪銀行通信錄 314）　大 12
播磨龍城　復興資金（法律新聞 2227）　大 13
橋本喜作　復興と外資輸入論（銀行論叢 1-6）　大 12
平野清　震災金融に直面して（銀行研究 5-3）　大 12

土方成美　銀行救濟と預金者救濟（エコノミスト 5-11）　昭 2
堀江歡吉　經濟復興資金の融通に就て（銀行論叢 2-4）　大 13
堀江薰一　支拂猶豫法の結末如何（エコノミスト 1-13）　大 12
同　商工業者に對する復興資金（エコノミスト 2-9）　大 13
同　パニックと國家の補償に依る救濟（エコノミスト 5-11）　昭 2
同　パニック救濟と物價の前途（エコノミスト 5-12）　昭 2
星埜章　特融と通貨膨脹（ダイヤモンド 16-24）　昭 3
星野行則　震災後の復興金融問題（銀行論叢 1-5）　大 12
細矢祐治　救濟金融の總勘定と金融政策の大綱（銀行研究 15-1）　昭 3
深井英五　金解禁と補償法特別融通（經濟往來 3-10）　昭 3
福井源一　銀行の被害程度と財界の前途（銀行研究 5-3）　大 12
藤原泰　金融難の自力更生的打開策（銀行研究 23-4）　昭 7
石卷良夫　モラトリアムに就て（中央銀行會通信錄 246）　大 12
同　支拂猶豫手形の利子に就て（中央銀行會通信錄 247）　大 12
同　特別融通より見たる中小銀行の地位（銀行研究 14-8）　昭 3
岩野晃次郎　金融恐慌善後處理公債（金融大辭典 1 卷 1 頁）　昭 9
神戶正雄　復興と外債問題批判（銀行論叢 1-6）　大 12
同　其後震災の金融方策と其効果（時事經濟問題 16）　大 12
同　經濟復興金融（時事經濟問題 21）　大 13
同　震災手形再割引期間の延長（時事經濟問題 34）　大 14
同　銀行合同と震災手形（時事經濟問題 45）　昭 1
同　震災手形の整理（時事經濟問題 51）　昭 1
同　恐慌後の銀行整理と震手及特別融通（時事經濟問題 70）　昭 3
同　特別融通と其後の方策（時事經濟問題 71）　昭 3
同　特別融通の回收（時事經濟問題 83）　昭 4
春日井薰　救濟金融の要點（銀行研究 27-6）　昭 9
菊川早水　震災手形割引法案の通過を望む（東洋經濟新報 1237）　昭 2
金原賢之助　世界經濟動搖期に於ける若干の金融問題—我國に於ける低金利の問題（信託協會會報 8-3）　昭 9
桐生梅吉　東都に於ける銀行取付騷動と震災手形法案（銀行論叢 8-5）　昭 2
北崎進　臺銀救濟補償金（中外財界 2-8）　昭 2
同　金融恐慌の跡始末たる特別融通法の運用（中外財界 3-9）　昭 3
同　金融界の當面せる特融資金運用問題（中外財界 3-10）　昭 3
熊順一　支那動亂と內地金融（金融研究 1-3）　大 13
串田萬藏・他　日銀特別融通及損失補償法（財政經濟時報 14-6）　昭 2
串本友三郎　合理化銀行と產業助成會社の考察に對する批判（竹原經濟時報 42）　昭 5
前田安彥　金解禁前後策と金融市場（中央銀行通信錄 315）　昭 4
町田忠治　風水災害復興融資對策に就て（大阪商工會議所月報 329）　昭 9
松田雪堂　恐慌を救濟する貸付金庫の提唱（ダヤモンド 20-22；庶民金融 8-8）　昭 7
松本誠　特別融通及損失補償法の概要（朝鮮 145）　昭 2
松島喜作　災害防禦と銀行業務（銀行論叢 1-5 5）　大 12
松下芳男　休銀問題と其責任者（法曹公論 32-5）　昭 3
*松崎壽　震災と金融對策 東京 文雅堂 大 12 101 頁 四六
同　帝都復興及商工業復興の金融對策（銀行研究 5-3）　大 12
同　復興資金の財源（銀行研究 5-4）　大 12
同　復興事業と不動產金融（銀行研究 6-1）　大 13
同　日銀發行制度改善と復興資金（銀行研究 6-2）　大 13
同　金解禁と發券制度の改革（銀行研究 16-1）　昭 4
同　罹災中商工業者の金融問題（銀行研究 27-5）　昭 9
三宅嘉十郎　支拂猶豫令觀及向後の金融對策（銀行研究 5-3）　大 12
水野豐　所謂休銀救濟問題に就て（法律新報 132）　昭 2

持永義夫 時局匡救と公益質屋（社會事業 16-10） 昭 7

武藤山治 震災手形法案に就て（東方公論 2-4） 昭 2

*內藤章 復興資金の調達と金融制度の改善〔復興叢書—東京商大一橋會 2の內〕 大 12

同 特別融通の善後策（エコノミスト 6-10） 昭 3

中村重夫 金解禁及日銀發券制度改革問題（銀行研究 16-1） 昭 4

中津海知方 震災手形整理の一策（東洋經濟新報 1222） 昭 1

野口弘毅 日本銀行特別貸出の影響と財界の將來（龍門雜誌 473） 昭 3

小汀利得 震手法案と世の誤解（中央公論 42-5） 昭 2

小川鄉太郎 日銀補償法竝に臺灣融資法（インヴェストメント 5-6） 昭 2

大口喜六 財界動搖と國家救濟の當否（エコノミスト 5-11） 昭 2

奥野平 金解禁準備と特別融通の整理問題（銀行論叢 10-6） 昭 3

小野英二郎 復興資金と銀行家の執るべき態度に就て（銀行通信錄 456） 大 12

*大阪府 風水害罹災復興資金融通損失補償竝に利子補給制度 昭 9 48 頁 四六

*大阪高商銀行業務研究室 復興金融の諸問題 大 13〔調査報告 6〕

太田正孝 十年苦の補償法（改造 9-6） 昭 2

大山郁夫 損失補償法と無產階級（エコノミスト 5-11） 昭 2

尾崎行雄・他 震災手形法案（財政經濟時報 14-4） 昭 2

齋藤巖 昭和二年日本銀行特別融通に絡む各種法律問題（法律新報 42-12） 昭 7

佐々木駒之助 災害と金融（銀行論叢 1-5） 大 12

妹尾一雄 支拂猶豫令に因る手形權利の保存（銀行研究 5-3） 大 12

同 政府補償再割引手形（銀行研究 5-4） 大 12

志立鐵次郎 整理期金融方針（財政經濟時報 8-3） 大 10

白井規短雄 恐慌時に於ける英米の投資信託に關する若干の資料（信託協會會報 8-1） 昭 9

杉程次郎 大震火災と金融問題（銀行論叢 2-2；法學新報 34-2） 大 13

田川大吉郎 震手案の後に（東洋經濟新報 1241） 昭 2

高橋龜吉 大恐慌後の對策依然腐爛を續く（改造 9-7） 昭 2

高柳松一郎 財界恢復と銀行業者（銀行論叢 2-6） 大 13

*東京市 震災關係國庫貸附金及復興事業費分擔金に關する調査 昭 10 103 頁 四六倍

*東京商業會議所 震災手形に關する陳情の經過 昭 2〔事務彙報 1〕

*東京商工會議所 帝都經濟復興と不動產金融問題 昭 4 105 頁〔商工調査 23〕

外山禧男 農村金融と非常時匡救事業（地方行政 41-3） 昭 8

遠山貞一 金融循環より見たる震災財界の前途（銀行研究 6-1） 大 13

常松三郎 復興資金貸出方策（財政經濟時報 10-19） 大 12

鶴岡三郎 非常時に於ける政府の中小金融對策に就て（無盡通信 8-6；9-1） 昭 7

山口竹次郎 災害と金融（銀行論叢 1-5） 大 12

横田義夫 救濟問題と銀行及金融（銀行論叢 1-6） 大 12

米澤恒雄 失業救濟農山漁村臨時對策低利資金に就て（斯民 26-8） 昭 6

吉田眞一 災害と金融（銀行論叢 1-5） 大 12

吉植庄一郎 五十二議會の中心となつた震災手形の解剖批判（我觀 42） 昭 2

*實業同志會 震災手形問題早わかり 昭 2 18 頁

大震災後の東京金融界（銀行通信錄 454） 大 12

銀行破綻の責任と政府の救濟（財政經濟時報 14-10） 昭 2

非常時經濟に於ける政府の庶民金融原案（庶民金融 8-7） 昭 7

不動產融資及損失補償法（銀行通信錄 560） 昭 7

不動產融資及損失補償法に依る融通規程（銀行通信錄 561） 昭 7

風水害に因る復興資金融通概況（大阪商工會議所月報 333） 昭 10

如何にして日銀特融を整理すべきか（金融知識 6-5） 昭 10

經濟制度研究會の特別融通法善後處理私案（東洋經濟新報 1295） 昭 3

奇怪なる震災手形救濟案（財政經濟時報 14-3） 昭 2

匡救膨脹策と金融—通貨の增發は必然，金融の前途愈緩慢（エコノミスト 10-20） 昭 7

モラトリアム施行に由る我國商工業者の損失高（商工月報 3-12） 昭 2

日本興業銀行の單名手形救濟計畫（銀行通信錄 537） 昭 5

日銀の救濟資金融通（エコノミスト 4-23） 昭 1

日銀特融法の融通期限を延長せよ（東洋經濟新報 1295） 昭 3

日銀と臺銀の持株處分—焦げついた特融の始末と損失補償（金融知識 5-5） 昭 10

大阪に於ける時局匡救中小商工業資金融通概況（大阪商工會議所月報 314） 昭 8

罹災後の金融施設（東洋經濟新報 1069） 大 12

罹災地商工資金供給の方法（東洋經濟新報 1067） 大 12

產業組合中央金庫特別融通經過概要（農務時報 69） 昭 9

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法（銀行通信錄 560） 昭 7

政府の震災手形整理計畫（ダイヤモンド 15-3） 昭 2

支拂延期令と金融（財政經濟時報 10-17） 大 12

震災後の日銀狀況（ダイヤモンド 11-2） 大 12

震災金融の諸問題（經濟資料 9-10/12） 大 12

震災手形救濟（ダイヤモンド 14-27） 昭 1

震災手形問題（商工月報 1-5） 昭 1

震災手形問題に現はれたる兩原理（東洋經濟新報 1239） 昭 2

震災手形問題と本商業會議所（商工月報 3-2） 昭 2

震災手形の整理（エコノミスト 4-6） 昭 1

震災手形の始末（ダイヤモンド 14-26） 昭 1

震災手形の始末（財政經濟時報 14-4） 昭 2

震災手形の善後策（ダイヤモンド 15-9） 昭 2

昭和八年度預金部資金の運用計畫と時局匡救關係資金（稅務相談所時報 120） 昭 8

臺銀救濟緊急勅令（ダイヤモンド 15-12） 昭 2

臺銀の整理始末（ダイヤモンド 15-21） 昭 2

地方銀行の救濟は不動產貨の一括整理（東洋經濟新報 1438） 昭 6

特別融通の回收對策（エコノミスト 6-14） 昭 3

特別融通と經濟界（ダイヤモンド 16-24） 昭 3

特融回收實績と今後（エコノミスト 6-17） 昭 3

特融の跡始末は財界の重要問題（東洋經濟新報 1280） 昭 3

特融の濫用と後始末（エコノミスト 6-10） 昭 3

特融整理機關の組織と整理方法（東洋經濟新報 1281） 昭 3

特融終了後の金融界（エコノミスト 6-11） 昭 3

特融と通貨關係（東洋經濟新報 1284） 昭 3

特融打切と善後處理方針（東洋經濟新報 1299） 昭 3

特融增加と通貨の地位（エコノミスト 6-10） 昭 3

融通滿期と特融實績（エコノミスト 6-11） 昭 3

アメリカ合衆國

荒木秀一 復興金融會社に就て（大阪銀行通信錄 418） 昭 7

日根野柾三 ハーテイ及ラムケ：アメリカに於ける金融復興論（銀行研究 25-4） 昭 8

平野不令 米國復興金融會社と保險界（保險銀行時報 1563） 昭 7

本間恒治 桑港震災後の金融對策と保險金支拂事情（大阪銀行通信錄 316/17） 大 12

池田了實 桑港震災時の金融狀態（銀行研究 5-3） 大 12

伊藤武夫 緊急銀行法とアメリカ國債（大阪銀行通信錄 430） 昭 8

岩崎博 米國に於ける緊急金融政策（銀行研究 22-6） 昭 7

井關孝雄 アメリカに於ける銀行の破綻と其の防備策（銀行論叢 16-6） 昭 6

柏木秀茂 亜米利加の恐慌と信用設定（龍門雜誌 507） 昭 5

小島精一 復興金融會社論（經濟往來 7-6） 昭 7

熊田克郎 米國の特融計畫に就て（大阪銀行通信錄 412） 昭 7

牧野輝智 米國金融恐慌の實相及び對策並に其影響（經濟往來 8-4） 昭 8

三浦實 商品金融會社（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

同 復興金融會社（金融大辭典 III 卷 8 頁） 昭 9

新庄博 アメリカ復興金融會社の成績（國民經濟雜誌 54-1） 昭 7

十龜盛次 米國の時局匡救金融策（銀行研究 23-5；24-2） 昭 7/8

同 米國に於ける窮狀銀行の救濟策（銀行研究 26-2, 5） 昭 9

鶴岡操 米國復興金融會社設立の趣旨竝に其の近況（銀行研究 24-2） 昭 8

渡邊佐平 ルーズベルトの「緊急銀行法」（世界經濟 2-5） 昭 8

米國大統領の金融機關設立提案（銀行通信錄 549） 昭 6

米國銀行恐慌に伴ふ生命保險緊急命令（生命保險會社協會會報 22-2） 昭 8

米國銀行恐慌と生保のモラトリアム—恐慌に對する各州の非常對策（保險知識 1-5） 昭 8

米國復興金融會社（國際パンフレット通信 480）昭 7
米國復興金融會社法正文（國際パンフレット通信 480）昭 7
米國復興金融會社貸付資金運用報告（調査月報 **22**-5）昭 7
米國復興金融會社の貸付高（大阪銀行通信錄 432）昭 8
米國復興金融會社の輪廓（國際パンフレット通信 480）昭 7
米國復興金融會社の釋明（大阪銀行通信錄 413）昭 7
米國復興金融會社の融資狀況（銀行通信錄 577）昭 9
米國インフレーション政策の第一　全國信用會社（經濟知識 **8**-1）昭 7
米國インフレーション政策の第二　復興金融會社（經濟知識 **8**-1）昭 7
米國緊急金融擴張法案の意義及びその效果（財界觀測 **12**-5）昭 7
米國金融恐慌應急對策（海外經濟事情 **6**-10）昭 8
米國に於ける商品金融會社の設立（海外經濟彙報 10）昭 7
米國の復興金融會社法成立（海外經濟事情 **5**-4）昭 7
米國の復興金融會社に關する調査（調査月報 **22**-9）昭 7
米國の復興金融會社條例（外國の新聞と雜誌 257）昭 7
米國の商品金融會社（大阪銀行通信錄 422）昭 7
米國 1933 年銀行法（調査月報 **23**-10）昭 8
復興金融會社案と米國財界の前途—スタンダード統計會社の見解（世界經濟 9）昭 7
復興金融會社の貸付狀況（日本興業銀行調査月報）昭 8
復興金融會社の活動と貸付內容公表—金融恐慌の導火線（調査月報 **23**-4）昭 8
復興金融會社の休銀融資額（銀行通信錄 575）昭 8
復興金融會社の實績（大阪銀行通信錄 422）昭 7
緊急銀行救濟法案を見る（財界觀測 **14**-8）昭 8
金融恐慌と其善後策—米國（國際事情 355）昭 8
恐慌對策を巡りて—フーヴァー信用對策案に對する一批判（世界經濟 6）昭 6

ドイツ

橋爪明男　七月恐慌に襲はれたる獨逸大銀行の整理（銀行通信錄 565）昭 8
岩崎博　英佛獨に於けるモラトリアムの一斑（銀行研究 **5**-3）大 12
川島外治　信用恐慌に對する獨逸政府の措置（明治學院高商論叢 2）昭 7
楠見一正　獨逸經濟救濟と獨逸工業債務銀行の更生（銀行研究 **24**-1）昭 8
楠見一正　獨逸の銀行再整理（銀行研究 **24**-5）昭 8
同　獨逸恐慌對策と獨逸金割引銀行の活動（經濟時報 **4**-10）昭 8

獨逸引受保證銀行の設立（銀行通信錄 547）昭 6
信用恐慌に對する獨逸政府の措置（調査月報 21-10）昭 6

フランス

岩崎博　英佛獨に於けるモラトリアムの一斑（銀行研究 **5**-3）大 12
永井繁　佛蘭西銀行の損害補償法に就き（大阪銀行通信錄 414）昭 7
*日本銀行調査局　磅下落に依る佛蘭西銀行の損失補償問題　昭 7〔佛國經濟報告〕

佛蘭西銀行の磅爲替損失補償に關する佛國政府，獨立償還金庫及佛蘭西銀行間の協約（調査月報 **22**-2）昭 7
フランス銀行所有有價證券損失塡補諸契約に關する法律概要（海外經濟事情 **5**-9）昭 7

イギリス

岩井茂　英國に於ける金恐慌對策論（商工經濟研究 **8**-1）昭 7
岩崎博　英佛獨に於けるモラトリアムの一斑（銀行研究 **5**-3）大 12

磅爲替の統制と產業復興金融政策（世界經濟 12）昭 7
1866 年及 1890 年の恐慌に於ける英蘭銀行の對策（商工月報 **3**-3）昭 2

イタリー

非常時イタリーの金融工作（金融知識 **6**-2）昭 10

滿洲國

奉天の金融逼迫と之が緩和策（滿蒙經濟時報 88）大 9
遼寧省金融救濟辦法（滿洲評論 **1**-3）昭 6

支那

江禮操　國難時期之金融問題及其解決方法的管見（經濟學季刊 **3**-4）民 21
王雨桐　國難時期之金融問題（經濟學季刊 **3**-4）民 21

上海邦人救濟融資決定（支那時報 **17**-1）昭 7

XVI. 其他の金融

1. 建築金融

a. 一般

蛭川正夫　建物金融に關する考察（金融三層 **2**-3）昭 6
春日井薫　建築金融論（銀行研究 **6**-3）大 13
同　建築金融組合の研究（銀行研究 **7**-2/3）大 13
同　建築金融（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9
小泉計太郎　建築金融（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6
近藤久　新築準備金に就て（銀行論叢 **15**-5）昭 5
*大阪市社會部調査課　建築金融に就いて　昭 6 26 頁　菊〔社會部報告 133〕
杉本正幸　建物金融に關する一考察（銀行論叢 **9**-3）昭 2
都上城三　土地及建物の金融に就て（銀行論叢 **4**-6；**5**-1）大 14
渡邊鐵藏　住宅政策及び其金融（財政經濟時報 **8**-12）大 10

b. 各國別

日本

小野英二郎　住宅政策と金融論（財政經濟時報 **8**-12）大 10
*朝鮮銀行調査課　朝鮮內各金融機關の預金貸出並に其の勸業貸出と商業貸出との推移に關する調査　附：朝鮮に於ける信託業の現況と其の將來　昭 6

アメリカ合衆國

平岡市三　米國都市に於ける住宅建築の金融に就て（經濟集志 **5**-2）昭 7
井川忠雄　米國に於ける住宅信用組合の百年祭（產業組合 305）昭 6
同　米國に於ける住宅信用組合（產業組合 324, 326/27）昭 7
三浦實　建築及貸付組合（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

米國大統領の住宅金融案（海外經濟彙報 12）昭 7
米國住宅信用銀行の設立（大阪銀行通信錄 412）昭 6

ドイツ

串本友三郎　獨逸に於ける建築資金貸出法（銀行通信錄 457）大 13
武谷成直　獨逸國に於る建築金融制度（銀行研究 **9**-3）大 14
ワルドハイム，ハラルド・フオン　保險投資の新しい考へ方とドイツ建築貯蓄組合（保險學雜誌 338）昭 8

2. 船舶金融

a. 一般

稻畠健　船舶金融に關する一考察（海運月報 **15**-1）昭 5
伊藤重治郎　國際貸借尻と船舶金融（金融研究 **1**-2）大 13
同　海事金融問題の研究（商學論叢 1）昭 5
神戸正雄　船會社の船舶金融兼營計畫（時事經濟問題 23）大 13
同　船舶金融（海運月報 **11**-8）昭 1
同　船舶金融の一方法（時事經濟問題 58）昭 2
同　船舶金融（時事經濟問題 62）昭 2
同　短期不動產金融と船舶金融（時事經濟問題 70）昭 3
同　船舶金融と汽船信託（時事經濟問題 71）昭 3

河野 新 海事金融案を評す（銀行研究 **13**-4) 昭 2
黒川新次郎 歐羅巴に於ける船舶金融（海運月報 **11**-8) 昭 1
同 船舶金融に就て（銀行論叢 8-5) 昭 2
楠見一正 船舶金融（經濟學辭典 III 卷 2頁) 昭 6
中岡孫一郎 船舶金融に就て（海運月報 **13**-9) 昭 3
岡崎幸壽 不況對策としての海外運航資金の融通問題に就て（海運 113) 昭 6
岡崎忠雄 船舶金融難の理由（海運月報 **11**-8) 昭 1
佐田正一 船舶金融（金融大辭典 II 卷 6 頁) 昭 9
鈴木島吉 船舶金融に就て（海運 92) 昭 5
同 船舶金融のお話（經濟知識 4-1) 昭 5
田中卯三郎 船舶金融銀行に就て（海運月報 8-4) 大 12
同 船舶金融機關に就て（海運月報 **11**-7) 昭 1
同 再び海事金融案に就て（海運月報 **15**-1) 昭 5
*遞信省管船局 佛，伊，獨，北愛蘭，諾，及瑞典に於ける海事金融の實績〔內外海運並造船資料 6 月の內〕昭 7
寺島成信 海事金融政策に就て（エコノミスト **5**-17) 昭 2
內田信也 船舶金融に就て（海運月報 **11**-9) 昭 1
矢野剛 海事金融に就て（海事研究 1-5) 昭 1

b. 各國別

日本

青木茂 海事銀行新設の可否に就て（銀行論叢 **9**-5) 昭 2
細矢祐治 我國に於ける船舶金融（國民經濟雜誌 **26**-1/4) 大 8
富士澤仙之助 南洋に於ける外國船の活躍と我國船舶金融に關する一提案（海運 78) 昭 3
楠見一正 船舶金融改善問題（經濟時報 **2**-1) 昭 5
松尾恒四郎 船舶金融に對する希望（エコノミスト **8**-6) 昭 5
南正樹 漁船の資金化（自治研究 8-9) 昭 7
中岡孫一郎 本邦船舶金融の不振に就いて（海運月報 **15**-2) 昭 5
岡崎幸壽 日本海事銀行設立案と其機能（海運 129) 昭 7
鈴木島吉 船舶金融の改善と我海運政策に就て（銀行論叢 **14**-3) 昭 5
太刀川又八郎 日本海業銀行設立に就て（海運月報 **13**-11) 昭 3
*山下汽船株式會社 我國海運業發展の一方策としての海事金融保證株式會社設立を提唱す 昭 5

海事金融と銀行新設問題（エコノミスト **4**-20) 昭 4
船舶金融の現狀と其の改善策（エコノミスト 8-6) 昭 5

フランス

富永祐治 フランス海事金融法（經濟時報 5-2/3) 昭 8

佛國海事金融法實施成績（郵船調査資料 3) 昭 5

イギリス

米田健一郎 船舶金融と英國相互保險協會（海運月報 **11**-9) 昭 1

オランダ

*遞信省管船局 和蘭に於ける海事金融銀行設立法案〔內外海運並造船資料 6 月の內〕昭 7

3. 植民地金融

a. 一般

*北海道帝大農政學研究室 投資地としての植民地の價値 昭 6〔研究資料 30〕
堀江歸一 植民地銀行の使命と臺銀整理（エコノミスト **5**-9) 昭 2
カッセル 植民地に對する投資減少の結果（調査月報 **17**-10) 昭 2

春日井薫 植民地銀行（經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6
北山富久二郎 植民地金融（金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9
*滿鐵庶務部調査課 各國植民地銀行制度 昭 5〔滿鐵調査資料 145〕
*南洋栽培聯合會 南洋に於ける栽培業の金融に就て 大 11
*岡業三 植民地銀行論 東京 隆文館 明 45/大 9 494 頁 菊〔最近經濟問題 17〕
奥田勳 植民地銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9
*尾崎敬義 植民地銀行及海外銀行を中心とする特殊銀行制度の研究 大 12
*高岡熊雄 投資地としての植民地の價値〔小樽高等商業學校創立 20 週年記念論文集の內 46 頁〕昭 6
武田春次郎 海外銀行（經濟學辭典 I 卷 2 頁) 昭 5
山本美越乃 植民地銀行問題（銀行論叢 **1**-4/5) 大 12

一九二三年中の各國植民地銀行業通觀（東拓月報 **5**-2) 大 13

b. 各國別

日本

有賀光豐 朝鮮產業の發達と企業金融（朝鮮 91) 大 11
同 朝鮮の產業と朝鮮殖產銀行（東洋 **27**-8) 大 13
有川治助 臺灣統治と臺灣銀行（外交時報 543) 昭 2
朝倉昇 朝鮮の金融組合事業の動向（金融組合 43/48) 昭 7
同 朝鮮の協同組合運動と金融組合の動向（金融組合 65) 昭 9
林謙吉郎 南洋企業と資金運用（南洋協會雜誌 **5**-5) 大 8
林繁藏 金融組合の統制機關設置に就て（朝鮮 220) 昭 8
廣岡光治 浦鹽鮮銀と露貨問題（東洋 **34**-1) 昭 6
古川二郎 臺灣無盡業の特典性（無盡通信 **13**-1) 昭 10
藤井寬太郎 朝鮮に投資する人々へ（インヴエストメント **5**-6) 昭 2
*藤戸計太 朝鮮金融經濟研究叢書 昭 7 京城大東學會 昭 7 1059 頁 菊
1. 無盡 2. 契 3. 質屋 4. 金融組合 5. 信用組合 6. 產業組合 7. 消費組合 8. 銀行 9. 信託業 10. 保險業 11. 金貸業 12.—20. 省略
藤原泰 臺灣銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6
同 朝鮮銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6
同 朝鮮殖產銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6
同 朝鮮信託企業の特異的發展（信託協會會報 8-4) 昭 9
石濱知行 臺灣銀行論〔特殊銀行解剖〕（經濟 1-4) 昭 9
賀田直治 朝鮮產業の動向と金融組合（金融組合 74) 昭 9
神戸正雄 鮮銀の改造（時事經濟問題 12) 大 12
片倉藤次郎 鮮銀臺銀の兌換券發行問題（銀行研究 **11**-1) 昭 1
木谷一彥 正金鮮銀抗爭の卷（ダイヤモンド **20**-34) 昭 7
北山富久二郎 植民地金融（臺灣の金融）（金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9
同 臺灣銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
同 朝鮮銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
同 朝鮮殖產銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9
北崎進 臺銀救濟補償金（中外財界 **2**-8) 昭 2
近藤康男 朝鮮の經濟に於ける金融組合の意義（產業組合 249) 昭 1
兒島高信 朝鮮金融組合の本質と使命（金融組合 21) 昭 5
同 朝鮮の金融制度に就て（朝鮮 196) 昭 6
同 朝鮮に於ける信託及無盡の二業令に就て（金融組合 36/40) 昭 7
車田篤 朝鮮の金融組合當面の諸問題（產業組合時報 89) 昭 5
草間秀雄 朝鮮に於ける金融機關と其の將來（朝鮮 126) 大 14
*滿鐵總務部調査課 臺灣に於ける農業金融に關する參考事項 昭 6
*同 朝鮮に於ける農業金融 昭 6
前田稔靖 臺灣に於ける信用組合の效果（臺灣時報 13) 大 9
松本誠 朝鮮の金融季節（朝鮮 140) 昭 2

松崎壽　臺銀，鮮銀の發行制度改善問題（銀行研究 **6**-6）　大 13
峰岸繁太郎　朝鮮臺灣兩銀行合併の提唱（東京經濟雜誌 2104）　大 11
森　普　朝鮮に於ける華僑と其の金融機關に就て（銀行研究 **17**-5）　昭 4
中村寅之助　水利組合の高利債借替に就て（朝鮮 204）　昭 7
中田榮次郎　臺灣に於ける長期金融機關整備の必要（臺灣時報 86）　昭 2
同　臺灣銀行の減資其他に就て（臺灣時報 93）　昭 2
西野入愛一　露國の鮮銀壓迫眞相（外交時報 621）　昭 5
野中清　問題の鮮銀を如何に背負つて立つべきか（朝鮮及滿洲 199）　大 13
同　朝鮮財界と債券發行に就て（インヴエストメント **1**-3）　大 14
大熊良一　朝鮮金融組合の金利方策と將來の趨向（金融組合 72）　昭 9
大里忠一郎　朝鮮の金融組合（產業組合 186, 188, 190）　大 10
同　朝鮮金融組合聯合會（產業組合 199）　大 11
大山卯次郎　浦潮鮮銀問題（國際知識 **11**-2）　昭 6
李成龍　農村經濟の眞相と金融組合の地位（金融組合 41）　昭 7
崔昌烈　金融組合の時效問題とその中斷手續について（金融組合 58）　昭 8
坂田國助　南洋邦人の栽培企業金融機關に就て（南支南洋研究 15）　昭 8
千石興太郎　朝鮮の金融組合と中央機關（農政研究 **6**-12）　昭 2
同　朝鮮の金融組合を視て（產業組合 266）　昭 2
四方博　植民地金融（朝鮮の特殊なる金融）（金融大辭典 II 卷 2 頁）　昭 9
執行光純　最近朝鮮に於ける百姓金利問題（日本農業論 **25**-4）　昭 4
鈴木穆　鮮銀不始末の眞因（エコノミスト **3**-18）　大 14
*臺灣銀行　臺灣銀行二十年誌　大 8　458 頁
*同　臺灣銀行十年誌　昭 5
*同　調査課　臺灣に於ける中小金融に就て　昭 5　59 頁　菊
*同　臺灣水產金融　昭 5
*臺灣總督府財務局　臺灣の金融　昭 5
田中敬吉　臺灣殖產銀行設立の急務（臺灣時報 87）　昭 2
戸泉憲洙　浦鹽朝鮮銀行支店の檢査に就て（ソウエート聯邦事情 **1**-6）　昭 5
*朝鮮銀行　朝鮮銀行二十五年史（澁谷禮治）　昭 10　276 頁　菊
*同　調査課　朝鮮の金融　昭 7
*同　朝鮮に於ける內地資本の流出入に就いて　昭 8〔8 年調査 60〕
*朝鮮公論社　朝鮮金融經濟總覽　朝鮮　同社　昭 3　737 頁
*朝鮮總督府咸鏡北道理財課　咸鏡北道金融一般〔年刊〕
*朝鮮總督府忠淸北道理財課　忠淸北道の金融〔忠北產業誌の內〕　大 12
*朝鮮殖產銀行　朝鮮殖產銀行十年志　昭 3　217 頁
*同　調査課　朝鮮金融事情概觀〔年 2 回〕
*同　朝鮮殖產銀行と朝鮮の產業　京城　大 13
植野勳　朝鮮の金利に就て（金融組合 23）　昭 5
同　朝鮮の金融體系に就て（金融組合 71）　昭 9
上山滿之進　臺灣銀行券は絕對安全である（臺灣時報 90）　昭 2
梅林卯之助　產業組合令の發布と地方金融組合（朝鮮經濟雜誌 94）　大 12
山上金男　朝鮮金融經濟管見調（滿鐵調査月報 **14**-4）　昭 9
山岸金三郎　臺灣の金融（臺灣產信協會雜誌 144）　昭 9
矢鍋永三郎　朝鮮の水田と金融（經濟知識 **7**-2）　昭 7
同　朝鮮金融組合制度の組織とその情勢（金融組合 76）　昭 10
善生永助　內地と朝鮮の資本關係（外交時報 573）　昭 3
同　朝鮮に於ける金貸業（朝鮮 197）　昭 6

本道資金の道外流出狀況（殖民公報 119）　大 10
京城に於ける金融組合（朝鮮經濟雜誌 137）　昭 2
滿洲の金融を語る一正金鮮銀抗爭の卷（ダイヤモンド **20**-23）　昭 7
滿洲の金融と朝鮮銀行（東洋經濟新報 1485）　昭 7
內外地銀行券統一問題（銀行統一の方法と其の用意）（金融知識 **5**-4）　昭 10
內外地銀行券統一論の再吟味（京都經濟時報 61）　昭 10
日鮮の資本關係の統計的觀察（財界研究 **6**-1）　昭 4
露國官憲の浦鹽鮮銀支店壓迫問題（滿蒙事情 108）　昭 5

最近の朝鮮銀行（東洋經濟新報 942）　大 10
昨年中京城の金融（朝鮮經濟雜誌 181）　昭 6
整理銀行の今後一臺灣，朝鮮，昭和，十五銀行（財政經濟時報 **15**-10）　昭 3
鮮銀保證準備擴張と限外發行稅の引下（大連商工月報 204）　昭 7
鮮銀の業績と中銀問題（日華の貿易 **2**-2）　大 12
鮮銀の移管案（ダイヤモンド **11**-34）　大 12
鮮銀の增資觀測（ダイヤモンド **7**-21）　大 8
鮮銀浦鹽支店問題に對する加藤總裁の聲明（銀行通信錄 540）　昭 6
鮮臺兩銀行券流通高の增加とその準備の變化（東洋經濟新報 1655）　昭 10
鈴木臺銀問題（エコノミスト **5**-8）　昭 2
臺銀援助の方策（東洋經濟新報 1040）　大 12
臺銀救濟緊急勅令（ダイヤモンド **15**-12）　昭 2
臺銀の整理始末（ダイヤモンド **15**-21）　昭 2
臺鮮兩銀行を普通銀行に引直すべし（東洋經濟新報 844）　大 8
臺鮮兩行を普銀に引直せ（東洋經濟新報 1244）　昭 2
臺灣銀行當局の聲明（臺灣時報 90）　昭 2
臺灣に於ける產業資金の需要（臺灣時報 93）　昭 2
特殊銀行と植民地銀行の整理（エコノミスト **3**-8）　大 14
朝鮮銀行と其難澁（東洋經濟新報 854）　大 8
朝鮮銀行浦鹽支店閉鎖問題（滿蒙事情 112）　昭 6
朝鮮銀行浦鹽支店檢查問題（銀行通信錄 538）　昭 5
朝鮮銀行浦鹽支店問題解決（銀行通信錄 544）　昭 6
朝鮮金融緩和策（朝鮮經濟雜誌 58）　大 9
朝鮮に於ける銀行合同（京城商工會議所經濟月報 224/25）　昭 9
朝鮮に於ける庶民金融機關の功罪（金融組合 55）　昭 8
朝鮮の銀行令改正と貯蓄銀行令の制定（朝鮮經濟雜誌 157）　昭 4
朝鮮の產業補助を主とする金融機關（朝鮮及滿洲 168）　大 10
朝鮮殖產銀行（インヴエストメント **3**-3）　昭 1
朝鮮殖產銀行概觀（政治經濟時論 **6**-4）　昭 6
朝鮮全道銀行會社一覽（東亞經濟事情 4）　大 9
增資迫れる臺銀（ダイヤモンド **7**-20）　大 8

アメリカ合衆國

松野賢吾　植民地ヴアヂニヤに於ける銀行の濫觴並に其後の發展（長崎高商研究館彙報 **19**-3）　昭 7

ブラジル

山科禮藏　伯國の植民地と金融機關（貿易 **28**-3）　昭 3

ドイツ

柏塚辰雄　大戰後に於ける獨逸海外銀行（商業及經濟研究 55）　昭 4
歐洲戰後に於ける獨逸海外銀行の復興狀況（銀行通信錄 498）　昭 2

フランス

外務省　印度支那に於ける農業金融施設（內外調査資料 4-2）　昭 7
藤澤親雄　印度支那銀行の特權問題（南洋協會雜誌 **6**-1）　大 9
向井章　印度支那の銀本位制廢止と印度支那銀行の新制度（東亞經濟研究 **14**-2/3）　昭 5
同　印度支那銀行特權更新法（東亞經濟研究 **15**-3）　昭 6
*臺灣總督府官房　佛領印度支那金融事情　昭 4〔南支那及南洋調 162〕
*朝鮮銀行調査課　佛國の對印度支那政策と印度支那銀行の組織改正に就て　昭 10　80 頁　菊
*橫濱正金銀行調査課　印度支那銀行報告　大 8〔調査報告 8〕
佛國の植民地銀行制度（調査月報 **21**-2）　昭 6
佛國植民地銀行の設立（海外經濟彙報 10）　昭 10
佛領印度支那の農業金融施設（海外經濟事情 **4**-8）　昭 6
印度支那の銀本位制廢止と印度支那銀行の新制度（東亞經濟研究 **14**-4）　昭 5
インド支那の民間投資額と有價證券發行高〔1924/28〕（海外經濟事情 39）　昭 3
印度支那事業界の投資狀況（南支那及南洋情報 **4**-16）　昭 9

イギリス

*今出孝一　新嘉坡に於けるチテイーに就て　大 8〔神戸高商海外旅行調査報告一大正七年度〕
ストラコッシ　英國植民地の中央銀行制（大阪銀行通信錄 287）　大 10

英國植民地の銀行業と貿易（藤本ビルブローカー銀行週報 225）　大 10

英領馬來に於ける金融狀況（臺灣時報 141/42）昭 6

自治領銀行近狀（國際經濟週報 **16**-38）　昭 10

イ　ン　ド

枝 吉　勇　印度に於ける農民の負債と其對策（東亜 **7**-3）　昭 9

ブレマニー　印度の高利貸（日印協會雜誌 51）　昭 7

滿　洲　國

滿洲の金融と朝鮮銀行（東洋經濟新報 1485）　昭 7

オ　ラ　ン　ダ

*ヘルフェリッヒ，エミール　海外企業銀行としての蘭領印度拓殖銀行の研究　村岡尊朝譯　糖業聯合會　大 10

稻 坂　晧　蘭領東印度に於けるカルチュア・バンク（銀行論叢 **15**-2/4）　昭 5

二宮丁三　蘭領印度の金融制度（東亜經濟研究 **18**-3）　昭 9

*瀨川英雄　瓜哇製糖金融管見 大 8〔神戸高商海外旅行調査報告—大正七年度〕

*臺灣總督府官房　蘭領東印度に於ける外國人の投資 昭 1　菊〔南支那及南洋調 128〕

*同　蘭領印度に於ける金融狀況 昭 6 17 頁　菊〔南支那及南洋調 203〕

吉田正三　蘭領東印度に於ける農園金融について（大阪商大經濟研究年報 5）昭 9

各國銀行制度概說〔蘭領東印度〕（商工月報 **6**-8）昭 5

列國投資狀況—蘭領東印度（通商公報 1106）大 12

スマトラ農業に對する外國投資〔支那及南洋情報〕（臺灣時報 123）　昭 5

瓜哇銀行史梗概（臺灣時報 100）　昭 3

瓜哇に於て要求する長期信用狀に就て（南洋經濟時報 **2**-4）　大 9

シ　ャ　ム

バンコックに於ける金利及金融機關（海外經濟事情 **5**-21）　昭 7

ウルグワイ

植民奬勵の目的にて新に新設されたウルグワイ不動產銀行の農業貸付方法（東拓月報 3-7）　大 11

4. 各種産業金融

a. 一　般

阿部留太　電氣事業の金融（金融大辭典 II 卷 10 頁）　昭 9

アレキサンダー　産業及貿易と銀行業との關係（大阪銀行通信錄 279）　大 9

濱田一二　中小水產金融論（水產界 587）昭 6

同　水產金融問題の重要性（水產界 594/96）　昭 7

服部希信　林業金融（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

細矢祐治　水產金融（金融大辭典 II 卷 5 頁）昭 9

福島太一　木材金融論　（商業及經濟研究 35）大 13

石卷良夫　映畵金融業務一斑（銀行研究 **10**-6/7）　昭 1

同　興行金融（金融大辭典 II 卷 5 頁）昭 9

伊谷以知二郎　水產金融の道程　（水產界 535/36）昭 2

伊藤猪六　中央市場水產銀行私案（水產界 510）大 14

片山七兵衛　漁業金融として「モリス・プラン」應用の一考察（水產界 564）　昭 4

勝田貞次　產業改造と企業金融制度（產業研究 5）　昭 6

桐生梅吉　中小水產業者の金融に就て（水產界 549）　昭 3

同　水產金融と漁船保險　（水產界 551）昭 3

同　水產金融と信託利用の話（水產界 556/58）　昭 4

同　水產金融に對する「モリス・プラン」の研究（水產界 559/60）　昭 4

小出成五　產業振興と產業金融制度（產業評論 **2**-2）　昭 2

栗栖赳夫　鑛業金融（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

二宮丁三　故宇田川商學士の「水產金融論」を讀む（山口高商調查課時報 **2**-4）昭 5

奥村伊八郎　中小水產業者の金融　（水產界 576）昭 5

佐藤百喜　森林金融の制度に就て　（山林 632）昭 10

武田春次郎　鑛業金融（經濟學辭典 II 卷 2 頁）昭 6

同　水產金融（經濟學辭典 III 卷 2 頁）昭 6

和田一郎　產業金融に就て（朝鮮 91）　大 11

*脇村義太郎　二個の傳統・紡績と銀行〔山崎教授還曆祝賀記念　經濟學研究—日本評論社—の內〕　昭 4

電氣事業投資の研究（竹原經濟時報 8）　昭 2

電氣事業投資之研究（銀行週報 834）　民 23

金融業者と公共事業の新組織（インヴエストメント **3**-1）　昭 1

林業金融のお話（經濟知識 **4**-1/2）　昭 5

產業資金に就て（東京經濟雜誌 2116）　大 11

水產金融の一考察〔住山漁史〕（水產界 560）　昭 4

b. 各　國　別

日　本

荒木秀一　製絲金融論（銀行研究 **1**-1）　大 10

栗谷清一　神戸に於ける生絲金融の實際（銀行研究 **16**-3）　昭 4

馬場鍈一　水產金融の改善に就て（水產界 567）昭 5

*大日本蠶絲會　製絲金融調查成績〔昭 5 年度〕東京農林省蠶絲局 昭 7 235 頁 菊倍〔非賣〕

大日本水產會　水產金融改善問題に關する資料（水產會 619）　昭 9

*花田至明　東北地方に於ける特殊金融策　仙臺齋藤報恩會 昭 3〔產業に關する懸賞論文の內〕

林謙吉郎　南洋企業と資金運用（南洋協會雜誌 **5**-5）　大 8

平野不令　海保から觀た日本海事銀行（保險銀行時報 1638）　昭 8

法政大學經濟學部研究室　米穀金融の現狀と問題（法政大學論集 **3**-1）　昭 2

細矢祐治　本邦水產金融問題　（銀行研究 **3**-3, 6）　大 11/12

細矢祐治　本邦水產金融を論ず（明大商學論叢 **15**-1/2）　昭 8

*福島縣內務部　農山漁村低利資金融通に關する桑園改良事業要項〔年刊〕

藤原泰　生絲金融（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

池田龍藏　生絲融資拒絕問題　（エコノミスト **2**-7）　大 13

石卷良夫　生絲金融改善策（中央銀行會通信錄 242, 244/45）　大 12

同　常設館投資の確實性（中央銀行通信錄 306）　昭 3

岩崎正一・他　森林金融座談會　（山林 575）昭 5

*鹿兒島縣學務部　鹿兒島縣社會事業協會生業資金貸付　昭 5

龜島泰治　清酒資金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　製茶資金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　肥料資金（金融大辭典 III 卷 2 頁）昭 9

神戸正雄　當面の特殊金融（時事經濟問題 16）大 12

同　生絲金融の問題（時事經濟問題 22）大 13

同　鐵道銀行法案（時事經濟問題 23）大 13

桐生梅吉　水產金融と冷藏設備の普及（水產界 548）　昭 3

同　產業組合と漁業組合の出資制とに就て（水產界 567/68）　昭 5

北崎進　綿業金融（金融大辭典 III 卷 10 頁）昭 9

*小橋亮作　東北地方に於ける特殊金融策　仙臺齋藤報恩會 昭 3〔產業に關する懸賞論文の內〕

小坂三郎　漁村金融の特殊性（地方行政 **42**-12）昭 9

草島定太郎　生絲機關銀行設立論（銀行研究 **3**-6）大 11

牧田宗知　融資減額と米綿市價の前途（ダイヤモンド **23**-25）　昭 10

松本伊織　安全なる水產資金の投下方法（朝鮮經濟雜誌 142）　昭 2

同　小農に對する小額生業資金貸付事業（朝鮮 191）　昭 6

松村勝利　蠶絲金融の實際と其改善策（銀行研究 **11**-3）　昭 1

南正樹　農山漁村の金融と產業組合（自治研究 **11**-3）　昭 10

滿富俊美 臺灣茶業金融に就て（臺灣時報157）昭7

日開猪澤 製絲金融の實態及豫想法則（東洋經濟新報1509）昭7

蜷川虎三 漁業組合に於ける出資制度（經濟論叢 **36**-4）昭8

*日本勸業銀行調査課 水產金融に關する調査 大12

*同 水產金融に關する調査 昭6

西田峰吉 蠶繭金融の現狀と將來の問題（蠶絲界報524）昭10

西村晃文 大連に於ける特產出廻と金融（滿洲公論 **14**-10）昭10

農林省農務局 日本銀行と製絲金融（大日本蠶絲會報424）昭2

*同 地方自治體の產業資金融通狀況調査 昭4〔產業組合參考資料15〕

*農林省農務局蠶絲課 製絲金融調査成績〔年刊〕

*同 製絲金融に關する調査 75頁 菊 昭2

*農林省山林局 本邦林業金融事情〔年刊〕

*同 本邦森林金融事情（昭和8年度）農業と水產社 昭9

野崎龍七 期末金融（金融大辭典 I 卷1頁）昭9

同 織物金融（金融大辭典 I 卷3頁）昭9

同 シビ金（金融大辭典 II 卷1頁）昭9

奥野平 絲價安定融資補償法 附：法の發動と金融上の影響（銀行論叢 **14**-4）昭5

大三輪奈良太郎 蠶絲金融に關する私見（中央銀行會通信錄230/31）大11

太田義繁 製絲資金論（銀行研究 **5**-1）大12

同 生絲金融の諸問題（銀行研究 **6**-4）大13

齋藤龍治 肥料金融調査の數字の當否に關する檢討（產業組合347）昭9

崎村茂樹 滿洲農產物の銀資金一日滿經濟發展の視點に立ちて（農業經濟研究 **9**-4）昭8

作田敏世 木材取引及木材金融の實際（銀行研究 **12**-4；**13**-1）昭2

*產業組合中央會 肥料金融等に關する調査 昭9 329頁 四六倍

同 肥料金融に關する調査（產業組合340）昭9

*產業組合中央金庫 譯 見返貸付制度 昭3

佐治正一 產業組合の肥料金融に就て（產業組合329）昭8

澤野好三 生絲產業と內地金融（銀行研究 **12**-1）昭2

妹尾一雄 蠶絲金融機關としての乾繭倉庫（銀行研究 **15**-4）昭3

同 製絲組織の變革と蠶絲金融の趨向（銀行研究 **21**-4）昭6

瀨戶勇 生絲業者の金融實務（商事研究 **5**-1/2）大14

澁谷禮治 米穀と金融（朝鮮221）昭8

十龜盛次 電氣事業の金融問題（電氣經濟時論 **4**-12）昭7

鈴木良作 兩毛染色工業界の金融狀態（化學工藝89）大13

*臺灣銀行調査課 臺灣水產金融 昭5

*同 中部產米取引及金融の沿革 昭6

高山武雄 蠶絲業金融私觀（大日本蠶絲會報393）大13

同 原資金の調達に就て（銀行研究 **6**-4）大13

同 生絲問屋金融制度の改善傾向（銀行研究 **6**-6）大13

同 蠶絲金融策として米資輸入問題（銀行研究 **7**-3）大13

同 蠶絲低利資金觀（銀行研究 **7**-4）大13

同 蠶絲金融と倉庫關係（銀行研究 **7**-6）大13

同 蠶絲金融改善策論（大日本蠶絲會報396/98）大14

同 蠶絲金融の特性（金融研究 **2**-1）大14

同 蠶絲低利資金觀（銀行研究 **8**-4）大14

同 本年度蠶絲金融の特徵（銀行研究 **9**-4）大14

同 神戶生絲金融問題管見（銀行論叢 **4**-1）大14

同 本邦蠶絲金融の實際（銀行論叢 **6**-2）昭1

竹內則之 本邦陶磁器業金融問題序論（中央銀行會通信錄312/13）昭4

田中貢 生絲資金の調達方法（明大商學論叢 **4**-2/3）昭3

帝國水產會 水產金融改善問題に關する資料（帝水 **13**-5）昭9

同 特殊銀行に於ける水產金融（帝水 **13**-11）昭9

*帝國鐵道協會 鐵道銀行設立に關する建議（野村龍太郎）大12

津村秀夫 國際貸借改善と海事金融案（工業之大日本 **26**-10）昭4

*朝鮮殖產銀行調査課 牛皮に對する金融に就て 昭8

宇田川謙三 蠶絲金融の改善策（大日本蠶絲會報424）昭2

*渡邊東雄 東北地方に於ける水產金融策 仙臺齋藤報恩會 昭3〔產業に關する懸賞論文の內〕

山本美越乃 水產資本融通問題（經濟論叢 **20**-1）大14

山室宗文 我國の棉業金融に就て（大阪銀行通信錄341）昭1

同 電氣事業と金融市場（電氣界 229, 232/33）昭1/2

同 生絲金融（金融大辭典 I 卷8頁）昭9

柳川昇 綢生織物業に於ける前貸制度（經濟學論集 8）昭6

*安西千賀夫 濠洲の產業金融及貿易 大8 736頁 菊

*橫濱商業會議所調査部 製絲金融の現況 昭23 4頁

*橫濱正金銀行調査課 生絲金融と外國爲替（三代幸）大12〔調査報告 42〕

*全國經濟調査機關聯合會 電力統制と金融問題 昭6〔同會彙報別冊 44〕

電氣事業の發展と其金融問題（エコノミスト **5**-4）昭2

本年度製糸資金割引歩合（銀行通信錄533）昭5

本邦の森林金融（國勢グラフ **3**-9）昭9

茨城縣下漁業經濟金融情況調査（水產界565）昭4

生絲問屋の製絲金融（經濟知識 **5**-6）昭6

生絲金融と其の缺陷（東洋經濟新報1043）大12

金融上から見た蠶絲業統制（金融知識 **5**-2）昭10

棉絲金融の現狀と問題（法政大學論集 **2**-3）昭2

農林省蠶絲局調査：製絲金融調査成績（蠶絲界報484）昭7

大阪及名古屋に於ける倉庫營業と木材金融との關係（みやま **2**-5）昭5

產業組合金融と產繭〔更敍學〕（產業組合347）昭9

蠶絲金融の實際と其改善策（銀行研究 **11**-3）昭1

蠶絲恐慌と春繭資金問題（金融知識 **4**-1）昭9

製絲金融の現況に就て（銀行通信錄500/01）昭2

製絲金融とは（經濟知識 **5**-6）昭6

絲價安定融資補償法問題の論戰（蠶絲界報469）昭6

絲價補償資金融通條件（銀行通信錄531）昭5

森林金融機關構成に對する米國政府の補助（山林彙報 **30**-1）昭10

市中銀行の製絲金融（經濟知識 **5**-6）昭6

臺灣に於ける產業資金の需要（臺灣時報93）昭2

地方銀行の製紙金融（經濟知識 **5**-6）昭6

特種產業資金と自作農創定〔大道生〕（金融組合24）昭5

我國纖維工業に於ける金融諸問題（產業研究 9）昭10

蠶繭應急資金の話（經濟知識 **6**-1）昭6

アメリカ合衆國

遠藤伊三次 米國產棉花の販賣及金融に就て（國民經濟雜誌 **30**-5）大10

遠藤昇二 米國に於ける棉花金融に就て（銀行研究 **16**-6）昭4

石卷良夫 米國の映畵金融に就て（銀行研究 **7**-5）大13

岩井仙吉 米國に於ける航空事業金融（銀行研究 **13**-6）昭2

大下祐五郎 棉花過剩生產に對する米國政府の金融對策（銀行研究 **13**-5）昭2

同 米國政府の綿花金融政策（銀行研究 **21**-4）昭6

牧田宗知 融資減額と米棉市價の前途（ダイヤモンド **23**-25）昭10

*日本銀行調査局 紐育諸銀行の系統並に其の產業界との聯繫に關する調査 大14

米國南部銀行の新棉金融決定（海外經濟事情 **4**-48）昭6

農產品使用製造業者資金融通會社設立計畫（米國）（海外經濟事情 **5**-32）昭7

森林金融機關構成に對する米國政府の補助（山林彙報 **30**-1）昭10

フランス

*鐵道省國際觀光局 佛國ホテル業者は如何にして其資金を調達し居るか，國立ホテル業資金貸付會社とホテル買入證券制度 昭6

*同 佛蘭西のホテル貸付銀行に就て 昭6 75頁 四六

イギリス

英國綿業救濟金融問題（海外經濟事情 **3**-44）昭5

チ　リ　ー

チリー硝石會社存續と其改造及資金調達に關するチリー政府の聲明（海外經濟事情 5-34）昭 7

滿　洲　國

*滿鐵庶務部調査課　北滿に於ける特產物擔保貸出　昭 4　50 頁〔パンフレット 63〕

申澤 正治　滿洲の興業金融に就て（工業 70）昭 7

崎村 茂樹　滿洲農產物の銀資金一日滿經濟發展の視點に立ちて（農業經濟研究 9-4）昭 8

滿洲に於ける支那特產商と其の金融方法（調査時報 7-9）昭 2

特產金融關係圖解（通商彙報 301）昭 7

ノールウェー

岡本 清造　諸威丁抹の水產金融の組織—水產金融過程に於ける國家統制の近情（帝水 12-8）昭 8

オ ラ ン ダ

*瀨川 英雄　瓜哇製糖金融管見　大 8〔神戸高商海外旅行調査報告—大正七年度〕

オーストラリア

*安西 千賀夫　濠洲の產業金融及貿易　大 8

支　　那

渭　耕　建設與金融業之關係（錢業月報 11-3）民 20

靜　如　中國棉業銀行解散記（銀行週報 491）民 16

周 作民　華北產業發展與金融之關係（紡織週刊 3-36）民 22

支那綿業銀行計畫（滿蒙實業彙報 95）大 12

支那の產業と金融〔中國銀行報告〕（國際事情 406）昭 9

XVII. 銀 行 經 營

1. 一　　般

アダム・スミス學會　銀行業務改善論（大阪銀行通信錄 359）昭 2

謝　蘅　銀行之組織與資本（銀行週報 694）民 20

荒木 秀一　銀行支店とマクファデン法案（大阪銀行通信錄 347）昭 1

荒木東一郎　銀行業者の新任務（銀行研究 25-2）昭 8

アトウッド　米國の銀行併合と支店問題（外國の新聞と雜誌 156）昭 2

東 爽五郎　銀行の實質的減配私案（會計 22-1）昭 3

バーミンガム　新取引開拓と勘定の分解（銀行論叢 10-5）昭 3

江口 行雄　銀行に於ける確實性と收益性の研究（彥根高商論叢 3/4）昭 2, 3

榎並 越夫　信託業務と銀行業務の交涉（銀行研究 1-1/3；2-1/2）大 10/11

*フイスケス，アモス・キッダー　最近米國銀行事務　高塚慶助 譯　東京　未來社 大 14　351 頁　四六

*銀行研究社　銀行の新經營法　東京　文雅堂　昭 3　353 頁　四六〔銀行講座〕

I. 銀行の新取引開拓部　緒言　1. 新取引開拓部の目的　2. 新取引の源泉　3. 銀行内諸部との關係　4. 新取引開拓部内諸係　5. 中央カード式簿（得意先名簿）　6. コルレス勘定の吸收及預金の分析　7. 手懸りを得る方法　8. 追求組織　9. 新取引開拓部の積極的活動　10. 新取引開拓部の我國への應用　11. 我が銀行及信託會社の宣傳手段

II. 銀行業の能率增進　1. 銀行經費の合理化　2. 機關使用に依る勞務の節約　3. 行員の待遇と能率增進　4. 銀行及信託會社の積算式經費法　5. 銀行犯罪の豫防策

*銀行問題研究會　銀行實務講義　大阪　同所　昭 8　924 頁　菊

グレガー，マク　銀行の取引擴張策（銀行論叢 2-6, 3-1/4, 4-5）大 13/14

グリフィン，ケルマン　銀行新取引開拓策（銀行論叢 13-5）昭 4

同　銀行の業務擴張策（銀行論叢 13-6；14-1/6；15-2/6）昭 4/5

*同　如何にして取引を開拓すべき—米國式銀行戰術　大井 漣 譯　大阪銀行問題研究會　昭 7　266 頁　四六

原田 忠治　コスト引下げに腐心する米國々立銀行（金融三層 5-9）昭 9

原科 保之　銀行の新顧客吸收策（銀行研究 14-3）昭 3

長谷川安兵衛　銀行の配當政策を論ず（銀行研究 25-1）昭 8

橋本 良平　富豪經營銀行の株式組織化を論ず（銀行研究 7-4）大 13

橋爪 明男　貸借對照表に現れたるイギリスの五大銀行（經濟研究 5-1）昭 3

*服部 文四郎　銀行の系統と其經營〔和田垣教授在職二十五年紀念經濟論叢の内 22 頁〕大 13

*平井 信也　銀行業務と法律との交涉 3 版　東京　文雅堂　昭 3　374 頁　四六〔銀行講座〕

平松 邦男　銀行經營の苦難時代（稅 13-10）昭 10

堀江 歸一　時勢の進歩に鑑みよ〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6）昭 1

同　銀行減配問題（エコノミスト 5-15）昭 2

細井安次郎　銀行出張所の性質と取扱ひ事務（銀行研究 17-6）昭 4

細矢 祐治　銀行經營主義の將來と金融政策（太陽 28-14）大 11

同　普通銀行經營の改善及銀行政策（銀行研究 4-2/5）大 12

同　兩業の兼營を排斥する〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6）昭 1

同　金融恐慌の跡と銀行經營の改善問題（銀行研究 13-1/2）昭 2

古屋 吉雄　銀行改善の重要諸點（銀行研究 13-5）昭 2

*藤本ビルブローカー銀行調査部　新法案の銀行業態に就いて　附：銀行法對照銀行法案　昭 2　42 頁〔非賣〕

*藤城 敬二　銀行の管理及經營　東京　文雅堂　昭 1　356 頁　菊

同　銀行經營の根本方策（銀行研究 26-3）昭 9

同　銀行の取引擴張方策（銀行研究 28-1）昭 10

藤田國政　取引擴張策の研究（銀行論叢 9-1/6; 10-1, 3; 11-1）昭 2/3
池田藤四郎　新經營策—小口貸附連鎖銀行（ダイヤモンド 17-5）昭 4
同　新經營策—銀行合同の意義（ダイヤモンド 17-22）昭 4
今來新之助　銀行の特殊取引先（銀行研究 25-4）昭 8
井上準之助　銀行經營上の戒心（銀行論叢 10-6）昭 3
石田隆一　英國銀行業績に現れたる傾向（銀行論叢 16-4）昭 6
石黒武松　銀行の企業的性質を論ず（銀行研究 5-2）大 12
石井健吾　金利低下時代に於ける銀行業經營に就て（銀行通信錄 582）昭 9
石卷良夫　銀行減配問題と銀行監督の革新（銀行研究 9-2）大 14
伊藤由三郎　銀行業務改善申合せに就いて（銀行論叢 10-2）昭 3
岩井仙吉　G. E. アンダーソン：銀行經營難と將來の收益（銀行研究 29-1）昭 10
岩崎博　銀行合同の銀行經營及利潤に及ぼす影響（銀行研究 10-6）昭 1
岩崎靜也　東西銀行の業務改善に就て（銀行論叢 9-2）昭 2
*岩塚源也　銀行からくり物語　東京　明日社　昭 2　323 頁
甲斐精一　我國普通銀行の安全策研究（銀行研究 16-1/2, 4/6; 17-2, 5）昭 4
神戸正雄　銀行資本金制限の引上（時事經濟問題 13）大 12
同　銀行運營上の不備（時事經濟問題 17）大 12
同　銀行の減配勸告と協定勵行（時事經濟問題 31）大 14
同　地方銀行の經營難（時事經濟問題 47）昭 1
同　新普通銀行法案と銀行資本金（時事經濟問題 57）昭 2
同　銀行業務の改善（時事經濟問題 67）昭 3
同　銀行減配と當座無利子問題（時事經濟問題 87）昭 4
同　銀行資本制度の問題（時事經濟問題 89）昭 4
春日井薫　人格的銀行論の提唱（銀行研究 11-4）昭 1
同　銀行獨立の第一步としての配當制限論（銀行研究 12-6）昭 2
同　銀行の公共性と公開性—資產狀態及營業內容の公表問題（銀行研究 15-4）昭 3
*同　兌換銀行券發行と預金銀行業務との關連〔明大創立滿五十年記念論文集の內〕昭 6
同　通貨膨脹時代の金融—銀行業者の戒心自重を要望す（銀行研究 22-4）昭 7
勝田貞次　銀行の新經營法（銀行研究 8-1）大 14
同　銀行業發展策と預金吸收問題（銀行研究 9-3）大 14
同　銀行經營と貸付業務の改善（銀行研究 9-4）大 14
勝間田正造　銀行經營の民衆化（ダイヤモンド 16-1）昭 3
*川口酉三　銀行事務解說 3 版　東京　博文館　大 13　584 頁　菊
川上良兒　バンカース・バランセスを廻りて—銀行資本の都市集中の傾向（銀行論叢 13-6）昭 4
同　銀行經營に於ける研究の對照と其方法（銀行論叢 14-3/4）昭 5
同　新らしき銀行經營論の誕生（銀行論叢 14-4）昭 5
同　支店設置に關する諸原則の考察（銀行論叢 15-1）昭 5
同　預金銀行主義の崩壞と兼業主義の勝利（銀行論叢 15-3）昭 5
同　支店の營業考察方法に就いて（銀行論叢 15-4）昭 5
同　銀行の合同に關する經營政策（銀行論叢 17-3）昭 6
同　銀行の利益上の提携〔新しき銀行經營論 14〕（銀行論叢 17-4）昭 6
同　銀行の國外進出の限界〔新しき銀行經營論 15〕（銀行論叢 17-4）昭 6
同　銀行中心國外進出の限界〔新しき銀行經營論 16〕（銀行論叢 17-5）昭 6
同　貸出利率の高低と變動〔新らしき銀行經營論 17〕（銀行論叢 17-6）昭 6
同　金輸再禁止と銀行經營の將來（銀行論叢 18-1）昭 7
川瀨和夫　銀行業に於ける求心的傾向と遠心的傾向（銀行論叢 19-6）昭 7
同　銀行經營に現はれたる惰性的勢力（銀行論叢 20-2/3）昭 8
同　銀行經營と預金の取付（銀行論叢 20-6）昭 8
同　銀行經營に於ける得意先掛存在理由の檢討（銀行論叢 22-6）昭 9
同　低金利政策と銀行經營の交錯を論ず（銀行論叢 23-3）昭 9

加地良七　本店の支店統督關係序說（銀行研究 17-3）昭 4
桐生梅吉　地方銀行の營業不振に就て（銀行研究 11-2）昭 1
*岸谷梧郎　銀行內合理化の研究 東京 森山書店 昭 6　171 頁　四六
同　我國普通銀行の特異性と今後の經營（銀行研究 21-5）昭 6
小林一三　銀行經營批判—大銀行の地方支店分離化すこと（經濟往來 4-5）昭 4
*駒井清次郎　銀行業務研究（銀行に於ける預金吸收並びに取引擴張の積極的方策たる所謂「取引擴張課」に就て）昭 1
小坂英太　東計理士の「銀行の實質的減配私案」に就いて（銀行研究 14-4, 8）昭 3
小坂珠城　銀行出張所制度に就て（銀行研究 8-3）大 14
同　銀行出張所の事務取扱方法（銀行研究 9-3）大 14
同　〔銀行〕出張所制度の若干考察（銀行研究 21-2）昭 6
同　銀行經營に對する若干問題（銀行研究 26-6）昭 9
小山英次　大陸銀行と英國銀行との差異に就て（銀行論叢 3-4）大 13
小島昌太郎　銀行の支拂係數について（銀行研究 29-5）昭 10
今野源八郎　アメリカ銀行資本の一傾向（經濟學論集 3-2）昭 7
瞿荊洲　我國銀行之資本比率（新中華 2-8）民 23
熊田克郎　英國大銀行の統制組織（大阪銀行通信錄 393）昭 5
吳文炳　獨特の使命を有する別個の機關〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6）昭 1
黒澤清　銀行經營に於けるコンテンラーメンの適用（會計 32-5/6）昭 8
草間秀雄　銀行減配實行に就いて（朝鮮 147）昭 2
草島定太郎　普通銀行の實際的合理化を論ず（銀行研究 14-8）昭 3
串本友三郎　獨逸信用銀行の私經濟的研究の資料（銀行研究 9-4）大 14
同　銀行經營の合理化に關する若干問題（銀行研究 13-3/4）昭 2
同　銀行經營改善に關する若干の考察（銀行研究 15-4）昭 3
同　カルヴエラム氏の銀行經營學（大阪銀行通信錄 366, 370/71, 373/74, 376）昭 3
*串本友三郎　銀行組織及經營〔銀行信託講座 1, 2, 4, 10 の內〕昭 4/5
同　銀行經營學（銀行論叢 13-6; 14-1/6; 15-1/2, 4/6）昭 4/5
同　獨逸信用銀行に於ける經營上の强味と弱味（銀行研究 21-3）昭 6
同　獨逸信用銀行の經營政策に對する批判（銀行論叢 17-6）昭 6
同　獨逸信用銀行の支店統制（大阪銀行通信錄 433）昭 8
同　獨逸に於ける銀行改善問題批判（銀行論叢 22-5/6）昭 9
補見一正　獨逸信用銀行の業績に現れたる戰後の變化に就て（經濟時報 3-10/12）昭 7
牧野元次郎　恐慌時代に於ける銀行家の態度（銀行論叢 11-6）昭 3
マックレゴーア　銀行業務の發達と新取引課の組織竝に職能（大阪銀行通信錄 309, 313, 315）大 12
松本雅男　本邦銀行成果經營生活標準の研究（彥根高商論叢 9/10）昭 6
松尾藤平　收益計數及經濟的效果より見たる減配の可否（銀行論叢 5-3）大 14
松岡神惠　預金保護より銀行改善策（大阪銀行通信錄 317/18）大 13
松島喜作　災害防禦と銀行業務（銀行論叢 1-5）大 12
松崎壽　我國銀行經營の根本問題（銀行研究 3-4）大 11
同　米國銀行經營の實際と學說（銀行研究 5-2）大 12
同　米國銀行業の兼營化（銀行研究 20-3）昭 6
同　銀行政策の轉換可否（銀行研究 25-4）昭 8
南信好　銀行經營改善の一考察（中央銀行會通信錄 291）昭 2
ミラー　銀行業務開拓新戰術（銀行論叢 18-5）昭 7
三浦實　銀行業務（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
三宅嘉十郎　我國銀行取引改善の根本方針（三田學會雜誌 13-4）大 8
溝口幸太郎　金利低下に依る利鞘の縮少と諸對策（銀行論叢 24-4）昭 10
村井藤一郎　銀行收益減少打開私策（銀行論叢 25-2）昭 10
中村實　法定準備金算定の基礎吟味（銀行研究 19-5）昭 5

中村 佐一 貨幣狀態と銀行業務との交渉（銀行研究 **29**-6） 昭 10

中村 重夫 銀行收益資產內容の改善（銀行研究 **13**-1） 昭 2

同 緊縮時代に於ける銀行經營（銀行研究 **17**-6） 昭 4

中田 政吉 考課狀による銀行の研究（銀行研究 **20**-2/3, 5/6; **21**-1/3） 昭 6

中谷 實 信用擴張と銀行流動性（經濟論叢 **33**-3） 昭 6

ナップ 銀行は如何にして業務を擴張すべきか（銀行論叢 **10**-1/6） 昭 3

成瀨 義春 銀行業務の刷新（財政經濟時報 **13**-9） 昭 1

*西 繁數 銀行事務の合理化的研究 5版 東京 文雅堂 昭 8 342 頁 菊

1. 銀行帳簿形態の根本問題 2. 傳票制度の確立と傳票樣式の合理化 3. 銀行諸帳簿の改廢問題 4. 實務書類計表樣式批判 5. 銀行業者の觀たる手形法の合理化 6. 銀行員の常識と法律智識との限界 結論

*西村 勝太郎 銀行經營經濟論 東京 寶文館 昭 7 434 頁 菊

1. 新經營主義 2. 銀行の經濟史的發達徑路 3. 銀行の經營經濟的諸問題 4. 銀行業の法律的基礎 5. 銀行業務の經營經濟 6. 銀行業の商業的技術 7. 銀行業に於ける簿記と統制 8. 銀行業に於ける原價計算 9. 銀行業の經營經濟統計

同 ニユー・ビヂネス・デパートメントの事務解說（大阪銀行通信錄 430, 434） 昭 8

西村 誠一 米國の銀行經營と預金利息（金融三層 **4**-7） 昭 8

丹羽 順二 銀行の利益增進策—銀行サービスを有利に賣却する事（中央銀行會通信錄 336） 昭 6

野田 信保 銀行の破綻防止策としての重役及株主に制限を加ふるの可否（金融研究 **3**-1） 昭 1

野崎 龍七 銀行サーヴィス（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

同 一人一行主義（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

同 積立金（銀行の）（金融大辭典 II 卷 4 頁） 昭 9

王 效文 銀行經理之代理問題（銀行週報 766） 民 21

王 維駰 如何增進銀行之利益（銀行週報 766） 民 21

王 金海 所謂信託預金と銀行預金（信託と證券 **1**-2/4） 昭 4

小川 鄕太郎 銀行の他業兼營に就て（インヴェストメント **5**-2） 昭 2

岡田 純夫 銀行堅實化の一つの錯覺有價證券評價切下に就て（銀行研究 **23**-1） 昭 7

奧田 勳 銀行資本金に就て（商光 **2**-2） 大 13

奧田 唯輔 カルペラム銀行經營論を讀む（長崎高商研究舘彙報 **20**-1/6; **21**-2, 6） 昭 7

大澤 佳郎 英米銀行業務見聞錄（龍門雜誌 468） 昭 2

ボール, ジエー・ダブリユー 米國銀行經營の趨向（銀行通信錄 523） 昭 4

*レイ, ジョージ 銀行と其顧客 中島 庚譯 東京 文雅堂 大 9 318 頁 四六

龍 銀行錢莊業務同異之辯（錢業月報 **7**-5） 民 16

佐上 音松 獨逸の銀行業務合理化（大阪銀行通信錄 396/97） 昭 5

酒井 杏之助 銀行經營と信用調査（龍門雜誌 513/14） 昭 6

坂本 重關 銀行經營合理化第一年（銀行研究 **18**-1） 昭 5

佐久間長次郎 銀行の資本收得預金利子及貸出利子の構成（銀行研究 **17**-5） 昭 4

*同 銀行業態の研究 東京 文雅堂 昭 5 247 頁

同 企業としての銀行及利潤（企業經營 **2**-3） 昭 5

同 銀行の減配難, 整理難と對策（銀行研究 **20**-3） 昭 6

同 金利低下と銀行收益減少に付ての考案（銀行研究 **28**-1） 昭 10

佐野 包治 金融恐慌と銀行經營の將來（銀行論叢 **8**-6） 昭 2

佐々木駒之助 信用授受と銀行の責任（銀行論叢 **4**-1/2） 大 14

佐瀨 昌光 銀行取引と法律との基礎的關係（銀行研究 **20**-2） 昭 6

同 銀行業務に於ける商慣習の研究（銀行研究 **20**-4） 昭 6

佐藤 正雄 考課狀に依る銀行業態比較研究の前提的問題（銀行研究 **25**-5） 昭 8

靜 如 銀行節省經營之要點（銀行週報 676） 民 19

*妹尾 一雄 銀行取引の法律的解說 7 版 東京 文雅堂 昭 9 903 頁 菊

*同 銀行取引法論 東京 文雅堂 昭 10 688 頁 菊

I. 預金篇 1. 當座勘定取引の法律的構成 2. 手形小切手に依る銀行預金の效力發生の時期 3. 定期積金の法性 4. 貯蓄銀行の營業停止と定期積金 5. 銀行預金支拂の商慣習 6. 未成年者と銀行預金取引 7. 預金者の死亡と銀行の對策 8. 當座預金の時效 9. 記名式小切手支拂銀行の責任の範圍 10. 休業銀行の和議と預金者の相殺問題

II. 貸付篇 1. 貸出業務比較論 2. 支拂人本位に依る割引の提唱 3. 手形貸付の法性と書換繼續の效果 4. 手形貸付に於ける手形時效完成の效果 5. 約束手形

振出人の拒絕證書作成免除 6. 當座貸越取引論 7. B.L 問題と其の判例 8. 貨物引換證に於ける荷受人の意義 9. 銀行の組合金融 10. 銀行の社寺取引 11. 期限前の內入金と破產法上の否認權 12. 債務者の破產と銀行の對策並に其の手續 13. 貸付有價證券取引の性質

III. 擔保篇 1. 轉質論 2. 流質契約論 3. 賣渡擔保と買戾約款附賣買 4. 讓渡禁止株式の質權設定 5. 記名株式の質入と株主配當金に對する效力 6. 銀行及信託會社の自己株式所得 7. 信託受益權の質入 8. 根抵當期間の延長 9. 抵當權に對する擔保權設定 10. 抵當權順位の讓渡と拋棄 11. 國稅徵收法第三條に所謂「抵當權」の意義 12. 根保證論

IV. 內國爲替篇 1. 爲替取引銀行間の法律問題 2. 當座口振込の法律的考察 3. 電信送金爲替の法律的考察 4. 爲替尻付替の取消 5. 銀行の休業と爲替取引 6. 手形取立受任銀行の法律上の地位

V. 手形交換篇 1. 手形交換の法的性質 2. 手形交換の性質と事務的對策

瀨戶 健助 最近に於ける各國私營銀行組織の概況（銀行研究 **18**-5） 昭 5

下野 直太郎 銀行業の經營難と其救濟策（會計 **21**-4） 昭 2

志村 芳太郎 米國に於ける銀行の資本金（金融三層 **4**-4） 昭 8

汐見 三郎 銀行法と普通銀行の資本金（經濟論叢 **24**-6） 昭 2

白井 芳太郎 銀行經營に於ける地方主義, 預金主義並に愛國主義の弊害（銀行研究 **16**-10） 昭 4

白石 幸三郎 普通銀行の營業狀況（經濟知識 **14**-6） 昭 10

左右田 誠一 銀行資金の一考察（銀行論叢 **1**-3） 大 12

十龜 盛次 貸借對照表より見たる英國銀行業（銀行研究 **21**-4） 昭 6

孫 開鎬 銀行經營之特殊問題（銀行週報 783） 民 22

須佐美 芳男 銀行の信用と其利益（銀行研究 **8**-4） 大 14

謝 菊曾 修正銀行營業規程之感想（銀行週報 771） 民 21

平 實 米國商業銀行の營業政策（銀行論叢 **21**-3/4） 昭 8

高垣 寅次郎 銀行經營批判—現時の銀行狀態（經濟往來 **4**-5） 昭 4

高岡 末彥 最近の我判例から見たる銀行の手形事務（大阪銀行通信錄 456/58） 昭 10

高瀨 莊太郎 昭 4, 5 年度我國銀行經營の動態的研究（商學研究 1） 昭 7

同 銀行の經營分析（銀行通信錄 581/82） 昭 9

武田 鼎一 銀行業務改善の一策（エコノミスト **5**-16） 昭 2

武谷 成直 銀行の本店支店及出張所に就て（銀行研究 **10**-7） 昭 1

竹內 英吉 大阪組合銀行の出張所網（銀行研究 **12**-4） 昭 2

同 業務報告書に依る支店成績採點法（銀行研究 **29**-2） 昭 10

竹內 恒吉 銀行の支店統制を論ず（大阪銀行通信錄 447） 昭 9

竹內 常治 銀行業の對財界策（東京經濟雜誌 2071） 大 9

田邊 實郎 私論銀行發展策（銀行研究 **2**-3/4） 大 11

*田中 金司・新庄 博 銀行經營論 東京 千倉書房 昭 10 335 頁 菊〔商學全集 18〕

*帝國業務興信社編 業務必携〔銀行の部〕東京 同社 大 8

內田 藤四郎 銀行業務開拓新戰術（銀行論叢 **16**-6） 昭 6

內山 直 銀行能率に關する考察（大阪銀行通信錄 293） 大 11

山口 義一 經濟界の概觀と銀行の共同減配（竹原經濟時報 6） 昭 2

*山本 貫一 銀行實務改善策 大阪銀行問題研究會 昭 10 356 頁 菊

*山崎 宗直 英文「銀行信託及保險業務と現代商業英語」東京 丸善株式會社 昭 5 372 頁 菊

吉田 正三 ウイリアム・ヘイス: インフレーションは銀行業に如何に影響するか（銀行研究 **26**-1） 昭 9

遊佐 慶夫 兩業者間に紛議を生ずる現行制度〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント **4**-6） 昭 1

米國國立銀行のコスト（金融三層 **4**-5） 昭 8

米國聯邦準備銀行加盟銀行の資本金に關する利益率に就て（銀行通信錄 526） 昭 4

米國諸銀行の營業狀態と其の地方的分布（銀行通信錄 562） 昭 7

外人の銀行持株數（銀行通信錄 547） 昭 6

現行爲替管理令と銀行業務（大阪商工會議所月報 337） 昭 10

銀行減配勸告問題の意味（東洋經濟新報 1154） 大 14

銀行減配の急務（ダイヤモンド **18**-15） 昭 5

銀行減配論—銀行業の裏面—〔目白隱士〕（銀行研究 **9**-2） 大 14

銀行減配時代來る（金融知識 **4**-1） 昭 9

銀行業務改善問題卑見〔淡々居士〕（大阪銀行通信錄 358） 昭 2

銀行業務改善隻語〔淡々居士〕（銀行通信錄 503） 昭 2

銀行業務の範圍（銀行判例 **3**-1） 昭 5

銀行業務の範圍を論ず（銀行判例 **14**-4） 昭 10

銀行經營の國際化（財界研究 **6**-1） 昭 4
銀行の減配問題（ダイヤモンド **12**-36） 大 13
銀行の減配問題（大阪銀行通信錄 334） 大 14
銀行の科學的管理〔ジエー・ビー・エー〕（中央銀行會通信錄 287） 昭 2
銀行の科學的經營に就て〔S. Y 生〕（大阪銀行通信錄 391） 昭 5
銀行の見方（**1**-10）〔石山生〕（ダイヤモンド **15**-12, 14/15；**17**-19, 22/23, 28/29） 昭 2
銀行資本制度の問題（時事經濟問題 89） 昭 4
銀行支店の統制方法を論ず〔T. Y 生〕（大阪銀行通信錄 443/45） 昭 9
銀行單獨增資問題（銀行通信錄 545） 昭 6
銀行取引の改善（東京經濟雜誌 2057） 大 9
銀行は減配せよ（エコノミスト **7**-11） 昭 4
五大都市の銀行業務改善申合（大阪銀行通信錄 365） 昭 3
堅實なる銀行業の要素（信託協會會報 **7**-4） 昭 8
利益を生む最少標準銀行（金融三層 **2**-12） 昭 6
論中國銀行分行維持相當獨立問題（錢業月報 **10**-6） 民 19
錢莊今後發展業務之我見（錢業月報 **14**-3） 民 23
支店の統制管理に就いて〔B. K 生〕（大阪銀行通信錄 369） 昭 3
夜間銀行問題（朝鮮銀行月報 **14**-6） 大 12
事業家の銀行經營（エコノミスト **3**-6） 大 14

2. 銀行使用人及內部組織

デイクソン，ダブルユー・イー　歐米諸國に於ける銀行員の勤務狀態（銀行通信錄 533/34） 昭 5
江尻正一　英國の銀行員に就て（大阪銀行通信錄 365） 昭 3
同　英國銀行の休暇制度（大阪銀行通信錄 373） 昭 3
ゲハルト　銀行使用人に對する奬勵制度（中央銀行會通信錄 210） 大 9
グレー　銀行業に於ける人的要件（銀行通信錄 481） 昭 1
原邦造　銀行從業員と集團意識（銀行論叢 **7**-5） 昭 1
早川隆次　銀行員の福祉的施設（銀行論叢 **6**-5） 昭 1
平井信也　休業銀行重役責任論（銀行研究 **13**-4） 昭 2
平井信也　銀行員の身元保證と保證金（銀行研究 **16**-6） 昭 4
同　銀行員の退職手當基金と身元保證金（銀行研究 **18**-4） 昭 5
堀江歸一　銀行重役の兼職禁止（エコノミスト **4**-18） 昭 1
星野行則　青年銀行員に對する希望（銀行論叢 **5**-3） 大 14
*細井藤兵衞　銀行經營の人的要素　東京　文雅堂　昭 2　363 頁〔銀行講座〕
同　銀行組織に於ける人事行政（銀行研究 **12**-1/5） 昭 2
同　銀行非常時に於ける人事行政（銀行研究 **12**-6） 昭 2
同　銀行に於ける課內人事移動に就て（銀行研究 **13**-2） 昭 2
同　行員移動に對する考慮（銀行研究 **13**-3） 昭 2
同　行員選擇上の要旨（銀行研究 **13**-4） 昭 2
同　英國銀行の人事行政問題（銀行研究 **13**-6） 昭 2
同　行員移動の地的關係（銀行研究 **14**-4） 昭 3
福島蒸治　本邦銀行業に「ヴイス・プレシデント」制採用の實際的考察（銀行通信錄 493） 昭 2
藤城敬二　銀行內の諸規定（銀行研究 **3**-2/3） 大 11
同　銀行分課制度の諸問題（銀行研究 **6**-5） 大 13
*同　銀行內の諸規定 2 版　東京　文雅堂　大 14　347 頁　四六
同　銀行營業部の分課と其改善（銀行研究 **8**-1） 大 14
同　銀行の人事行政と其運用（銀行研究 **9**-1） 大 14
同　銀行檢查部實務誌（銀行研究 **10**-1/7；**11**-2/4） 昭 1
*同　銀行の檢查部 2 版　東京　文雅堂　昭 2　362 頁　四六〔銀行講座〕
同　信用調查部の內部組織（銀行研究 **13**-4） 昭 2
同　銀行職制の合理化に就いて（銀行研究 **17**-2） 昭 4
同　銀行の內部組織（金融大辭典 1 卷 7 頁） 昭 9
藤原泰　銀行の福利增進施設（銀行研究 **23**-1） 昭 7
井上勝馬　銀行員責任論（大阪銀行通信錄 321） 大 13

石原榮　行員移動に因る誤謬發生防止策（銀行研究 **29**-3） 昭 10
岩井仙吉「開拓課」の創設と其の運用（銀行研究 **28**-4, 15；**29**-1, 3, 5） 昭 10
岩崎博　銀行の內部檢查（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9
鐘ヶ江甚平　銀行職員の職責に就て（明大商學論叢 **12**-1） 昭 7
同　銀行職員（明大商學論叢 **12**-3） 昭 7
勝田貞次　銀行營業部の分課組織改良案（銀行研究 **8**-2） 大 14
同　全銀行分課組織の基調（銀行研究 **8**-3） 大 14
同　銀行に於ける代表役員組織の運用と其效果（銀行研究 **8**-4） 大 14
同　銀行業發展策と行員問題（銀行研究 **9**-2） 大 14
河原林義雄　銀行の職制に就て（銀行研究 **27**-2） 昭 9
川上良兒　支店人員の配置に關する諸原則（銀行論叢 **15**-5） 昭 5
川村環一　銀行員の罪惡と部內突合法との關係（計理學研究 14） 大 12
川中信也　銀行員の知識養成に就て（銀行研究 **4**-7） 大 12
同　行員の技術的養成と人格的養成（銀行研究 **5**-1） 大 12
川瀨和夫　銀行員住宅問題と其の解決（銀行論叢 **14**-2） 昭 5
同　銀行經營に於ける得意先掛存在理由の檢討（銀行論叢 **22**-6） 昭 9
川島朝輝　銀行員たるべき資格（銀行研究 **4**-2） 大 12
*加地良七　銀行經營上より見たる銀行員養成法　東京　大同書院　昭 2　392 頁　菊
同　行務分擔方法の研究（銀行研究 **12**-4/5） 昭 2
同　行務分擔基準としての行員の能力（銀行研究 **13**-3） 昭 2
木村秀太郎　銀行營業部の新組織 ユニット・システム（銀行研究 **3**-1） 大 11
岸谷梧郎　新行員事務講習及敎養法に就て（銀行研究 **18**-3） 昭 5
同　行員移動合理化の提唱（銀行研究 **19**-5） 昭 5
同　銀行營業場の形狀，係配置及聯絡（銀行研究 **20**-3） 昭 6
熊田克郎　英國大銀行の統制組織（大阪銀行通信錄 393） 昭 5
黑川次郎　銀行の各分課執務分掌及人員配置（大阪銀行通信錄 365） 昭 3
串本友三郎　整理銀行の冗員淘汰に就いて（銀行論叢 **10**-1） 昭 3
同　獨逸信用銀行の支店統制（大阪銀行通信錄 433） 昭 8
マックレゴーア　銀行業務の發達と新取引課の組織竝に職能（大阪銀行通信錄 309, 313, 315） 大 12
マーチン　銀行業に於ける人的要件（銀行通信錄 486） 昭 1
松井淳吉　執務上より見たる組織改良の目標（銀行研究 **5**-2） 大 12
松川隸治　出納係と計算係との連絡（銀行研究 **6**-5） 大 13
松川昇造　銀行の各分課執務分掌及人員配置（大阪銀行通信錄 371） 昭 3
松波仁一郎　銀行重役の責任（法律新聞 2070/72） 大 12
松尾藤平　出納事務と銀行業績（銀行論叢 **8**-2/3） 昭 2
松山五葉　吾が銀行生活（銀行論叢 **6**-2/6；**7**-1） 昭 1
*松山岩根　銀行の模範內規　大阪　大阪銀行集會所　大 14　100 頁　菊
松山宣武　高賃銀の秘訣と銀行業（銀行研究 **12**-1） 昭 2
同　米國銀行に於ける行員移動防止策（銀行研究 **13**-5） 昭 2
三木守　銀行の各係に於ける人員の配置に就て（銀行研究 **8**-3） 大 14
三橋勗　行員養成に關する一見解（銀行研究 **28**-2） 昭 10
水野淳　銀行經營に於ける勞力管理（銀行論叢 **16**-6） 昭 6
孟昭　整勁錢莊內部之討論（錢業月報 **7**-8） 民 16
守田廣　銀行に於ける守衞の立場（銀行研究 **3**-5） 大 11
水津末淸　出納係の組織（銀行研究 **2**-6） 大 11
永井淸　若き銀行員に獻言百ヶ條（大阪銀行通信錄 379/81, 383, 385/87, 589/91） 昭 4/5
*日本銀行調查局　銀行職員の組織に就て　大 10
西繁數　銀行員の常識と法律知識との限界（銀行研究 **14**-4） 昭 3
同　出納手當是非の問題（銀行研究 **19**-1） 昭 5
西澤勘次郎　商業使用人としての銀行員（銀行研究 **18**-4） 昭 5
野口作平　銀行の諸給與規定研究（銀行論叢 **4**-4） 大 14

小畑美雄　新行員數養の實際（銀行研究 18-3）昭 5

オーブスト　獨逸大銀行の組織部（銀行研究 5-3/4）大 12

岡本春三　米國に於ける銀行兼任重役禁止法（銀行論叢 12-2）昭 3

奥村永藏　銀行經營に於ける勞力經濟（大阪銀行通信錄 404/5）昭 6

太田嘉三　銀行營業室の設備配置方法（大阪銀行通信錄 444）昭 9

リーフ, ウオルター　銀行の內部組織（大阪銀行通信錄 378）昭 4

坂上壽夫　銀行の各種使用人の法律上の地位（銀行研究 27-3）昭 9

佐藤正雄　銀行事務機械化の可能性—「銀行事務に於ける機械器具利用の餘地」序論として（銀行研究 23-1）昭 7

瀨戸健助　最近に於ける各國私營銀行組織の概況（銀行研究 18-5）昭 5

清水文之輔　銀行重役の兼業を禁ぜよ（東京經濟雜誌 2124）大 12

白井勇　銀行の取引先に對する應對上の心得（大阪銀行通信錄 415/16）昭 7

末吉留男　預金係と出納係（銀行研究 10-6）昭 1

ステイール　銀行員として成功するには（銀行論叢 8-2/6）昭 2

同　銀行員の心得（銀行論叢 9-3）昭 2

鈴木武治　ボストン國立第一銀行奉仕部に就て（銀行研究 11-1）昭 1

シャル, デイユ　銀行職員の資格養成に就て（銀行通信錄 470）大 14

高木剛也　檢査部活用の諸方策（銀行研究 26-5）昭 9

同　行員としての能力に關する再吟味（銀行研究 29-5）昭 10

高木友三郎　松波博士の銀行重役の責任を讀みて偶感（法律新聞 2114）大 12

都上城三　行員待遇の精神及方法（銀行論叢 6-6；7-1）昭 1

富井莊雄　銀行に於ける適材適所主義（中央銀行會通信錄 278/79）昭 1

遠山貞一　銀行組織問題管見（銀行研究 2-1）大 11

綱島克己　商品擔保貸出に於ける擔保力と換價處分（銀行研究 29-2）昭 10

*都築成一　銀行員の不正と其對策 東京 文雅堂 昭 2 322 頁 四六〔銀行講座〕

內山直　最近米國銀行の分課一般（大阪銀行通信錄 272/73）大 9

矢田直樹　銀行員の休養に就て（銀行研究 11-1）昭 1

山岡重知　我が國の銀行監査役制度を論ず（經濟集志 6-3/4）昭 8

矢留文雄　銀行取締役が爲したる取引の無効實例（中央銀行會通信錄 288）昭 2

吉川義弘　特殊銀行の重役と株主（銀行論叢 13-6）昭 4

吉海茂喜　各國銀行員の勤勞條件に就て（大阪銀行通信錄 394）昭 5

結城豐太郎　若き銀行員に望む（銀行論叢 7-1）昭 1

英國銀行の一般能員に就て（財政經濟時報 7-7）大 9

銀行法上より見たる銀行重役の責任（銀行判例 2-3）昭 4

銀行員への年金計畫實施（金融三屆 3-10）昭 7

銀行員之任用養成待遇問題管見（銀行週報 7-9）民 12

銀行員の地位の變動と身元保證の効力（銀行判例 6-6；7-5）昭 6/7

銀行の分課組織（大阪銀行通信錄 305）大 12

銀行支店の統制方法を論ず〔T. Y 生〕（大阪銀行通信錄 444）昭 9

銀行支店長の手形取引に關する權限（銀行通信錄 462）大 13

銀行雇人に對する銀行の監督義務の程度（銀行判例 11-5）昭 9

銀行重役の兼業を禁ぜよ（東京經濟雜誌 2124）大 12

破產銀行行員の退職慰勞金請求權（銀行判例 4-4）昭 5

破產銀行の行員退職慰勞金訴訟事件—判例（大阪銀行通信錄 397）昭 5

行員の加害行爲と銀行の賠償責任（銀行判例 13-7）昭 10

休業銀行重役の法律的責任（銀行判例 5-4）昭 6

論銀行之教育（銀行週報 651）民 19

出納員に與へ併せて銀行關係者の一考を求む〔不遇多生〕（銀行研究 4-3）大 12

3. 受信業務

i. 一般

*青木定次郎　預金事務概論 東京 文雅堂 昭 10 244 頁 四六〔最新銀行實務全集〕

*銀行研究社　銀行預金業務判例研究 東京 文雅堂 166 頁 菊

石田文次郎　預金受入の假裝と拂戻義務〔判批〕（法學論叢 32-3）昭 10

春日井薰　銀行の債券發行に就て（經濟及商業 2-3/4）大 12

片山金章　預金受入の假裝と拂戻義務〔判批〕（法學新報 44-11）昭 9

川上良兒　預金吸集の原則に關する考察（銀行論叢 14-6）昭 5

串本友三郎　普通銀行の受信業務日獨比較（大阪銀行通信錄 347/48）昭 1

妹尾一雄　再割引と手形擔保借入の比較（銀行研究 9-5）大 14

田邊順　手形の呈示並に權利保全に就て（銀行研究 28-2）昭 10

柚木重三　驛遞局貯金（金融大辭典 1 卷 1 頁）昭 9

哈爾賓各銀行の借款事業（中東半月報 3-11）大同 1

ii. 預金

相賀實　當座取引開發の理論的並に實際的研究（銀行研究 25-2/3）昭 8

青木定次郎　定期預金の滿期日と其見解（銀行研究 12 1）昭 2

同　定期預金の起算日に就て答ふ（銀行研究 12-4）昭 2

同　預金實務とカードシステム（銀行研究 20-5/6; 21-1/3, 5, 6; 22-1/3, 5, 6; 23-1/3）昭 6/8

*同　銀行預金事務精義 東京 文雅堂 昭 8 434 頁 菊

1. 總說 2. 當座預金 3. 特別當座預金 4. 定期預金 5. 通知預金 6. 別段預金 7. 印鑑簿及其整理

同　預金算入讓渡と事務處理（銀行研究 25-4）昭 8

青山政雄　預金取引に關する法律問題の一考察（金融組合 81）昭 10

有元英夫　銀行信用組合間の預金爭奪と農村經濟に及ぼす影響（庶民金融 8-3）昭 7

淺野信一　法律上より觀たる定期預金（銀行研究 18-4）昭 5

淺野哲夫　所謂當座預金に對する檢討（銀行研究 2-2）大 11

同　定期預金と其擔保力問題（銀行研究 3-4）大 11

デュキー　米國預金制度の變遷概要（調査月報 15-12）大 14

江副勝　定期預金未拂利息計算方法—積數による未拂利息計算法（銀行研究 17-5）昭 4

ガルピン　英國銀行預金の變動と其の增減の原因（調査月報 19-7）昭 4

後藤清　定期預金に於ける期限の拋棄〔判批〕（內外研究 8-4）昭 10

原靜　特別當座預金（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　當座預金（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同　通知預金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　定期預金（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同　別段預金（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

同　預金擔保（金融大辭典 III 卷 7 頁）昭 9

原口亮平　當座勘定利息計算法に就て（國民經濟雜誌 26-5）大 8

橋本俊夫　預金の大銀行偏在に就て（金融三屆 4-5）昭 8

橋爪明男　銀行の預金利下問題（エコノミスト 6-13）昭 3

平山清　特別當座預金利息計算表雜考—決算利息誤謬防止の方法に及ぶ（銀行研究 16-1）昭 4

細矢祐治　銀行預金と信託預金（信託 4-3）大 11

同　金錢信託及定期預金の法律觀（銀行研究 10-6）昭 1

同　金錢信託と定期預金（銀行研究 10-5/7; 11-1/3）昭 1

福田多吉　貯蓄銀行預金と普通銀行預金（銀行研究 20-4）昭 6

藤城敬二　貸出取引先と預金殘高の關係（銀行研究 23-1）昭 7

同　貸出先と預金取引關係の精査（銀行研究 26-4）昭 9

藤原泰　信託會社の定期預金侵略の範圍（銀行研究 11-3）昭 1

池田了實　銀行預金の證券化に就て（銀行論叢 2-5）大 13

生田定之　金錢信託と銀行預金（エコノミスト 4-22）昭 1

今來新之丞　當座勘定規定の重要約款（銀行研究 19-4）昭 5

同　當座預金の消滅時效に就て水口博士の教を乞ふ（銀行研究 25-2）昭 8

井上勝馬　預金に對する差押並に轉付命令と其對策（銀行研究 19-4）昭 5

石原　榮　當座預金の睡眠口座放任の可否（銀行研究 **28**-3）　昭 10

石川精一　印紙稅法と當座受入通知書（銀行研究 **19**-6）　昭 5

石卷良夫　預金利率協定の勵行難（銀行研究 **8**-5）　大 14

同　殘高の消滅及不足を通知する銀行書簡（銀行研究 **29**-3）　昭 10

*同　銀行の預金吸收策　5 版　東京　文雅堂　昭 7　323 頁　〔銀行講座〕

五十子宇平　本邦銀行預金の推移（金融研究 **2**-3）　大 14

板木郁郎　預金受入の假裝と拂戻義務　〔判批〕（法と經濟 **3**-1）　昭 10

井谷美稻　當座勘定利息算出法の妥當點（銀行研究 **25**-4）　昭 8

伊藤由三郎　預金通帳の著作權侵害問題（銀行論叢 **9**-6）　昭 2

岩崎博　預金（經濟學辭典 V 卷 4 頁）　昭 7

同　預金協定（經濟學辭典 V 卷 1 頁）　昭 7

岩瀨喜一　特別當座預金整理口座處理方法（銀行研究 **17**-4）　昭 4

上條正人　國民預金增加の趨勢（日本及日本人 762）　大 8

神戶正雄　呪はれた定期預金（時事經濟問題 20）　大 13

同　預金吸收の新方法（時事經濟問題 23）　大 13

同　呪はれたる定期預金（時事經濟問題 30）　大 14

同　銀行預金及郵便貯金の變遷（時事經濟問題 86）　昭 4

同　銀行減配と當座無利子問題（時事經濟問題 87）　昭 4

春日井薰　銀行預金の通貨的使命（銀行研究 **3**-4）　大 11

加藤和根　預金と貸出しとの定量關係（銀行研究 **15**-3）　昭 3

勝田寬　當座預金取引の發達途上に於ける金額制限當座小切手の利用に就て（銀行研究 **22**-1）　昭 7

勝田貞次　定期預金主義と當座預金主義（銀行研究 **1**-1）　大 10

同　商業銀行に於ける定期預金（銀行研究 **2**-4）　大 11

同　金融指導と預金協定（金融研究 **1**-3）　大 13

同　銀行業發展策と預金吸收問題（銀行研究 **9**-3）　大 14

河口三郎　定期預金未拂利息計算方法—未拂利息カードの採用を勸む（銀行研究 **17**-5）　昭 4

川口西三　マツケナ氏の通貨，預金及物價の關係に就て（商業と經濟 1）　大 10

川原益男　銀行預金の期間に關する問題（銀行通信錄 587）　昭 9

同　銀行預金利息に對する課稅非課稅に就て（銀行通信錄 589）　昭 10

同　通知預金事務取扱の簡易化（銀行通信錄 591）　昭 10

同　當座預金に關する一問題（銀行通信錄 593）　昭 10

川合定明　定期預金利息計算書の活用（銀行研究 **23**-3）　昭 7

川上良兒　預金吸收の原則に關する考察（銀行論叢 **14**-6）　昭 5

同　預金吸收費用に關する考察〔新らしい銀行經營論 10〕（銀行論叢 **16**-6）　昭 6

川村光彥　小口當座預金利息表作製法に就て（中央銀行會通信錄 208）　大 9

川崎滴男　銀行預金の國家保證案（政治經濟時論 **7**-9）　昭 7

川瀨和夫　銀行經營と預金の取付（銀行論叢 **20**-6）　昭 8

同　當座預金利息撤廢論（銀行論叢 **21**-2）　昭 8

茅野和・松村勝利・沖田寅之助　定期預金の滿期日に關する諸說（銀行研究 **12**-3）　昭 2

加地良七　銀行預金の季節的變更（銀行研究 **16**-3）　昭 4

同　女性名義定期預金の男性への支拂（銀行研究 **18**-4）　昭 5

*梶川有　銀行預金實務〔銀行信託講座—斯文書院 1, 4, 8, 12 の內 224 頁〕　昭 4/6

*同　銀行預金　東京　非凡閣　昭 10　〔銀行實務講座〕

木村秀太郎　當座勘定解法（國民經濟雜誌 32-4/5）　大 11

同　預金と準備金と貸出に關する考察（銀行研究 **2**-5）　大 11

同　恐るべき當座預金（銀行論叢 **2**-4）　大 13

木村貞助　銀行預金の偏存と宣傳（金融三府 **3**-5）　昭 7

木村貞橘　銀行預金事務改善の研究（大阪銀行通信錄 373）　昭 3

桐野外科雄　預金協定批判（銀行論叢 **1**-4）　大 12

同　預金協定に付て佐野氏に答ふ（銀行論叢 **2**-1）　大 13

岸谷梧郎　當座預金の社會的重要性と通貨政策（銀行研究 **19**-1）　昭 5

同　當座預金は貨幣なりと云ふ說に就て（銀行研究 **19**-6）　昭 5

北村榮次　當座及特當の利息算出方法及注意（大阪銀行通信錄 417/18）　昭 7

小林政一　大口預金（金融大辭典 I 卷 1 頁）　昭 9

小池充彥　定期預金に就て（銀行論叢 **1**-6）　大 12

小西次郎　預金爭奪戰に就て（銀行研究 **10**-1）　昭 1

小坂珠城　預金利息算出法に就て（銀行研究 **23**-1）　昭 7

同　當座取引に關する若干問題（銀行研究 **23**-6）　昭 7

越原久明　定期積金に就て（銀行通信錄 596）　昭 10

小島昌太郎　現金の流通と預金の增減（經濟論叢 **40**-1）　昭 10

同　預金の積極性と消極性（經濟論叢 **40**-3）　昭 10

黑野忠雄　定期積金擔保貸付金（金融大辭典 II 卷 1 頁）　昭 9

串本友三郎　小切手制度と振替制度の優劣に關する國民經濟的並經營經濟的研究（銀行研究 **17**-1/2）　昭 4

同　我國當座取引の實相と其學的認識（法と經濟 **1**-1）　昭 9

マツケナ　銀行預金，物價及通貨（東京經濟雜誌 2054/55）　大 9

松川隸治　定期預金の平均利率と未拂利息（銀行研究 **17**-3）　昭 4

同　特別當座預金口座整理方法（銀行研究 **24**-4）　昭 8

松本幸一　預金增加の資源（銀行研究 **24**-6）　昭 8

松村勝利　特別預金通帳喪失無效廣告（銀行研究 **10**-6）　昭 1

松村公一　特別當座預金の利息計算法に就て（銀行研究 **16**-5）　昭 4

松波仁一郎　休業銀行の預金切捨と預金買入に依る債務の相殺に就て（銀行通信錄 500）　昭 2

松尾菊太郎　小切手を以てした銀行預金成立の時期（法律新報 358）　昭 9

松島喜作　預金取扱所の發展に就て（銀行研究 **2**-6）　大 11

松崎壽　預金協定違反と金錢信託（銀行研究 **8**-3）　大 14

絲川光雄　景氣と銀行預金內容との關係（銀行論叢 **12**-6）　昭 4

三木正雄　預金受人の假裝と拂戻義務：民法第五三九條と善意の第三者〔判批〕（長崎高商研究館彙報 **22**-9）　昭 9

三島順　當座取引先選擇の基準（銀行研究 **27**-2）　昭 9

宮本弘　定期預金未拂利息計算方法—利息計算表の使用が迅速正確なり（銀行研究 **17**-4）　昭 4

同　銀行預金の法律上の性質（銀行研究 **18**-4）　昭 5

三吉熊雄　當座預金利息算出方法（銀行研究 **26**-6）　昭 9

水口吉藏　貯蓄銀行に非ざる者の預金契約（法律論叢 **9**-4）　昭 5

同　商法判例研究—當座預金契約の性質と小切手所持人の權利（法律論叢 **11**-2）　昭 6

同　當座預金と消滅時效（銀行研究 **24**-5）　昭 8

同　定期積立預金に就て（銀行研究 **25**-1）　昭 8

同　定期並特別當座預金契約の解除に就て（銀行研究 **25**-2）　昭 8

同　定期預金契約の期限前解約に就て妹尾氏に答ふ（銀行研究 **25**-4）　昭 8

同　銀行の支拂停止と預金債權の讓受に因る相殺（銀行研究 **26**-1）　昭 9

同　預金者に對する銀行の預金口座入金通知の效力〔判批〕（法律論叢 **13**-1/2）　昭 9

同　銀行預金の返還請求と其の消滅時效（法律論叢 **13**-1/2, 4）　昭 9

同　定期預金の期限の拋棄〔判批〕（法律論叢 **14**-3）　昭 10

同　當座取引勘定契約終了の時期（法律論叢 **14**-7）　昭 10

水野淳二　銀行預金實務誌（銀行研究 **1**-1/3；**2**-1/6；**3**-1/6；**4**-1/4, 6, 7；**5**-1/4）　大 10/12

*同　銀行預金實務誌　東京　文雅堂　大 13　498 頁　菊

同　定期預金の滿期日に就て（銀行研究 **11**-2）　昭 1

モアハウス　預金吸收策の研究（銀行論叢 **2**-6；**3**-2/6；**4**-1/5）　大 13/14

*同　預金吸收策の研究　荒木秀一譯　大阪銀行問題研究會　大 14　260 頁　四六

森向寛二 私案カード式特別當座預金印鑑（銀行研究 3-1） 大 11

森下武二 特別當座預金利息計算便法に就て（銀行論叢 6-4） 昭 1

村本幸一 預金增加の資源（銀行研究 24-6） 昭 8

永井幸雄 當座勘定利息計算法の若干問題（銀行研究 25-2） 昭 8

中川扇太郎 英國に於ける當座預金引出率（銀行論叢 17-5） 昭 6

中村光次 質權設定の定期預金に就て（銀行研究 19-3） 昭 5

中村進午 特別當座預金照査事務に就て（銀行論叢 6-5） 昭 1

中村宥吾 特別當座預金照査事務に就て（銀行論叢 6-5） 昭 1

中根不羈雄 信託金の銀行預入と受託者の責任（銀行研究 27-5） 昭 9

中谷實 預金通貨の貨幣的性質に就て（經濟論叢 36-1） 昭 8

*大野榮一郎 預金通貨の研究 東京 有斐閣 昭 8 303 頁 菊〔財政金融研究會紀要 2〕

西繁數 期限前定期預金の不拂斷行に就て（銀行研究 12-6） 昭 2

同 ルーズ，リーフ式當座勘定元帳に就て（銀行研究 13-4） 昭 2

同 特別當座預金の利息計算表に就て（銀行研究 15-2） 昭 3

同 當座勘定照合表制限論の可否（銀行研究 16-1） 昭 4

西村宏四郎 預金通貨の流通速度（中央銀行會通信錄 376, 383） 昭 9/10

西村誠一 米國の銀行經費と預金利息（金融三曆 4-7） 昭 8

西澤完二 預金勘定科目の變遷と其の考察（銀行論叢 12-1） 昭 4

則武方光 普通銀行預金問題に對する管見〔中央銀行會通信錄 308〕 昭 3

野崎龍七 兩建預金（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 預金協定（金融大辭典 III 卷 7 頁） 昭 9

小畑美雄 定期預金未拂利息算出法の研究（銀行研究 17-1） 昭 4

同 定期預金起算日の法律的解釋（銀行研究 18-4） 昭 5

同 特別當座預金利息計算表に關する特殊研究（銀行研究 18-6） 昭 5

尾田榮藏 定期預金の增減と證券の供給變化（銀行論叢 14-1） 昭 5

大石勝彦 銀行預金利子課稅に免稅點の設定を望む（中央銀行會通信錄 288） 昭 2

岡耕作 預金增加方策の妥當なる限界（銀行研究 29-3） 昭 10

同 定期預金書替手續に於ける事前工作（銀行研究 29-4） 昭 10

同 定期預金事務に於ける元帳並に記入帳併用の當否（銀行研究 29-6） 昭 10

岡本兵太郎 通貨殊に兌換券の增減と銀行預金との關係（商業及經濟研究 14） 大 8

岡野哲二 預金債權論（銀行研究 27-5） 昭 9

同 當座取引の終了に就て（銀行研究 29-4） 昭 10

沖田寅之助 定期預金の滿期日に關する靑木說を評す（銀行研究 12-5） 昭 2

同 預金吸收の新局面と其對策（銀行論叢 8-6） 昭 2

奥田勳 銀行券の制限と預金の制限（銀行論叢 1-2） 大 12

同 米國に於ける預金通貨制度の改革（銀行研究 9-4） 大 14

大野傳次郎 預金利子計算に關する二三問題（金融組合 19） 昭 5

大野榮一郎 英國に於ける預金の流通速度（經濟論叢 36-6） 昭 8

小野正一 當座預金の意義（法律新聞 3591/92） 昭 8

大澤一六 小產者の預金心理（法律新報 107） 昭 2

大谷顯太郎 四十三銀行當座預金確認請求事件に關する若干問題（商業論集 1-2） 昭 2

佐田弘治郎 利子綜合拂定期預金制度を提唱す（大連商工會議所 月報 158） 昭 3

齋藤修一 時效法より觀たる銀行預金（銀行研究 18-4） 昭 5

同 當座勘定規定の性質と內容（銀行研究 22-6） 昭 7

坂井正 當座預金事務（銀行論叢 1-3/6；2-1/6） 大 12/13

*同 銀行預金實務 大阪 銀行問題研究會 昭 2 388 頁

櫛原二郎 預金協定違反問題觀（銀行研究 9-4） 大 14

同 日銀民間預金と金解禁（銀行研究 17-5） 昭 4

佐久間長次郎 銀行の資本收得預金利子及貸出利子の構成（銀行研究 17-5） 昭 4

同 銀行預金による資金創造及通貨的作用（銀行研究 19-1） 昭 5

同 銀行預金の增加と通貨の增加（銀行研究 21-4） 昭 6

櫻井駒吉 商業銀行の預金吸收問題（銀行論叢 8-2） 昭 2

佐野包治 預金協定批判を評す（銀行論叢 1-6） 大 12

同 現下の銀行預金協定問題（銀行研究 6-1） 大 13

同 三度預金協定問題を論じ其解決策に及ぶ（經濟論叢 5-3/4） 大 14

同 定期預金の擔保的價値に就て（銀行研究 8-4） 大 14

佐瀨昌光 當座勘定約定書の意義及効力（銀行研究 19-2） 昭 5

佐藤正雄 定期預金未拂利息計算方法に就て一言す（銀行研究 17-6） 昭 4

佐藤收平 當座勘定利息計算は運用出來得る殘高を基本とせよ（銀行研究 26-5） 昭 9

佐藤治作 預金事務の法律的解說（銀行判例 14-6；15-1/6；16-1/4, 6；17-1, 4） 昭 5/6

千家恒麿 直接預金（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

妹尾一雄 當座預金の法性と小切手殘餘の所有觀（大阪銀行通信錄 344） 昭 1

同 銀行預金取引の法律的研究（銀行研究 13-4/5） 昭 2

同 定期預金の期限前解約に就いて（銀行研究 25-3） 昭 8

同 假裝名義預金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

同 無期限預金（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 預金の差押と轉付命令（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 預金の相續（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 預金の時效（金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

同 預金の讓渡（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 預金と貸金との比較（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

西庄博 景氣指標としての銀行預金速度（國民經濟雜誌 58-5） 昭 10

白井勇 未拂利息に付て（銀行論叢 19-1；20-1） 昭 7/8

白井廉久 當座勘定に於ける積數の算定（銀行研究 2-3） 大 11

同 再び當座勘定積數の算出法に就きて（銀行研究 4-2） 大 12

白石幸三郎 當座勘定の出入（經濟知識 3-2） 昭 5

同 當座決算と特別當座（經濟知識 3-5） 昭 5

同 雜種預金の性質（經濟知識 4-1） 昭 5

左右田誠一 銀行の廣告と預金吸收策（銀行研究 5-1/2） 大 12

桑葉英一 自行預金を擔保とする取引に就て（法律新聞 3835, 3838/39） 昭 10

末川博 預金に關する法律問題の再吟味（銀行研究 25-5） 昭 8

同 定期預金に於ける期限の拋棄〔判批〕（法と經濟 3-5） 昭 10

同 當座預金と消滅時效〔判批〕（民商法雜誌 2-1） 昭 10

末松留男 銀行預金の原價計算法に就て（銀行研究 9-2） 大 14

周防野老 特別當座預金利息算出法（銀行論叢 24-1） 昭 10

鈴木徇路 銀行預金取引と無能力者（銀行研究 18-2） 昭 5

鈴木竹雄 當座預金勘定契約の効力—小切手の所持人は直接支拂人に對して權利を有するか〔判批〕（法學協會雜誌 51-1） 昭 8

高木剛也 取引先に於ける貸出と預金との均衡（銀行研究 27-5） 昭 9

高瀨三郎 銀行業者に對する預金取引の慣習（銀行論叢 16-1） 昭 6

武田直之助 信託預金と銀行定期預金の差異を論ず（法律新聞 2359） 大 14

竹村豐太郎 貸附による預金貨幣造出の理論的根據（立命館大學商學論叢 10） 昭 9

武谷成直 二ケ年定期預金の制度に就て（銀行研究 12-2） 昭 2

竹內貞夫 當座勘定取引に關する一考察（銀行研究 24-6） 昭 8

同 當座預金及特別當座預金の性質に就て（銀行研究 26-2） 昭 9

田中市郎 預金利下の急務（銀行論叢 9-2） 昭 2

田中金司 預金の流通速度と支拂準備金（國民經濟雜誌 53-6） 昭 7

都上城三 預金實務の主要考察點（銀行論叢 8-1, 3） 昭 2

德山春南 定期預金未拂利息算出法に就て（銀行論叢 18-5） 昭 7

豐浦與七 信託預金と定期預金（法學論叢 13-1） 大 14

綱島克己 還振預金取引の法律的意義（銀行研究 20-4） 昭 6

綱島克己 當座預金の特殊な支拂態様と利息計算（銀行研究 21-2） 昭 6
同 當座預金元帳の意義と證據力（銀行研究 22-4） 昭 7
同 口座相違の責任について（銀行研究 25-1） 昭 8
*同 當座預金取引の法的研究 東京 文雅堂 昭 9 224 頁 菊
上野嘉陽 最低殘高に依り積數を算出する 附利法の陷り易き誤謬（銀行研究 22-5） 昭 7
内田信節 當座取引と未成年者後見人及親族會（大阪銀行通信錄 367） 昭 3
我妻榮 貯蓄銀行の据置貯金と定期積立金の意義（法學協會雜誌 49-3） 昭 6
若林晨兒 定期預金の支拂期日計算に就て（會計 27-3） 昭 5
山田秀苗 當座預金主義への精進（銀行研究 12-2） 昭 2
同 特當の利息計算方法に關する松村氏の所說に就て（銀行研究 15-6） 昭 3
同 定期預金に關する帳簿樣式（銀行研究 17-4） 昭 4
同 期限前辨濟に關する諸問題（銀行研究 19-6） 昭 5
山田幸太郎 銀行預金の性質（金融研究 1-1） 大 13
山本貞作 銀行預金に對する課稅方法に就て（會計 13-2） 大 12
山浦友吉 貯蓄預金取扱に關する諸問題（金融組合 59） 昭 8
彌冦四郎 當座預金取引の一部改革を提唱す（中央銀行會通信錄 354） 昭 7
安田陽三 特別當座預金休眠口座整理方法（銀行研究 22-3） 昭 7
横前周 每期利率が變る預金の元利合計算出（信託協會會報 7-1） 昭 8
米澤逸郎 特別當座預金通帳に就て（銀行研究 23-2） 昭 7
吉丸儀六 預金と貸出金との相殺に就いて（銀行研究 25-4） 昭 8
吉岡堅太郎 同業者預金（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 小口當座預金（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 預金證書（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9
結城豐太郎 預金利子と貸出の注意（大阪銀行通信錄 288） 大 10

米國に於ける貯蓄預金（大阪商工時報 49） 大 12
米國の銀行預金增加と投資傾向（金融三層 3-9） 昭 7
銀行業者に於ける預金取引の習慣（銀行判例 5-3） 昭 6
銀行の預金利下（エコノミスト 5-4） 昭 2
銀行支店の預金に對する差押並轉付命令を本店にたしたる場合の効力（銀行判例 5-4） 昭 6
銀行預金業務判例研究（銀行研究 26-4） 昭 9
銀行預金貸出の再吟味（ダイヤモンド 23-6） 昭 10
銀行預金契約の解除と讓渡禁止預金債權の讓渡の効力（銀行判例 10-2） 昭 8
銀行預金に關する諸問題（銀行判例 2-3/5） 昭 4
銀行預金の貸出（ダイヤモンド 7-9） 大 8
銀行預金の研究法（銀行通信錄 457） 大 13
銀行預金の時効とは（第一銀行の百萬圓事件に關聯して）（金融知識 5-4） 昭 10
銀行預金の讓渡禁止約款の効力（銀行判例 5-4） 昭 6
銀行預金支拂の商慣習（銀行判例 7-3） 昭 7
銀行預金と政府の干涉（銀行通信錄 400） 大 8
貨幣制度の變革と銀行預金の効力（銀行判例 7-2） 昭 7
貸出制限の銀行預金及純益金に及ぼす影響（銀行通信錄 422） 大 9
國華銀行儲蓄部之新猷（銀行週報 661） 民 19
休銀預金の相殺と切捨（大阪銀行通信錄 361） 昭 2
休業銀行の預金讓渡と相殺の効力〔判例〕（大阪銀行通信錄 373） 昭 3
九州主要都市と銀行預金（經濟調査月報 65） 昭 5
未成年者と銀行預金取引（銀行判例 10-3） 昭 8
列國の銀行預金（國勢グラフ 2-6） 昭 8
正貨流出と銀行預金の減少（東洋經濟新報 1413） 昭 5
戰後全國預金貸出の趨勢（東洋經濟新報 1124） 大 13
据置期間經過後の定期預金（銀行通信錄 508） 昭 3
スタンプ手形とセーフティデポヂット（經濟知識 4-3） 昭 5
上海の錢莊と預金問題（上海週報 872） 昭 6
上海錢莊の取扱ふ預金の話（正金週報 23） 昭 6
他人名義預金に對する銀行の支拂方法（銀行判例 3-5） 昭 5
擔保附定期預金論〔目白隱士〕（銀行論叢 7-1） 昭 1
手形に依る銀行預金の效力發生の時期（銀行判例 1-1） 昭 4
定期積金掛金算出方法に就て（金融組合 25） 昭 5
定期積金の法性（銀行判例 7-2） 昭 7

定期積金の中途解約の場合に於ける取扱に就て〔池田生〕（金融組合 23） 昭 5
定期預金に於ける期限の利益の一方的拋棄〔判批〕（銀行判例 13-4） 昭 10
定期預金に對する一考察〔靈南學人〕（中央銀行會通信錄 303） 昭 3
定期預金證書と民法第百九十二條の適用（銀行通信錄 496） 昭 2
定期預金と其擔保力問題（銀行研究 3-4） 大 11
當座勘定解剖法（國民經濟雜誌 32-4） 大 11
當座取引に就ての心得（金融知識 6-1） 昭 10
當座取引の終了原因（銀行判例 14-3） 昭 10
當座預金勘定契約の効力（銀行通信錄 551） 昭 6
當座預金の原價及利益算出法（大阪銀行通信錄 346） 昭 1
當座預金の話（金融知識 6-3） 昭 10
當座預金の引出と小切手（銀行通信錄 570） 昭 8
當座預金の引出と小切手（銀行判例 10-2） 昭 8
當座預金の意義（法律新聞 3591/92） 昭 8
當座預金の消滅時效の起算點〔判批〕：第一銀行對季賢在事件の判例に就て（銀行判例 13-4） 昭 10
當座預金通帳の性質—當座預金通帳は無配當證券的效力を有するや（銀行判例 5-7） 昭 6
通貨及び當座預金（東洋經濟新報 1386） 昭 5
通帳を以てする定期預金取引と休日に於ける取引の効力〔判批〕（銀行研究 10-4） 昭 8
我普通銀行と定期預金（東洋經濟新報 1064） 大 12
預金減少の趨勢（銀行通信錄 554） 昭 7
預金契約の解除（銀行通信錄 570） 昭 8
預金吸收策としての銀行合同（ダイヤモンド 15-32） 昭 2
預金に對する銀行の保管義務發生の時期（銀行通信錄 463） 大 13
預金に對する貸出金の割合（金融三層 2-5） 昭 6
預金の構成に就て（大阪銀行通信錄 307） 大 12
預金利子の引下げを勸奬す（東洋經濟新報 1524） 昭 7
預金者の死亡と銀行の對策（銀行判例 5-5） 昭 6
預金擔保貸付〔擔保貸付の法律問題 4〕（銀行判例 8-2） 昭 7
全國貯蓄銀行の預金增加振り（金融三層 2-7） 昭 6
讓渡禁止預金の契約解除と其の債權讓渡（銀行判例 11-1） 昭 9
十二大銀行の六大都市預金增減振り（金融三層 3-11） 昭 7

iii. 小切手

栗谷清一 小切手の支拂保證と横線論（銀行研究 13-6） 昭 2
同 小切手の支拂保證と手形法の改正案（銀行研究 20-4） 昭 6
本間恒治 米國に於ける小切手の僞造變造と其防止機の變遷並に小切手保證（銀行通信錄 459） 大 13
同 米國の小切手僞變造と其防止器（大阪銀行通信錄 319） 大 13
藤波正 小切手流通上の或考察（銀行研究 3-1） 大 11
藤城敬二 支拂保證小切手の研究（銀行研究 3-5） 大 11
同 横線小切手の實際問題（銀行研究 5-1） 大 12
稻坂晤 小切手に對する支拂保證の効力（銀行論叢 9-3） 昭 2
*伊澤孝平 新小切手法 昭 9 201 頁 四六
勝田寬 金額制限當座小切手の利用に就て（銀行研究 22-1） 昭 7
同 當座預金取引の發達途上に於ける金額制限當座小切手の利用に就て（銀行研究 22-1） 昭 7
草島定太郎 小切手支拂保證（銀行研究 3-3） 大 11
串本友三郎 小切手制度と振替制度の優劣に關する國民經濟的並に經營經濟的研究（銀行研究 16-5；17-1/2） 昭 4
松尾菊太郎 小切手を以てした銀行預金成立の時期（法律新報 358） 昭 9
綠川光雄 諸外國に於ける小切手使用の現狀（銀行論叢 17-2） 昭 6
森脇要造 向日附小切手の取扱方に就て（銀行研究 17-2） 昭 4
中村光次 記名式小切手支拂銀行の責任範圍に就て（銀行論叢 14-1） 昭 5
大橋光雄 線引小切手に就て（經濟時報 6-9） 昭 9
オンヌ，スランゲ 小切手支拂義務不可解除論（銀行通信錄 472） 大 14
太田義繁 横線小切手の支拂保證に就て（銀行研究 7-5） 大 13
齋藤修一 横線小切手の諸問題（銀行研究 20-2/3） 昭 6
齋藤種次郎 小切手の代拂（銀行論叢 10-4） 昭 3
畝川元夫 銀行小切手（金融大辭典 1 卷 1 頁） 昭 9

妹尾一雄　當座預金の法性と小切手殘髙の所有觀（大阪銀行通信錄 344）昭 1

島田國丸　支拂保證小切手論（銀行論叢 **10**-1）昭 3

鈴木竹雄　當座預金勘定契約の效力—小切手の所持人は直接支拂人に對して權利を有するか〔判批〕（法學協會雜誌 **51**-1）昭 8

朱其旭　銀行支票概論（銀行週報 495/96）民 16

高野潔　銀行が小切手の支拂保證を爲したる場合に於ける一考察（銀行論叢 **7**-6）昭 1

山口直　銀行を經由せざる横線小切手の効力（法學新聞 2310）大 13

*横濱正金銀行頭取席調査課　天津に於ける小切手の法律關係と商習慣　昭 8

横山千代材　横線小切手の支拂に就て（銀行研究 **3**-2）大 11

吉岡堅太郎　銀行自己宛小切手（金融大辭典 1 卷 1 頁）昭 9

銀行手形交換及小切手計算の繁劇と緩和すべき改良私案〔溪澗生〕（大阪銀行通信錄 266）大 8

記名式小切手支拂銀行の責任の範圍（銀行判例 **2**-5）昭 4

小切手の支拂委託を受けた銀行の支拂義務〔判批〕（銀行判例 **14**-3）昭 10

支拂の爲め小切手交換の効果（銀行通信錄 419）大 9

當座勘定小切手契約の性質—小切手支拂銀行は所持人に對し支拂保證を爲す義務ありや（銀行判例 **5**-6）昭 6

當座預金の引出と小切手（銀行判例 **10**-2）昭 8

當座預金の引出と小切手（銀行通信錄 570）昭 8

預金者の署名僞造小切手支拂銀行の責任〔オハヨー州控訴院判決〕（銀行判例 **3**-6）昭 5

預金殘高不足の場合，同時に呈示されたる數枚の小切手に對する支拂〔米國判例〕（銀行判例 **3**-4）昭 5

横線小切手の支拂に關する再論二篇（銀行研究 **3**-5）大 11

iv. 預金者保護制度

青木徹二　預金者の早急救濟に就て（銀行通信錄 500）昭 2

淺野信一　金融制度改善と預金者保護問題（銀行研究 **11**-3）昭 1

原邦造　米國に於ける銀行預金支拂保證制度の概要（銀行通信錄 488）昭 1

土方成美　銀行救濟と預金者救濟（エコノミスト **5**-11）昭 2

春日井薫　預金保險の制度に就て（銀行研究 **4**-1）大 12

同　米國預金保險制度運用の近狀（銀行研究 **6**-1）大 13

川上良兒　預金者保護の方策としての預金保險（銀行論叢 **12**-6）昭 4

川崎清男　銀行預金の國家保護案（政治經濟時論 **7**-9）昭 7

*國民同志會調査部　諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料　昭 2

輔見一正　米國に於ける州預金保證制度研究（銀行通信錄 595/97）昭 10

松岡神惠　預金保護より銀行改善策（大阪銀行通信錄 317/18）大 13

松崎壽　預金者の保護に關する米國の制度（國民經濟雜誌 **34**-3）大 12

同　預金保證制度（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

宮川貞一郎　米國新銀行法に現はれたる預金保證制度の確立（銀行研究 **25**-4）昭 8

同　預金保證制度（金融大辭典 III 卷 5 頁）昭 9

*中村至道　米國の預金保險制度研究　東京　東京銀行集會所　昭 10　149 頁　菊〔銀行叢書 23〕〔非賣〕

*日本銀行調査局　米國州立銀行預金支拂相互保證制度の實績　昭 4

小川準三　預金保證制度（銀行論叢 **1**-3/4）大 12

*大藏省理財局　米國諸州ニ於ケル銀行預金保證制度概況〔不詳〕〔米國駐在財務官報告 32〕

太田黒敏男　預金者の保護に關する米國の制度（經濟及商業 **4**-5/7）大 14

同　米國に於ける預金者救濟策（エコノミスト **5**-24）昭 2

坂上壽夫　銀行取引に於ける保證—債權確保（銀行研究 **23**-3）昭 7

十龜盛次　米國に於ける預金保證制度論（國民經濟雜誌 **42**-5/6）昭 2

平實　米國に於ける銀行預金保證制度（銀行論叢 **22**-5）昭 9

吉海茂喜　米國の預金保險制度に就て（大阪銀行通信錄 440）昭 9

*實業同志會　諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料　昭 2　22 頁

米國銀行預金保險の內容（銀行通信錄 572）昭 8

米國銀行預金保證制度（大阪銀行通信錄 302）大 11

米國に於ける州預金保證制度研究（銀行通信錄 595/98）昭 10

米國の銀行預金保證制度（大阪市商工時報 302）大 11

米國聯邦預金保險會社の機能解說（調査月報 **23**-11）昭 8

聯邦預金保險制度研究（銀行通信錄 589/91）昭 10

預金保險制度の不評（大阪銀行通信錄 310）大 12

預金者保護に關する歐米各國の法制（銀行通信錄 498）昭 2

預金者の保護に關する米國の制度（國民經濟雜誌 **34**-3）大 12

4. 授信業務

i. 一般

荒木秀一　銀行の放資的方面に就て（大阪銀行通信錄 340）大 14

同　銀行資金の運用に就て（大阪銀行通信錄 406）昭 6

同　米國諸銀行の資金運用狀況（大阪銀行通信錄 408）昭 6

潘恒勤　銀行業同業營業規程內財部批令刪除信用放款及信用往來透支論（銀行週報 790）民 22

長谷川忠平　銀行は其資金を如何に運用すべきか（銀行研究 **11**-6；**12**-1）昭 1

服部喜一　一九二〇年の米國の恐慌と其後の銀行資金運用の變化（銀行研究 **12**-6）昭 2

土方久徵　放資の競爭を自制せよ（銀行論叢 **12**-5）昭 4

藤城敬二　銀行の資金運用方針と新方策（銀行研究 **20**-6）昭 6

馮克昌　中國金融業投資問題的檢討（銀行週報 862）民 23

市川富三郎　米國銀行の資金運用に就て（金融三曆 **3**-11）昭 7

井關孝雄　米國普通銀行の小口信用貸付部の實績三（銀行論叢 **20**-5）昭 8

上山英三　信託會社及銀行の資產構成に就て（信託協會會報 **9**—臨時號）昭 10

川上良兒　資金運用の基礎的原理の考察—新しき銀行經營論（銀行論叢 **15**-6）昭 5

川上良兒　貸金の總括的考査と貸出方針の樹立（銀行論叢 **16**-2）昭 6

マシ，ゲレン・ジー　銀行資金運用上の諸問題（中央銀行會通信錄 312）昭 4

松崎壽　銀行の興信業務に就て（銀行研究 **20**-5）昭 6

溝口幸太郎　銀行資金の運用方法（大阪銀行通信錄 449/52）昭 10

村上潔　商人に對する普通銀行の融通限度に就て（中央銀行會通信錄 307）昭 3

佐久間長次郎　銀行資金の運用原價に就て（銀行研究 **23**-2）昭 7

須佐美芳男　銀行の信用と其利益（銀行研究 **6**-4）大 14

鈴木幸堂　銀行家の心得べき放資利殖の研究（銀行論叢 **8**-3/5）昭 2

蔣清如　今日銀行業投資於房地產之使命（銀行週報 867）民 23

テーラー協會日本支部　銀行業者の貸付業務において經營能率考査の必要（產業能率 **7**-10）昭 9

唐慶永　吾國銀行應採取之放款政策（銀行週報 772）民 21

張先德　銀行信用之哲學（銀行週報 786/92）民 22

渡邊鐵藏　銀行經營批判—中小商工業者に對する銀行金融の改善（經濟往來 **4**-5）昭 4

米國の銀行預金增加と投資傾向（金融三曆 **3**-9）昭 7

銀行金融の種類（ダイヤモンド **15**-7）昭 2

銀行の資金は如何に運用されるか（財政經濟時報 **17**-10）昭 5

銀行資金の運用方法〔中崎生〕（大阪銀行通信錄 456/57）昭 10

銀行運用資金之我見（中行月刊 **2**-11）民 20

日英銀行資產運用と採算狀態の比較（經濟情報 **9**-12）昭 9

資金は如何に運用されてゐるか—銀行資金（財政經濟時報 **17**-10）昭 2

ヂヨッバーと銀行資金の運用〔H・A 生〕（大阪銀行通信錄 360）昭 2

ii. 貸出

*青木幸一　銀行貸出業務　附：米相場の統計的豫測法　東京　田口書店　昭 5　284 頁　菊

*青木　幸一　銀行貸出實務〔銀行信託講座—斯文書院 4, 5, 10 の内〕 昭 4/5

青木定次郎　當座貸越極度の變更と根抵當權に及ぼす影響（銀行研究 18-4） 昭 5

荒木　秀一　コールの利子及運用 （銀行研究 2-2/3） 大 11

同　株式金融とコールマネー（銀行論叢 2-5） 大 13

淺野　信一　定期積金給付金額限度貸付に就て（銀行研究 19-3） 昭 5

馬場　光三　貸付額最高限度決定方法に關する新研究（產業組合 208） 昭 5

貝　祖翼　錢業信用放款應改變標的之我見（錢業月報 10-6） 民 19

卞　贊堯　哈市銀行信用貸款經營概況（北滿半月栞 5-14） 康德 1

出羽正也・中村喜四郎・山崎英一　銀行貸出執務法規定（銀行判例 臨時增刊） 昭 8

江口　最　財團抵當貸付に關する注意事項（銀行研究 28-4） 昭 10

遠藤　孝一　コールマネー取引に就て（銀行研究 2-4） 大 11

榎　潤　法律上より見たる市町村に對する貸（銀行論叢 15-4） 昭 5

魏　友棻　錢業存放款之新趨向（錢業月報 12-11） 民 21

*銀行研究社　支店貸出の方法權限と監督 東京 文雅堂 昭 4 382 頁 四六〔銀行講座〕

*同　銀行貸出業務判例研究 東京 文雅堂 昭 8 317 頁 菊

*同　貸付事務の特輯研究 東京 文雅堂 昭 10 389 頁 菊〔銀行研究特輯號〕

原田　三馬　定期預金擔保貸出利率算出の標準（銀行研究 24-3） 昭 8

橋本　良平　滯貸準備金 （明大商學論叢 17-2） 昭 9

廣江　武彥　根抵當附貸付債權の讓渡と法律關係（銀行研究 28-4） 昭 10

蛭川　正夫　普通銀行不動產貸付の肩替りに就て（金融三曆 3-6） 昭 7

土方　成美　日銀利下と銀行の貸出政策（エコノミスト 3-9） 大 14

堀江　歸一　銀行の固定貸付と其整理（エコノミスト 4-5） 昭 1

深山眞之助　合衆國に於ける非當座貸越主義の傾向（銀行研究 2-1） 大 11

福田　多吉　固定貸出の防止と業務報告書雛形の改正（銀行研究 20-6） 昭 6

藤野　豐治　貸付割引事務取扱手續 （銀行研究 3-1/2） 大 11

藤城　敬二　貸出業務と信用調査との關係（銀行研究 20-1） 昭 6

同　貸出取引先と預金殘高の關係（銀行研究 23-1） 昭 7

同　貸出極度査定の概念的基準（銀行研究 24-4） 昭 8

同　貸出先と預金取引關係の精査（銀行研究 26-4） 昭 9

同　貸出取引と信用調査事務の改善（銀行研究 28-4） 昭 10

藤田　國政　貸付實務 （銀行論叢 5-5/6；6-1/5；7-1/6；8-1/6） 大 14/昭 2

今井　貫　手形貸付と手形割引との關係（銀行研究 28-4） 昭 10

井上　勝馬　貸出金回收策 （大阪銀行通信錄 370） 昭 3

同　記名株式の買入の效力（大阪銀行通信錄 385） 昭 4

同　貸出金の整理と法律關係（銀行研究 18-4） 昭 5

同　貸出金整理實務誌（銀行研究 23-5；24-2/3, 5/6；25-2；26-2） 昭 7/9

*同　貸出金整理回收の實際 大阪 大阪銀行集會所 昭 9 450 頁 菊

同　貸出金整理上の諸問題（大阪銀行通信錄 441/43, 445/48, 451/52, 454/55, 457/58） 昭 9/10

*同　貸金整理の法律的注意事項 東京 文雅堂 昭 10 228 頁 四六〔最新銀行實務全集〕

伊藤由三郎　銀行の貸出先に對する聯絡（銀行論叢 9-1） 昭 2

岩崎　博　ホワード・ホイップル：支店銀行に於ける貸出統制 （銀行研究 29-3） 昭 10

岩崎靜也　紐育に於ける銀行貸付業務の研究（銀行論叢 4-5/6） 大 14

同　コール取引に就て （銀行論叢 6-1） 昭 1

飯澤要玄　銀行滯貸整理論 （大阪銀行通信錄 320/21） 大 13

井關孝雄　米國普通銀行の小口信用貸付部の實績（銀行論叢 20-3/5） 昭 8

神戸正雄　普通銀行の不動產擔保貸出の制限（時事經濟問題 53） 昭 1

同　銀行の貸出競爭と其減配論（時事經濟問題 81） 昭 4

柏塚辰雄　銀行の貸付擴張能力に關する一方程式（經濟時報 1-1） 昭 4

春日井薫　單名手形の利用濫用及其對策（銀行研究 19-6） 昭 5

春日井薫　銀行貸付の產業指導力—貸付の近代的意義と銀行家の使命 （銀行研究 28-4） 昭 10

片桐孝之助　當座貸越契約並に其根抵當の移轉に就て（法律新報 231） 昭 5

加藤和根　預金と貸出しとの定量關係（銀行研究 15-3） 昭 3

勝田貞次　經育コールローン研究（大阪銀行通信錄 310） 大 12

同　銀行發展策と貸付業務の改善（銀行研究 9-4） 大 14

川上良兒　個々の貸金の決定（銀行論叢 16-3） 昭 6

同　貸出利率の高率と變動 （銀行論叢 17-6） 昭 6

同　證券擔保貸付の判斷（銀行論叢 23-5） 昭 9

川瀨和夫　貸出調節論（銀行論叢 20-5） 昭 8

川島茂樹　債權者の工場を基礎とする新會社設立の方法に依る貸付金の整理に就て（金融研究 2-12） 大 14

紀清市　コールローン，コールマネー取引の實際（銀行研究 8-1） 大 14

同　整理上から見た手形貸付と割引手形（銀行研究 10-3） 昭 1

木村秀太郎　預金と準備金と貸出に關する考察（銀行研究 2-5） 大 11

同　會計學上より見たる銀行の滯貸金切捨（銀行論叢 9-4） 昭 2

同　銀行の滯貸金と資本減少（會計 28-5） 昭 6

木下駒吉　貸出の決定と信用調査 （銀行論叢 13-5） 昭 4

木下正雄　銀行の貸出と擔保偏重の弊害（銀行論叢 8-2） 昭 2

清成五六郎　貸金關係の手形，證書類に於ける見落し易き形式上の不備と附屬書類の取り洩れに就て （銀行研究 18-4） 昭 5

同　貸付並に手形取引の際銀行が其取引者より取入るる總括的約定書に於ける若干の不備不充分なる條項に就て（銀行研究 20-4） 昭 6

清島梓　當座貸越の法的解說（銀行論叢 17-3） 昭 6

小林政一　大口貸出 （金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

小池充彥　コールマネーに就て （銀行論叢 1-1/2） 大 12

小西三郎　新しき貸出の方法及手續（銀行論叢 24-5；25-2） 昭 10

同　賣渡擔保による貸付（銀行論叢 25-5） 昭 10

倉井敏麿　相續法上の留保と不動產の抵當貸付（銀行研究 6-6） 大 13

黒川芳藏　コールに就て（同志社論叢 7） 大 11

黒野忠雄　定期積金擔保貸付金 （金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

同　通知貸 （金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

串本友三郎　銀行貸出業務の日獨比較（大阪銀行通信錄 313, 317, 319/23, 325/26, 330） 大 13/14

正岡勝男　手形不渡による貸倒防止策（銀行論叢 2-2） 大 13

同　商人救濟と債權銀行の援助策（銀行論叢 2-4） 大 13

松島喜作　銀行貸出の理論的研究 （銀行論叢 2-2） 大 13

*松山岩根　銀行貸出金の保全と整理 2 版 東京 文雅堂 昭 3 348 頁〔銀行講座〕

絲川光雄　小口信用貸付業務の將來（銀行論叢 14-3） 昭 5

三浦實　ブローカース・ローン（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

三宅嘉十郎　銀行貸出實務の研究 （銀行研究 1-1/2；2-1/3） 大 10/11

同　普通銀行と長期貸出 （銀行研究 1-1/2；2-1/3） 大 10/11

宮本弘　不動產抵當當座貸越契約を廢止せよ（銀行研究 21-6） 昭 6

永口吉藏　銀行の證券擔保貸付（銀行研究 26-4） 昭 9

水野淳二　銀行貸出實務誌 （銀行研究 6-1, 4/6；7-1, 2；8-6；9-1；10-1/5；11-4） 大 13/昭 1

村上潔　貸出に對する銀行間共調共助の困難なる事情 （中央銀行會通信錄 309） 昭 3

永井幸雄　貸出協定の價値と可能性（銀行研究 23-6） 昭 7

長屋好雄　米國に於ける現金割引制度と銀行の貸出方法に就て（中央銀行會通信錄 282/83） 昭 1

中村光次　社寺院と銀行取引 （銀行研究 20-4） 昭 6

同　貸付事務の法律的注意事項（銀行研究 28-4） 昭 10

中根不羈雄　銀行の信託證書擔保貸付（銀行研究 15-5） 昭 3

中西寅雄　割增貸付金制度に關する一考察（國家學會雜誌 35-6） 大 10

*日本勸業銀行調査課　普通銀行に於ける不動產抵當貸付金調査〔昭和 1 年末現在〕昭 4　81 頁

*西垣　實　銀行貸出事務研究　東京　大阪屋號　昭 2　268 頁　四六

西山榮久　支那銀行の貸付に就て（山口商學雜誌 7）昭 5

西澤勘次郎　貸付金勘定課目の考察（銀行研究 18-5）昭 5

野口洪基　手形書換の性質に就いて（商業論集 1-2）昭 2

野本德次郎　第三者擔保貸付の可否に就て（金融組合 28）昭 6

小畑美雄　支店貸出監督實務誌（銀行研究 17-3）昭 4

同　貸付割引の模範的諸書式（大阪銀行通信錄 398/406, 408）昭 6

大石義雄　貸金元本の取立不能に因る缺損と必要經費〔判批〕（公法雜誌 1-1）昭 10

岡耕作　定期預金擔保貸出の採算に就いて（銀行研究 27-4）昭 9

岡上虎三郎　貸出金豫想殘高算出方法（銀行研究 6-3）大 13

岡野哲二　當座貸越に依る貸越債權の時效（銀行研究 28-4）昭 10

奥田勳　米國準備銀行貸出概論（銀行論叢 7-4/5）昭 1

同　キャッシュ・クレディット（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

*大藏省銀行局　全國普通銀行貯蓄銀行諸貸出金職業別並金額別調〔昭 8 年 6 月末日現在〕昭 9

*大阪銀行集會所　割引及貸付事務の研究　大阪　昭 3　菊〔銀行實務懸賞文集 2〕

*同　貸付及割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式　大阪　昭 5　390 頁　菊〔銀行實務懸賞文集 8〕

太田義繁　家督相續による不動產擔保貸越契約の承繼に就て（銀行研究 8-3）大 14

越智昌三　我國經濟上に於けるコールローンの意義（經濟研究 1-1）大 13

リーフ，ウルォタ　取引先への貸付金に就て（大阪並効用銀行通信錄 374）昭 3

リチャードソン，ディー・エイチ　高額貸金主義の基礎（東方公論 48）昭 5

齋藤巖　手形貸付と保證表現の方法（法律新報 341）昭 8

齋藤修一　當座勘定規定の性質と內容（銀行研究 22-6）昭 7

坂上壽夫　商品擔保の貸出に就て（銀行研究 21-3）昭 6

左子清道　貸付最高限度の決定其他について（產業組合 246）昭 1

佐久間長次郎　銀行の資本收得預金利子及貸出利子の構成（銀行研究 17-5）昭 4

佐々木龍雄　貸出限度擴張を論ず（金融組合 71）昭 9

佐藤正雄　貸出資金に關する統計的調查標識としての用途別，商品別業種別（銀行研究 24-4）昭 8

佐藤治作　株式擔保貸付論（銀行論叢 12-5/6；13-1, 3, 5/6；14-1/3）昭 4/5

*千野國丸　滯貸金回收手續債權保全手續　大阪銀行問題研究會　昭 10　388 頁　菊

妹尾一雄　割引と手形貸付の異同（銀行研究 6-5）大 13

同　手形貸付の繼續に就て（銀行研究 7-6）大 13

同　貸出の意義と業務機關組織（大阪銀行通信錄 347）昭 1

同　貸出監督機關としての檢查部（大阪銀行通信錄 358/59, 363）昭 2

同　當座貸越取引論（銀行研究 15-5/6；16-1/2, 4）昭 3/4

同　貸出業務比較論（銀行研究 18-4）昭 5

同　銀行の貸出監查（銀行研究 19-2/3, 5；20-3, 5）昭 5

同　擔保貸付の法律關係（銀行判例 6-7）昭 6

同　貸出報告の監督（銀行研究 22-3）昭 7

*同　信用及擔保附貸付の要諦 7 版　東京文雅堂　昭 7　352 頁　四六

同　擔保附貸付の法律問題（銀行判例 7-1）昭 7

同　預金擔保貸付（銀行判例 8-2）昭 7

同　銀行の貸出政策（金融大辭典 I 卷 7 頁）昭 9

同　貸付業務（銀行の）（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同　手形貸付（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同　當座貸越（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同　預金と貸金との相殺（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

土企　錢莊與信用放款（錢業月報 11-11）民 20

秦省如　救濟市面與錢業信用放款（錢業月報 15-4）民 24

白石幸三郎　銀行の貸出（經濟知識 4-3）昭 5

白石幸三郎　手形貸付と證書貸付（經濟知識 5-4）昭 6

同　當座貸越と荷爲替（經濟知識 5-5）昭 6

同　コールの話〔銀行知識〕（經濟知識 5-6）昭 6

壺齋　錢莊與信用放款（錢業月報 11-4）民 20

杉本一雄　當座貸越利率及其標準（銀行論叢 7-4）昭 1

住友信託調查部　ナショナルシチー銀行の新貸付制度（大阪銀行通信錄 372）昭 3

鈴木庫太郎　何ぞ進んで貸出協定を設けざる（銀行論叢 5-1）大 14

鈴木良雄　フイリップスの貸出金の公式（三田學會雜誌 17-3）大 12

*鈴木徇路　銀行貸出業務の法律的解說 2 版　東京　文雅堂　昭 4　412 頁　菊

同　有價證券擔保貸付の法律問題（銀行研究 19-4）昭 5

高木剛也　取引先に於ける貸出と預金との均衡（銀行研究 27-5）昭 9

高城仙次郎　兌換券流通高とコール歩合（銀行研究 10-3）昭 1

同　銀行破綻の共通原因と貸付の制限（財政經濟時報 14-11）昭 2

武田與一　當座貸越利率は妥當なりや（銀行研究 26-5）昭 9

同　銀行貸出業務開發策（銀行研究 26-6）昭 9

竹俣高敏　手形貸付に於ける裏書保證と手形保證（銀行研究 26-5）昭 9

竹村豐太郎　貸付による預金貨幣造出の理論的根據（立命館大學商學論叢 10）昭 9

武谷成直　普通銀行の不動產貸出に關する制限（銀行研究 11-6）昭 1

竹內良吉　不動產擔保の貸出と根抵當權設定契約證書の形式に就て（銀行研究 28-3）昭 10

竹內恕平　Confirmed Bankers Credits に就て（銀行研究 7-4/5）大 13

テーラー協會日本支部　銀行業者の貸付業務において經營能率考查の必要（產業能率 7-10）昭 9

豐田久和保　普通銀行と不動產貸付（金融研究 2-7）大 14

綱島克己　過振預金取引の法律的意義（銀行研究 20-4）昭 6

同　手形貸付債權の强制執行に就て（銀行研究 20-6）昭 6

同　商品擔保貸出割合測定の一素描（銀行研究 27-4）昭 9

上田啓次　當座借越契約と受信者の相續（銀行研究 19-4）昭 5

同　當座貸越債權の取立と公正證書の利用（銀行研究 29-4）昭 10

蘧齋　論信用放款（錢業月報 11-6）民 20

山田五郎　大銀行貸出業務の要諦を論ず（銀行論叢 2-3/5）大 13

山根謙　自作農制定資金貸出に關する一考察（金融組合 55）昭 8

山根雅男　時貸（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

*橫濱正金銀行調查課　コール取引の研究（藤平大祐・田中瑞穗）大 11〔調查報告 38〕

*同　紐育に於けるコールローン　大 11　20 頁

橫前周　貸付金直接利回に就て（信託協會會報 6-6）昭 7

橫山千代材　擔保附手形貸付の內入金整理に就て（銀行研究 2-6）大 11

米良則義　貸付手形の振出日に就て（銀行研究 17-3）昭 4

米澤逸郎　有價證券擔保貸出に關する實際問題（銀行研究 22-1）昭 6

同　手形貸付に於ける保證の問題（銀行研究 28-4）昭 10

吉丸儀六　商品擔保貸付の重要問題（銀行研究 18-4）昭 5

同　手形貸付取引の法律問題（銀行研究 20-4）昭 6

同　預金と貸出金との相殺に就て（銀行研究 25-4）昭 8

吉村豐一　預金と貸出との比率（財政經濟時報 11-9）大 13

吉岡堅太郎　共同貸出（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

結城豐太郎　預金利子と貸出の注意（大阪銀行通信錄 288）大 10

米國低利資金貸出開始（組合金融 4-2）昭 7

大銀行の貸出（東洋經濟新報 839）大 8

銀行業務學說判例大集成（手形割引篇 一）（銀行研究 21-5）昭 6

銀行貸出業務判例研究（銀行研究 24-4）昭 8

銀行支店長缺勤中に行はれた行員の不當貸付と支店長の責任（銀行判例 5-6）昭 6

銀行預金貸出の再吟味（ダイヤモンド 23-6）昭 10

銀行預金の貸出（ダイヤモンド 7-9）大 8

普通銀行の不動產抵當貸付（銀行通信錄 546）昭 6

貸出制限の銀行預金及純益金に及ぼす影響（銀行通信錄 422）大 9

期限經過貸付金の整理に就て（金融組合 25）昭 5

コールローン，コールマネー取引の實際（銀行研究 8-1）大 14

根抵當物件が競賣されたら當座貸越取引は解消〔判批〕（銀行判例 13-3）昭 10

根抵當設定當座借越契約の期限の延長（銀行通信錄 539）昭 5

新經營策一無擔保貸付の成績（ダイヤモンド 17-21）昭 4

私情貸出の弊（ダイヤモンド 13-19）大 14

滯貸の整理に就て〔白鳳山人〕（大阪銀行通信錄 409）昭 6

手形貸付に於ける手形裏書人の責任（銀行判例 3-4）昭 5

手形貸付に於ける手形時效完成の效果（銀行判例 4-6）昭 5

當座貸越債務の更改と擔保權の運命〔判批〕（銀行判例 3-4）昭 5

當座貸越と其債權の返還請求權（銀行判例 5-5）昭 6

預金に對する貸出金の割合（金融三層 2-5）昭 6

預金擔保貸付一擔保附貸付の法律問題（銀行判例 8-4）昭 7

有價證券擔保の諸問題—擔保附貸付の法律問題（銀行判例 7-4）昭 7

iii. 割　　引

明石照男　手形割引市場に就て（國家學會雜誌 41-7）昭 2

青木　茂　割引の理論と實際（銀行論叢 7-2/6；8-1）昭 1/2

同　　商業資金調達と商業手形割引（銀行論叢 9-6）昭 2

古坂富城　米國聯邦準備銀行と其の累進割引歩合（經濟評論一叢文閣 1-1）大 14

藤野豐治　貸付割引事務取扱手續（銀行研究 3-1/2）大 11

今井　貫　手形貸付と手形割引との關係（銀行研究 28-4）昭 10

*岩崎勝三郎　手形取引一割引裏書擔保償還の注意と不渡復活策　附：株券證券の所有と受け渡し安全策　東京　廣文堂　大 12　256 頁　四六

春日井薫　單名手形の利用濫用及其對策（銀行研究 19-6）昭 5

加藤和根　金融手形制度の研究（銀行論叢 2-2/3）大 13

紀清市　整理上から見た手形貸付と割引手形（銀行研究 10-3）昭 1

清成五六郎　貸付並に手形取引の際銀行が其取引者より取入るる總括的約定書に於ける若干の不備不充分なる條項に就て（銀行研究 20-4）昭 6

小坂珠城　地方銀行と融通手形に就て（銀行研究 11-2）昭 1

*同　　手形割引の重要諸點　3 版　東京　文雅堂　昭 5　341 頁　四六〔銀行講座〕

同　　手形割引取引の法律問題（銀行研究 19-4）昭 5

同　　銀行に於ける手形割引業務の地位（銀行研究 26-5）昭 9

丘端曲　貼現概論（商業雜誌 5-6）民 19

正岡勝男　割引手形に就て注意すべき事項（銀行論叢 4-4；5-1, 6）大 14

松崎壽　割引（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

永井幸雄　割引手形に關する若干の考察（銀行研究 23-1）昭 7

中村重夫　公定割引歩合決定の指針（銀行研究 9-4）大 14

名和彊　商品擔保の手形割引に關する一考察（金融研究 1-2）大 13

*日本銀行調査局　紐育割引市場ト其手形ニ就テ〔不詳〕〔紐育代理店監督役報告〕

西村勝太郎　貸付及び割引業務の研究（大阪銀行通信錄 458）昭 10

*沼田照義・犀川長作　手形割引裏書引受保證取引の安全と危險豫防策　東京　廣文堂　大 8　320 頁　四六

小畑美雄　貸付割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式（大阪銀行通信錄 398/406）昭 5

*大阪銀行集會所　割引及貸付事務の研究　大阪　昭 3 菊〔銀行實務懸賞文集 2〕

*同　　貸付及割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式　大阪　昭 5　390 頁　菊〔銀行實務懸賞文集 8〕

越智昌三　倉庫證券金融と商業手形割引（經濟研究 4-1）昭 2

坂上壽夫　手形割引取引に基く法律關係（銀行研究 25-6）昭 8

佐藤正雄　手形割引日歩及延滯日歩に就て（銀行研究 17-5）昭 4

妹尾一雄　割引に於ける手形書換の性質（銀行研究 4-6）大 12

妹尾一雄　割引と手形貸付の異同（銀行研究 6-5）大 13

同　　手形割引と消費貸借の異點（銀行研究 8-4）大 14

同　　政府補償再割引手形（銀行研究 9-3）大 14

同　　割引手形の繼續に就て（銀行研究 9-4）大 14

同　　再割引依頼銀行の法律上の地位（銀行研究 10-3）昭 1

同　　支拂人本位に依る割引の提唱（銀行研究 17-2）昭 4

同　　荷爲替手形割引（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　　手形割引（金融大辭典 II 卷 16 頁）昭 9

白石幸三郎　手形割引歩合と實際取引（經濟知識 5-3）昭 6

多田欽三　期間の定なき手形割引契約に於ける保證人の責任（銀行論叢 21-2）昭 8

塚原仁　再割引手形の記帳法に就て（長崎高商研究館彙報 19-4）昭 7

渡邊英夫　單名手形の話（經濟知識 3-6）昭 5

山浦友吉　定期積立金の遲延利子に就ての一考察（金融組合 41）昭 7

吉岡堅太郎　當所割引手形（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

大銀行の責任—再割引制度の實現に努めよ（東洋經濟新報 1254）昭 2

銀行業務學說判例大集成—手形割引篇（銀行研究 21-6；22-1/2, 4/5）昭 6/7

銀行引受手形割引の我貿易に及ぼす效果に就て（貿易 20-6）大 8

スタンプ手形とセーフテイデポヂット（經濟知識 4-3）昭 5

手形割引の意義（銀行判例 6-3）昭 6

手形割引約款の效力（銀行判例 2-3）昭 4

iv. 證券放資

淺野信一　銀行所有國債の評價に就て（銀行研究 17-4）昭 4

服部文四郎　銀行經營批判—銀行の證券放資と産業資金（經濟往來 4-5）昭 4

船尾榮太郎　銀行手持證券の評價方法に關する問題（經濟往來 4-8）昭 4

春日井薫　普通銀行放資の新局面（銀行研究 16-4）昭 4

同　　銀行の有價證券投資と其の限界（銀行研究 17-5）昭 4

同　　證券投資の原則（金融三層 2-6）昭 6

川上良兒　銀行の證券投資（銀行論叢 16-5）昭 6

加地良七　銀行の有價證券放資に就て一放資額の標準位に關する一考察（銀行研究 16-1）昭 4

清島梓　社債放資の現狀と改善策（銀行論叢 13-6）昭 4

熊田克郎　銀行の有價證券手持膨脹の意義（銀行研究 17-3）昭 4

牧野清一郎　不況と證券投資（財政經濟時報 16-3）昭 4

溝口幸太郎　法規上に於ける銀行の證券投資（銀行論叢 25-2）昭 10

同　　所有有價證券時價變動監視に就て（銀行論叢 25-3/4）昭 10

望月孝　低金利時代の證券投資價値（財政經濟時報 16-3）昭 4

小汀利得　銀行經營批判—現在の證券投資增加は一時的（經濟往來 4-5）昭 4

岡田純夫　銀行堅實化の一つの錯覺有價證券評價切下に就て（銀行研究 23-1）昭 7

奥村永藏　銀行の有價證券放資批評（企業經營 3-5）昭 5

*大藏省理財局　米國主要銀行投資目的物ノ變遷〔不詳〕〔米國駐在財務官報告 34〕

須藤文吉　公社債の放資と利廻計算（銀行研究 2-3/5）大 11

竹內辰次　公社債投資の諸要素（インヴェストメント 7-2/5）昭 3

竹內恒吉　銀行兼營と投資（銀行論叢 2-5）大 13

譚秉文　論銀行業群趨證券投資與其對策（錢業月報 14-7）民 23

*友田芳男　銀行はどんな株式をどれ程有つてゐるか　問題の世界社　昭 5

吉海茂喜　商業銀行の國債投資に就て（大阪銀行通信錄 442）昭 9

米國國立銀行公債投資狀態（金融三層 4-7）昭 8

銀行の株式投資抑制問題（エコノミスト 13-27）昭 10

銀行所有の有價證券增加に就て（銀行通信錄 513）昭 3

銀行所有有價證券（ダイヤモンド 15-15）昭 2

銀行投資の趨勢（東洋經濟新報 1043） 大 12
普通銀行の外國證券所有額激增 （經濟月報 **3**-11） 昭 6
金融機關の有價證券投資の變遷 （財界觀測 **19**-5） 昭 10
證券放資の仕方（財界研究 **3**-4） 昭 2
有價證券評價に關する資料 （保險銀行通信 637） 昭 7
有價證券評價に對する銀行と生保の態度（保險知識 **2**-11） 昭 9

v. 信用調査

ブラッヂン　銀行の信用調査部 （大阪銀行通信錄 286/87, 289/90, 292, 294） 大 10/11
江崎一造　吾國商業銀行に必要なる信用調査の方法（銀行論叢 **6**-2/3） 昭 1
*銀行研究社　信用調査組織の基準 2 版 東京 文雅堂 昭 3 357 頁 四六〔銀行講座〕
*同　信用調査部の組織と運用 東京 文雅堂 昭 4 624 頁 菊
羽端曉一　譯 信用調査手段としての貸借對照表の研究 （中央銀行會通信錄 301, 303） 昭 3
細井藤兵衞　銀行の金融方針と信用調査との關係（銀行研究 **14**-5） 昭 3
同　信用調査書交換の必要 （銀行研究 **17**-2） 昭 4
同　時局に直面せる信用調査部員の使命（銀行研究 **17**-4） 昭 4
藤城敬二　信用調査の基本事項 （銀行研究 **7**-2） 大 13
同　地方銀行と信用調査組織（銀行研究 **7**-5） 大 13
同　銀行破綻と信用調査組織の改善（銀行研究 **12**-6） 昭 2
同　信用調査部の内部組織 （銀行研究 **13**-4） 昭 2
同　信用判定の基礎要項（銀行論叢 **15**-6） 昭 3
同　信用調査資料整理方法 （銀行研究 **14**-5） 昭 3
同　共同信用調査所設置の提唱（銀行研究 **17**-4） 昭 4
同　貸出業務と信用調査との關係（銀行研究 **20**-1） 昭 6
藤城敬二　信用調査資料整理と其の單純化（銀行研究 **24**-1） 昭 8
同　信用調査（金融大辭典 II 卷 4 頁） 昭 9
同　貸出取引と信用調査事務の改善（銀行研究 **28**-4） 昭 10
井川忠雄　米國に於ける銀行の信用調査に就て（銀行通信錄 512/13） 昭 3
岩崎博　比率的分析に依る信用調査方法（銀行研究 **14**-8；**15**-1/2） 昭 3
同　信用調査（經濟學辭典 III 卷 2 頁） 昭 6
岩崎靜也　銀行の信用調査に就て （銀行論叢 **2**-5） 大 13
同　米國に於ける銀行信用調査課に就て（銀行論叢 **5**-2） 大 14
加藤正治　銀行ト取引先ノ信用調査殊ニ其ノ債務者ノ支拂停止又ハ破產申立ヲ知リタルコトノ事實ノ認定〔判批〕（法學協會雜誌 **51**-1） 昭 8
勝田貞次　銀行信用調査の科學的考察（銀行研究 **1**-2/3） 大 10
*同　銀行信用調査の研究 東京 文雅堂 大 11 289 頁 四六
同　銀行調査部實務誌（銀行研究 **6**-1/6; **7**-3） 大 13
同　信用調査部の運用 （銀行研究 **7**-6） 大 13
同　信用調査の方法に就て（大阪銀行通信錄 325） 大 13
*同　銀行の發展策と信用調査方法 大阪 大同書院 昭 1 556 頁 菊

I. 銀行の發展策 1. 銀行發展策概論 2. 銀行營業部の分課組織の改良策 3. 銀行全分課組織の基調 4. 銀行に於ける代表役員組織の運用と其效果 5. 行員問題の改善策 6. 預金吸收方法の改善策 7. 貸付業務の改善 8. 堅實なる銀行業の經營法
II. 金融の原理 1. 金融指導と預金固定 2. 銀行と貨幣との關係 3. 米國銀行組織の根本的精神 4. 貯蓄の意義 5. カッセル敎授の利子論 6. 我國金融界發達の一條件 7. 銀行業の本質
III. 信用調査の方法 1. 調査の價値 2. 調査の種類 3. 調査の意義 4. 信用調査概說 5. 信用調査要項概論 6. 信用調査要項の分析 7. 信用調査員の態度資格並に心得 8. 信用調査部概論 9. 米國の信用調査部 10. 信用バロメーターの意義と其作法 11. 信用調査部の運用 12. 大勢調査の資料とその蒐集 13. 資料の整理並に精選 14. 大勢調査の活物的觀察 15. 事業調査概論 16. 信用調査部の組織 17. 調査部の權能並に所屬 18. 調査機關の種類 19. 大勢調査部の組織 附錄 統計資料

木村秀太郎　信用報告制度を提唱す（大阪銀行通信錄 275） 大 9
同　再び信用報告制度を提唱す（大阪銀行通信錄 279） 大 9

木村秀太郎　信用報告書に關する制裁法（銀行研究 **2**-1） 大 11
同　信用査定の原理 （銀行研究 **2**-3） 大 11
木下駒吉　貸出の決定と信用調査 （銀行論叢 **13**-5） 昭 4
小山英次　米國銀行と信用調査部 （銀行論叢 **2**-6） 大 13
櫛本英二郎　信用調査と經濟調査 （銀行研究 **2**-1） 大 11
松崎壽　中小工業者の信用調査機關に就て（經濟時報 **1**-4） 昭 4
村井藤一郎　銀行の事業會社調査方法（銀行論叢 **24**-1/3, 5） 昭 10
西村勝太郎　信用調査係の實務詳解（大阪銀行通信錄 411/12） 昭 6
岡耕作　信用調査に伴ふ障害に就て（銀行研究 **28**-6） 昭 10
岡田誠一　信用調査事項に就て （會計 **17**-2） 大 14
岡田純夫　銀行堅實化の一つの錯覺—有價證券評價切下に就て （銀行研究 **23**-1） 昭 7
大木占城　信用調査實務誌 （銀行論叢 **24**-2） 昭 10
酒井杏之助　銀行經營と信用調査（龍門雜誌 513/14） 昭 6
櫻井吉太郎　「銀行信用調査の研究」を讀む （銀行研究 **2**-5） 大 11
妹尾一雄　信用調査部の組織と其運用（大阪銀行通信錄 348/50, 352/53） 昭 1/2
志田鉀太郎　投資調査機關の設置に就て（保險銀行時報 1133） 大 12
下山元一・他　銀行金融座談會（第二回其二）信用調査の眼目に就て （銀行論叢 **16**-2） 昭 5
高村光次　經濟調査機關と銀行信用調査機關（金融研究 **1**-1） 大 13
寺澤進一郎　銀行の信用調査組織 （銀行研究 **2**-6） 大 11
董肇駿　信用調査對於銀行事業之重要（銀行週報 778） 民 21
上森助三九　信用調査に關する銀行間の共助（銀行研究 **22**-3） 昭 7
吉田良三　會計學と銀行の信用調査（大阪銀行通信錄 261） 大 8

銀行の調査機關を說く（銀行週報 214） 民 10
銀行調査事務一班（大阪銀行通信錄 325） 大 13
會社並に個人の信用調査要項に關する研究 〔S. T 生〕（銀行論叢 **22**-3） 昭 9
紐育大銀行の信用調査方法 （大阪銀行通信錄 262） 大 8
信用調査之要項（經濟月刊 **3**-5） 民 20
取引先に對し貸借對照表の提出を求むる決議に就て（大阪銀行通信錄 283） 大 10

vi. 信用保險

エルマン　輸出信用と信用保險（調査月報 **20**-3） 昭 5
原島茂　信用保險を論ず （商事研究 **4**-4） 大 13
石田祐之　身元保證と信用保險 （法律時報 **3**-5） 昭 6
岩崎博　輸出金融制度としての信用保險（銀行研究 **13**-6） 昭 2
近藤文二　信用保險（經濟學辭典 III 卷 3 頁） 昭 6
*松崎壽　中小工業金融と債務保證信用保險並に動產抵當設定論〔大阪商科大學創立五十周年記念論文集 一 ぐろりあ・そさえて の內 22 頁〕 昭 5
森莊三郎　信用保險 （經濟學研究—九大 **1**-1） 大 9
下村重美・岸清一　保證制度と信用保險（保險評論 **23**-3） 昭 5
矢島利一　銀行と盜難及信用保險 （金融三層 **4**-12） 昭 8
橫畠正彥　東京市の採用せる信用保險に就て（都市問題 **20**-6） 昭 10
吉井桃麻呂　信用保險（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
同　商業信用保險 （金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

信用保險の制度に就て（銀行通信錄 518） 昭 4

vii. 擔保問題

青木茂　銀行の業務上より見たる根抵當問題に就て （銀行論叢 **7**-6；**18**-1；**19**-1/4） 昭 6/7
青木定次郎　當座貸越極度の變更と根抵當權に及ぼす影響（銀行研究 **18**-4） 昭 5
淺野哲夫　定期預金と其擔保力問題（銀行研究 **3**-4） 大 11

影　往來戶要求者業向銀行擔保之期限問題（錢業月報 7-8）民 16
原　靜　預金擔保（金融大辭典 III 卷 7 頁）昭 9
連見恭三　自社株式の擔保を目的とする契約に就いて（銀行論叢 10-5）昭 3
林正三郎　自行定期預金擔保手續に就いて（銀行研究 22-6）昭 7
今來新之丞　擔保品差入證の重要約款（銀行研究 19-4）昭 5
井上勝馬　事故ある有價證券の擔保と其の運命（銀行研究 29-5）昭 10
市川修三　電話擔保の理論と其手續（銀行論叢 4-3）大 14
片桐孝之助　當座貸越契約並に其根抵當の移轉に就て（法律新報 231）昭 5
川上良兄　證券擔保貸付の判斷（銀行論叢 23-5）昭 9
川瀨外記太郎　債權保全手段としての手形保證に就て（銀行研究 25-5）昭 8
加地良七　銀行取引上の保證人が負擔すべき債務の範圍（銀行研究 20-4）昭 6
木原三郎　擔保商品調査の要諦（銀行研究 4-7）大 12
小林德三郎　銀行に於ける債權擁護の方法（銀行論叢 24-5/6；25-1/2）昭 10
小平權一　農業動產擔保信用に就て（產業組合 292）昭 5
小池隆一　轉質に就て（銀行研究 28-2）昭 10
高傑在　有價證券及預金證書の擔保に就て（金融組合 39/40）昭 7
小西三郎　賣渡擔保による貸付（銀行論叢 25-5）昭 10
草島定太郎　仕上信用制度に就て（銀行研究 3-1）大 11
同　他人名義の株式擔保に就て（銀行研究 3-2）大 11
牧野淸一郎　株式擔保に就いて（銀行論叢 3-5）大 13
松崎壽　小額金融に對する保護制度（銀行研究 21-1）昭 6
宮本弘　不動產抵當當座貸越契約を廢止せよ（銀行研究 21-6）昭 6
宮本吉夫　電話加入權買入の無效を論ず（遞信協會雜誌 262）昭 5
中村光次　法定無能力者の財產擔保に就いて（銀行論叢 9-6）昭 2
同　法定無能力者の財產を擔保とするに就て（銀行研究 18-4）昭 5
西田安信　預金證書擔保差入證に就て（銀行研究 14-5）昭 3
野本德次郎　第三者擔保貸付の可否に就て（金融組合 28）昭 6
小川庄太郎　不動產擔保に就て（無盡通信 5-4）昭 6
岡耕作　定期預金擔保貸出の採算に就て（銀行研究 27-4）昭 9
岡野哲二　銀行取引擔保論（銀行研究 26-4）昭 9
大森繁治　手形貸付動產擔保貸付の擔保品保管方法を論ず（銀行論叢 5-6）大 14
*大阪銀行集會所　銀行擔保品の保管及整理方法 昭 5
太田義繁　共通擔保契約に就て（銀行研究 5-4）大 12
大嶽佐平次　根抵當契約の移轉と其の方法（銀行研究 27-5）昭 9
坂上壽夫　銀行取引に於ける保證〔債權確保〕（銀行研究 23-3, 5）昭 7
佐野包治　定期預金の擔保的價値に就て（銀行研究 8-4）大 14
佐藤治作　株式擔保貸付論（銀行論叢 12-5/6；13-5/6；14-1/3）昭 4/5
*妹尾一雄　銀行の擔保事務 2 版 東京 文雅堂 昭 5 333 頁 四六〔銀行講座〕
同　擔保貸付の法律問題（銀行判例 6-7）昭 6
同　有價證券擔保の諸問題—擔保附貸付の法律問題・第三講（銀行判例 7-5）昭 7
同　根抵當（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9
染葉英一　自行預金を擔保とする取引に就て（法律新聞 3835, 3838/39）昭 10
鈴木徇路　不動產擔保權の取得と權利實行に伴ふ諸問題（銀行研究 18-4）昭 5
同　有價證券擔保貸付の法律問題（銀行研究 19-4）昭 5
多田喜一　商法第 151 條の研究—銀行が自己株を擔保として受領する事に就いて（法學論叢 13-5）大 14
騰松龍種　質權の擔保方法に就て（金融組合 23）昭 5
竹內良吉　不動產擔保の貸出と根抵當權設定契約證書の形式に就て（銀行研究 28-3）昭 10
綱島克己　商品擔保貸出割合測定の一素描（銀行研究 27-4）昭 9
*同　・他二氏　商品擔保事務外 二篇 東京 文雅堂 昭 10〔銀行實務全集〕
上田啓次　權利質取引の法律的手續（銀行研究 19-4）昭 8

山本五郎　倉庫證券と貸付擔保の注意（大阪銀行通信錄 338）大 14
安良城盛雄　根抵當契約の相續に就て（銀行研究 11-1）昭 1
同　根抵當契約の相續と登記に就て（銀行研究 12-5）昭 2
米澤逸郎　有價證券擔保貸出に關する實際問題（銀行研究 22-1）昭 6
同　手形貸付に於ける保證の問題（銀行研究 28-4）昭 10
吉丸儀六　商品擔保貸付の重要問題（銀行研究 18-4）昭 5
吉野千代吉　記名株式の買入と第三者對抗の判決に就いて（中央銀行通信錄 318）昭 4
不動產擔保の法律問題（銀行判例 4-2）昭 5
不動產擔保と金融逼迫に就て（朝鮮經濟雜誌 55）大 9
經濟復興策としての無擔保貸付（東洋經濟新報 1080）大 13
記名株式の買入と第三者〔S. U. 生〕（大阪銀行通信錄 381）昭 4
無擔保貸付を斷行せよ（東洋經濟新報 1071）大 12
根抵當權の移轉〔判批〕（銀行判例 14-1）昭 10
根抵當を單純抵當として登記したる效力（銀行判例 6-5）昭 6
農業信用中的擔保品問題（工商半月刊 7-11）民 24
擔保別での年末金融（經濟知識 4-5）昭 5
擔保公社債の保管方法〔K. M. 生〕（大阪銀行通信錄 364）昭 2
定期擔保の年末金融（經濟知識 4-5）昭 5
抵當權の讓渡と相殺要件〔判批〕（銀行判例 13-2）昭 10
抵當建物と假處分〔判批〕（銀行判例 13-1）昭 10
轉質を論ず（銀行判例 6-4/5）昭 6
當座貸越債務の更改と擔保權の運命〔判批〕（銀行判例 3-4）昭 5
有價證券擔保の諸問題—擔保貸付の法律問題（銀行判例 7-4/5）昭 7

5. 支拂準備

青地玄三郎　英國銀行準備金問題（長崎高商研究館彙報 2-4；3-5）大 12
ベンハム，アール　英國銀行の手許有高に就て（銀行通信錄 428）大 10
*第一銀行調査部　米國銀行業に於ける法定支拂準備制度の發展 昭 10 17 頁 菊〔調査報告 5, 5〕
長谷川安兵衞　普通銀行と預金支拂準備金（銀行研究 17-1）昭 4
藤原泰　地方銀行の危機に直面して—銀行經營と二次的支拂準備（財政經濟時報 18-2）昭 5
石卷良夫　預金準備に就ての誤まれる世論（銀行研究 5-3/4）大 12
岩崎博　コール市場の衰微と支拂準備金の過剩對策（銀行研究 13-2）昭 2
同　新銀行法と支拂準備制度の確立（銀行研究 14-1）昭 3
春日井薰　支拂準備金集中制度の必然性—準備金の本質と其運用法（銀行研究 20-6）昭 6
同　準備制度の改正と金問題再論（銀行研究 21-2）昭 6
同　銀行の第二線準備の檢討（銀行研究 21-4）昭 6
川上良兄　支拂準備金の決定に關する諸原則（銀行論叢 16-1）昭 6
木村秀太郎　預金と準備金と貸出に關する考察（銀行研究 2-5）大 11
金原淸二　ジヨン・エム・チヤップマン：第二の準備金（銀行研究 28-3）昭 10
小泉計太郎　支拂準備金（經濟學辭典 III 卷 2 頁）昭 6
同　分散準備制度（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7
同　フランク・A・ワーリング：支拂準備制度による信用統制（銀行研究 27-5）昭 9
車谷馬太郎　譯　米國の準備金問題（大阪銀行通信錄 396）昭 5
楠見一正　米國に於ける法定預金準備指導精神の發展（經濟時報 7-6）昭 10
同　金融統制と預金支拂準備の統制（銀行研究 29-3）昭 10
中村實　法定準備金算定の基礎吟味（銀行研究 19-5）昭 5
中谷實　信用擴張と銀行流動性（經濟論叢 33-3）昭 6
同　支拂準備の法定に就て（經濟論叢 40-1）昭 10
同　信用擴張與銀行流動性　施耀剛譯（銀行週報 725, 727）民 20
奧田勳　支拂準備金問題の考察（銀行論叢 1-1）大 12
同　預金準備金問題考察（商光 2-1）大 12

奥村永藏　銀行の第一第二準備に就て一銀行經營に於ける手許準備（銀行研究 **20**-3）昭 6

平實　銀行經營に於ける流動性に就て（銀行論叢 **23**-1）昭 9

高島佐一郎　支拂準備（金融大辭典 II 卷 11 頁）昭 9

田中金司　預金の流通速度と支拂準備金（國民經濟雜誌 **53**-6）昭 7

渡邊銈孝　支拂準備に關する明細書に就て（大阪銀行通信錄 369）昭 3

山田秀苗・大島喜一・關野信・他　我國銀行の支拂準備金問題（銀行研究 **10**-2）昭 1

山上喜與志　ボール・エム・アトキンス：第二線支拂準備金（銀行研究 **26**-4）昭 9

米澤秀夫　上海に於ける聯合準備制（大阪銀行通信錄 420）昭 7

英國銀行の支拂準備に就て（中央銀行會通信錄 236）大 11

英國銀行の預金對手許在高の割合（銀行通信錄 537）昭 5

銀行の準備に就て（大阪銀行通信錄 323）大 13

改善案に現れたる普通銀行の支拂準備（東洋經濟新報 1220）昭 1

金融と手許準備（ダイヤモンド **18**-10）昭 5

預金準備用短期國債制を創設せよ（經濟情報 **9**-11）昭 9

6. 手形引受業務

荒木秀一　名譽引受（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

アンリー，ブーヤンタ　倫敦手形引受市場解說（調査月報 **20**-7）昭 5

服部洪　正當なる支拂人にあらざるものの爲したる荷爲替手形の引受行爲（銀行研究 **8**-5）大 14

堀江歸一　手形引受と合衆國の金融市場（三田學會雜誌 **13**-7/8）大 8

細矢祐治　保證業務と引受業務（商事研究 **3**-2）大 12

飯田照夫　アクセプティング・ハウスの沿革と其職能（經濟集志 **8**-1/2）昭 10

今村幸男　銀行引受手形の發達を望む（銀行論叢 **3**-6）大 13

井上準之助　銀行引受手形の効益（東京經濟雜誌 2014）大 8

春日井薰　手形引受業務（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）昭 6

金野豐　米國の銀行引受手形發達（大阪銀行通信錄 285）大 10

松崎壽　我國の銀行と手形引受業務（國民經濟雜誌 **26**-6）大 8

同　銀行と手形引受業者との關係（商業及經濟研究 36）大 13

三浦實　銀行引受手形（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

同　手形引受業務（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

三宅嘉十郎　銀行手形引受制度及實行論（三田學會雜誌 **13**-9/10）大 8

長屋好雄　銀行引受手形に就て（中央銀行通信錄 304/5, 307/8）昭 3

大森研造　銀行の手形引受制度（經濟論叢 **9**-2/3）大 8

大下禎五郎　紐育引受手形市場に就て（銀行研究 **15**-2）昭 3

*ローレンス，マートン・シエコブ　銀行手形引受制度　日本銀行調査局 譯　大 8

白石幸三郎　手形引受業務の實行案に就て（大阪銀行通信錄 262）大 8

楚靡　錢莊對于照票之責任（錢業月報 **7**-3）民 16

只見徹　銀行引受手形の流通（東亞經濟研究 **3**-4）大 8

程步雲　商業承兌匯票在金融市場之地位（錢業月報 **15**-5）民 24

ウオルタ，リーフ　引受業務論　岡本春三 譯（大阪銀行通信錄 376）昭 3

米國に於ける銀行引受手形に就て（銀行通信錄 570）昭 8

獨逸に於ける銀行引受手形と手形割引市場（銀行通信錄 495）昭 2

英國の手形引受業務と其の妙用（大阪銀行通信錄 329）大 14

銀行引受貿易手形と爲替銀行賣出手形（銀行通信錄 406）大 8

爲替手形の引受（銀行判例 **3**-5）昭 5

手形引受制度に就て（銀行通信錄 404）大 8

手形引受制開始と日銀の金利政策（東洋經濟新報 852）大 8

我國銀行と手形引受業務（大阪銀行通信錄 261）大 8

我國の金融と銀行引受手形（東洋經濟新報 1201/02）昭 1

7. 內國爲替業務

有本邦造　支那國內爲替換算法（山口商學雜誌 9）昭 6

栗谷清一　爲替取引約定の法律的構成（銀行研究 **13**-5）昭 2

同　當座振込の法律的考察（銀行論叢 **8**-5）昭 2

同　爲替尻付替の法律觀（銀行論叢 **8**-6）昭 2

同　當座振込の法的批判（大阪銀行通信錄 360, 362）昭 2

*同　爲替取引の法理と實際　東京　文雅堂　昭 3　329 頁　四六〔銀行講座〕

同　內國荷爲替信用狀論（銀行論叢 **11**-5/6；**12**-3）昭 3/4

同　貨物引渡指圖書附荷爲替の性質に就て（銀行論叢 **12**-4）昭 4

同　爲替尻付替の法律上の性質（銀行研究 **18**-4）昭 5

遠藤佐々喜　江戶時代の公金爲替制度に於ける御爲替組の發達眞相（社會經濟史學 **4**-6）昭 9

江浦樾作　爲替書類の整理私案（銀行論叢 **1**-4）大 12

服部洪　正當なる支拂人にあらざるものの爲したる荷爲替手形の引受行爲（銀行研究 **8**-5）大 14

日置泰三　爲替尻付替の法性（銀行研究 **18**-4）昭 5

同　付替の法性に關し栗谷氏の教を乞ふ（銀行研究 **18**-5）昭 5

廣瀨清太郎　當座口振込に對する危險防止案（銀行通信錄 436）大 11

藤野豐治　爲替事務（內國）取扱手續（銀行研究 **3**-3）大 11

今來新之亟　送金契約の意味及び性質（銀行研究 **24**-2）昭 8

稻垣直文　當座振込の法律的性質（銀行研究 **12**-5）昭 2

伊藤健　荷爲替信用狀に關する若干の實際問題（銀行研究 **21**-5/6）昭 6

*伊藤由三郎　內國爲替實務　大阪　銀行問題研究會　大 15　314 頁　菊

神戶秀雄　爲替事務合理化の基本的諸考察（銀行研究 **23**-2）昭 7

同　川合氏「爲替尻無利息論の再吟味」を駁す（銀行研究 **23**-6）昭 7

同　爲替資金の一展望（銀行研究 **25**-2）昭 8

同　轉送手形の手數料算定に就いて（銀行研究 **25**-3）昭 8

同　爲替資金の動態に就いて（銀行研究 **25**-5）昭 8

同　爲替資金の運用に就て一爲替資金の一展望（銀行研究 **25**-6）昭 8

*同　銀行爲替　東京　非凡閣　昭 10　392 頁　菊〔銀行實務講座 3〕

*同　內國爲替の理論と實務　東京　同文館　昭 10　340 頁　菊

同　爲替業務の發展策（銀行研究 **29**-2）昭 10

金井健四郎　當座振込の法律的考察（商學討究 **3**-下）昭 3

片山富久雄　爲替尻付替取消の記帳訂正に就て（銀行研究 **11**-6）昭 1

勝田貞次　米國銀行と內國爲替業務（銀行研究 **4**-6）大 12

河原實　未拂配當金と未拂送金爲替（銀行研究 **19**-6）昭 5

川合定明　爲替尻無利息論の再吟味（銀行研究 **23**-4）昭 7

川中信也　本支店勘定に關して（銀行研究 **3**-6）大 11

同　爲替銀行本支店間計算制度に就て（銀行研究 **4**-2）大 12

川瀨和夫　銀行不安と爲替事務（銀行論叢 **18**-3）昭 7

同　爲替業務の側より見たる地方銀行擁護論の一節（銀行論叢 **19**-4）昭 7

川島貞造　送金手形變造防止私議（銀行通信錄 420）大 9

加地良七　手形支拂場所指定銀行の支拂（銀行研究 **21**-3）昭 6

貴田秀一　內國爲替實務誌に就て水野氏に教を乞ふ（銀行論叢 **2**-5）大 13

衡南　銀行押滙與鐵路押滙之研究（錢業月報 **11**-5）民 20

小林竹生　手形送達上の樣式改正並に代手事務の複寫制提唱（大阪銀行通信錄 428）昭 8

小坂珠城 爲替尻整理方法私見 (銀行研究 6-3) 大 13
同 送金案内に就て (銀行研究 6-4) 大 13
同 内國爲替事務要論 (銀行研究 8-1/2, 5; 9-1/2) 大 14
同 當座振込に就て水野氏に答ふ (銀行研究 9-3) 大 14
*同 内國爲替事務要論 東京 文雅堂 昭 1 243 頁 菊
同 爲替尻付替の實益 (銀行研究 10-3) 昭 1
同 本支店間爲替尻處理方法 (銀行研究 15-6) 昭 3
同 他店間爲替尻付替に就て (銀行研究 16-1) 昭 4
同 爲替事務分掌組織に就て (銀行研究 16-5) 昭 4
同 送金爲替と當座拂込との異同 (銀行研究 18-4) 昭 5
同 荷爲替事務の所屬と其の取扱方法 (銀行研究 20-1) 昭 6
上坂酉三 商品の金融的機能と荷爲替制度 (銀行研究 15-4) 昭 3
桑野傳三 内國爲替實務 (銀行論叢 7-2/6; 8-1/6; 9-1/5) 昭 1/2
松林俊之助 中間爲替勘定回答書の印紙貼用問題 (銀行研究 20-5) 昭 6
松井秀次郎 當座振込當方口制に對する疑問 (銀行研究 16-1) 昭 4
松井清一 電報送金並に付替の法律上の構成 (中央銀行會通信錄 262) 大 14
松川隷治 内國爲替取引方法改良私案 (銀行研究 7-1) 大 13
同 取立手形整理方法 (銀行研究 8-1) 大 14
同 當所代金取立手形に就て (銀行研究 8-2) 大 14
同 爲替尻付替の研究 (銀行研究 10-5/7; 11-1/3) 昭 1
*同 爲替尻操縱方法 3 版 東京 文雅堂 昭 6 314 頁 四六 〔銀行講座 19〕
松川昇造 不便なるコルレス取引と其の對策 (銀行研究 16-2, 4) 昭 4
松岡都城 取立の技術的並に省察的要義 (銀行研究 9-2) 大 14
松好貞夫 江戸大阪間の爲替取組に就て (經濟史研究 32/33) 昭 7
松崎壽 内國爲替 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6
三浦實 荷爲替 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
見山信 爲替無利息と爲替勘定表の全廢問題 (銀行研究 23-5) 昭 7
同 電信當座口振込の事務的考察 (銀行研究 25-1) 昭 8
三好和夫 内國爲替決濟の理想に就て (銀行研究 9-5) 大 14
水口吉藏 爲替取引に於ける爲替尻の付替 (法律論叢 10-6) 昭 6
水野淳二 コルレス利息の研究 (銀行研究 3-4) 大 11
同 爲替取引の無貸越制度 (銀行研究 7-4) 大 13
*同 内國爲替實務誌 大 14
同 當座振込制度の改良を論じ併せて各地組合銀行に望む (銀行研究 8-2) 大 14
同 當座振込に就て小坂氏に質す (銀行研究 9-2) 大 14
同 再び當座振込に關し小坂氏に質す (銀行研究 9-4) 大 14
同 爲替勘定回答書の印紙問題 (銀行研究 11-1) 昭 1
同 モラトリアム前後に於ける當座振込の狀態と其改良法 (銀行研究 12-6) 昭 2
*同 内國爲替事務改良方法 2 版 東京 文雅堂 昭 3 333 頁 四六 〔銀行講座〕
同 當座振込當方口受入の實施 (銀行研究 14-3) 昭 3
同 爲替尻付換の判例に就て (銀行研究 18-2) 昭 5
同 内國爲替 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9
同 當座振込 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
水津末清 謬れる電信送金の契約方法 (銀行研究 2-2) 大 11
中山茂樹 爲替副報告再使用より起る銀行犯罪豫防法 (銀行論叢 4-4) 大 14
西野武夫 爲替係に於ける手數料記入帳 (銀行研究 14-8) 昭 3
西澤勘次郎 内國爲替業務の損益解剖と其根本的對策 (銀行研究 16-1) 昭 4
同 爲替取引要項の存在的價値 (銀行研究 16-6) 昭 4
野元純彦 荷受式船荷證券と銀行業者の態度 (海事 2-3) 大 14
野崎龍七 コルレス先 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

小畑美雄 當座振込金取扱の改善に就て (銀行研究 16-4) 昭 4
岡上虎三郎 他店爲替尻拂込方法改良私案 (銀行研究 5-1) 大 12
同 高木武比古: 當座振込に關する檢討を評す (銀行研究 9-5) 大 14
大久保正喜 爲替尻資金操縱に就て (銀行研究 7-3/4) 大 13
*奥田幾二 實例參照 荷爲替手形ノ實際 東京 巖松堂 大 13 101 頁 四六
奥村永藏 本支店勘定利率の考察 (銀行研究 21-1) 昭 6
*大間知庸吉 内國爲替實務誌 〔銀行信託講座—斯文書院 6, 8, 11/2 の內 262 頁〕 昭 4/6
*大阪銀行集會所 爲替事務及爲替取引改善案 2 版 大阪 同所 昭 4 109 頁 菊 〔銀行實務懸賞文集 4〕
三野松造 内國爲替の檢査 (銀行研究 24-6) 昭 8
佐藤正雄 爲替決算手續 (經濟論叢 9-5) 大 8
同 記名式送金小切手に就て (大阪銀行通信錄 350) 昭 1
同 「送金の事務的要諦」に關し都上氏の教を乞ふ (銀行論叢 6-5) 昭 1
同 爲替犯罪考 (銀行論叢 10-1/2) 昭 3
同 送金小切手並に當座口入報告書に就て (銀行研究 17-1) 昭 4
妹尾一雄 電信爲替と銀行の權利義務 (銀行研究 5-2) 大 12
同 荷爲替業務實務誌 (銀行研究 6-1/6 7-1/2) 大 13
同 荷爲替貨物保證後に就て (銀行研究 8-6) 大 14
同 電信送金爲替の法律的考察 (銀行研究 9-2/3) 大 14
同 荷爲替の種別に就て (商事研究 5-6) 大 14
同 荷爲替手形の取立と支拂の遲延 (商事研究 6-1) 大 14
同 當座振込に關する諸問題 (大阪銀行通信錄 360/62) 昭 2
同 當座振込の法律的考察 (銀行研究 13-1/2) 昭 2
*同 荷爲替の法理と取引慣習 2 版 東京 大阪 文雅堂 昭 3 318 頁 四六 〔銀行講座〕
*同 荷爲替業務論 2 版 東京 文雅堂 昭 5 417 頁 菊 〔1 版 大 14〕
同 爲替取引銀行間の法律問題 (銀行研究 18-4) 昭 5
芹澤善一 支店に於ける本店爲替勘定書作成に就て (銀行研究 15-5) 昭 3
島田昌和 他店爲替事務一般 (銀行論叢 25-2/4) 昭 10
篠山進 本支店爲替勘定の整理に就て (銀行研究 13-4) 昭 2
白石幸三郎 當座貸越と荷爲替 (經濟知識 5-5) 昭 6
同 内國爲替の知識 (經濟知識 6-1) 昭 6
同 トラストレシートと貨物引取保證 (經濟知識 10-1) 昭 8
須藤文吉 荷爲替信用指圖書の存立 (國民經濟雜誌 40-3) 昭 1
高木武比古 取引約定書に契約すべき重要約款 銀行研究 19-4) 昭 5
*田中忠夫 支那内國爲替 東京 大阪屋號 大 10 258 頁
同 撥兌に就て (東亞經濟研究 8-1) 大 13
同 鏢局に就て (東亞經濟研究 8-4) 大 13
都上城三 送金の事務的要諦 (銀行論叢 5-4' 6-1/5) 大 14/昭 1
殿井重彌 爲替事務分掌組織の一提案 (銀行研究 16-6) 昭 4
堤正元 爲替取引口座制の法律的解釋 (銀行研究 10-1) 昭 1
同 爲替取引要項表に就て (銀行研究 13-2) 昭 2
上森助三九 不合理なる本支店爲替尻利息問題 (銀行研究 17-1) 昭 4
同 當座振込改善の若干問題 (銀行研究 18-5) 昭 5
上野嘉陽 爲替係に於ける他店順位排列の基準 (銀行研究 18-2) 昭 5
八木旭一 爲替關係郵便物の發送に就て (銀行研究 14-7) 昭 3
山田秀苗 内國爲替利息並に計算書全廢の提唱 (銀行研究 15-1/2) 昭 3
同 再び爲替取引無利息主義を提唱す (銀行研究 21-1) 昭 6
*山口恭佑 爲替對策論 〔不詳〕
安田陽三 爲替取引契約要覽に就て (銀行研究 23-3) 昭 7
横山千代村 支店間爲替取引の本店集中計算制 (銀行研究 3-1) 大 11
吉丸義六 利付爲替手形の法律上の效果に就て (銀行研究 19-5) 昭 5
吉岡堅太郎 他店貸 (銀行貸借對照表の) (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
銀行の休業とコルレス取引 (銀行判例 7-4) 昭 7

假裝の當座振込と銀行の責任〔判批〕(銀行判例 12-6) 昭 9

爲替に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式〔Y. F. 生〕(大阪銀行通信錄 386/88) 昭 4

爲替資金の一展望 (銀行研究 25-2) 昭 8

爲替取引契約の基準條項及爲替取引契約書案 (大阪銀行通信錄 366) 昭 3

爲替尻付替に對する新判例 (中央銀行會通信錄 322) 昭 5

爲替尻付替の法律的構成に就て粟谷清一氏に教を乞ふ〔竹露生〕(中央銀行會通信錄 307) 昭 3

內地爲替の主要論點 (大阪銀行通信錄 337/39) 大 14

荷爲替取引と代金支拂との關係 (銀行通信錄 425) 大 10

新京國內銀行爲替受拂額 (經濟金融概況 17) 大同 3

當座口振込の法律的考察 (銀行判例 5-7; 6-1) 昭 6

當座振込に關する檢討を評す (銀行研究 9-6) 大 14

8. 支拂取引

串本友三郎　無現金支拂取引制度の沿革 (銀行研究 16-1) 昭 4

*堤　正元　出納事務並に手形交換 東京 文雅堂 昭 2 364 頁 四六〔銀行講座〕

9. 手形交換制度及振替制度

i. 手形交換制度

荒木秀一　手形交換所 (經濟學辭典 IV 卷 2 頁) 昭 6

同　手形交換所に就て (大阪銀行通信錄 422) 昭 7

*米國銀行協會手形部編　手形交換所の組織，米國手形交換所の銀行檢査制度　大阪銀行集會所譯　大 11〔銀行實務資料 1〕

出羽正也　手形交換所規約改正私案 (大阪銀行通信錄 453) 昭 10

石井祐齋　倫敦紐育及東京に於ける三大手形交換所の概況 (銀行通信錄 472) 大 14

*石卷良夫　手形交換所の實務 東京 文雅堂 大 11 222 頁

同　手形交換所改善策 (銀行研究 3-4) 大 11

同　地方手形交換實行論 (銀行研究 4-7) 大 12

*同　手形交換所論 東京 文雅堂 大 14 416 頁 菊

同　手形交換の原理に就て (銀行研究 8-3) 大 14

同　手形交換所の地位 (商事研究 5-6) 大 14

同　手形交換所組合銀行に就て (銀行研究 15-4) 昭 3

同　手形交換制度 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9

同　手形交換所 (金融大辭典 II 卷 5 頁) 昭 9

同　手形交換手續 (金融大辭典 II 卷 4 頁) 昭 9

同　地方交換 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9

神戶正雄　二部手形交換制度 (時事經濟問題 13) 大 12

柏木春太郎　歐洲に於ける手形交換及代金取立 (經濟集誌 2-2) 昭 4

加地良七　手形交換所に於ける不渡手形の證明行爲 (銀行研究 19-4) 昭 5

三浦實　手形交換高 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

水口吉藏　手形交換の本質と不可抗力に因る手形の滅失 (法律論叢 13-9/10) 昭 10

水野淳二　配當金領收證の印紙貼用問題とコール手形の交換經由問題 (銀行研究 12-2) 昭 2

永井幸雄　不渡手形に關する二三の問題 (銀行研究 22-5) 昭 7

長崎精男　手形交換高の統計的研究 (內外研究 5-2) 昭 7

長須賀四郎　手形交換に關し規程上改正意見 (大阪銀行通信錄 453) 昭 10

中村光次　地方手形交換實施に伴ふ障害 (大阪銀行通信錄 311) 大 12

同　不渡手形の研究 (銀行論叢 2-3) 大 13

同　不渡手形の法律的手續 (銀行研究 19-4) 昭 5

中村忠彰　手形交換と財界の動き (銀行通信錄 581) 昭 9

栗田藤吉　證券交換所問題 (商業及經濟研究 17) 大 9

西村捨三　代金取立手形整理の基礎 (大阪銀行通信錄 392) 昭 5

丹羽順二　手形交換の經濟的本質と特質 (中央銀行會通信錄 316) 昭 4

同　手形交換制度の進展 (中央銀行會通信錄 374) 昭 9

小川福太郎　手形交換制度の先驅としての里昂のベイーマン (經濟論叢 21-2) 大 14

奧野平　手形交換所の職能と交換方法 (經濟知識 3-5) 昭 5

大森研造　手形交換所制度論 (經濟論叢 10-2/5) 大 9

大野榮一郎　我國に於ける手形交換所の發生 (經濟史研究 44) 昭 8

*大阪手形交換所　大阪手形交換所交換成績一覽〔年刊〕

李相基　手形交換所に於ける支拂呈示 ([朝鮮] 司法協會雜誌 13-7) 昭 9

鈴木庫太郎　地方手形交換の必要と利益 (エコノミスト 1-4) 大 12

同　地方手形交換の必要と其利益 (大阪銀行通信錄 316) 大 12

高城仙次郎　通貨流通高並に手形交換高の增減と物價の騰落 (銀行研究 20-2) 昭 6

高橋正雄　手形交換高の季節的變動 (國家學會雜誌 41-9) 昭 2

高瀨三郎　小切手支拂銀行並に手形交換所の不渡宣言 (大阪銀行通信錄 440) 昭 9

*遞信局貯金局　郵便局の手形交換所參加に就て 昭 3〔業務資料 17〕

*東京手形交換所　手形交換便覽 昭 5

*同　東京手形交換所一覽 昭 5

綱島克己　當座尻の電話照會に就て (銀行研究 20-2) 昭 6

堤正元　手形交換の法性 (銀行研究 11-2) 昭 1

同　手形交換所規約改正私案 (銀行研究 11-4) 昭 1

同　手形交換所の起原に就て (銀行研究 11-5) 昭 1

*同　出納事務並に手形交換 東京 文雅堂 昭 2 364 頁 四六〔銀行講座〕

同　手形交換事務改善論 (大阪銀行通信錄 359) 昭 2

若林輝夫　上海手形交換所設立に就て (大阪銀行通信錄 426) 昭 8

米國手形交換所の銀行檢査制度 (大阪銀行通信錄 302) 大 11

物價騰貴と手形交換 (ダイヤモンド 12-36) 大 13

大震災に依る東京橫濱兩組合銀行の營業時間短縮と不渡手形取扱手續變更 (大阪銀行通信錄 214) 大 13

銀行の手形決濟の慣習 (銀行判例 6-7) 昭 6

銀行手形交換及小切手計算の繁劇と緩和すべき改良私案〔溪淵生〕(大阪銀行通信錄 266) 大 8

本邦の手形交換所 (中央銀行會通信錄 204, 206/08) 大 9

漢口銀行公會交易所規則 (銀行月報 3-11) 民 12

交換高より見たる倫敦手形交換所の發達 (銀行通信錄 434) 大 11

大阪手形交換所交換成績一覽 (大阪銀行通信錄 414) 昭 7

大阪手形交換所の沿革 (大阪銀行通信錄 377) 昭 4

倫敦手形交換所に就て (大阪銀行通信錄 352) 昭 1

昨年の英國手形交換所交換概況 (銀行通信錄 459) 大 13

昨年の巴里手形交換高 (銀行通信錄 544) 昭 6

支那式新式銀行間手形交換開始 (上海) (海外經濟事情 6-2) 昭 8

組織票據交換所商況 (銀行週報 682) 民 20

上海銀行聯合準備委員會票據交換所暫行辦事細則 (工商半月刊 5-4) 民 22

上海票據交換之過去現在與將來 (銀行週報 797) 民 22

上海票據交換所之實現 (銀行週報 779) 民 21

上海票據交換所事務概況 (銀行週報 789) 民 22

上海錢業票據交換概況 (中行月刊 8-3) 民 23

手形交換の法律上の性質—安田銀行對川崎第百銀行問題を中心として (銀行判例 10-6) 昭 8

手形交換の性質と事務的對策—再び安田川崎第百事件を中心として (銀行判例 12-3) 昭 9

手形交換及不渡手形に就ての心得 (金融知識 6-2) 昭 10

手形交換所の成績良好 (東洋貿易時報 10-10) 昭 9

手形交換所の組織一斑 (大阪銀行通信錄 302) 大 11

天津票據交易所の設立 (東洋貿易時報 114) 昭 6

都市の交換決濟及擴充に就て (銀行論叢 4-3) 大 14

全米銀行の手形交換高 (大阪銀行通信錄 411) 昭 7

ii. 振替制度

栗谷清一 當座振込の法律的考察（銀行論叢 8-5） 昭 2

同 當座振込の法的批判（大阪銀行通信錄 360, 362） 昭 2

神戸秀雄 Giro-System と我國の當座口受拂制度（銀行研究 **26**-1） 昭 9

串本友三郎 小切手制度と振替制度の優劣に關する國民經濟的並に經營經濟的研究（銀行研究 **16**-5；**17**-2） 昭 4

同 振替銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

同 振替制度（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

水口吉藏 銀行の振替に就て（銀行研究 **24**-6） 昭 8

水野淳二 當座振込制度の改良を論じ併て各地組合銀行に望む（銀行研究 8-2） 大 14

同 當座振込に就て小坂氏に質す（銀行研究 **9**-2） 大 14

奥田勳 米國に於ける爲替振替制度の改革（商光 **3**-2） 大 14

須美芳夫 獨逸に於ける銀行勘定の支拂方法（銀行論叢 **4**-1） 大 14

武島一義 獨逸市町村金融事業—獨逸振替制度の發生，發達及將來に於ける任務（自治研究 **9**-5） 昭 8

振替口座制度の缺陷（奉天商工月報 302）

金銀勘定振替に關する諸問題〔安良城生〕（大阪銀行通信錄 313） 大 12

ソヴィエト聯邦現金振替制度實施と金融制度改革（海外經濟事情 **3**-29） 昭 5

10. 附隨業務

青木孝 保護預り（金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

荒木秀一 銀行の發行業務に就て（大阪銀行通信錄 341） 昭 1

榎並越夫 銀行代理事務獨立問題私見（銀行研究 **5**-2） 大 12

長谷川正三郎 封緘保護預り契約に就て（銀行論叢 **6**-4） 昭 1

*畠山豐吉 銀行事務及簿記 2 版 東京 巖松堂 大 13 877 頁 菊

細矢祐治 保證業務と引受業務（商事研究 3-2） 大 12

藤城敬二 銀行に於ける貸金庫事務（銀行研究 **9**-4/5） 大 14

池田龍藏 銀行業務としての有期年金（大阪銀行通信錄 308/09） 大 12

稻坂晧 支拂承諾を論ず（銀行論叢 **2**-5） 大 13

同 他店向信用狀と支拂承諾との關係（銀行論叢 **22**-6） 昭 9

井上勝馬 支拂保證と銀行の責任に就て（銀行通信錄 592） 昭 10

石黒武松 銀行の保證債務の本質に就て（銀行研究 **4**-6） 大 12

伊藤昇七 代金取立手形の効率に就て（銀行研究 **17**-3） 昭 4

岩崎博 支拂承諾（經濟學辭典 III 卷 1 頁） 昭 6

香川昌 保護預り概論（銀行論叢 **18**-4） 昭 7

神戸正雄 不動產貸營業の地方間接稅（經濟論叢 **32**-2） 昭 6

柏木春太郎 歐洲に於ける手形交換及代金取立（經濟集志 **2**-2） 昭 4

加藤貞雄 爲替手形附帶貨物保管預證に就て（銀行研究 **2**-5） 大 11

河村憲一 有價證券貸借の法律關係（銀行研究 **19**-4） 昭 5

小林政一 貸金庫（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

小林竹生 手形送達狀の樣式改正並に代手事務の複寫制提唱（大阪銀行通信錄 428） 昭 8

小坂珠城 代手取立制度の惡弊（銀行研究 **27**-1） 昭 9

倉橋堅造 有價證券運用預りに就て（銀行研究 **3**-3） 大 11

栗栖越夫 本邦保護預り業務の性質及範圍（銀行研究 **4**-4） 大 12

同 大震火災と保護預り義務（銀行研究 **5**-3） 大 12

同 債券及株券の安全保管と銀行及び信託會社の保護預業務（インヴェストメント **4**-1/2） 昭 1

同 債券及株券保護預り業務（インヴェストメント **3**-2/6；**4**-1/2） 昭 1

串本友三郎 獨逸の銀行の證券受託賣買業務（大阪銀行通信錄 361） 昭 2

同 振替證券保護預りの制度を採用するの議（銀行論叢 **9**-6） 昭 2

松川隷治 當所代金取立手形に就て（銀行研究 8-2） 大 14

同 取立手形整理法（銀行研究 8-4） 大 14

松本信次 ドイツ銀行の證券賣出業務と株式取引所機能との關係（法政大學論集 5） 昭 6

松岡都城 取立の技術的並に省察的要義（銀行研究 **9**-2） 大 14

松島喜作 災害防禦と銀行業務（銀行論叢 **1**-5） 大 12

三浦實 銀行代理受渡（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

三宅嘉十郎 銀行の支拂承諾の內容に就て（三田學會雜誌 **14**-12） 大 9

永井幸雄 〔銀行〕の減收對策の一方法としての手數料問題（銀行研究 **22**-2） 昭 7

同 再び手數料問題に就て（銀行研究 **24**-5） 昭 8

西繁數 取立手形受入通知書と印紙稅法第四條（銀行研究 **17**-1） 昭 4

西田安信 取立手形取扱の實際と其法的解釋（銀行研究 **12**-3） 昭 2

西村勝太郎 米國銀行業に於けるニュー・ビヂネス・デパートメントの事務解說（大阪銀行通信錄 430） 昭 8

西村捨三 代金取立手形整理の基礎（大阪銀行通信錄 392） 昭 5

西澤勘次郎 取立手形の返轉郵稅取扱ひ改正に就て（銀行研究 **14**-8） 昭 3

小畑美雄 貸付有價證券取引の法律關係（銀行研究 **19**-4） 昭 5

同 保護預り實務（銀行研究 **24**-2） 昭 8

岡上虎三郎 支拂承諾に就て（銀行研究 8-4） 大 14

同 再び仕拂承諾に就て（銀行研究 **9**-3） 大 14

大森研造 獨逸大銀行の取引所仲立業に就きて（經濟論叢 **10**-1） 大 9

レーアンセール 銀行の貸金庫契約に就いて（銀行通信錄 485） 昭 1

同 貸金庫の內容品差押に就て（銀行通信錄 486） 昭 1

齋藤惣三 米國に於ける安全貸金庫業務（銀行研究 **15**-3, 5） 昭 3

妹尾一雄 銀行保證事務の實際（銀行研究 **7**-1） 大 13

同 銀行に於ける保證業務に就て（銀行研究 **8**-3/5） 大 14

同 手形の支拂保證（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

妹尾一雄 保證業務（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

菅井龍馬 銀行の保護預り事務に就て（大阪銀行通信錄 340） 大 14

高山武雄 證券出納の事務（銀行研究 **7**-5） 大 13

竹田省 金庫契約に就て（法律新報 **29**-11） 大 8

淡中政治 銀行の代理事務に於ける法律問題（銀行研究 **19**-4） 昭 5

山田五郎 貸金庫取扱の理論と實際（銀行論叢 **2**-6） 大 13

山田秀苗 手形取立業務の法律問題（銀行研究 **18**-4） 昭 5

吉岡堅太郎 有價證券賣買益（銀行損益計算書の）（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 有價證券貸付料（銀行損益計算書の）（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

米國の保護金庫管見〔M. S. 生〕（大阪銀行通信錄 407/08） 昭 6

銀行辨理保管業務之實例（銀行週報 313） 民 12

銀行業務の範圍を論ず—特に附屬業務に就て（銀行判例 **14**-4） 昭 10

銀行及信託會社の保證取引（銀行判例 **12**-6；**13**-1/2） 昭 9/10

引受手數料の割戻し廢止（金融知識 **6**-2） 昭 10

貸付有價證券取引の性質（銀行判例 **10**-5） 昭 8

金融業者の所謂手數料と消費貸借（法律新聞 3366） 昭 6

交換所なき地方の取立事務〔R. H. 生〕（大阪銀行通信錄 351/52） 昭 1

手形取立受任銀行の爲す取立委任の性質（銀行判例 **2**-3） 昭 4

取立銀行はそのコルレス先の怠慢若くは過失に對して責任なし〔ゼンソント對ホワイト・ファスト國立銀行事件〕（社會研究 **8**-6） 昭 5

11. 銀行會計

相賀實 銀行計算書類の比率的研究（銀行研究 **16**-5/6） 昭 4

同 銀行の經費豫算に關する基本問題（銀行研究 **29**-1） 昭 10

安紹芸 現金檢査（經濟學季刊 1-3） 民 19
青木定次郎 銀行帳簿としての綴合式とカード式とルーズリーフ式との利害並に其利用方法（大阪銀行通信錄 379） 昭 4
同 日記帳並に總勘定元帳の廢止論に賛す（銀行研究 17-5） 昭 4
同 內入金は原科目勘定にて整理せよ（銀行研究 19-2） 昭 5
同 合理化强調時に於ける銀行諸帳簿の制度樣式（銀行研究 19-6；20-1） 昭 5/6
同 預金實務とカードシステム（銀行研究 21-2/3） 昭 6
青山楚一 銀行の原價計算（拓殖大學論集 4-2） 昭 9
荒木秀一 利子計算上の重要問題（銀行論叢 3-4/6；4-1） 大 13/14
同 銀行の收入と支出に就て（大阪銀行通信錄 409） 昭 6
同 我國普通銀行の經費に就て（大阪銀行通信錄 412） 昭 7
有本邦造 錢莊の會計と其將來（會計 25-1） 昭 4
淺野信一 業務報告書並に監査書に就て（銀行研究 14-1） 昭 3
同 銀行所有國債の評價に就て（銀行研究 17-4） 昭 4
バーミンガム 新取引開拓と勘定の分解（銀行論叢 10-5） 昭 3
遠藤孝一 銀行營業費に對する考察（銀行研究 2-6） 大 11
*銀行研究社 銀行業の原價計算 5版 東京 文雅堂 昭 7 339 頁 四六〔銀行講座〕
*同 銀行標準經費の計算 東京 文雅堂 昭 7 74 頁 菊
潘恒敏 去年度滬埠華商銀行資產負債科目統計（銀行週報 862） 民 23
*原靜 銀行實務誌 改訂新版 東京 同文館 昭 7 685 頁 菊
*同 銀行簿記 東京 一元社 昭 8 291 頁 菊
原田三馬 定期預金擔保貸出利率算出の標準（銀行研究 44-3） 昭 8
原口亮平 當座勘定利息計算法に就て（國民經濟雜誌 26-5） 大 8
同 厘位の計算と國庫出納金端數計算法とに就て（會計 23-3） 昭 3
同 金融會計に就て（國民經濟雜誌 50-6） 昭 6
長谷川忠平 銀行家の立場より見たる貸借對照表（銀行研究 10-3） 昭 1
長谷川忠平 銀行より見たる貸借對照表の研究（銀行研究 13-2/3, 5; 14-4） 昭 2/3
*長谷川安兵衛 銀行會計學 東京 泰文社 昭 3 414 頁 菊
同 銀行貸借對照表の公告方法と形式（銀行研究 15-4） 昭 3
同 銀行に於ける法定積立金問題（銀行研究 16-3） 昭4
同 預金手形の會計處理法を論ず（銀行研究 17-4） 昭 4
*同 新銀行會計研究 東京 森山書店 昭 5 221 頁 菊
同 銀行會計學の重要問題若干—藤原泰教授の所說を駁す（銀行研究 18-6） 昭 5
同 財界不況と銀行資產評價問題（銀行研究 19-6） 昭 5
同 銀行と豫算統制（會計 27-1） 昭 5
同 銀行財政の公開性とその表現法の研究（早稻田商學 6-1） 昭 5
同 單一銀行貸借對照表の分析（銀行研究 21-4） 昭 6
同 アメリカに於ける銀行貸借對照表分析の一例（早稻田商學 8-1） 昭 7
同 銀行傳票の本質と帳簿代用論（會計 20-1） 昭 7
同 銀行豫算統制の實施に關する基本問題（銀行研究 22-2） 昭 7
*同 最新銀行會計論 東京 泰文社 昭 9 521 頁 菊
同 銀行簿記（金融大辭典 I 卷 9 頁） 昭 9
同 銀行財政公表の一私案（銀行研究 27-2） 昭 9
同 我國金融業に於ける豫算制度の大勢（銀行研究 29-3） 昭 10
*畠山豐吉 銀行事務及簿記 2 版 東京 巖松堂 大 13 877 頁 菊
*同 新制銀行簿記 大同書院 昭 4 423頁 菊
早川四郎 當座入金票の本質と印紙稅（銀行研究 8-5） 大 14
林健二 木村和三郎氏著：銀行簿記論（國民經濟雜誌 58-5） 昭 10
*寶文館編輯部 模範銀行簿記問題及解記 東京 寶文館 大 14 610 頁 菊
細井安次郎 米國銀行實務に關する新著（銀行研究 3-6） 大 11
北條時重 利廻り特殊算出法（商工經濟研究 6-4） 昭 6

福田多吉 固定貸出の防止と業務報告書雛形の改正（銀行研究 20-6） 昭 6
*同 銀行會計の監査 5版 東京 文雅堂 昭 8 654頁 菊
*古館市太郎 銀行簿記帳簿 東京 帝國書院〔不詳〕
*同 教範銀行簿記 東京 帝國書院〔不詳〕
*同 岩田眞一 實用銀行簿記 改訂 4版 東京 寶文館 大 9
*同 同 銀行簿記綱要 東京 尚文堂 大 14
藤城敬二 銀行會計と主要帳簿訂正手續（大阪銀行通信錄 290） 大 10
同 銀行主要簿と其改善方法（銀行研究 4-2） 大 12
同 銀行原價計算と經費の解剖（銀行研究 7-1） 大 13
同 銀行檢査部實務誌（銀行研究 10-1' 3/5, 7；11-2/4） 昭 1
*同 銀行の檢査部 2版 東京 文雅堂 昭 2 362 頁 四六
同 新舊業務報告書の比較研究（銀行研究 14-1） 昭 3
同 商法より觀たる銀行帳簿（銀行研究 18-4） 昭 5
同 銀行記帳事務の機械化（銀行研究 22-4） 昭 7
同 銀行貸借對照表公告樣式の改善（銀行研究 23-4） 昭 7
藤田國政 貸付實務（銀行論叢 5-5/6；6-1, 4/5；7-1/4, 6；8-1/6） 大 14/昭 2
藤谷園藏 銀行會計に於ける支出勘定と原價計算（銀行研究 4-1） 大 12
藤原泰 代金取立に關する若干問題（銀行研究 13-6） 昭 2
同 日記帳廢止論の簿記學的根據（銀行研究 17-6） 昭 4
*同 銀行會計原理 東京 文雅堂 昭 5 149 頁 菊
同 銀行會計の合理化と帳簿諸用紙の標準化（大阪銀行通信錄 396） 昭 5
同 銀行會計の若干問題—長谷川安兵衛教授の駁論に答ふ（銀行研究 19-1） 昭 5
同 金錢信託勘定（銀行論叢 15-6） 昭 5
同 銀行貸借對照表上に於ける金錢信託（大阪銀行通信錄 400） 昭 6
同 營業報告書と金錢信託勘定（銀行研究 20-1） 昭 6
同 銀行の福利增進施設（銀行研究 23-1） 昭 7
*藤原泰 銀行會計の基礎原理 東京 文雅堂 昭 10 202 頁 四六
同 銀行會計監査强化の二潮流（銀行研究 29-5） 昭 10
百强意譯 銀行經費之管理（銀行週報 703） 民 20
池田利一郎 最低殘高利乘法に就ての一考察（金融組合 21） 昭 5
稻葉新三郎 都下五大銀行損益計算（銀行研究 10-1） 昭 1
猪股正範 我國の普通商業銀行に於て實際に採用し得べき原價計算の手續は如何に定むべきか（大阪銀行通信錄 336） 大 14
井上勝馬 貸出金整理實務誌（銀行研究 24-1/3, 5） 昭 8
石川精一 日記帳改良案に對する一考察（銀行研究 17-1） 昭 4
石黑武松 債券の割引及びプレミアムの計算に就て（經理學研究 12/3） 大 12
*磯部亥助 私的銀行檢査法 東京 隆文館 大 14 217 頁 菊
磯兼通貫 當座勘定元帳に就て（銀行研究 14-8） 昭 3
井谷美稻 定期預金振替傳票の合理化（銀行研究 24-3） 昭 8
岩崎博 銀行及信託會社の豫算式經營（銀行研究 12-3） 昭 2
同 ゼイ・ダブリュー・ミラー：銀行部門別原價計算方法—銀行減收への一新對策として（銀行研究 29-1） 昭 10
岩瀨喜一 銀行支店の成績考查方法（中央銀行會通信錄 316） 昭 4
*岩垂至 法令對照銀行の會計 東京 大阪屋號書店 大 12 403 頁 四六
*同 銀行會計 東京 非凡閣 昭 10 277頁 菊〔銀行實務講座 5〕
泉恒夫 照查事務序說（銀行研究 29-4） 昭 10
*泉屋清次郎・早藤石太郎 最新銀行簿記教科書參考資料 東京 大倉書店 大 11
華印椿 銀行計算利息之捷法（銀行週報 787） 民 22
加賀實 利息收入未決算勘定に就て（銀行研究 15-1） 昭 3
金井健四郎 銀行代手業務の理論と實際（商學討究 4-下） 昭 4
*樫尾謙 銀行簿記及實務 大阪 銀行問題研究會 昭 7 350 頁 菊
*同 銀行簿記の實際 京都 商學會 昭 8 384 頁 菊
*春日昇一郎 最近銀行實務提要 東京 啓文社 大 14 444 頁 四六

加藤弘 銀行本支店勘定利率の一算定方法（中央銀行會通信錄 335） 昭 6
同 〔銀行の〕業務報告書愚考（中央銀行會通信錄 344） 昭 6
加藤星陰 銀行支店の成績考査方法（中央銀行會通信錄 318） 昭 4
加藤和根 銀行の原價計算及預金者勘定の分解（銀行論叢 8-6；9-1/6；10-1，4） 昭 2/3
同 銀行原價計算に關する若干問題（銀行研究 16-1） 昭 4
同 銀行原價計算上の間接費及び其配賦（銀行研究 17-4） 昭 4
*同 銀行原價計算の研究 東京 森山書店 昭 5 145 頁 四六
同 銀行原價計算に於ける本質的原價（會計 28-4） 昭 6
勝田寛 振替日記帳廢止問題の歸趨（銀行研究 17-6） 昭 4
河端瑞雄 本支店勘定と其の監査に就て（銀行研究 29-2） 昭 10
*川口酉三 銀行事務解說 14 版 東京 大 14 442 頁
*同 新銀行簿記精義 東京 同文館 昭 5 693頁 菊
*河合壽一 學生の銀行簿記 東京 同文館 昭 8 348 頁 三五
川上良兒 バンカース・バランセスを回りて（銀行論叢 13-6） 昭 4
同 支店の業務の總括的考查の一方法（銀行論叢 15-2） 昭 5
同 銀行に於ける損益の豫測（銀行論叢 17-1） 昭 6
川北貞一 西氏「副傳票」の改良と其の職能の增加（銀行研究 20-3） 昭 6
川村環一 銀行員の罪惡と部內突合法との關係（計理學研究 14） 大 12
同 現金及諸證券の監査（計理學研究 34/35） 昭 5
川中信也 本支店勘定に關して（銀行研究 3-6） 大 11
同 爲替銀行本支店間計算制度に就て（銀行研究 4-2） 大 12
川安定明 定期預金利息計算書の活用（銀行研究 23-3） 昭 7
加地良七 銀行に於ける財產目錄の地位（銀行研究 15-4） 昭 3
紀清市 實地銀行實務（銀行研究 3-6） 大 11
木村秀太郎 銀行原價計算の研究（銀行研究 1-2/3） 大 10
木村秀太郎 當座勘定解剖法（國民經濟雜誌 32-4/5） 大 11
*同 銀行の原價計算 2 版 大阪 大同書院 大 13
同 「銀行に於ける原價計算」に就て太田哲三氏の教を乞ふ（金融研究 1-3） 大 13
同 行詰れる都會大銀行の實務對策（銀行論叢 2-6） 大 13
同 英國銀行簿記（銀行論叢 5-3/5） 大 14
木村和三郎 銀行に於ける部課計算（經營と經濟 3-6） 昭 7
*同 銀行簿記論 東京 有斐閣 昭 10 460 頁 菊〔大阪商科大學研究叢書 4〕
桐生梅吉 銀行經營上原價計算の應用に就て（銀行論叢 4-6） 大 14
北川實 實際的銀行原價計算法（中央銀行會通信錄 266） 大 14
北村榮次 〔銀行〕總務部關係の模範的諸書式—自行株式關係の部（大阪銀行通信錄 411/16） 昭 6
同 銀行の總務部に關する模範的諸書式（大阪銀行通信錄 415/14） 昭 7
同 當座勘定及特別當座の利息算出方法及之に關連する諸注意（大阪銀行通信錄 417） 昭 7
同 當座及特當の利息算出方法及注意（大阪銀行通信錄 417/18） 昭 7
同 主要傳票と代用傳票に就て（大阪銀行通信錄 432） 昭 8
*兒林百合松 銀行會計 東京 天地書房 大 8 378 頁 菊
同 銀行會計組織の改善（會計 5-4） 大 8
*小宮山敬保 新制銀行簿記要義 東京 巖松堂 昭 5 243 頁 菊
近藤久 新築準備金に就て（銀行論叢 15-5） 昭 5
小坂珠城 銀行出張所の事務取扱方法（銀行研究 9-3） 大 14
同 銀行の店內檢查制度に就て（銀行研究 11-4） 昭 1
同 本支店間爲替尻處理方法（銀行研究 15-6） 昭 3
同 代金取立手形記入帳改善策（銀行研究 17-4） 昭 4
同 預金利息算出方法に就て（銀行研究 23-1） 昭 7
越野茂一 銀行帳簿としての綴合式とカード式とルーズリーフ式の利害並に其利用方法（大阪銀行通信錄 377） 昭 4

小谷傳二郎 預金に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式（大阪銀行通信錄 389，391） 昭 5
熊田克郎 銀行經費節約の二三の要點（大阪銀行通信錄 394） 昭 5
同 米國銀行の收支勘定に現はれたる傾向（大阪銀行通信錄 397） 昭 5
*國吉省三 實踐銀行簿記 京都 平野書店 昭 10 430 頁 菊
*栗原邦志 新法銀行簿記 大阪 駸々堂 昭 3 521 頁 菊
黑川次郎 銀行簿記としての綴合式とカード式とルーズリーフ式との利害並其利用方法（大阪銀行通信錄 384） 昭 4
同 出納，計算，證券に關する模範的諸書式（大阪銀行通信錄 410） 昭 6
黑澤清 銀行經營に於けるコンテンラーメンの適用（會計 32-5/6） 昭 8
草島定太郎 拂込未濟資本金の特質と休銀整理の一要諦（銀行研究 13-4） 昭 2
串本友三郎 獨逸銀行業に於ける原價計算問題（銀行研究 9-5；10-1/4） 大 14/昭 1
同 獨逸式銀行簿記法（銀行研究 10-6/7；11-3，5） 昭 1
前田薰一 最近東京に於ける銀行勘定（金融研究 2-9） 大 14
前田梅松 利廻計算の仕方と見方（經濟知識 3-2/6；4-1，3，6） 昭 5
松川隸治 傳票の改良方法に就て（銀行研究 5-1） 大 12
同 出入金額關位置改良私案（銀行研究 5-2） 大 12
同 振替票計算區分に就て（銀行研究 6-1） 大 13
同 銀行計算係實務小論（銀行研究 6-2/3） 大 13
同 本支店期末未達勘定整理方法（銀行研究 18-3） 昭 5
*同 爲替尻操縱方法 3 版 東京 文雅堂 昭 6 314 頁 四六〔銀行講座〕
同 銀行簿記の管理方法（銀行研究 29-2） 昭 10
松本雅男 本邦銀行成果經營生活標準の研究〔1：大小銀行階級別〕（彦根高商論叢 9） 昭 6
松村公一 利息の二重支拂と特當の利息計算方法（銀行研究 15-3） 昭 3
*松村吉則・芳野國雄 最新銀行簿記 東京 寶文館 大 12
松山岩根 銀行の記帳規定（銀行研究 10-5） 昭 1
松崎榮次郎 特別當座預金利息計算便法（銀行研究 14-7） 昭 3
三木守 大銀行の出納事務取扱手續（銀行研究 7-1） 大 13
同 銀行事務精查方法（銀行研究 7-3） 大 13
同 未收利息計算に關する大藏省の諭達に就て（銀行研究 7-4） 大 13
同 銀行に於ける原價計算（銀行研究 10-1/7） 昭 1
三俣淺治郎 銀行決算の見方（經濟知識 1-3） 昭 4
見山信 重要用紙制定の基準（銀行研究 22-3） 昭 7
同 諸經費の項目分類に就て（銀行研究 24-2） 昭 8
同 傳票の實務的雜考（銀行研究 25-6） 昭 8
同 所有不動產勘定の考察並實務（銀行研究 26-6） 昭 9
同 所謂銀行考課狀の態樣に就て（銀行研究 28-4） 昭 10
宮本弘 銀行損益勘定の合理化に就て（銀行研究 15-6） 昭 3
三吉熊雄 當座預金利息算出方法（銀行研究 26-6） 昭 9
同 精算事務の獨立性（銀行研究 27-3） 昭 9
溝口幸太郎 銀行簿記の收支簿記化に就て（銀行論叢 25-5） 昭 10
水野淳二 コルレス利息の研究（銀行研究 3-4） 大 11
同 銀行預金實務誌（銀行研究 1-1/3；2-1/6；3-1/6；4-1/4，6/7；5-1/4） 大 10/12
同 銀行貸出金實務誌（銀行研究 6-1，4/6，7-1/2；8-6；9-1；10-1，3，5；11-4） 大 13/昭 1
*同 銀行實務改良方法 4 版 東京 文雅堂 昭 1 289 頁 菊
同 銀行實務質疑應答（銀行研究 11-1/4；13-1/2） 昭 1/2
同 銀行簿記と支拂承諾（銀行研究 28-3） 昭 10
森下武二 特別當座預金利息計算便法に就て（銀行論叢 6-4） 昭 1
森田寬 銀行帳簿のカード式に就て（銀行研究 27-1） 昭 9
森田寬三 我國の普通商業銀行に於て實際に採用し得べき原價計算手續は如何に定むべきか（大阪銀行通信錄 334） 大 14

森田寛三 銀行用度器具機械の研究（大阪銀行通信錄 389/90, 392） 昭 5
同 預金に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式（大阪銀行通信錄 392/94） 昭 5
同 帳簿及諸用紙樣式の標準化（銀行研究 19-1） 昭 5
森田桂山 未拂利息計算法の研究 （銀行研究 3-6） 大 11
同 執務上より觀たる他店勘定元帳の樣式（銀行研究 4-4） 大 12
村井藤一郎 金利計算實務誌（銀行論叢 25-4/6；26-1） 昭 10/11
村瀨玄 新規定による銀行會計の勘定科目に就て（會計 23-2） 昭 3
*村田謙造 最近銀行簿記 東京 巖松堂 大 11 269 頁 菊
永井幸雄 當座勘定利息計算法の若干問題（銀行研究 25-2） 昭 8
同 取引先カードの一樣式と其利用法（銀行研究 26-1） 昭 9
長崎精男 利息算へ微積分の應用 （商學論叢 1-3） 昭 1
*柳樂健治 銀行簿記講義 東京 共立舍 大 14 241 頁 菊
同 銀行業務報告書雛形改訂論（明大商學論叢 8-6；9-1/6；10-1） 昭 5/6
*中村光次 銀行出納實務 大阪 銀行問題研究會 昭 2 311 頁 菊
同 現金收納濟印の得失（銀行論叢 12-4） 昭 4
中村進午 特別當座預金照査事務に就て（銀行論叢 6-5） 昭 1
中西新兵衞 銀行式日記帳に就きて （會計 8-5） 大 10
*中田秀雄 銀行實務質疑應答集 大阪 銀行問題研究會 昭 5
中田謙二郎 支那錢業及びその簿記（會計 34-3） 昭 9
中田政吉 考課狀による銀行の研究（銀行研究 20-2/3, 5/6；21-1, 3） 昭 6
*中島直吉 銀行簿記教科書 熊本 同人 昭 4 235 頁 菊
根岸正一 原價と自己資本利息（商工經濟研究 6-3） 昭 6
二宮皆太 銀行用度品購入の數理的研究（銀行研究 4-4） 大 12
同 營業報告書に就て （銀行研究 7-1） 大 13
西繁數 ルーズ・リーフ式當座勘定元帳に就て（銀行研究 13-4） 昭 2
西繁數 銀行帳簿としての綴合式とカード式とルーズリーフ式との利害並に其利用方法（大阪銀行通信錄 389） 昭 4
同 振替傳票樣式に就て（銀行研究 16-3） 昭 4
同 出納帳廢止論（銀行研究 18-2） 昭 5
*西田正太郎 銀行簿記 上田 私立上田大原簿記學校 昭 4 300 頁 菊
西垣富次 資本利子計算法に關する一考察（會計 28-4） 昭 6
西村勝太郎 米國銀行業務の機械利用（大阪銀行通信錄 442） 昭 9
西野武夫 爲替係に於ける手數料記入帳（銀行研究 14-8） 昭 3
西澤勘次郎 銀行損益計算書の會計學的檢討（銀行研究 17-4） 昭 4
同 貸付金勘定科目の考察 （銀行研究 18-5） 昭 5
同 銀行取引の利息問題（銀行研究 19-4） 昭 5
同 標準貸借對照表の銀行諸表への影響（銀行研究 20-2） 昭 6
野本悌之助 會計監査と資金調達 （金融三層 2-3） 昭 6
野崎龍七 銀行の原價計算 （金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9
小畑美雄 總勘定元帳の實用化に就て（銀行研究 16-2） 昭 4
同 支店貸出監督實務誌（銀行研究 17-3） 昭 4
同 貸付割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式（大阪銀行通信錄 398） 昭 5
同 定期預金起算日の法律的解釋（銀行研究 18-4） 昭 5
同 當座勘定決算表雜考（銀行研究 22-5） 昭 7
小川鄕太郎 銀行の作製すべき書類（インヴェストメント 6-6） 昭 2
小川博 銀行に於ける損益統制實務誌（銀行研究 20-2） 昭 6
岡耕作 定期預金事務に於ける元帳並に記入帳併用の當否（銀行研究 29-6） 昭 10
岡田完二郎・永田靜 金融會計の試みに就て（會計 9-5） 大 10
岡本春三 銀行の貸借對照研究（大阪銀行通信錄 370） 昭 3
岡野正平 會計學より見たる利息と原價との關係に就て（商業及經濟研究 25） 大 11
奥田勳 銀行積立金の考察 （銀行研究 6-5） 大 13

奥田唯輔 銀行經營の機械化（商業と經濟 15-2） 昭 10
奥田大造 銀行業に於ける貸借對照表中の「株主勘定」に就て（會計 23-4） 昭 4
奥村永藏 本支店勘定利率の考察 （銀行研究 21-1） 昭 6
鬼澤俊之介 銀行業務報告書の不統一に就て（銀行研究 16-6） 昭 4
大野傳次郎 預金利子計算に關する二三問題（金融組合 19） 昭 5
*大阪銀行集會所 銀行の原價計算手續 大阪 同所 昭 3 226 頁 菊〔銀行實務懸賞文集 3〕
太田正博 日記帳廢止論（銀行論叢 8-6） 昭 2
*太田哲三 銀行簿記教科書 東京 高陽書院 昭 8
*同 銀行簿記の常識 東京 千倉書房 昭 6 254 頁 四六
*同 最新銀行簿記 再訂〔不詳〕
同 銀行に於ける原價計算 （金融研究 1-1） 大 13
同 銀行の決算表に就て （銀行通信錄 527） 昭 4
*同 金融業會計 東京 東洋出版社 昭 8 395 頁 菊〔會計學全集 14〕
I. 總說 1. 序論 2. 基本記帳法 3. 傳票 4. 勘定科目 5. 帳簿組織 6. 決算及び決算整理 7. 帳簿決算手續 8. 決算諸表
II. 普通銀行會計 9. 業務分課 10. 預金事務 11. 貸出事務 12. 手形交換所 13. 爲替業務 14. 支店取引 15. 外國爲替 16. 證券係其他の事務 17. 銀行原價計算 18. 業務報告書及監査書
III. 特殊金融業會計 19. 債券銀行會計 20. 信託業會計 21. 貯蓄銀行會計 22. 營業基礎會計
太田義繁 振替票計算區分に就て （銀行研究 6-1） 大 13
大竹虎雄 債券利廻計算方法の改善に就て（銀行研究 11-5） 昭 1
同 債券現價表の完成に就いて（銀行研究 16-5） 昭 4
同 債券利廻計算方法の改善（信託と證券 1-6） 昭 4
*大谷顯太郎 實踐銀行簿記 東京 巖松堂 昭 2
同 新銀行法と會計上の若干問題（商業論集 2-2） 昭 3
大崎範一 銀行業に於ける繰延資產と負債（會計 6-3） 大 8
齋藤恭 銀行營業店に於ける原價計算（銀行研究 28-3） 昭 10
坂井正 當座元帳樣式の研究 （銀行論叢 1-1/2） 大 12
佐久間長次郎 銀行資金の運用原價に就て（銀行研究 23-2） 昭 7
佐野包治 日記帳問題に就て（銀行研究 16-6） 昭 4
佐野包治 記帳の取消方に就て（銀行研究 18-6） 昭 5
笹原正志 銀行の營業年度に就て （金融三層 3-7） 昭 7
佐々木道雄 利息表に就て（經濟學論集 6-4） 昭 3
佐藤壽吉 銀行と會計士の相互關係（銀行研究 5-1） 大 12
佐藤正雄 照査事務の概說（銀行論叢 12-6；13-1/2, 4/6；14-1/6；15-1） 昭 4/5
同 商業手形勘定元帳の樣式（銀行研究 19-3） 昭 5
同 銀行事務機械化の可能性「銀行事務に於ける機械器具利用の餘地」の序論として （銀行研究 22-4/6；23-1） 昭 7
佐藤省三 日記帳廢止を提唱す（銀行研究 18-2） 昭 5
佐藤收平 業務報告書記載上の一疑點（銀行研究 18-5） 昭 5
同 當座勘定利息計算は運用出來得る殘高を基本とせよ （銀行研究 26-5） 昭 9
妹尾一雄 貸出報告の監査（銀行研究 22-1/3） 昭 7
同 監査部の帳簿及諸表—銀行の貸出監査 第七章（銀行研究 22-5） 昭 7
澁谷備敬 監査書中調査表の內甲，乙兩號表の「擔保の有無」 欄記載方に就て（銀行研究 14-5） 昭 3
島田德 債券利廻計算法に就て（インヴェストメント 7-1） 昭 3
淸水一郎 銀行支店の成績考査方法（中央銀行會通信錄 319） 昭 4
*下野直太郎 銀行簿記計算法 東京 同文館 昭 2 291 頁 菊
同 五大銀行昭和 3 年下半期決算批判（會計 25-3） 昭 4
同 銀行會社の不正不當なる簿記計算法と現行の簿記計算法 （會計 34-2） 昭 9
新子智堂 銀行主要簿の改廢に就ての斷想（銀行論叢 12-2） 昭 4
篠山進 本支店爲替勘定の整理に就て（銀行研究 13-4） 昭 2
同 再び本支店勘定整理方法に就て（銀行研究 17-4） 昭 4
白井勇 銀行支店の成績考査方法（中央銀行會通信錄 317） 昭 4
同 未拂利息に付て （銀行論叢 19-1；20-1） 昭 7/8
白井廉久 當座勘定に於ける積數の算定（銀行研究 2-3） 大 11

白井廉久 再び當座勘定積數の算出法に就きて（銀行研究 4-2） 大 12

十龜盛次 貸借對照表より見たる英國銀行業（銀行研究 21-4） 昭 6

須藤文吉 銀行會計に於ける代用傳票と日記帳附：家事會計に於ける出納帳（會計 9-2） 大 10

同 公社債の放資と利廻計算（銀行研究 2-3/5） 大 11

末吉留男 銀行預金の原價計算法に就て（銀行研究 9-2） 大 14

菅谷幸一郎 銀行法に於ける計算問題に就て（銀行通信錄 520） 昭 4

菅谷重平 企業豫算管理と銀行業（銀行論叢 3-4） 大 13

杉本秋男 ラツセル檢算法（內外研究 3-1）昭 5

須美芳夫 獨乙に於ける銀行勘定の支拂方法（銀行論叢 4-1） 大 14

陶山誠太郎 銀行業に於ける原價計算（商業及經濟研究 33） 大 13

鈴木喜代助 銀行簿記に關し初學者に與ふる書（銀行研究 1-1；2-1/5） 大 10/11

同 事務取扱順序と所屬帳簿及傳票（銀行研究 2-3） 大 11

太神和好 銀行簿記の收支簿記化を論ず（商業論集 10-1） 昭 10

高橋一太郎 銀行會計の帳簿組織（經濟志林 9-3） 昭 10

高木堅 銀行の事業年度と其名稱（銀行研究 6-4） 大 13

高木剛也 銀行實務の分析とその價値（銀行研究 28-5） 昭 10

高野宇三郎 入金票で支出し出金票で受入れ（會計 18-6） 昭 1

高瀨莊太郎 銀行の經營分析（銀行通信錄 581/82） 昭 9

武田與一 地方銀行に於ける豫算統制實務（銀行研究 28-5/6） 昭 10

*同 ・西澤勘次郎・岡野哲二 銀行の豫算統制事務，銀行會計の特殊研究，手形法講話 東京 文雅堂 昭 10 260 頁 四六〔銀行實務全集〕

武市德太郎 記帳訂正の取扱方に就て（銀行研究 11-1） 昭 1

*竹內英吉 銀行出張所原價計算の研究（會計 18-6） 昭 1

竹內良吉 如何にして事務の正確を期すべきか（銀行研究 25-6） 昭 8

*卓宏謀 記帳對照 銀行事務解說 民 9

田道開正夫 銀行內部檢查制度の實質（銀行論叢 23-5/6） 昭 9

千秋均一郎 增補日記帳廢止論（銀行研究 16-1） 昭 4

陳金水 傳票兼用報告の使用（大阪銀行通信錄 373） 昭 3

都上城二 預金實務の主要考察點（銀行論叢 8-1, 3） 昭 2

德山春南 定期預金未拂利息算出法に就て（銀行論叢 18-5） 昭 7

富田勇太郎 大藏省提案の債券の複利計算（銀行研究 10-4） 昭 1

坪田洋吉郎 當座勘定元帳口座の取り方に就て（銀行論叢 14-6） 昭 5

塚原仁 米國銀行財政表の分析（長崎高商研究館彙報 11-5；12-1/2） 昭 3

同 再割引手形の記帳法に就て（長崎高商研究館彙報 19-4） 昭 7

綱島克己 カードシステムに依る手形の整理と發送事務（銀行研究 18-3） 昭 5

同 當座預金の特殊な支拂態樣と利息計算（銀行研究 21-2） 昭 6

同 當座預金元帳の意義と證據力（銀行研究 22-4） 昭 7

堤正元 銀行事務と計算器の使用（銀行研究 12-4） 昭 2

張先德 譯 銀行借款人之營業報告書（銀行週報 775/77） 民 21

海野耕平 我國の普通商業銀行に於て實際に採用し得べき原價計算手續は如何に定むべきか（大阪銀行通信錄 335） 大 14

內田政 傳票增補日記帳代用論（大阪銀行通信錄 271） 大 9

渡部明 銀行計理に於ける數個の勘定科目及び取扱法の改變を提唱す（計理學研究 23） 昭 1

*同 最新銀行簿記 東京 泰文社 昭 3 222 頁 菊

*同 新銀行簿記 東京 尙文堂 昭 10 250 頁 菊

同 銀行會計に關する研究（經濟法律論叢 6-1） 昭 10

渡邊清作 利息拂込の整理に就て（金融組合 28） 昭 6

渡部寅二 アラン・シヤンドの銀行簿記精法に就て（會計 27-1） 昭 5

山田秀苗 定期預金に關する帳簿樣式（銀行研究 17-4） 昭 4

同 日記帳存廢問題に就て（銀行研究 17-6） 昭 4

同 〔銀行の〕調查表の作成に就て（銀行論叢 17-6） 昭 6

山田秀苗 出張所の實務取扱方法（銀行研究 21-6） 昭 6

同 〔銀行〕出張所の實務取扱方法（銀行研究 21-6；22-1, 4） 昭 6/7

同 出納係實務解說（銀行研究 24-4） 昭 8

同 本支店勘定整理方法（銀行研究 26-1） 昭 9

*山本樂山 銀行員金融會社員實務向上指針 東京 實務向上研究會 昭 9 127 頁 四六

山浦友吉 殘高積數法による利息計算の本質（金融組合 87） 昭 10

彌髮四郎 銀行支店の成績考查法（中央銀行會通信錄 320/21） 昭 4

與賀田辰雄 貯蓄銀行資產負債の構成（銀行研究 22-6） 昭 7

同 全國普通銀行資產負債の構成（會計 20-7） 昭 7

橫前周 「利廻」の考察數項（信託協會會報 2-4） 昭 3

同 每期利率が變る預金の元利合計算出（信託協會會報 7-1） 昭 8

橫山千代材 支店間爲替取引の本店集中計算制（銀行研究 3-1） 大 11

米澤逸郎 特別當座預金通帳に就て（銀行研究 23-2） 昭 7

*吉田良三 銀行簿記教科書 3 訂 東京 同文館 大 12 282 頁 菊

*同 銀行簿記提要 東京 同文館 昭 4 264 頁 菊

吉丸儀六 勘定科目に對する若干の疑問（銀行研究 16-4） 昭 4

*吉村吉則・芳野國雄 最新銀行簿記 東京 寶文館 大 12

吉海茂喜 英國銀行の自動記帳機（大阪銀行通信錄 372） 昭 3

吉岡堅太郎 預け金勘定（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 外國爲替賣買益及損（銀行損益計算書の）（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 現金（銀行貸借對照表の）（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

同 貸付金勘定（銀行貸借對照表の）金融大辭典 I 卷 1頁） 昭 9

同 他店貸（銀行貸借對照表の）（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

同 預金利子諸稅（銀行貸借對照表の）（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

旬 上海市商會調查銀行錢業放款計息習慣（中央銀行旬報 82） 民 20

銀行發行記帳法（中外經濟週刊 202） 民 16

銀行標準經費の計算（銀行研究 23-1） 昭 7

銀行會計（中行月刊 2-8；3-1, 6） 民 20

銀行會計課目各詞審定之徑過（銀行月刊 3-9）民 12

銀行會計研究會紀要（銀行月刊 1-6） 民 10

銀行會計與中國簿記法（銀行週報 837） 民 23

銀行會社檢查私設制度（通商公報 1057） 大 12

銀行會社の考課狀と簡易なる投資原則（東洋經濟新報 1324） 昭 3

銀行決算の見方（經濟知識 4-6） 昭 5

銀行の損益計算（銀行通信錄 550） 昭 6

銀行往來存款帳之成本研究（銀行週報 754） 民 21

銀行と移動式帳簿に就て〔小林生〕（大阪銀行通信錄 290） 大 10

銀行事業年度の改正に就て（大阪銀行通信錄 307） 大 12

銀行事務の研究範圍一斑（大阪銀行通信錄 325） 大 13

本邦銀行帳簿式の創設者とその消息（銀行研究 4-7） 昭 10

各銀行の報告書觀（銀行週報 243） 民 11

關西銀行會制定統一諸用紙（大阪銀行通信錄 412） 昭 6

監查書中「擔保の有無」に就て〔B. K 生〕（大阪銀行通信錄 367） 昭 3

貸付割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式〔鏡川生〕（大阪銀行通信錄 395/97） 昭 5

未達取引に就て〔I. S 生〕（大阪銀行通信錄 363） 昭 2

未達取引調查方法の新考察〔I. S 生〕（大阪銀行通信錄 352） 昭 1

日銀資產負債表の變化と金融市場の推移（東洋經濟新報 1137） 大 14

大藏省提案の債券複利計算の可否（銀行研究 10-5） 昭 1

債券利廻の計算法に就て（銀行通信錄 481） 昭 1

債券利廻の計算方法に就て（大阪銀行通信錄 341） 昭 1

債券利廻の計算に就て（インヴェストメント 3-3/4） 昭 1

債券利廻の算出法に就て（インヴェストメント 3-1） 昭 1

債券利廻と複利計算（商工月報 1-2） 昭 1

最近我國銀行業營業狀況之分析及金融問題の攷察（中行月刊 11-2） 民 24

支那銀行の簿記本位を論ず（銀行週報 188） 民 10

資產負債表に表れた銀行の内容 (東洋經濟新報 1322) 昭 3
出納監理組織 (會計 **35**-6) 昭 9
定期積金掛金算出方法に就て (金融組合 25) 昭 5
定期積金の中途解約の場合に於ける取扱に就て〔池田生〕(金融組合 23) 昭 5
當座勘定の利息計算方法 (銀行研究 **14**-6) 昭 3
當座預金の原價及利益算出法 (大阪銀行通信錄 346) 昭 1
當座預金通帳の性質—當座預金通帳は無配當證券的效力を有するや (銀行判例 **5**-7) 昭 6
中國銀行營業之內容及查帳之經過 (銀行週報 299) 民 12

12. 雜

*秋冨元 宏 銀行會社の破綻を豫知するには 東京 大京社 大 9
青木定次郎 遺產相續に於ける妻の位置と銀行實務への反映 (銀行研究 **17**-2) 昭 4
青田左近 銀行は如何にして廣告すべきか (銀行論叢 **19**-2) 昭 7
*新井小一郎 手形取引はこう注意すれば安全だ 東京 大 13
粟谷清一 商業信用狀取引の法規と實際 (銀行研究 **16**-1) 昭 4
同 信用狀に關する歐米の統一規定幣見並びに我國統一規定の提唱 (銀行研究 **18**-5) 昭 5
同 信用狀に依る手形附屬書類の調査義務及檢閱事項 (銀行研究 **20**-5; **21**-2) 昭 6
番匠谷誠一 信用狀に就て (商事研究 **4**-2) 大 12
*銀行研究社 銀行取引の法律的解說 第二輯 (銀行研究特輯號) 東京 文雅堂 昭 5 499 頁 菊
*同 銀行家の法律顧問 東京 文雅堂 昭 7 237 頁 菊
濱野壽 信用狀に關する獨逸銀行の協定 (銀行研究 **7**-1) 大 13
長谷川安兵衞 銀行の配當政策を論ず (銀行研究 **25**-1) 昭 8
服部洪 紛滅失亦は盜取されたる債券と代證券の請求手續 (銀行研究 **5**-3) 大 12
ハウス, モア 銀行は如何に廣告すべきか (銀行研究 **28**-3) 昭 10
林田和三郎 銀行の活動寫眞宣傳 (銀行論叢 6-3) 昭 1
廣瀨圓一郎 信用狀の判決例 (銀行研究 **6**-3/6; **7**-3) 大 13
同 英吉利に於ける信用狀判決例 (銀行研究 **7**-6; **8**-2/3; **9**-2) 大 13/14
堀江歸一 銀行業者の不法背任行爲を難ず (中央公論 **38**-2) 大 12
*細井藤兵衞 銀行會社實務用語辭典 東京 ダイヤモンド社 昭 10 216 頁 三六
福田敬太郎 銀行取引の可能性 (國民經濟雜誌 **53**-2) 昭 7
古屋美貞 信用指圖書 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6
藤城敬二 震災と銀行文書 (銀行研究 **6**-1) 大 13
同 銀行營業所の番號化に就て (銀行研究 **14**-7) 昭 3
飯田進 紐育に於ける手形取引の實際 (銀行論叢 **17**-2) 昭 6
池田實 信用狀 (經濟學辭典 III 卷 3 頁) 昭 6
今來新之亟 所得稅法, 資本利子稅法と銀行業務との交涉 (銀行研究 **20**-5) 昭 6
同 銀行業務用書類の印紙稅 (銀行研究 **21**-1) 昭 6
稻坂皓 信用指圖書の研究 (銀行論叢 **9**-5/6 **10**-1, 4/6; **11**-1/5) 昭 2/3
同 他店向信用狀と支拂承諾との關係 (銀行論叢 **22**-6) 昭 9
*石卷良夫 手紙による銀行繁榮 東京 文雅堂 昭 10 220 頁 四六〔最新銀行實務全集〕
同 殘高の消滅及不足を通知する銀行書簡 (銀行研究 **29**-3) 昭 10
*伊藤和雄 荷爲替信用狀論 2 版 東京 同文館 大 14 342 頁 菊
伊藤健 荷爲替信用狀に關する若干の實際問題 (銀行研究 **21**-3, 5/6) 昭 6
伊藤重次 信用狀に就て (正義 **1**-2, 4/5) 大 14
伊藤由三郎 僞造倉庫券より起る銀行犯罪と豫防策 (銀行論叢 **1**-6) 大 12
同 銀行犯罪の考察と豫防の研究 (銀行論叢 **1**-1/6; **2**-1, 4) 大 12/13
同 倉庫證券より起る銀行犯罪豫防策 (銀行論叢 **2**-4) 大 13
同 預金通帳の著作權侵害問題 (銀行論叢 **9**-6) 昭 2

*伊藤由三郎 銀行書翰文例集 大阪 銀行問題研究會 昭 9 349 頁 四六
井關十二郎 廣告機能より見たる銀行及銀行營業 (銀行通信錄 469) 大 14
香川信次 銀行關係の印紙稅に就て (銀行通信錄 571) 昭 8
香原榮造 銀行用度品の購入保管及整理方法 (大阪銀行通信錄 357) 昭 2
*甲斐精一 銀行と顧客の爲に 東京 文雅堂 昭 2 395 頁 四六
*海風樓 銀行生活の體驗を語る 大阪 銀行問題研究會 昭 6 200 頁 三六
神戶正雄 銀行秘密の維持と所得說 (經濟論叢 **31**-6) 昭 5
同 不動產貸營業の地方間接稅 (經濟論叢 **32**-2) 昭 6
春日井薰 銀行の債券發行について (經濟及商業 **2**-3/4) 大 12
加藤行吉 手形取扱上注意すべき點と權利保全手續に就て (銀行通信錄 558) 昭 7
加藤和根 巡回信用狀及旅行小切手に就て (銀行論叢 **3**-3) 大 13
河原實 未拂配當金と未拂送金爲替 (銀行研究 **19**-6) 昭 5
川瀨和夫 銀行業務個性論 (銀行論叢 **21**-4) 昭 8
加地良七 新統一手形法の我現行手形法に對する新規定 (銀行研究 **19**-6) 昭 5
權時 讀上海銀行 23 年度營業報告書感 (銀行週報 898) 民 24
菊池都久 銀行は如何にして廣告すべきか (銀行論叢 **12**-2/6; **13**-1/2) 昭 4
木村祐雄 ブラットの「銀行破綻の原因と其對策」(銀行研究 **9**-4) 大 14
木曾榮作 信用狀發行銀行を繞る主なる法律關係に就て (商學討究 **7**-中) 昭 7
北村榮次 不渡手形及延滯手形の處理 (大阪銀行通信錄 419/20, 22) 昭 7
同 銀行實務諸印鑑に關する書類の樣式及其整理方法 (銀行論叢 **18**-6) 昭7
康寶鉦 銀行文書管理功能的研究 (銀行週報 875) 民 23
小林綠 簡單なる爲替賣買損益記入帳 (銀行研究 **13**-5) 昭 2
小林政一 銀行債券 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9
同 銀行集會所 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9
小西次郎 銀行の廣告法に就て (銀行研究 **8**-6; **9**-1) 大 14
*小西次郎 銀行の廣告法 2 版 東京 文雅堂 昭 3 301 頁 四六〔銀行講座〕
小坂珠城 新規得意先開拓に就て (銀行研究 **22**-3) 昭 7
同 銀行に於ける廣告取扱に就て (銀行研究 **24**-6) 昭 8
小島昌太郎 銀行の支拂係數について (銀行研究 **29**-5) 昭 10
草島定太郎 拂込未濟資本金の特質と休銀整理の一要諦 (銀行研究 **13**-4) 昭 2
*曲川居士 銀行內容見方の常識 愛知 實業興信所 昭 10 140 頁 四六
*マッカーレー, ウイリアム・イー 商業信用狀論 廣瀨圓一郎譯 東京 文雅堂 大 14 299 頁 四六
松川昇造 我國の荷爲替信用狀に就て (銀行研究 **12**-1) 昭 2
同 休業銀行の信用狀に就て (銀行研究 **13**-1) 昭 2
松本信次 ドイツ銀行の證券賣出業務と株式取引所機能との關係 (法政大學論集 **5**-2: 經濟學部十週年紀念論文集) 昭 6
松永義雄 商事信用狀を論ず (日本辯護士協會錄事 **26**-7/11) 大 11
*同 商業信用狀論 改訂增補 2 版 東京 巖松堂 大 14 246 頁 菊
*松岡此治・城南隱士 銀行家の書いた銀行秘話 東京 開明社 昭 3 510 頁 四六
松山岩根 手形支拂場所の法的研究 (銀行研究 **11**-5/6) 昭 1
*三菱銀行 商業信用狀及信用指圖書 大 13
宮本一郎 交換所組合銀行の報告に就て (銀行研究 **2**-5) 大 11
宮谷泰鶴 銀行が震災に依りて得たる經驗と將來に對する施設 (大阪銀行通信錄 323/24) 大 13
永津末清 銀行犯罪の實務的豫防法 (銀行研究 **1**-3; **2**-1) 大 10/11
*水野淳二 銀行に對する不正手段と其の豫防法 東京 文雅堂 昭 3 344 頁 四六〔銀行講座〕
森田寬三 私案カード式特別當座預金印鑑簿 (銀行研究 **3**-1) 大 11
同 銀行用度品の購入保管及整理方法 (大阪銀行通信錄 354) 昭 2
中井省三 荷爲替信用狀の一珍型と其の法律的吟味 (企業經營 **2**-6) 昭 5
中井長三郎 A・C 信用狀 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

中井長三郎 A號信用狀（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同 G・C 號信用狀（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 荷爲替信用狀（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
*中村光次 銀行出納實務〔不詳〕
同 社寺院と銀行取引（銀行研究 **20**-4）昭 6
*中田秀雄 銀行實務質疑應答集 大阪 銀行問題研究會 昭 5 320 頁 四六
*中田政吉 銀行業態の摑み方と見方 東京 文雅堂 昭 9 308 頁 四六
*日本銀行調査局 獨逸財界概觀—ライヒスバンク營業報告（1934）昭 1〔海外經濟彙報號外 6〕
*同 銀行債券調〔年刊〕
*日本勸業銀行 日本勸業銀行三十年志（豐田久和保）昭 2 300 頁 菊
*同 調査課 全國農工銀行營業狀況表〔年 2 回〕
*日本興業銀行 日本興業銀行最近十年史 東京 同行 昭 10 163 頁 菊
ニッヒン 銀行と一般實業家（銀行論叢 **8**-3）昭 2
西繁數 手形の支拂場所に關する研究（銀行研究 **17**-4）昭 4
西澤勘次郎 銀行文書の文體と用語に就て（銀行研究 **20**-1）昭 6
野口洪基 爲替手形振出人の義務免除に就て（商業論集 **1**-1）昭 1
*野元純彥 商業信用狀精義 東京 海文堂 大 14 276 頁 菊
野崎龍七 休業銀行（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同 ウインドウ・ドレッシング（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
王年官 銀行收益稅條例之得失比較觀（錢業月報 **11**-12）民 20
小畑美雄〔銀行に於ける〕重要印刷物の統制に就て（銀行研究 **22**-2）昭 7
小川鄕太郎 休業銀行に就て（インヴェストメント **6**-2）昭 2
岡田純夫 銀行關係の稅制整理に就て（銀行研究 **9**-5）大 14
*岡上虎三郎 銀行信用狀論 東京 文雅堂 昭 2 310 頁 四六〔銀行講座〕
岡野哲二 銀行の秘密嚴守義務（銀行研究 **28**-3）昭 10
桶田定吉 銀行關係の直接稅に就て（銀行通信錄 571）昭 8
奥村永藏 本支店勘定利率の考察（銀行研究 **21**-1）昭 6
小野正一 爲替手形振出の意志表示を論ず（法曹公論 **36**-9）昭 7
*大阪銀行集會所 銀行用度品の購入保管及整理方法 大阪 昭 3 101 頁 菊〔銀行實務懸賞文集 1〕
*同 銀行の檢查方法（荒木秀一）2 版 大阪 昭 8 194 頁 菊〔銀行實務懸賞文集 11〕
大竹虎雄 債券利廻計算法の改善を提唱す（信託と證券 **1**-6）昭 4
李鐸 我國票據不發達之原因（錢業月報 **10**-7）民 19
相良忠 銀行用度品の購入保管及整理方法（大阪銀行通信錄 360）昭 2
坂本重關 映畫に現はれたる銀行合理化に就て（銀行研究 **18**-6）昭 5
佐野董 信用狀附手形の Recourse に就て（銀行研究 **11**-3）昭 1
同 信用狀の Confirmation と Revocation との問題（銀行研究 **11**-5）昭 1
*佐久間長次郎 銀行業態の研究 2 版 東京 文雅堂 昭 5 224 頁 附錄 23 頁 菊
笹原正志 休業銀行株式の責任（インヴエストメント **6**-5）昭 2
佐々木周八 法律上より觀たる信用狀（法學新聞 2081/85）大 12
佐瀨昌光 銀行取引と法律との基礎的關係（銀行研究 **20**-2）昭 6
同 銀行業務に於ける商慣習の研究（銀行研究 **20**-4）昭 6
同 銀行文書の整理保存に就いて（大阪銀行通信錄 434/36, 438, 441）昭 8/9
佐藤正雄 銀行執務誌編纂刊行の提唱（銀行研究 **18**-3）昭 5
錢成新 對於銀行業收益稅條例之批評（銀行週報 712）民 20
妹尾一雄 再割引依賴銀行の法律上の地位（銀行研究 **10**-3）昭 1
同 債務者の破產と銀行の對策並に其手續（銀行研究 **19**-4）昭 5
薛遺生 銀行營業習慣應參照法律修訂管見（銀行週報 772）民 21
島村末雄 老銀行家の教訓（銀行論叢 **7**-4）昭 1
左右田誠一 銀行の廣告と預金吸收策（銀行研究 **5**-1/2）大 12
*外狩素心庵 銀行の廣告時代（中外商業新報附錄 銀行と信託）昭 6

須藤文吉 利付爲替手形に就て（銀行研究 **3**-1）大 11
同 荷爲替信用狀論（銀行研究 **3**-4）大 11
末松留男 銀行と改正破產法に就て（銀行研究 **9**-5）大 14
角南美貴 科學的な銀行犯罪（銀行論叢 **9**-1）昭 2
章乃器 對於改訂銀行營業規定之管見（銀行週報 769）民 21
高木武比呂 銀行金庫の取締と現金有價證券の出入保管整理方法（大阪銀行通信錄 335）大 14
同 手形支拂場所並に支拂擔當者の法理と實際（銀行研究 **11**-4）昭 1
*賣人一君 銀行の正しい見方—中部日本に於ける銀行內容の檢討 東京 創生社 昭 8 133 頁 四六
高瀨三郎 銀行支店の債務と本店の債務（銀行論叢 **16**-2）昭 6
*高柳淳之助 銀行會社の內幕と其逆用法 東京 昭 2
竹田省 信用狀に就て（法學論叢 **5**-5）大 10
同 信用狀の法律的關係（法學論叢 **9**-4）大 12
同 信用狀取引開始契約（法學論叢 **19**-5）昭 3
竹內貞夫 手形の支拂及び支拂拒絕に際しての若干問題（銀行研究 **28**-1）昭 10
*竹內恒吉 休業銀行の整理 東京 休業銀行問題研究會 昭 3 45 頁 四六
同 休業銀行の合法的整理（銀行論叢 **16**-5; **17**-2）昭 6
*同 銀行業務上の事故—其實例と豫防，對策 東京 大同書院 昭 10 300 頁 菊
田邊浩 信用狀論（商事研究 **2**-2）大 12
田邊順 手形の呈示並に權利保全に就て（銀行研究 **28**-2）昭 10
田中彌一 銀行の印紙稅問題（銀行研究 **18**-4）昭 5
富井政治郎 米國に於ける銀行犯罪の實例（銀行研究 **10**-7）昭 1
柄澤信吉 銀行信用狀の研究（銀行研究 **3**-1/6）大 11
同 銀行信用狀の統一（銀行研究 **4**-4）大 12
津谷光俊 銀行が震災に依りて得たる經驗と將來に對する施設（大阪銀行通信錄 322）大 13
堤正元 邦文文書に對する外人の署名（銀行研究 **12**-2）昭 2
*朝鮮銀行調查局 露國銀行貨物課の業務 大 8 19 頁
*中國銀行總管理處經濟研究室 中國重要銀行營業概況研究（民國 21 年度）民 22 29 頁
*同 中國重要銀行最近十年營業概況研究 民 22 353 頁
宇蒼 讀浙江實業銀行致各股東函有感（錢業月報 **10**-9）民 19
和田靜雄 裏書僞造と銀行の責任（大阪銀行通信錄 355）昭 2
八木旭一 爲替關係郵便物の發送に就て（銀行研究 **14**-7）昭 2
山本正志 信用狀取引に於ける若干の法律的考察（銀行研究 **18**-4）昭 5
*山本樂山 銀行員金融會社員實務向上指針 東京 實務向上研究會 昭 9 127 頁 四六
*山崎宗直 銀行，信託及保險業務と現代商業英語 東京 丸善株式會社 昭 5 295 頁 菊
彌疑四郎 銀行業の發展性と廣告術の一考察—銀行講演會（中央銀行會通信錄 343）昭 6
同 取引速度（中央銀行會通信錄 347）昭 7
安河內舛 倉庫證券による銀行業者倉庫業者の證爭（銀行論叢 **5**-4）大 14
矢島利一 銀行と盜難及信用保險（金融三層 **4**-12）昭 8
同 銀行と二つの損害保險（金融三層 **6**-7）昭 10
*橫濱正金銀行調查課 一九二一年に於ける獨逸八大銀行の營業狀態 林昇太郎譯 大 11〔調查報告 17〕
米良則義 手形事故囘の取扱ひに就て（銀行研究 **19**-2）昭 5
吉川義弘 未拂込の儘に置かれる銀行株（銀行論叢 **10**-3）昭 3
吉岡堅太郎 內國信用狀（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
米國に於ける銀行及信託會社の宣傳方法（金融知識 **5**-6）昭 10
米國手形交換所の銀行檢查制度（大阪商工時報 302）大 11
英國銀行利益調—1921（藤本ビルブローカー銀行週報 302）大 11
銀行が震災に依りて得たる經驗と將來に對する施設（大阪銀行通信錄 327）大 13

銀行業務用印紙稅便覽〔吹西居士〕(大阪銀行通信錄 415) 昭 7
銀行業態の變化はどう見るか (金融知識 3-7) 昭 9
銀行會社の資本調 (日本興業銀行調査月報) 昭 9
銀行金庫の取締と現金有價證券の出入保管整理方法 (大阪銀行通信錄 336) 大 14
銀行休業後の一部支拂行爲と破產法上の支拂停止 (銀行判例 8-2) 昭 7
銀行を支拂場所とせる手形の支拂呈示 (銀行判例 1-1) 昭 4
銀行及信託會社の自己株式取得 (銀行判例 11-6/7) 昭 9
銀行淸算問題〔ベルー・イ・ロンドレス〕(移民情報 3-6) 昭 6
銀行接客上の考察〔五峯生〕(中央銀行會通信錄 341) 昭 6
銀行用度品の購入保管及整理方法〔大阪乘泉生〕(大阪銀行通信錄 353) 昭 2
銀行用度品の購入保管及整理方法〔霸平生〕(大阪銀行通信錄 355) 昭 2
銀行用度品の購入保管及整理方法〔T・Y 生〕(大阪銀行通信錄 356) 昭 2
銀行用度品の購入保管及整理方法〔三省子〕(大阪銀行通信錄 358) 昭 2
銀行用度品の購入保管及整理方法〔春風生〕(大阪銀行通信錄 359) 昭 2
佛蘭西銀行の保有磅値下による損失補償 (商工月報 8-1) 昭 7
過大なる賠償額豫定の効力 (銀行判例 6-1) 昭 6
華比銀行股東大會報告紀略 (銀行月刊 2-2) 民 11
金對於銀行資本額股東負雙倍責任及儲蓄銀行董事監察人負連帶無限責任之意見 (銀行週報 849) 民 23
近時銀行界の施設 (ダイヤモンド 7-13) 大 8
國貨銀行開設遼寧分行 (銀行週報 853) 民 19
杭州各銀行の營業成績 (支那經濟時報 4) 大 10
交通銀行臨時股東會紀錄 (銀行週報 238) 民 11
交通銀行董事會之宣言 (銀行週報 238) 民 11
陝西省銀行二十二年份營業報告 (銀行週報 848) 民 23
休業銀行實務の法律的解說 (銀行判例 5-2) 昭 5
滿洲中央銀行貸借對照表 (統計彙誌 1) 大同 2
復々繰返さゝる預金通帳著作權侵害事件 (中央銀行會通信錄 328) 昭 5
蒙藏銀行章程及招股章程 (銀行月刊 2-2) 民 11
蒙藏銀行收股與該行章程 (銀行月刊 2-1) 民 11
紐育市中主要銀行株式利廻 (銀行通信錄 538) 昭 5
北京中法實業銀行擴充及華銀團之維持辦法 (銀行月刊 1-7) 民 10
最近兩年中國各銀行之業務 (東方雜誌 32-15) 民 24
最近有華銀行營業紀略 (銀行週報 214) 民 10
四明銀行已未年營業紀略 (銀行週報 149) 民 9
支那に於ける銀行收益稅 (海外經濟彙報 8) 昭 6
新華信託銀行股份有限公司章程 (銀行週報 718) 民 20
上海銀行營業規程 (銀行週報 160) 民 9
上海錢業營業規則之比較述評 (銀行週報 291) 民 12
昭和五年六月末全國手形交換所組合銀行諸勘定 (銀行通信錄 535) 昭 5
手形に於ける支拂場所記載の程度 (銀行判例 8-1) 昭 7
手形の他事記載と其効力〔K・M 生〕(大阪銀行通信錄 421) 昭 7
手形取扱上の諸問題〔R・H 生〕(大阪銀行通信錄 363, 365) 昭 2/3
中國銀行官有株の消滅 (支那時報 3-16) 民 12
中國銀行之營業近況 (銀行週報 298) 民 12
中國銀行 11 年度營業成績 (支那時報 3-11) 民 12
中國, 交通, 中華滙業, 各銀行股東會記事 (銀行月刊 2-6) 民 11
中國實業銀行章程並招股章程の改正 (財政月刊 71) 民 8
中法實業銀行營業之回潮 (銀行週報 229) 民 10
中法實業銀行恢復營業與我國之關係 (銀行週報 257) 民 11
和豐銀行民國 18 年度營業報告, 中央信託公司民國 18 年度營業報告 (銀行週報 662) 民 19
約束手形に就いて (銀行判例 5-5) 昭 6
横濱正金銀行の發行する C 號指圖書の性質 (法曹會雜誌 4-8) 昭 1
全國銀行勘定に現れた主要なる傾向 (東洋經濟新報 1491) 昭 7
全國銀行最近十年來營業概況 (中行月刊 6-1/2) 民 22

XVIII. 信託會社, 金融會社及保險會社

1. 信 託 會 社

a. 一 般

青木貞夫 小口信託の取扱ひに就て (金融三層 4-6) 昭 8
青木徹二 信託期間を論ず (日本辯護士協會錄事 29-10) 大 14
*同 信託讀本 附: 信託法令集 東京 財政經濟時報社 昭 1 96 頁 四六
*同 信託法論 東京 巖松堂 昭 1 433 頁 菊
*同 信託研究 第一集 東京 信託學會 昭 2 118 頁
*同 信託研究 第二集 東京 信託學會 昭 2 122 頁
*同 信託研究 第三集 東京 信託學會 昭 2 120 頁
*同 信託及證券 第五・六集合册 信託學會 昭 3 214 頁
同 社債擔保權信託と記名株 (信託と證券 1-1) 昭 4
同 信託會社の行爲の範圍 (信託と證券 2-1) 昭 4
青木嗣夫 金融機關としての信託會社 (中央銀行會通信錄 299/300, 302) 昭 3
荒木秀一 信託會社の業務 (大阪銀行通信錄 331/36) 大 14
伴藏人 元本, 收益及信託財產 (銀行研究 19-5/6) 昭 5
同 信託會社不動產投資の法律的限界—生きた法律解釋の技巧の一例 (銀行研究 20-4) 昭 6
同 生命保險信託に於ける稅の時事問題 (銀行研究 21-2) 昭 6
同 信託會社の本質と其の評價損益の問題—信託會計の企業性と非企業性 (銀行研究 21-5/6; 22-1/3) 昭 6/7
同 信託業務の本質を如何に認識すべきか (銀行研究 24-2) 昭 8
同 信託財產の使用價値と交換價値—信託業務の根本的認識に就てO氏に答ふ (信託協會會報 9-3) 昭 10
伴藏人 信託契約の法律的構成を論ず—法律的認識にする一つの批判 (信託協會會報 9-5) 昭 10
ダグラス, オリバー 信託勸誘の秘策 (銀行論叢 14-4) 昭 5
榎並赳夫 信託及信託事業に就て (日本法政新誌 18-6/12) 大 10
同 信託業務と銀行業務の交涉 (銀行研究 1-1/3; 2-1/2) 大 10/11
遠藤丈夫郎 信託業者と生保業者との提携 (金融三層 3-3) 昭 7
同 生命保險信託に就いて (金融三層 5-2) 昭 9
榎潤 信託會社の株主議決權行使に就て (銀行論叢 18-4) 昭 7
越後信吉 信託財產の運用と工業金融 (工業要錄 6-1) 昭 5
*銀行研究社 信託辭典 東京 文雅堂 昭 8 182 頁 菊
*濱田德海 信託法の新研究 東京 大證閣 昭 2 304 頁
*同 信託法概論 東京 自治館 昭 9 316 頁
同 公益事業遂行の一形式としての公益信託 (自治研究 10-5/8) 昭 9
濱野作太郎 信託事業經營と都市の大小 (金融三層 4-11) 昭 8
*潘士浩 信託研究 民 10
原靜 信託受益權の質入 (銀行研究 18-4) 昭 5
原田宗藏 信託會社の歸趨 (東洋經濟新報 1087/88) 大 13
服部洪 擔保付社債設論 (銀行研究 6-2) 大 13
逸見嘉一郎 生命保險信託に就て (生保研究時報 75) 昭 4
平賀重治 信託財產に對する擔保組織に就て (金融三層 6-10) 昭 10
本莊鐐太郎 信託期間の最長限度に就て (銀行研究 13-6) 昭 2
同 信託の計算につきて (銀行論叢 8-4/5; 9-1/5) 昭 2
同 保險信託に就て (信託と證券 1-2/3) 昭 4

堀部靖雄 信託業務（商業及經濟研究 6-2）昭 1

堀江歸一 銀行並に信託會社に對する政策（エコノミスト 3-2）大 14

堀江專一郎 藩兒信託の觀念（正義 6-9）昭 5

*細矢祐治 信託及信託會社 改訂增補 3 版 東京 寶文館 大 10 447 頁 菊

同 金融機關としての信託會社（銀行研究 3-1/2）大 11

同 信託業の會計原則（會計 12-3/4）大 11

同 信託會社と證券取扱業務（國民經濟雜誌 32-5/6; 33-1）大 11

同 信託業務と會計士（商業及經濟研究 27/29）大 11/12

同 信託契約證書に就て（商事研究 3-4/5）大 12

同 信託財產及び受託者に就て（會計 12-6; 13-1/2）大 12

同 財產管理處分金錢運用上の革命（商事研究 3-3）大 12

同 信託會社會計の組織（會計 13-5; 14-1）大 12/13

*同 金融及信託 上卷 金融 東京 嘐文堂 大 13 584 頁 菊〔參照 目次: I, 1〕

*同 金融及信託 下卷 信託 東京 嘐文堂 大 13 786 頁 菊

1. 信託會社と保證業務 2. 信託會社と證券取扱業務 3. 信託會社業務と會計士 4. 本邦信託法制概論 5. 信託, 信託業務及信託會社 6. 信託業會計原則 7. 信託業法施行細則管見 8. 新陣容を整へたる本邦信託第一年初盛 9. 信託財產に屬する金錢の管理方法私見 10. 信託關係諸法令概評 11. 財產管理處分金錢運用上の革命 12. 信託契約證書に就て 13. 信託受益者 14. 信託財產及受託者に就て 15. 信託行爲論 16. 信託違反論 17. 信託と諸稅

*同 信託會社要論 東京 文雅堂 大 13 189 頁 四六

同 信託會社要論（國民經濟雜誌 36-1/3）大 13

同 信託會社と保險の關係（商事研究 4-4）大 13

同 銀行と信託會社との關係（銀行研究 6-2/3, 5）大 13

同 信託會社損益計算の基礎（銀行研究 7-1）大 13

同 信託會社の貸借對照表及財產目錄（會計 14-5/6; 15-1）大 13

同 信託上の費用損害並に信託報酬（法學新報 34-12; 35-2）大 13/14

同 信託利益 信託勘定の損益及信託業の損益（會計 15-5/6; 16-1）大13/14

細矢祐治 信託會社と事業經營の引受及會計監査業務（商事研究 4-3; 5-2）大 13/14

*同 信託會社問題研究 東京 文雅堂 昭 1 1124 頁 菊

1. 信託業經營に關する重要諸點 2. 信託會社と銀行の關係 3. 信託會社と保險の關係 4. 金錢信託概論 5. 金錢信託經營の重要諸點 6. 信託會社政策を如何にすべきか 7. 金錢信託及短期間の延長と其の影響 8. 信託會社と事業經營の引受及會計 9. 我國信託會社と會計監査業務 10. 會計士法の立法主義と信託會社の會計士業務 11. 信託會社會計の組織 12. 信託會社損益計算の基礎 13. 信託利益信託勘定の損益及信託業の損益 14. 信託會社の貸借對照表及財產目錄 15. 信託會社の活動方法と各種財產の關係 16. 保險信託と其の經營 17. 年金事業と信託會社 18. 投資機關としての信託會社 19. 信託會社と財產管理處分及整理清算業務 20. 信託政策と受託機關

*同 信託法理及信託法制 東京 文雅堂 昭 1 1226 頁 菊〔參照 目次: XIX〕

同 保險信託と其の經營（國民經濟雜誌 40-6）昭 1

同 年金事業と信託會社（國家學會雜誌 40-8）昭 1

同 信託會社と財產管理處分及整理清算業務（法學志林 28-12）昭 1

同 信託に於ける受託者の相手權（法學新報 36-2/5）昭 1

同 信託政策と受託機關（國民經濟雜誌 41-4）昭 1

*同 金融機關としての信託會社 2 版 東京 文雅堂 昭 2 332 頁 四六〔銀行講座〕

*同 信託業の經營 東京 文雅堂 昭 2 349 頁 四六〔銀行講座〕

同 信託利益と其の配給（明大商學論叢 2-3）昭 2

同 信託業と信託會社（明大商學論叢 2-4; 3-1）昭 2

同 法人能力に關する立法思想と信託會社（法學新報 37-2）昭 2

同 遺言信託及遺言執行者と信託會社の問題（法學新報 37-7）昭 2

同 信託利用の制限に就て（明大商學論叢 3-4/5）昭 3

同 信託會社の證券及金融業務と其の改善（銀行研究 14-7）昭 3

同 信託經濟の本質と關係者の態度（信託協會會報 2-4 附錄）昭 3

同 信託經濟の終了と信託經濟の融通性（明大商學論叢 4-3/4）昭 3

同 信託會社と會計檢査業務（會計 24-4）昭 4

細矢祐治 信託經濟の本質と其の利弊（明大商學論叢 5-6）昭 4

同 信託會社と金融及投資經濟（明大商學論叢 6-1/3）昭 4

同 信託會社と保險業の關係（明大商學論叢 7-1）昭 4

同 信託存續期間に關する立法例と其の批評（信託協會會報 3-2/3）昭 4

同 營業信託（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同 會社信託（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同 信託利益配當率の協定及び信託利益給付時期の問題（會計 27-1）昭 5

*同 生命保險信託の經營〔明治大學創立滿五十周年記念論文集—明大學會商學篇の內 27 頁〕昭 6

同 信託會社の資金運用方法論（會計 28-1）昭 6

同 生命保險信託の經營（明大商學論叢 10-5/6）昭 6

同 信託業（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 信託會社（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 信託財產（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 財產信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 事業信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 事務信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 信託經濟の起源發達概說（明大商學論叢 11-4）昭 7

同 議決權信託（Voting trust）概說（明大商學論叢 12-2）昭 7

同 信託と諸稅（稅 11-8/9）昭 8

同 信託財產の分配—信託會計の一節（信託協會會報 7-5/6; 明大商學論叢 13-5/6）昭 8

同 議決權信託（Voting trust）概說（信託協會會報 8-4/5）昭 9

同 信託と法定整理清算の關係（明大商學論叢 16-3/4, 6; 17-1/2）昭 9

同 買付信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 運用信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 信託價格（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

細矢祐治 信託期間（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 取立信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 事務信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 信託會社の固有財產（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同 信託と法定整理清算の關係（信託協會會報 9-4/5）昭 10

*船尾榮太郎 擔保附社債及信託 東京 同文館 昭 3 228 頁 菊

古山島藏 信託期間に就て（信託 6-1）大 13

藤原泰 信託會社のエスクロー事務（商業及經濟研究 58）昭 5

同 エスクロー信託（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同 永代信託（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同 契約信託（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

同 個人信託（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

同 生前信託（經濟學辭典 III 卷 1頁）昭 6

同 私益信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同 信託（經濟學辭典 III 卷 2 頁）昭 6

同 特殊的生命保險信託（銀行研究 20-3）昭 6

同 貯蓄銀行の信託利用（銀行研究 21-3）昭 6

同 信託會社の會計檢查業務（會計 13-5）昭 7

同 保險信託（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

同 浪費者信託（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

*同 特殊信託研究 東京 文雅堂 昭 8 250 頁 附錄 23 頁 菊

1. 生命保險信託 i. 生命保險信託總說 ii. 財源附生命保險信託 2. 投資信託の性質 i. 投資信託の本質 ii. 投資信託の社會政策的意義 3. 信託會社の會計檢查業務 4. エスクロー信託 5. 新西蘭の官營信託 6. 不動產信託の非發展性

同 信託會社金融資金の構成—信託會社の金融機關的地位考察の一基礎事項（銀行研究 24-3）昭 8

*同 信託企業概論 上卷 東京 文雅堂 昭 9 225 頁 菊

I. 序論 1. 信託の概念 2. 信託企業の發生
II. 信託企業主體論 3. 信託企業主體の成立 4. 信託企

業主體の商號 5. 信託企業主體の業務開始
III. 信託會社業務論 6. 信託會社業務の制限 7. 信託業務 8. 併營業務 9. 資金運用業務

藤原泰 官營信託の機能（銀行研究 **26**-1）昭 9
同 信託企業の集中的獨占性と中小信託會社の對策（銀行研究 **27**-2）昭 9
同 信託會計の本質—信託會計の機構（會計 **35**-2, 6）昭 9
同 會社信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同 個人信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 生命保險信託（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
同 事業信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 信託會社の社會的機能：信託企業政策序論（信託協會會報 **8**-6）昭 9
同 信託會社と中小企業金融（銀行研究 **28**-1）昭 10
同 信託會社と短期金融（經濟時報 **7**-3）昭 10
同 信託會社の金融機關としての特性（信託協會會報 **9**-1）昭 10
同 信託會社と株式投資（信託協會會報 **9**-3）昭 10
同 信託會社の支拂準備金問題（信託協會會報 **9**-5）昭 10
池田了實 事業金融機關としての信託會社の地位（銀行論叢 **9**-6）昭 2
*稻村眞介 信託法令全集 東京 財政經濟時報社 昭 9 230 頁
*井上辰九郎 信託事業一班〔和田垣教授在職二十五年紀念經濟論叢の內 34 頁〕大 13
*入江眞太郎 信託法原論 全訂 東京 巖松堂 昭 8 584 頁 菊〔參照 目次: XIX, 3〕
石川忠治 譯 保險信託論（保險銀行時報 1490/1501）昭 5
同 生保會社と信託會社との協同(金融三層 **2**-3) 昭 6
*板橋菊松 編 信託研究〔I, II, III〕信託學會 昭 2
同 擔保附社債の償還と受託會社（財政經濟時報 **15**-5）昭 3
同 社債元利の不拂と受託會社の態度（信託と證券 **2**-5）昭 4
同 擔保附社債の受託會社と信託違反（商法 **4**-1）昭 5
同 擔保附社債の受託會社（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
一川一秀 若干の信託投資問題に就て（信託協會會報 **9**-1）昭 10
岩田新 所謂受託金返還の義務〔判批〕（法學新報 **45**-7）昭 10
岩崎博 銀行及信託會社の豫算式經營法（銀行研究 **12**-3）昭 2
岩崎靜也 信託會社と保護預り業務（銀行論叢 **6**-2）昭 1
柿沼稻次郎 生命保險契約に附隨せる信託契約（生命保險會社協會會報 **18**-3）昭 5
郭佩賢 壽險公司與銀行及信託公司之比較（銀行週報 864）民 23
金杉豪三 信託會社間に於ける手數料の協定（信託協會會報 **4**-3）昭 5
神戶正雄 信託會社と銀行（時事經濟問題 8）大 12
同 信託業と生命保險（時事經濟問題 70）昭 3
同 船舶金融と汽船信託（時事經濟問題 71）昭 3
*關西信託株式會社編 信託應用の實例 大 14〔信託揷話 1〕
柏原治雄 信託會社の固有資產運用（金融三層 **3**-6）昭 7
柏塚辰雄 不動產信託債權（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7
加藤小太郎 信託事業に就て（臺灣時報 83）昭 1
同 工業資金供給者としての信託會社（工業 29）昭 3
同 新時代と信託業の發展（信託と證券 **1**-1）昭 4
勝山正倫 生命保險信託（經營と經濟 **2**-2）昭 6
河村濟 信託違反の研究（大阪銀行通信錄 438, 442, 449, 452）昭 9/10
川崎貞明 生保と信託會社は提携せよ（保險銀行時報 1300）昭 1
*木村轍八郎 信託の話 東京 東洋經濟出版部 昭 4 157 頁 四六
桐生椛吉 水產金融と信託利用の話（水產界 556/58）昭 4
北崎進 相續財產信託論（信託協會會報 **7**-4）昭 8
高伯時 信託淺說商（錢業月報 **13**-1）民 22
小林德三郎 受託者の取得する擔保財產の所屬と其の會計的處理に就いて（銀行研究 **22**-5）昭 7
同 信託事務の意義と其構成並に固有事務との現界（銀行研究 **23**-6）昭 7
同 受託者の信託事務處理に關する一態度—信託事務處理の困難に當面して（銀行研究 **24**-2）昭 8

小林俊輔 信託預金實務誌（銀行研究 **12**-5, **13**-1/3, 5/6; **14**-3, 5）昭 2
小森好太郎 信託會社の宣傳方法に就て（金融三層 **4**-12）昭 8
同 信託宣傳に關する若干の考察（金融三層 **6**-6）昭 10
倉橋駿一 信託會社の貸借對照表に就て（金融三層 **2**-7）昭 6
同 官設受託者の事業に就て（信託協會會報 **9**-1/2）昭 10
同 投資信託と信託會社（金融三層 **6**-9）昭 10
吳文炳 信託會社の資金運用と制限（銀行研究 **3**-3）大 11
同 信託受益者の權利に就て（銀行研究 **3**-6）大 11
*同 經濟問題としての信託 東京 叢文閣 昭 1 266 頁 菊
*同 經濟上より見たる信託の理論及實際 東京 久我書店 昭 1 455 頁 菊
I. 信託制度の沿革と信託業の發達 1. 英國に於ける信託制度の起源及發達 2. 英國に於ける信託業の現狀 3. 米國に於ける信託制度の繼受と其の事業化 4. 獨逸に於ける信託業 5. 英米國に於ける信託業の比較 6. 米國に於ける投資信託の勃興 7. 瑞西に於ける投資信託業の發達及現在 8. 本邦信託業の發達
II. 信託業に關する研究 1. 信託の觀念 2. 信託行爲 3. 信託會社の經濟上の性質 4. 信託業の主體たる信託會社の組織 5. 信託會社の業務 6. 整理信託と名義爲替事務 7. 信託會社の兼業上の資金運用制限 8. 信託會社の收益 9. 公益信託 10. 信託契約の形式 11. 信託當事者の權利義務 12. 供託制度 13. 法定準備金 14. 信託會社に關する取締
III. 結論 1. 信託業の社會的使命 2. 金融市場に於ける信託會社の地位
附錄 信託法規
*同 信託講話 東京 信託協會 昭 1 120 頁 菊
同 起業金融と信託會社（インヴェストメント **3**-1）昭 1
同 會社の財產整理の爲めの信託（インヴェストメント **3**-6）昭 1
同 信託財產の擔保金融是非（インヴェストメント **4**-3）昭 1
同 都市の公益事業と信託制度（都市問題 **2**-3）昭 1
同 信託業と日米法制の比較（インヴェストメント **5**-1）昭 2
*同 信託及其事業 東京 啓明社 昭 3 253 頁 菊
同 保險信託の彈力性（保險評論 **21**-1）昭 3
*同 信託業〔經濟學全集一改造社 37 の內 204 頁〕昭 4
*吳文炳 比較信託論〔銀行信託講座—斯文書院 1, 3, 10 の內〕昭 4/5
同 營業信託に於ける公益信託の價值（商學論叢 1）昭 5
*同 信託事業の話 東京 社會教育協會 昭 6 56 頁 四六〔社會教育パンフレット 136〕
同 投資信託に關する二良著（商學論叢 2）昭 6
同 有價證券信託に就て（金融三層 **3**-10）昭 7
同 信託の歷史と事業（市町村雜誌 457）昭 7
*同 信託經濟論 東京 日本評論社 昭 8 864 頁 菊
A. 總論に於ける綜合的研究
I. 信託の本質及信託會社の業務に關する綜合的研究 1. 緖論 2. 信託の意義及本質 3. 信託業の構成と其經營形態 4. 信託會社の主要受託業務に關する諸問題の綜合的研究 5. 信託會社の附隨業務に關する若干問題 6. 信託會社の投資業務に關する諸問題の綜合的研究 7. 信託業の現狀に對する分析的批判
II. 投資信託に關する特殊的研究 1. 緖論 2. 本論
B. 各論に於ける分析的批判
III. 我國の兼業信託に於ける金錢の信託中特に所謂金錢信託に關する若干問題
IV. 我國信託會社の新融業部門としての會計檢査業務に關する一考察
V. 生命保險信託の我國兼業信託に於ける業的可能性に關する實證的研究
VI. 我國兼業信託上公益信託の受託に關する適格性及其經濟的意義に就て
同 信託業（重要諸外國の）（金融大辭典 II 卷 10 頁）昭 9
*同 信託金融論 東京 改造社 昭 10 231 頁 四六〔現代金融經濟全集 22〕
同 經濟信託法及其の發達（經濟法律論叢 **6**-1）昭 10
*栗栖赳夫 信託法規及信託會社發達史 東京 文雅堂 大 11
*同 信託及附隨業務の研究 東京 文雅堂 大 13 527 頁 菊
I. 信託法論 1. 信託 2. 信託會社 3. 信託に關する諸國の法制 4. 北米合衆國信託會社の取締法 5. 本邦信託法規の發達 6. 本邦信託法 7. 本邦信託業法 8. 擔保附社債信託
II. 信託事業史論 1. 北米合衆國信託會社の發達 2. 其他諸國の信託會社の發達 3. 本邦信託會社の發達
III. 附隨業務論 I. 保護預業務 2. 信託會社と銀行業務 3. 信託會社と保險業 4. 不動產管理事務
補論 1. 再び信託業法に就て 2. 信託會社の兼業免許 3. 資本金及組織に對する制限 4. 信託會社の商號 5. 信託財產に對する制限 6. 金錢の信託 7. 有價證券の信託及其信託表示 8. 信託會社の免許數 9. 最近三年間の擔保附社債發行高 10. 補訂
附錄 主要關係法令集
同 信託業務雜見（銀行研究 **6**-3）大 13

栗栖趙夫 信託會社の附隨業務に關する管見（金融研究 1-1; 2-1/2） 大 13/4
同 擔保附社債に關する信託契約に就て（金融研究 2-7） 大 14
同 擔保附社債に關する信託の特質を論ず（金融研究 2-7, 10） 大 14
同 擔保付社債に關する信託の承繼（銀行研究 9-4） 大 14
*同 社債及社債信託論 清水書店 昭 1 386 頁 菊
同 債券及株券の安全保管と銀行及び信託會社の保護預業務（インヴェストメント 4-1/2） 昭 1
同 Debenture Stock（信託社債）制度の必要に就て（銀行研究 27-4） 昭 9
同 擔保附信託社債（Debenture Stock）制の採用（信託協會會報 8-4） 昭 9
*黒田英雄 信託事業〔同講演集の内56頁〕 大 12
串本友三郎 不良會社の淘汰に關する信託會社と取引所の施設（銀行論叢 9-4） 昭 2
久世重三郎 譯 生命保險信託の管理權限及實務の統一（信託協會會報 5-5） 昭 6
前場治一 吳文炳氏著：信託及其事業（國民經濟雜誌 46-3） 昭 4
前田安彦 信託業の收益性に就て（中央銀行會通信錄 380） 昭 9
松本蒸治 商法雜題一信託會社に對する信託受益權の買入（法學新報 40-6） 昭 5
松村眞一郎 所謂信託金に就て（法學志林 23-3） 大 10
松崎壽 銀行と信託會社との關係（商業及經濟研究 35） 大 13
同 銀行と信託會社との限界（銀行研究 11-1） 昭 1
同 工業金融と信託會社（銀行研究 14-4） 昭 3
*三淵忠彦 信託法通釋 4 版 東京 大岡山書店 昭 2 580 頁 菊
*同 信託法論〔社會經濟體系一日本評論社 7 の内〕 昭 2
*同 信託法及信託業法〔現代法學全集一日本評論社 24 の内〕 昭 3
同 信託財產に關する二三の問題に就て（信託協會會報 2-4：附錄） 昭 3
*同 信託法大意 東京 梓書房 昭 4 160 頁 菊
同 信託制度（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9
同 信託財產（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9
三木義雄 信託財產に關する一考察（インヴェストメント 3-6） 昭 1
*三菱銀行 信託業法綱領に關する調査報告 大 11
*三菱合資會社 信託及信託會社業務に關する調査〔秘〕（大正 12 年 12 月調）
*同 信託業經營に關する調査〔秘〕（大正 13 年 11 月調）
*三菱信託株式會社 信託の知識 昭 5
*同 信託類例 昭 10 136 頁 四六
三井信託株式會社信託部調査課 會計檢査制度と信託會社（信託協會會報 1-4） 昭 2
宮本英雄 信託行爲に關する二三の疑問（信託協會會報 8-2, 4） 昭 9
水野淳二 銀行株式の信託表示方法（銀行研究 12-1） 昭 2
森下利雄 生命保險信託に就て（財政經濟時報 15-8） 昭 3
永井壽吉 信託財產の特質（法律論叢 7-9） 昭 3
同 信託終了の場合に於ける信託財產の歸屬（法律論叢 11-5） 昭 7
中村文治郎 信託財產の增減と收支狀態の良否との相關關係（金融三層 3-2） 昭 7
同 信託財產の偏在と其膨脹割合（金融三層 3-7） 昭 7
中根不羈雄 保險信託百問百答（銀行論叢 16-4, 6; 17-1, 3） 昭 6
同 信託會社の遺言執行（經濟集志 4-1） 昭 6
同 信託業に成功せるフライス氏の生涯（信託協會會報 7-1/2） 昭 8
同 英國信託業務論（商學論叢 7） 昭 8
同 議決權信託（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9
同 管理處分信託（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9
同 產業信託（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 淸算信託（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 信託報酬（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9
同 信託法定投資（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
同 信託會社の金融（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
同 浪費者信託（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9
同 信託金の銀行預入と受託者の責任（銀行研究 27-5） 昭 9

中根不羈雄 信託財產の分割（會計 36-4/5） 昭 10
同 受益者の承諾に依る信託財產の固有化（信託協會會報 9-3） 昭 10
同 信託財產の承繼（信託協會會報 9-4） 昭 10
中野安一 大小信託會社の信託財產運用上の相違點（金融三層 3-11） 昭 7
同 信託會社の二大投資に就いて（金融三層 5-7） 昭 9
同 有價證券と貸付金とを廻る信託財產の運用（金融三層 6-7） 昭 10
*日本銀行 信託に關する調査〔日本產業資料大系一中外商業新報社 9 の内〕 昭 1/3
野守廣 生命保險と信託との聯繫（保險評論 21-5） 昭 3
同 信託と生命保險（保險評論 21-11/12） 昭 3
同 信託業の發達經路と我信託業（財政經濟時報 15-5） 昭 3
*同 ・内藤章 信託經營論 東京 千倉書房 昭 6 335 頁 菊〔商學全集 20〕
野守廣 信託事業の經營 1. 緒論 2. 信託の沿革 3. 我信託法制の概要 4. 信託會社と其監督 5. 信託會社の業務の實行 6. 信託會社の事務組織 7. 信託會社の會計組織
内藤章 信託會社の職能 緒言. 1. 信託業の發達 2. 米國信託會社の職能 3. 英米投資信託會社の職能 4. 我國信託會社の職能
能仁充乎 不況時代と信託資金一信託係が直面しなければならない若干の問題（信託協會會報 6-4） 昭 7
同 信託簿記體系（會計 34-1） 昭 9
同 譯 信託部と銀行（信託協會會報 9-1） 昭 10
同 信託投資の選擇とその再檢（信託協會會報 9-2） 昭 10
王金海 信託會社の遺言執行に關する二三の考察（信託と證券 2-5） 昭 4
同 信託會社と遺言執行（財政經濟時報 17-1） 昭 5
同 官營受託者（金融大辭典 I 卷 7 頁） 昭 9
同 動產信託（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 信託證書（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 商事信託（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
同 財產信託（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9
王金海 民事信託（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9
同 不動產信託證券（金融大辭典 III 卷 5 頁） 昭 9
大原萬壽雄 生保の信託經營に就て（保險銀行時報 1419） 昭 4
岡崎悅治 信託期間の算定に就て（銀行研究 18-4） 昭 5
大野龍太 信託會社の人格其の他に就て（銀行通信錄 490） 昭 1
オリバー 信託勸誘の秘策（銀行論叢 14-4） 昭 5
*大阪高商銀行業務研究室 信託會社と銀行との交涉（松崎壽） 大 13〔調査報告 9〕
大阪谷公雄 信託業者の投資に關する注意義務（法學論叢 28-4） 昭 7
同 生命保險信託の法律的構成（信託協會會報 9-1） 昭 10
大澤幾次郎 信託に關する研究に就て（信託協會會報 6-4） 昭 7
大塚良治 金融機關としての信託會社（金融研究 1-3） 大 13
ベチボーン、エイチ・ディー 法人受託業務の現狀及び將來（信託協會會報 7-1） 昭 8
劉照昕 信託公司之研究（商業雜誌 2-7） 民 16
齋藤常三郎 法人信任の傾向一再び信託會社に及ぶ（國民經濟雜誌 49-1） 昭 5
同 信託財產と取戻權（法律新聞 3616/17） 昭 8
同 信託財產と取戻權（國民經濟雜誌 54-5） 昭 8
*坂本芳治 信託會社の組織と經營 3 版 東京 巖松堂 昭 4 504 頁 菊
1. 信託の概念 2. 各國に於ける信託會社の現狀 3. 日本の信託會社 4. 信託會社の組織 5. 信託會社の業務 6. 附隨業務 7. 信託會社營業資金の運用 8. 擔保附社債信託 9. 各證券所屬の主要帳簿 10. 信託會社の營業報告 11. 信託會社の監督 12. 信託會社業務發展方法の研究
笹原正志 受託會社の社債償還と辨濟受領（インヴェストメント 7-6） 昭 3
同 公債の信託に就いて（金融三層 5-9） 昭 9
*笹谷貴義 銀行と信託の話 東京 博文館 昭 5 378 頁 四六〔新商業叢書 6〕
妹尾一雄 信託受益權擔保（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
篠田七郎 生命保險信託論序說（保險學雜誌 325/26） 昭 5
*信託會社協會 信託業法に關する陳情 東京 同會 大 11 50 頁 菊

新庄博 信託會社の企業性（國民經濟雜誌 53-6） 昭 7
同 信託會社の銀行的性質（國民經濟雜誌 59-6） 昭 10
シッソン 經濟的社會的要求の變化に適應する信託奉仕—信託管理に關する若干の誤解の訂正（信託協會會報 7-3） 昭 8
*菅原通敬〔監修〕信託法規の成立 大 11
陶山保次郎 信託流行（商業及經濟研究 38） 大 14
同 公共信託の研究（信託協會會報 5-5; 6-1） 昭 6/7
鈴木武治 擔保付社債信託に於ける擔保の變更（銀行研究 6-6） 大 13
朱斯煌 信託法務與信託公司（經濟學季刊 5-1） 民 23
高橋直温 レシーバー制度と信託會社（彦根高商論叢 11） 昭 7
田中盈 權利信託論序說（法曹會雜誌 11-11） 昭 8
田中吉備彦 特殊信託契約私案（信託協會會報 8-4） 昭 9
畔道文夔 生命保險會社の信託經營（エコノミスト 7-9） 昭 4
*東洋經濟新報社 銀行信託號〔同報特輯號 5, 3, 8〕昭 5 四六倍
*豐浦與七 信託業務の理論と實際 東京 二松堂 大 9 453 頁 菊
1. 信託預金の理論と實際 i. 信託預金の法律上の性質 ii. 英米に於ける信託資金の投資 iii. 信託預金實務解說 2. 擔保附社債の理論と實際 i. 總說 ii. 信託證書の理論と實際 iii. 各論 3. 信託財產管理の理論と實際 i. 序論 ii. 信託財產管理の意義 iii. 信託財產管理の性質 iv. 信託財產管理の効力 v. 管理契約書案 4. 擔保—公債社債の保護預に關する判例評論
戸澤芳樹 信託の本質と信託業（銀行論叢 11-5） 昭 3
同 財產保管及運用制度としての信託（財政經濟時報 15-5） 昭 3
*同 信託會社實務〔銀行信託講座一斯文書院 1/7 の内 378 頁〕昭 4
同 信託會社を利用する人々へ（信託と證券 1-1） 昭 4
*同 信託會社實務 2 版 東京 田口書店 昭 5 378 頁 菊
坪内長一 信託資金の投資と受託會社（信託と證券 1-4） 昭 4
張庭麟 信託公司會計制度（續上期）（復大商學期刊 8） 民 23
*中外商業新報社 銀行と信託 昭 6
上野益吉 信託と銀行との接觸及背離（金融三層 4-2） 昭 8
上野益吉 信託手數料と信託原價に就て（金融三層 4-8） 昭 8
渡部義雄 信託會社の會計監査業務と計理士（會計 24-6） 昭 4
ウエーア，ロイス 信託及投資管理論（信託協會會報 8-6） 昭 9
山成喬六 信託事業に就て（貿易 21-12） 大り
横前周 特殊信託契約に現れたる數式の應用（信託協會會報 9-2） 昭 10
横沼規雄 信託資金運用に關する一管見（信託協會會報 8-4） 昭 9
同 信託業務に關する疑問二つ（信託協會會報 9-1） 昭 10
米山梅吉 信託會社は社會奉仕の公益機關（インヴェストメント 1-3） 大 14
*同 信託〔社會經濟證券一日本評論社 6 の内 48 頁〕昭 2
*同 信託〔現代產業叢書一日本評論社 3—商業，交通編の内 58 頁〕昭 4
*同 信託法の發展と信託投資（エコノミスト 7-1） 昭 4
同 信託知識の普及に努めん（經濟知識 1-1） 昭 4
同 信託會社と證券放資（信託と證券 1-1） 昭 4
同 信託業發達史（經濟知識 11-6） 昭 9
吉田眞一 金融機關としての信託會社（銀行論叢 6-1） 大 15
吉田保譯 信託業務發達の時代—「實」對「大量生產」（信託協會會報 6-5） 昭 7
吉田善次 信託會社の資金運用に就て（金融三層 3-1） 昭 7
同 信託會社の變遷と今後（金融三層 6-5） 昭 10
*遊佐慶夫 信託法制評論 附：信託關係法規集 東京 巖松堂 昭 1 174 頁 菊
1. 緒論 2. 信託の性質 3. 信託行爲 4. 信託關係人 5. 信託の制限 6. 信託の公示制度 7. 信託財產 8. 受託者の義務 9. 受託者の責任 10. 受託者の權限及報償權 11. 受託者監督 12. 受託者の任務終了 13. 受託者の更迭 14. 信託の終了 15. 公益信託 16. 信託稅制 17. 信託業 18. 結論
附錄 信託關係法規集 78 頁
*實業之世界社通信部 銀行保險信託金融號 昭 7 81 頁 四六倍〔實業通信臨時增刊〕
銀行及信託會社の保證取引（銀行判例 12-6; 13-1/2） 昭 9/10
合理化金融機關の設立と議決權信託制（エコノミスト 8-15） 昭 5

保險信託よりも年金保險（保險銀行時報 1377） 昭 3
保險と信託（保險銀行時報 1297） 昭 1
保險と信託の關係に就て（ダイヤグラム 1-2） 昭 3
普通銀行と信託事業（東洋經濟新報 1127） 大 14
各信託會社の營業信託種類（金融三層 2-3） 昭 6
家督相續人の幸福と妻の生計保證を目的としたる簡單なる保險信託（信託協會會報 7-1） 昭 8
レシーバー制度と信託會社（信託協會會報 1-3） 昭 2
老夫妻晚年の生計を確保すると共に子女に對する遺產分與の方法に意を注ぎたる表示有價證券信託（信託協會會報 7-2） 昭 8
生命保險信託の話（金融知識 5-3） 昭 10
生命保險信託の話（經濟知識 5-6） 昭 6
生存信託の利益（裁判と法律 21） 昭 7
信託業に就て（大阪銀行通信錄 296/300, 307/09） 大 11/2
信託會計の本質とその評價損益の問題（銀行研究 21-6） 昭 6
信託會社の研究（東洋經濟新報 1523） 昭 7
信託會社と證券取扱業務（國民經濟雜誌 32-5） 大 11
信託投資の複雜性の增大—信託機能の一層廣汎なる觀察と情勢の變化に伴ふ信託資金の保全問題（信託協會會報 7-2） 昭 8
信託財產運用中の貸付金の諸相（金融三層 2-5） 昭 6
信託辭典（銀行研究 25-4） 昭 8
子息の將來に於ける生活の安定を保障する爲の生命保險信託（信託協會會報 7-3） 昭 8
財界大轉向期の金融及銀行信託（東洋經濟新報 1523） 昭 7

b. 各國別

日本

*愛知縣內務部 信託無盡〔年刊〕
明石照男 我國の信託會社に就て（法學協會雜誌 48-11） 昭 5
青木徹二 手形信託表示に就て（法曹公論 32-7） 昭 3
同 信託認可前の保證と債券捺印の方法（信託と證券 26） 昭 4
荒木秀一 我國信託會社の經營を論ず（銀行論叢 2-1/2） 大 13
同 信託預金問題解決策（大阪銀行通信錄 352） 昭 1
伴緑人 生命保險信託に於ける稅の時事問題—信託法理の根本に觸れつゝ（銀行研究 21-2） 昭 6
同 信託の種類の轉換—生保信託引受案の一考察（信託協會會報 5-4/5） 昭 6
同 信託業の轉換方向に就ての一暗示—有價證券信託の企業性に觸れて（銀行研究 23-6） 昭 7
同 信託の種類の連繫—不動產信託に於ける敷金の扱方（信託協會會報 6-2） 昭 7
同 信託財產分別管理原則の誤解を排す〔運用國債信託の合同運用に對する法律解釋〕（銀行研究 24-3） 昭 8
同 不動產名義信託の適法性—その必然性の考察に立ちて（信託協會會報 7-1/2） 昭 8
同 運用國債信託の利益配分計算—貸付信託に於ける積數法の吟味（信託協會會報 7-3） 昭 8
同 金錢信託の利益配分計算—吳博士の新提案を疑ふ（信託協會會報 7-5） 昭 8
同 「他人資本」としての金錢信託—信託會社分課の基準等を明にするために（金融三層 5-7） 昭 9
同 他人資本としての金錢信託—信託會社分課の基準等を明にするために（信託協會會報 8-3） 昭 9
土井一德 大阪市に於ける信託業の發達（立命館學叢 1-10; 2-1） 昭 5
遠藤丈次郎 我國の保險信託に就て（金融三層 4-4） 昭 8
榎潤 表示有價證券信託雜觀（銀行論叢 15-1） 昭 5
*銀行研究社 銀行信託講座 12 卷（志立鐵次郎・青木徹二監修）東京 斯文書院 昭 4/6
*同 信託關係法令集 東京 文雅堂 大 14 413 頁 菊
濱田德海 信託と其の稅制（稅 11-9/12; 12-1/9） 昭 8/9
原田宗藏 信託に關する登錄稅及登記制度問題（稅 5-4） 昭 2
同 信託に依る不動產移轉の登記に對する登錄稅課否の區分問題 附：其相續稅及所得稅關係（信託協會會報 4-4） 昭 5
同 不動產の信託に因る租稅關係の展望（信託協會會報 8-1/2, 4） 昭 9

橋本俊夫 銀行預金偏在を信託財產及生保契約の偏在と比較檢討す（金融三屆 6-5） 昭 10

林繁藏 朝鮮信託業令と朝鮮無盡業令の改正に就て（朝鮮 194） 昭 6

平井泰太郎 會計檢査業務開始に伴ふ信託會社の性質の變更（法律春秋 5-7） 昭 5

堀江歸一 時勢の進歩に鑑みよ〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6） 昭 1

細矢祐治 信託會社と保證業務（商業及經濟研究 14） 大 8

*同 本邦信託論 東京 寶文館 大 11 717 頁 菊

同 銀行預金と信託預金（信託 4-3） 大 11

同 信託業法施行細則管見（法學協會雜誌 41-4/5） 大 12

同 信託と諸稅（會計 13-3） 大 12

同 信託財產に屬する金錢の管理法私見（信託 5-1） 大 12

同 新陣容を整へたる本邦信託第一年初感（信託 5-1） 大 12

同 信託業經營に關する重要諸點（銀行研究 7-2/4, 6） 大 13

同 金錢信託概論（銀行研究 8-1/3） 大 14

同 一般金融經濟と金錢信託政策（銀行研究 8-3） 大 14

同 金錢信託最短期間の延長と其影響（銀行研究 8-4） 大 14

同 金錢信託經營の重要諸點（銀行研究 9-4/5） 大 14

同 我國信託會社と會計監査業務（會計 17-6；18-1） 大 14/昭 1

*同 本邦信託會社論 3 版 東京 文雅堂 昭 1 602 頁 菊

同 金錢信託及定期預金の法律觀（銀行研究 10-6） 昭 1

同 金錢信託と定期預金（銀行研究 10-5/7；11-1/3） 昭 1

同 普通銀行改善策と信託業の兼營問題（銀行研究 11-6） 昭 1

同 本邦信託會社と其活動の狀勢（インヴェストメント 4-5） 昭 1

同 兩業の兼營を排斥する〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6） 昭 1

同 信託稅制概論（會計 18-4/6） 昭 1

同 銀行の信託業兼營是非論（銀行論叢 8-3/4） 昭 2

細矢祐治 本邦と英米信託業の比較研究（財政經濟時報 15-5） 昭 3

同 本邦信託會社運動と其活動狀勢（法學新報 39-2） 昭 4

同 信託業法改正の意義及効果（法學新報 39-9） 昭 4

同 擔保附社債信託と其の事業（明大商學論叢 8-1/3） 昭 5

同 信託制度改善諸議設論（明大商學論叢 8-5/6） 昭 5

同 我國信託業の推移と將來の展望（金融三屆 2-4/5） 昭 6

同 金錢の信託に就て（明大商學論叢 9-4） 昭 6

同 金錢債權の信託（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

同 金錢信託（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

同 金錢信託以外の金錢の信託（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

同 信託預金（經濟學辭典 III 卷 1 頁） 昭 6

同 證券信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁） 昭 6

同 朝鮮信託業及信託會社（明大商學論叢 11-5；12-1） 昭 7

同 本邦信託會社の現勢（明大商學論叢 12-4） 昭 7

同 社債金融と擔保附社債信託法の改正（明大商學論叢 14-2/3） 昭 8

同 受益權擔保貸付の法律問題（銀行研究 25-2） 昭 8

同 金錢債權信託（金融大辭典 I 卷 1頁） 昭 9

*鳳 聚 會 本邦金融界に於ける信託會社の地位を論ず，我國に於ける各種物價指數の比較研究 昭 2 277 頁

深澤新一郎 朝鮮民事令の內容となりたる信託法に關して（朝鮮 194） 昭 6

古山島藏 信託財產に屬する金錢の管理（信託 5-3） 大 12

藤原泰 信託會社の定期預金侵略の範圍（銀行研究 11-3） 昭 1

同 我國に於ける金錢信託の運用（銀行研究 18-3） 昭 5

同 金錢信託勘定—銀行會計上に於ける金錢の信託に屬する勘定科目について（銀行論叢 15-6） 昭 5

同 貸付信託（經濟學辭典 I 卷 1 頁） 昭 5

藤原泰 本邦信託界の近況（企業經營 2-3） 昭 5

同 證券市場に於ける金錢信託の地位—向井鹿松教授の論稿に關聯して—（企業經營 2-4） 昭 5

同 銀行貸借對照表上の金錢信託（大阪銀行通信錄 400） 昭 5

同 標準貸借對照表と金錢信託の流動性（企業經營 4-1） 昭 6

同 營業報告書と金錢信託勘定（銀行研究 20-1） 昭 6

同 銀行信託會社統一論（銀行研究 21-4） 昭 6

同 生命保險信託の開拓方策（經濟時報 3-3） 昭 6

同 銀行の金錢信託（大阪銀行通信錄 403） 昭 6

同 信託事業の現狀は如何にあるか（財政經濟時報 18-8） 昭 6

同 保險信託引受申合と財源附保險信託（銀行研究 22-2/3） 昭 7

同 有價證券信託（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

同 劃一的營業信託政策の修正（銀行研究 25-2） 昭 8

同 地方信託政策の樹立（銀行研究 25-5） 昭 8

同 我が國に於ける不動產信託の非發展性（經濟時報 5-5） 昭 8

同 朝鮮營業信託政策の特異性（大阪商大經濟研究年報 3） 昭 8

同 金錢信託政策の純化（銀行研究 26-5） 昭 9

同 信託企業の集中的獨占性と中小信託會社の對策（銀行研究 27-2） 昭 9

同 地方信託會社の非發展的前途と其の對策（銀行研究 27-5） 昭 9

同 朝鮮信託企業の特異的發展（信託協會會報 8-4） 昭 9

同 信託會社による企業會計監査法定の問題（信託協會會報 9-4） 昭 10

富士澤二郎 實務上より觀たる金錢信託引受の限界（信託協會會報 8-1） 昭 9

池田了實 金融資本の展開と信託會社の發展相（銀行研究 15-6） 昭 3

同 信託企業の特質と其發展性（銀行研究 20-6） 昭 6

同 生命保險信託の新興運動（大阪銀行通信錄 407） 昭 6

同 信託經營政策の轉向（銀行研究 26-2） 昭 9

同 證券投資偏向と其吟味—信託經營の一斷面（信託協會會報 9-2） 昭 10

生田定之 金錢信託と銀行預金（エコノミスト 4-22） 昭 1

今村幸男 信託業務の現狀に就て（エコノミスト 7-22） 昭 4

井上元 信託制度改善案に就て（インヴェストメント 7-2） 昭 3

同 信託會社の公債引受參加（インヴェストメント 7-5） 昭 3

入江眞太郎 擔保附社債信託法上の信託を論ず（法學志林 28-11） 昭 1

同 判例より見たる信託法規（信託協會會報 7-6） 昭 8

色川俊太郎 投資難と信託業（ダイヤモンド 19-20） 昭 6

板橋菊松 擔保附社債信託法の缺陷と其實例（法律經濟時潮 16） 昭 1

同 通俗擔保附社債信託法釋義（信託と證券 1-1/5） 昭 4

*同 擔保付社債信託法釋義 東京 信託と證券社 昭 5

同 社債界の改善を妨げる受託會社の信託違反行爲（ダイヤモンド 21-18） 昭 8

同 受託會社の代表者か普通債券者の代表者か（ダイヤモンド 21-20） 昭 8

神戸正雄 信託會社と銀行との爭（時事經濟問題 28） 大 13

同 金錢信託利用範圍の擴張（時事經濟問題 30） 大 14

同 信託期間の延長（時事經濟問題 31） 大 14

同 地方的信託計畫（時事經濟問題 36） 大 14

同 信託會社支店の許否（時事經濟問題 45） 昭 1

同 擔保附社債信託の一問題（時事經濟問題 51） 昭 1

同 普通銀行と信託會社との爭（時事經濟問題 53） 昭 1

同 信託に於ける若干問題（時事經濟問題 57） 昭 2

同 信託會社の東京市債引受（時事經濟問題 65） 昭 2

同 昨年中の投資と信託の現狀（時事經濟問題 68） 昭 3

同 銀行及信託の集中（時事經濟問題 76） 昭 3

同 金錢信託の改善（時事經濟問題 78） 昭 4

同 銀行信託及保險に於ける集中傾向（時事經濟問題 79） 昭 4

神戸正雄 信託の集中と運用難（時事經濟問題 85）昭 4

同 銀行信託及郵貯の狀勢（時事經濟問題 88）昭 4

金光庸夫 限月の復舊と信託業法の改正（信託と證券 1-3）昭 4

加藤小太郎 信託業者と工業者（財界要報 113）昭 7

*勝田貞次 信託法規 大 13

河村憲一 金錢信託の收益と其の課稅（インヴェストメント 5-3）昭 2

河村清 特定信託に關する二三の問題（大阪銀行通信錄 434/35）昭 8

同 信託勘定と電話加入の擔保（大阪銀行通信錄 446）昭 9

河村東洋 信託財產表示に關する判例（山口高商調査課時報 3-1）昭 6

川崎貞明 保險信託の發達に就ての根本問題（信託協會會報 3-4）昭 4

北崎進 信託課稅制度に關する若干の問題（信託協會會報 6-6）昭 7

小林儀三郎 新年の財界と信託業の前途（銀行論叢 24-1）昭 10

小林俊輔 銀行の信託業務兼營論を支持す（銀行研究 12-3）昭 2

小林德三郎 不動產信託に關聯する營造物の使用と其使用料の處理に就て（銀行論叢 18-2, 5）昭 7

同 不動產信託に於ける親權者の地位（大阪銀行通信錄 428）昭 8

小平房吉 信託と銀行の分業（エコノミスト 4-22）昭 1

小西三郎 信託法に所謂信託財產と營業信託に於ける營業の觀察（銀行研究 21-3）昭 6

同 貸付信託と所謂運用の限定と第二種所得稅（稅 11-11/12；12-2, 4）昭 8

同 不動產信託に於ける營造物使用料處理に就て（稅 12-8/11）昭 9

兒島高信 朝鮮に於ける信託無盡の二業令に就て（金融組合 36/40）昭 6

倉橋駿一 合同運用會計の合理化に就て—上—米國信託會社合同運用會計との比較研究（信託協會會報 5-4）昭 6

吳文炳 信託業法の實施と現存信託業問題（銀行研究 3-2）大 11

同 信託會社に關する日米の比較（銀行研究 3-4）大 11

*同 日本信託會社論〔正篇，續篇〕東京 巖松堂 大 12 287 頁，232 頁 菊

同 經濟的に觀たる金錢信託の期間延長に的する合理的基礎（金融研究 3-1）昭 1

吳文炳 獨特の使命を有する別個の機關〔銀行業と信託業との兼營問題〕（インヴェストメント 4-6）昭 1

同 信託業に關する日米法制の比較（インヴェストメント 5-1）昭 2

同 金錢信託證書を擔保とする貸付（インヴェストメント 5-3）昭 2

同 有價證券信託に關する諸問題（東洋經濟新報 1250）昭 2

同 信託會社に對する一部者間の批難に就て（財政經濟時報 15-5）昭 3

同 本年信託業の動向（エコノミスト 11-5）昭 8

*栗栖趙夫 本邦信託法規及信託會社發達史 東京 文雅堂 大 12 223 頁

同 信託會社の免許と其の申請（銀行研究 7-2）大 13

同 擔保付社債總額引受者としての外國會社（銀行研究 7-6）大 13

同 擔保附社債信託法に於ける外國信託會社（銀行研究 8-2）大 14

同 無記名社債と信託法（銀行研究 9-6）大 14

同 擔保附社債と擔保權の實行（インヴェストメント 1-4/5）大 14

*同 擔保附社債信託法論 東京 文雅堂 昭 3 295 頁 菊

*同 擔保附社債信託法〔現代法學全集—日本評論社 23 の內 55 頁〕昭 3

同 擔保附社債信託法の不備に就ての小見（法學研究 7-3）昭 3

同 擔保附社債信託法第八十八條に就て（インヴェストメント 7-6）昭 3

同 擔保附社債信託法の改正に就て（インヴェストメント 8-4）昭 3

同 擔保附社債信託法上の受益權に就てインヴェストメント 8-5）昭 3

同 擔保附社債受託銀行の休業に就て銀行研究 14-4）昭 3

同 擔保附社債信託法の研究（法學研究 8-4；9-1/2）昭 4/5

*同 社債信託法原論 東京 日本評論社 昭 5 462 頁 菊

同 擔保附社債信託法に關する三判例（法律時報 2-12）昭 5

同 擔保附社債信託法制定の由來（金融三層 2-6）昭 6

同 擔保附社債信託法改正案に就て（法律新聞 3530）昭 7

同 オープン・エンド・モアゲージ制度と擔保附社債信託法の改正（法律時報 4-12）昭 7

栗栖趙夫 擔保附社債信託法中改正法に就て（銀行研究 24-4）昭 8

同 擔保附社債信託法による社債權者集會の諸問題（銀行研究 25-1）昭 8

同 擔保附社債信託法中改正法（法學新報 43-6）昭 8

同 改正擔保附社債信託法と社債の分割發行制定（東洋經濟新報 1548）昭 8

*同 擔保附社債信託法の研究 東京 文雅堂 昭 9 664 頁 菊

緒論 總論 本論 1. 社債論 2. 社債權者集會論 3. 擔保論 4. 信託契約論 5. 信託論 6. 信託會社論 7. 社債の總額を引受けたる第三者 8. 罰則 9. 判例 結論 餘論 擔保附社債信託法中改正法

同 擔保附社債信託法は如何に改正さるべきか（ダイヤモンド 22-14）昭 9

黒田英雄 信託業法に就て（財政經濟時報 9-4）大 11

松本安正 我國信託事業經營の將來（財政經濟時報 5-5）昭 3

松永安左衞門 擔保附社債信託法の改正（エコノミスト 7-6）昭 4

松崎壽 預金協定違反と金錢信託（銀行研究 8-3）大 14

同 銀行と信託會社との限界（銀行研究 11-1）昭 1

三淵忠彥 貸付信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

*三井信託株式會社 生命保險信託契約書樣式 昭 6

森下利雄 不動產信託の現在及將來に就て（銀行研究 13-5）昭 2

村井道雄 行詰れる我國の信託業（金融三層 4-9）昭 8

村田大次郎 金錢信託八面觀（金融三層 2-8）昭 6

村田仲雄 信託業者の對生保業者接近（金融三層 6-2）昭 10

中村文治郎 信託財產の偏在と其膨脹割合（金融三層 3-7）昭 7

*中根不羈雄 指定金錢信託約款の研究 信託攻究會 昭 4 277 頁〔非賣〕

同 指定金錢信託の元本補塡に利益補足の特約（銀行研究 16-1）昭 4

同 金錢信託運用方法の指定（銀行研究 16-5）昭 4

同 混合信託に關する若干問題（銀行研究 19-3）昭 5

同 金錢信託の法律的構成（銀行研究 19-4）昭 5

同 保險信託の進展（銀行研究 21-1）昭 6

同 信託會社と貯蓄銀行並に同施行細則の改正（金融三層 2-8）昭 6

中根不羈雄 指定金錢信託約款集（商學論叢 3）昭 6

同 保險信託協定（商學論叢 4）昭 7

同 有價證券信託約款集（商學論叢 5）昭 7

同 有價證券信託の報酬（商學論叢 6）昭 7

同 信託會社の受益權擔保貸付の當否（商學論叢 9）昭 8

同 元本補塡の特約（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 金錢信託（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

同 乙種普通金錢信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 乙種指定金錢信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 運用方法の特定せる金錢信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 一任運用金錢信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 金錢信託以外の金錢の信託（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

同 運用方法の指定ある金錢信託（金融大辭典 I 卷 1頁）昭 9

同 運用方法の特定及指定なき金錢信託（金融大辭典 I 卷 1頁）昭 9

同 運用方法の特定せざる金錢信託（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 甲種普通金錢信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 甲種指定金錢信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 信託預金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 信託預金の預定利率（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 指定金錢信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 特定金錢信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 特定運用金錢信託（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 朝鮮の信託會社（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同 普通金錢信託（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

同 無指定金錢信託（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

同 信託會社は信託資金を以て固有勘定の有價證券を買ひ得るや（信託協會會報 8-3）昭 9

中根不羈雄 投托と信託 (信託協會會報 8-5) 昭 9

同 信託會社は固定期定の貸付を信託勘定に振替へ得るや (信託協會會報 8-6) 昭 9

同 大藏大臣の許可による信託財產の固有化 (銀行研究 28-6) 昭 10

同 信託業法第十條研究 (信託協會會報 9-2) 昭 10

中西次郎 金錢信託契約書覺え書 (信託協會會報 9-4/5) 昭 10

中野安一 大小信託會社の信託財產運用上の相違點 (金融三層 3-11) 昭 7

同 信託財產の增加と銀行預金利率 (金融三層 6-3) 昭 10

南鄕幸彥 不動產信託に於ける登錄稅及び地方稅に就て (銀行論叢 18-1) 昭 7

同 不動產信託實務概說 (銀行論叢 21-3, 5/6; 22-1, 4/6) 昭 8/9

奈良梵夫 信託に於ける相續稅關係 (稅 11-1/2) 昭 8

名和翠 金錢信託期間延長論 (金融研究 2-2) 大 14

*日本銀行調查局 本邦信託會社調 大 14 菊

*日本興業銀行調查課 信託事業調查報告書 昭 5

西田白之助 我が國信託會社の金融的職能を論ず (中央銀行會通信錄 351/53) 昭 7

西垣實 信託及信託會社概要 (中央銀行會通信錄 276/78, 283) 昭 1

西家末男 證券信託に就て (銀行論叢 10-3/6; 11-1/6) 昭 3

*野守廣 我邦に於ける信託事業の現狀 [經營學論集一同文館 1 の內 26 頁] 昭 2

同 信託法令適用上の疑義 (法學協會雜誌 44-12; 45-1) 昭 1/2

同 有價證券の意義と有價證券信託の範圍 (インヴェストメント 5-4) 昭 2

同 信託業の發達經路と我信託業 (財政經濟時報 15-5) 昭 3

同 信託會社の遺言執行と會計の檢查 (信託と證券 1-6) 昭 4

*王金海 金錢信託 東京 同文館 昭 3 277 頁 菊

同 金錢信託と配當問題 (財政經濟時報 16-7) 昭 4

*同 有價證券信託論 東京 東京堂 昭 5 276 頁 菊

1. 有價證券信託の將來 2. 有價證券信託の意義と其機能 3. 有價證券信託の種類 4. 管理有價證券信託 5. 擔保運用有價證券信託 6. 貸付運用有價證券信託 7. 處分有價證券信託 8. 株券信託 9. 株券と信託法第十三條 10. 株券信託と議決權 11. 議決權信託 (Voting Trust) 12. 有價證券信託の登錄及表示 13. 元本と收益の給付 14. 有價證券信託と分別管理

王金海 株券と信託法第十三條 (商事法研究 4-1) 昭 5

*同 信託業法論 東京 王家 昭 6 408 頁 菊 [參照 目次: XIX]

同 信託と登錄稅 (銀行研究 20-4) 昭 6

同 不動產信託と登錄稅 (會計 28-4) 昭 6

同 信託會社業務報告書論 (會計 29-2) 昭 6

同 信託業務種別撤廢の提唱 (金融三層 2-6) 昭 6

同 信託會社の業務報告書に關する二三の考察 (信託協會會報 5-1) 昭 6

同 朝鮮信託業令管見 (信託協會會報 5-3) 昭 6

同 信託財產と法律第十六號 (金融三層 3-9) 昭 7

同 地上權信託 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 土地賃借權信託 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 不動產信託 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

同 有價證券信託 (金融大辭典 III 卷 14 頁) 昭 9

岡田純夫 「銀行の信託業兼營問題」の出所 (銀行研究 12-2) 昭 2

同 我國の信託事業と證券金融一取引所取引に對する證券の運用 (信託協會會報 6-4) 昭 7

大久保偵次 信託業に就ての所感 (信託協會會報 5-臨) 昭 6

奧野健一 擔保附社債信託法中改正法律の施行に伴ふ新法令の紹介說明 (法曹會雜誌 11-8) 昭 8

*大藏省理財局 銀行及擔保附社債信託事業報告 [年刊]

*大阪銀行集會所 信託法規 大阪 同所 大 12 131 頁 四六

*大阪市役所 大阪市に於ける信託業の發達 昭 5

大塚良治 信託合同運用金に對する一考察 (銀行研究 11-5) 昭 1

同 本邦信託業の現在及將來 (大阪銀行通信錄 346) 昭 1

同 二次的信託金錢の處理に就て (銀行研究 12-1) 昭 2

齋藤惣三 保險信託實務誌 (銀行研究 14-7/8; 15-1/2) 昭 3

佐々木勇之助 銀行業と信託業との兼營問題に就て (龍門雜誌 460) 昭 2

妹尾一雄 金錢信託の話 (銀行判例 10-1/2, 4/6; 11-1, 3) 昭 8/9

志賀京一 銀行の信託業兼營問題を論ず (銀行論叢 7-6) 昭 1

*信託會社協會 信託業法に關する陳情 東京 同會 大 11 50 頁 [非賣]

*信託協會 改正擔保附社債信託法 昭 8

新庄博 白井規矩雄氏著: 日本信託業論 (國民經濟雜誌 58-5) 昭 10

白井規矩雄 數字から見た我國信託會社の一發展相 (金融三層 5-4/5) 昭 9

*同 日本信託業論—國民經濟上より觀たる日本信託業 東京 森山書店 昭 10 246 頁 菊

管原通敬 信託業と營業稅 (信託 4-1) 大 11

同 信託利益と所得稅 (信託 4-4) 大 11

同 信託法制の成立と信託業 (大阪銀行通信錄 309) 大 12

菅谷幸一郎 信託に關する計算及業務方法に就て (信託協會會報 2-4 附錄) 昭 3

鈴木武治 擔保附社債信託に於ける擔保の變更 (銀行研究 6-6) 大 13

田井龍彥 金錢信託運用の二大潮流 (金融三層 2-11) 昭 6

高橋直溫 擔保附社債信託法第五十八條論 (信託協會會報 7-5) 昭 8

高山圭二 日本に於ける信託業の沿革に就て (大阪史談會報 6)

武田貞之助 信託預金と銀行定期預金との差異を論ず (法律新聞 2358/59) 大 14

田中吉備彥 特殊信託契約私案 (信託協會會報 8-4) 昭 9

谷田三郎 信託會社に對する司法部の希望 (信託協會會報 5-3) 昭 6

谷多喜磨 朝鮮信託會社の設立に就いて (朝鮮 214) 昭 8

豐浦與七 信託預金と定期預金 (法學論叢 13-1) 大 14

戶澤芳樹 信託業の公益性と事業改正 (エコノミスト 7-19) 昭 4

同 信託會社が遺言執行と會計檢查を開始 (經濟知識 1-4) 昭 4

同 本邦信託業の趨勢 (財政經濟時報 18-5) 昭 6

同 信託業 (我國の) (金融大辭典 II 卷 8 頁) 昭 9

塚越浩一 預金利下げに依る信託財產の膨脹 (金融三層 2-12) 昭 6

綱本鶴吉 有價證券の信託財產公示に就て (信託と證券 2-4) 昭 4

*朝鮮銀行調查課 朝鮮信託の將來と今後の金融動向 昭 8 [昭 8 調查 39]

上山英三 擔保附社債信託法中改正法律 (法律時報 5-5) 昭 8

同 擔保附社債信託法の改正に就て (信託協會會報 7-2) 昭 8

同 信託會社及銀行の資產構成に就て [講演] (信託協會會報 9-臨時號) 昭 10

和田正彥 信託業務の取扱に就て (信託協會會報 4-1) 昭 5

渡邊辰雄 現今稅法に現はれたる信託關係稅法 (稅 11-10) 昭 8

渡邊善藏 信託の租稅 (會計 14-2) 大 13

同 信託に關する租稅の話 (信託協會會報 5—臨) 昭 6

矢部俊雄 信託と所得稅 (會計 3-4/5) 大 12

山本吉之 信託制度の改善に就て (財政經濟時報 15-5) 昭 3

山本淳一 擔保附社債信託法の改正と社債金融上の效果 (法律新聞 3487) 昭 7

*安田保善社調查課 我國信託會社概覽 昭 5

*同 信託會社の銀行に及ぼす影響 昭 5

米山梅吉 信託會社の興起と金利の將來 (エコノミスト 2-7) 大 13

同 信託事業の發展と其將來 (エコノミスト 6-1) 昭 3

同 守成時代に入つた信託業 (信託と證券 1-5) 昭 4

同 信託業發達史 (經濟知識 11-6) 昭 9

吉田眞一 信託事業の使命と發展策 (エコノミスト 5-1) 昭 2

吉田善次 我國信託業の現在と今後の行き方 (金融三層 4-7) 昭 8

善積道三 經濟上より見たる信託制度と我國信託會社の金融的職能 (產業研究 4) 昭 5

遊佐慶夫 兩業者間に紛議を生ずる現行制度 [銀行業と信託業との兼營問題] (インヴェストメント 4-6) 昭 1

銀行並に信託會社に對する政策 (エコノミスト 3-2) 大 14

銀行の信託兼營問題 (ダイヤモンド 14-33) 昭 1

銀行の行詰りと多事なる信託會社の前途 (信託 5-2) 大 12
銀行及信託會社の自己株式取得 (銀行判例 11-6/7) 昭 9
銀行, 信託, 生保に於ける經營効率の低下 (保險知識 3-4) 昭 10
銀行と信託會社は競爭的の金融機關にあらず (信託 5-3) 大 12
保險信託引受に關する申合 (信託協會會報 5-4) 昭 6
本邦信託會社の過去と現在 (金融知識 5-1) 昭 10
各信託會社の營業信託種類 (金融三層 3-12) 昭 7
關西銀行信託會社の研究 (東洋經濟新報 1425) 昭 5
金錢信託配當利下と困難になつた信託會社の經營 (金融知識 4-1) 昭 9
金錢信託による受益者配當率の話 (金融知識 6-6) 昭 10
金錢信託の話 (銀行判例 10-3) 昭 8
金錢信託と法定投資制限 〔M. K. 生〕 (インヴェストメント 6-4) 昭 2
公債市場維持策としての貯蓄銀行信託會社の保有限度擴張 (金融知識 3-4) 昭 9
日本信託公司の沿革及其現狀 (銀行週報 192) 民 10
恩人遺族の生活の安穩を圖り其の子女に結婚資金を供與せんとする信託實例 (信託協會會報 6-1) 昭 7
資金は如何に運用されて居るか—信託會社資金運用の傾向 (財政經濟時報 17-10) 昭 5
信託部門に對する銀行檢査官の着目 (信託協會會報 5-5) 昭 6
信託業務係の地方進出と其の將來 (信託協會會報 5-1) 昭 6
信託業と營業稅 〔Y 生〕 (臺灣稅務月報 280) 昭 8
信託法と大連の信託會社 (滿洲經濟時報 5) 大 11
信託會社の放資難 (銀行通信錄 542) 昭 6
信託會社の勢力增大と其使命 (東洋經濟新報 1302) 昭 3
信託會社資金運用の傾向 (財政經濟時報 17-10) 昭 5
信託關係法規 〔金融關係法令集の內〕 (金融大辭典 III 卷 22 頁) 昭 9
信託勘定から見た金融界 (ダイヤモンド 18-29) 昭 5
信託課稅に關する最近の判決例 (金融三層 4-7) 昭 8
信託決算の見方 (經濟知識 4-6) 昭 5
信託期間の延長 (信託と證券 2-4) 昭 4
信託に關する若干の問題 (銀行判例 3-4) 昭 5
信託預金の激增と銀行 (ダイヤモンド 14-20) 昭 1
信託受益權の質入—信託會社の自己發行信託證書に對する質權取得は有效なりや (銀行判例 10-1) 昭 8
證券投資から見た保險と信託 (エコノミスト 12-22) 昭 9
證券投資と保險信託 (エコノミスト 12-22) 昭 9
主要銀行信託會社の沿革 (東洋經濟新報 1846) 昭 10
擔保附社債信託法中改正法律 (信託協會會報 7-2) 昭 8
特定信託に據る自己株式の取得 (銀行判例 13-6) 昭 10
投資家の注意すべき金錢信託 (インヴェストメント 4-5) 昭 1
我が國信託業の業況 (保險及金融 12-4) 昭 10
受託金の返還義務 〔判批〕 (銀行判例 13-7) 昭 10

アメリカ合衆國

青木 貞夫 米國に於ける信託勸誘の實際 (金融三層 3-12) 昭 7
遠藤 丈夫郎 米國に於ける生前信託 (金融三層 4-1) 昭 8
服部 文一 米國信託會社に於ける受託資金の運用問題 (銀行研究 19-6) 昭 5
早川 忠吉 譯 個人信託業務手數料に關する米國全土に亘る調査並其比較 (信託協會會報 4-4) 昭 5
平賀 重治 米國の公共信託に就て (金融三層 5-8) 昭 9
同 米國に於ける信託問題解決の過程 (金融三層 6-4) 昭 10
賣來 市松 米國に於ける個人信託に就て (財政經濟時報 7-5) 大 9
細矢 祐治 本邦と英米信託業の比較研究 (財政經濟時報 15-5) 昭 3
藤原 泰 米國に於ける一律信託の發生 〔紐育信託會社の新しき企てに就て〕 (經濟時報 1-10) 昭 5
同 米國信託界の新機軸 (經濟時報 2-4) 昭 5
板橋 菊松 英米に於ける信託業 (信託と證券 1-1) 昭 4
岩田 進三 米國の信託投資委員會制度 (銀行研究 17-2) 昭 4
*川崎 貞明 米國に於ける信託業務 大阪 昭 1
*同 米國信託會社の組織と經營 東京 丸善 昭 3 477 頁 菊
1. 米國信託會社の沿革及び大勢 2. 米國信託會社の業務 3. 米國信託會社の組織 4. 個人信託課 5. 法人信託課 6. 證券部 7. 不動產擔保貸付部 8. 貸金庫兼に權利保險業務 9. 信託會社の手數料 10. 信託會社と保險會社との接近
*キルクブライド, エフ・ビー; スターレット, J. E.; ウイリス, H. P. 米國信託會社總論 高塚慶助 譯 未來社 昭 1 467 頁 菊

今野 源八郎 アメリカ銀行資本の一傾向—信託業擔當者としての國立銀行の發展 (經濟學論集 3-2) 昭 8
倉橋 駿一 合同運用會計の合理化に就て—米國信託會社合同運用會計との比較研究 (信託協會會報 5-4; 6-1) 昭 6/7
*吳 文炳 アメリカに於ける信託會社の研究 大 8
*同 米國に於ける信託會社に關する研究 東京 白水社 大 10 229 頁 菊
同 信託會社に關する日米の比較 (銀行研究 3-4) 大 11
*同 米國信託業十二講 東京 叢文閣 昭 1 106 頁 菊
同 信託業に關する日米法制の比較 (インヴェストメント 5-1) 昭 2
同 米合衆國の營業信託に於ける金錢信託本質の推移並に其發達階梯を論ず (信託協會會報 4-3/4) 昭 5
同 米國に於ける生命保險信託に就て (信託協會會報 5-4) 昭 6
同 保險信託を中心とせる米國生保會社と信託會社の機能的關係 (保險評論 26-4) 昭 8
正岡 勝男 米國に於ける信託會社 (銀行論叢 1-4) 大 12
*松村 光三 米國に於ける信託會社 〔不詳〕
永見 重平 米國に於ける信託業者と生命保險業者との離合 (金融三層 5-12) 昭 9
中野 安一 米國信託界に於ける國立銀行の地位 (金融三層 4-5) 昭 8
同 米國の國立銀行信託部 (金融三層 5-6) 昭 9
*日本興業銀行調査課 米國信託會社業務調査報告書 昭 5
西田 駒三 米國社債信託に於ける信託證書 (銀行論叢 9-6) 昭 2
同 米國銀行及信託會社に於ける擔保附社債信託の引受 (銀行論叢 10-1) 昭 3
同 米國に於ける擔保附社債の擔保物件の管理 (銀行論叢 10-2/3) 昭 3
野村 信太郎 米國に於ける信託宣傳の管見 (金融三層 5-10) 昭 9
能仁 充乎 信託部に對する會計監査 (信託協會會報 8-3) 昭 9
同 信託事業とニュー・ディール (信託協會會報 8-4) 昭 9
奥田 勳 米國に於ける會社受託者の發展と其將來 (銀行研究 11-2) 昭 1
*ベリン, イー・テイ 米國信託會社發達史 河田正義 譯 大 11 237 頁
坂本 芳治 米國信託會社の營業報告を讀みて (信託 4-4) 大 11
澤野 三郎 米國信託發展に關する一考察 (信託と證券 2-6) 昭 4
同 米國に於ける消費者信託に就て (信託と證券 1-6; 2-12) 昭 4/5
*信託協會 紐育ガランティー信託會社記錄簿諸樣式 大 11
孫 開鎬 美國信託會計制度 (錢業月報 12-12) 民 21
鈴木 武治 最近の米國信託會社 (銀行研究 10-5/7) 昭 1
同 米國信託會社に於ける民事信託實務 (銀行研究 11-2/6; 12-1/2) 昭 1/2
同 米國信託會社の信託報酬 (銀行研究 12-4) 昭 2
同 ギャランテイ信託會社に於ける投資部の作用 (銀行研究 13-4) 昭 2
*同 米國の個人信託實務 東京 文雅堂 昭 3 343 頁 四六
朱 斯煌 中美信託事業之研究 (銀行週報 719) 民 20
武田 米造 米國の生前信託勃興の理由 (金融三層 4-10) 昭 8
武谷 成直 米國信託會社の特徵に就て (銀行研究 12-3) 昭 2
坪内 長一 米國に於ける信託の民衆化 (信託と證券 1-3) 昭 4
和賀 賢治郎 米國に於ける生命保險信託に就て (經濟論叢 30-2) 昭 5
山口 半兵衞 紐育ガランチー信託會社業務一斑 (大阪銀行通信錄 331) 大 14
*安田信託株式會社 米國に於ける信託業務 (川崎貞明報告) 昭 1 418 頁
吉田 善次 不況五ケ年間に於ける米國國立銀行信託部 (金融三層 6-12) 昭 10
*財政經濟時報社 米國に於ける信託會社に就て (賣來市松) 〔經濟講演集 1 の內〕 大 11

米國に於ける銀行及信託會社の宣傳方法 (金融知識 5-6) 昭 10
米國信託界の信託資金合同運用 (金融三層 3-9) 昭 7
米國信託會社の手數料 (信託協會會報 1-2) 昭 2
米國信託會社の受託資金運用に就て (信託協會會報 2-1) 昭 3
米國信託協會に於けるアモーチゼーション (藤本アナリスト 4-6) 昭 5
注目すべき米國信託に於ける新しき試み (藤本アナリスト 4-5) 昭 5

ドイツ

青木徹二　有限責任組織の辯護士信託會社（法曹公論 **31**-10）昭 2

*ヒントナー，オットー　獨逸信託業概說 白井規矩雄譯補 東京 森山書店 昭 7 253 頁 菊

吳文炳　獨逸に於ける信託業の組織（信託協會會報 **2**-1/2）昭 3

串本友三郎　獨逸に於ける銀行と信託（大阪銀行通信錄 345/46）昭 1

增地庸治郎　ドイツの信託會社と會計士（會計 **17**-4）大 14

白井規矩雄　獨逸の信託會社の金融業的性質（金融三屆 **2**-9/10）昭 6

同　獨逸に於ける信託業の概念に就ての一考察（信託協會會報 **5**-3）昭 6

同　獨逸の信託會社の經費に關する研究（金融三屆 **3**-4/5）昭 7

武川鐵雄　獨逸の信託會社と其の業務範圍（信託と證券 **2**-3/4）昭 4

獨逸信託會社の業務範圍（信託協會會報 **1**-4）昭 2

經濟上より觀たる獨逸信託制度（信託協會會報 **2**-2）昭 3

イギリス

細矢祐治　本邦と英米信託業の比較研究（財政經濟時報 **15**-5）昭 3

板橋菊松　英米に於ける信託業（信託と證券 **1**-1）昭 4

栗栖赳夫　英國の社債信託制度（インヴェストメント **4**-6; **5**-1/4; **6**-1, 3/6; **7**-1/3）大 14/昭 3

南信好　英國に於ける信託會社の進歩（中央銀行會通信錄 267）大 14

中根不羈雄　スチブンソン：英國に於ける遺言執行者並に受託者の業務（信託協會會報 **5**-4; **6**-1/6）昭 6/7

同　英國信託業務論〔紹介〕（商學論叢 7）昭 8

スチヴンソン　English Excutor and Trustee Business 1930 中根不羈雄譯（信託協會會報 **6**-1）昭 7

*同　英國信託業務論 中根不羈雄譯 東京 大同書院 昭 10 431 頁 菊

武川鐵雄　英國に於ける信託實務と其の發展（信託協會會報 4-2）昭 5

田中吉備彥　譯 遺言の執行と英國信託會社一料率表及「家庭顧問辯護士との關係」（信託協會會報 **5**-1）昭 6

*豐浦與七　英國衡平法と信託制度 東京 大岡山書店 昭 2 679 頁 菊

インド

濱田德海　印度信託法概論（信託協會會報 9-4）昭 10

*花岡敏夫　印度信託法〔岡野敬次郎先生數授在職二十五年祝賀紀念商法論文選第一輯〕大 10

ニュージーランド

*藤原泰　新西蘭の官營信託〔大阪商科大學創立五十周年記念論文集一 ぐろりあ・そさえて の內 52 頁〕昭 5

オーストラリア

坂本芳治　濠洲信託會社の報告を讀みて（信託 **4**-1）大 11

支那

黃溯初　中國信託業之現在與將來（銀行週報 770）民 21

工藤幸劍　支那に於ける信託業の研究（拓殖文化 **15**-2）昭 10

李文杰　信託業與信託立法（銀行週報 850）民 23

*上海銀行週報社　信託業報研究 大 11

章乃器　承受業務與信託事業之前途（銀行週報 791）民 22

朱斯煌　中美信託事業之研究（銀行週報 719）民 20

陳明遠　我國之信託事業（東方雜誌 **32**-7）民 24

交通銀行開辦信託業務（銀行週報 **14**-13）民 19

上海交易所及信託事業的現勢（上海公論 **3**-10）大 10

上海の信託公司（上海 435）大 10

上海取引信託業一覽表（上海週報 504）大 10

2. 投資信託

a. 一　般

麻生祐治　投資信託再論（明大商學論叢 **19**-1）昭 10

ボーデン，アルバート・ジー　生命保險の投資信託奉仕（保險銀行通信 612/13）昭 6

*江口行雄　投資信託論—證券投資會社の研究 東京 森山書店 昭 7 476 頁 菊
1. 投資信託の概念 2. イギリスに於ける投資信託 3. アメリカに於ける投資信託 4. ヨーロッパ大陸に於ける投資信託 5. 投資信託の社會經濟的意義 6. 投資信託と我が國

同　投資信託（金融大辭典 II 卷 8 頁）昭 9

フアソ，ガエール　證券放資會社に就て（銀行通信錄 534/35）昭 5

林久吉　インヴェストメント・ツラストに就て（明大商學論叢 **6**-5/6）昭 4

細矢祐治　インヴェストメント・トラスト概論（會計 **30**-1/6）昭 6

同　投資信託再論（明大商學論叢 **18**-4/6; **19**-1）昭 10

藤原泰　投資信託の本質（商業及經濟研究 53）昭 4

同　投資信託に關する一新著（商業及經濟研究 54）昭 4

同　河津博士の投資會社論に關する疑義（商業及經濟研究 56）昭 4

井川忠雄　投資信託の話·（信託協會會報 **2**-4 附錄）昭 3

井上元　インヴェストメント・トラスト（インヴェストメント 8-1）昭 3

*石川忠治　投資信託要論 附：投資信託と英米の法規 東京 保險經濟社 昭 5 205 頁 四六

片山繁雄　旺盛な歐米の投資トラスト（エコノミスト **7**-20）昭 4

川上良兄　インヴェストメント・トラストの證券投資の原則概說（銀行論叢 **13**-2）昭 4

木村忠三　投資信託の意義と其發達（銀行研究 **23**-6）昭 7

倉橋駿一　投資信託と信託會社（金融三屆 **6**-9）昭 10

*吳文炳　投資信託の研究 東京 久我書房 昭 11 121 頁 菊

同　投資信託の目的と其の特徵（インヴェストメント **5**-2）昭 2

同　投資信託の本質に關する研究（信託協會會報 **2**-4）昭 3

同　投資信託に關する二良著（商學論叢 2）昭 6

*共保生命保險株式會社　生命保險の投資信託的機能 昭 6

三木純吉　固定投資信託の構造及價値（竹原經濟時報 49/52）昭 6

三木純吉　放資信託（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

水谷香　投資信託—インヴェストメント・トラスト（銀行論叢 **15**-2, 4; **16**-1, 4; **17**-5; **18**-3/4）昭 5/7

能仁充乎　投資信託の類別研究（信託協會會報 **7**-5）昭 8

栗皇譯　何謂投資信託（經濟週刊 47）民 20

島田德　投資信託に就て（財政經濟時報 **16**-3）昭 4

白井規矩雄　獨逸學者の投資信託經濟觀—サイシヤブ投資信託論研究の一節（信託協會會報 **6**-5）昭 7

白井芳太郎　投資信託の組織と經營（銀行研究 **15**-3）昭 3

*十龜盛次　投資信託に就て 東京 信託俱樂部 昭 2 105 頁 菊

鈴木保良　小投資家と投資會社（財政經濟時報 **16**-11）昭 4

山田武夫　投資會社の發展（銀行論叢 **7**-4）昭 1

*橫濱正金銀行調査課　The Investment Trust 昭 1 20 頁〔調査報告 60〕

投資信託業の發達及現況（大阪銀行通信錄 282/83）大 10

放資會社に就て（銀行通信錄 534）昭 5

投資信託に關する二三の考察〔F. O. 生〕（大阪銀行通信錄 384）昭 4

投資信託に於ける資金運用權の範圍（藤本アナリスト **4**-5）昭 5

投資信託の話（金融知識 **4**-6）昭 9

投資信託の諸形態（藤本アナリスト **4**-2）昭 5

投資トラスト會社の組織と經營（財政經濟時報 **17**-3）昭 5

投資トラスト又は證券投資會社に就て（財界研究 **7**-2）昭 4

投資トラストの二形態（財界研究 **5**-5）昭 3

b. 各　國　別

日　本

橋本良平　證券放資會社出現の機運（會計 **35**-2）昭 4

古屋美貞　日本に於ける投資信託の可能性（東洋經濟新報 1592）昭 9

藤原泰　投資信託移植の根據（銀行研究 **17**-3）昭 4

三木純吉 放資信託の移植に就て（竹原經濟時報 29）昭 4
同 再び放資信託の移植に就て（竹原經濟時報 35）昭 5

愛國投資會社の設立（大連商工月報 213）昭 8

アメリカ合衆國

朴孝參 米國に於ける投資信託の發展（銀行研究 **24**-3）昭 8
江口行雄 アメリカ投資信託の經營（彦根高商論叢 9）昭 6
同 アメリカ投資信託の史的發展（彦根高商論叢 10）昭 6
古屋美貞 米國投資信託の特質（同志社論叢 48）昭 10
藤原泰 米國に於ける投資信託の發展（銀行研究 **16**-6）昭 4
春日井薫 朴孝參：米國投資信託會社の法定組織（明大商學論叢 **14**-2/3）昭 8
同 朴孝參：米國に於ける投資信託の發展（明大商學論叢 **14**-4）昭 8
加藤小太郎 アメリカン・ファウンダース・グループ〔亞米利加投資信託團〕に就て（信託協會會報 4-3）昭 5
北村廣太郎 米國に於ける放資銀行（銀行論叢 **1**-6）大 12
熊田克郎 米國投資信託の發展に關する二三の問題（會計 **27**-3）昭 5
同 米國投資信託に於ける最近の構成的變革（會計 **31**-4）昭 7
吳文炳 米國の投資信託（インヴェストメント **3**-4, 6）昭 1
同 米國に於ける投資信託の現狀及批判（インヴェストメント **7**-2）昭 3
絲川光雄 米國投資信託最近の發展相（銀行論叢 **13**-6）昭 4
能仁夷乎 アメリカに於ける投資信託の概觀（信託協會會報 **7**-4）昭 8
*大阪商科大學銀行業務研究室 米國に於ける投資信託の發展（藤原泰）昭 5 76 頁 菊
巴里經濟研究會 英米佛に於けるインヴェストメント・トラスト（調査月報 **20**-2）昭 5
*ロビンソン，エランド・レックス 米國繁榮の基礎—投資信託 後藤勝三譯 2 版 東京 後藤勝三事務所 昭 4 122 頁 菊
同 英米に於ける投資トラスト（龍門雜誌 490）昭 4
白井規短雄 恐慌時に於ける英米の投資信託に關する若干の資料（信託協會會報 8-1）昭 9
*高平隆雄 英米の投資銀行と投資證券 東京 改造社 昭 4 282 頁 菊
坪內長一 投資トラスト會社の組織と經營（アメリカン・ファウンダース・グループ）（財政經濟時報 **17**-3）昭 5
渡邊鐵藏 米國の投資トラスト（經濟學論集 5-2）昭 1
同 米國の投資トラスト（商工月報 5-6）昭 4
吉海茂喜 英米の投資信託に就て（大阪銀行通信錄 381）昭 1

米國株式恐慌後に於ける投資信託政策（藤本アナリスト **4**-4）昭 5
米國に於けるインヴェストメント・トラスト（信託協會會報 **1**-1）昭 2
米國投資信託の所有證券の損失額（藤本アナリスト **4**-9）昭 5
英米に於ける投資トラストの發展（財界研究 **5**-6）昭 3
インヴェストメント・トラスト證券の試驗的上場規定に代る新規定草案に關する聲明書（調査彙報 43）昭 6
紐育株式取引所の固定型投資信託に關する規定（調査彙報 38）昭 6
紐育州當局に報告せられたる投資信託の業績（調査彙報 34）昭 5
投資信託とは何か—英米に於ける發達の歷史と內容（東洋經濟新報 1356）昭 4
我が財界の安全瓣となるか—米國式證券投資會社（國際パンフレット通信 273）昭 4

フランス

巴里經濟研究會 英米佛に於けるインヴェストメント・トラスト（調査月報 **20**-2）昭 5

イギリス

江口行雄 イギリス投資信託の史的發展（國民經濟雜誌 **49**-5/6）昭 5
同 イギリス投資信託制度の內容（彦根高商論叢 7）昭 5
福山善治郎 英國特定有價證券投資信託（British fixed Trust）に就て（信託協會會報 **8**-6）昭 9
一谷藤一郎 英國に於ける投資トラストの近況（經濟論叢 **30**-5）昭 5
春日井薫 英國投資信託會社の投資及收益に就て（明大商學論叢 **13**-4）昭 8

春日井薫 英國投資信託會社の經營（明大商學論叢 **13**-5）昭 8
同 朴孝參：英國投資信託會社の組織（明大商學論叢 **14**-1）昭 8
木村忠三 英國投資信託の法規上の地位〔投資信託研究 II〕（銀行研究 **24**-2）昭 8
*ナッシュ 英國投資信託業論 鴻原義勝 譯 東京 白揚社 昭 1 213 頁 四六
*日本銀行調査局 英國に於ける投資信託會社 Investment Trust Company の近況 昭 1
同 英國に於ける投資信託會社の近狀（銀行通信錄 489/90）昭 1
ロビンソン 英米に於ける投資トラスト（龍門雜誌 490）昭 4
島田德 英國の投資信託と海外發展（信託と證券 **1**-5）昭 4
新庄博 英國に於ける投資信託の新傾向（國民經濟雜誌 **58**-6）昭 10
白井規短雄 英國投資信託の近況（金融三層 4-3）昭 8
同 恐慌時に於ける英米の投資信託に關する若干の資料（信託協會會報 8-1）昭 9
*高平隆雄 英米の投資銀行と投資證券 東京 改造社 昭 4 282 頁 菊
吉海茂喜 英米の投資信託に就て（大阪銀行通信錄 381）昭 1

英米に於ける投資トラストの發展（財界研究 **5**-6）昭 3
英國に於ける固定型投資信託に就て（日本興業銀行調査月報）昭 9
英蘭及び蘇格蘭に於ける投資信託發展小史（財界研究 **8**-6）昭 5
巴里經濟研究會 英米佛に於けるインヴェストメント・トラスト（調査月報 **20**-2）昭 5
投資信託とは何か—英米に於ける發達の歷史と內容（東洋經濟新報 1356）昭 4

ルクセンブルグ

ルクセンブルグに於ける國際的インヴェストメントトラストの設定（調査彙報 43）昭 6

スイス

吳文炳 瑞西に於ける投資信託業（インヴェストメント **4**-2）昭 1

3. 金融會社

a. 一般

江口行雄 融資及び融資會社に就いて（彦根高商論叢 13）昭 8
藤原泰 金融會社（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6
名和巽 金融會社及金融組合の本質（金融研究 **1**-1）大 13
千家恒厲 戰時金融會社（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

フィナンス・コムパニーに就て（大阪銀行通信錄 307）大 12

b. 各國別

アメリカ合衆國

荒木秀一 復興金融會社に就て（大阪銀行通信錄 418）昭 7
アトキンス，ポール 米國の全國金融會社（外國の新聞と雜誌 256）昭 7
平野不令 米國復興金融會社と保險界（保險銀行時報 1563）昭 7
小島精一 復興金融會社論（經濟往來 **7**-6）昭 7
丸岡淳夫 アメリカの月賦販賣に關する金融會社（經營と經濟 **1**-2）昭 6
三浦實 商品金融會社（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 復興金融會社（金融大辭典 III 卷 8 頁）昭 9
新庄博 アメリカ復興金融會社の成績（國民經濟雜誌 **54**-1）昭 8
竹林庄太郎 アメリカの自動車割賦販賣業に於ける金融會社に就て（經濟時報 **3**-7, 9/10）昭 6
鶴岡操 米國復興金融會社設立の趣旨並其の近況（銀行研究 **24**-2）昭 8
同 譯 米國復興金融會社設立の趣旨並其の近況〔資料〕（產業組合 336）昭 8

米國復興金融會社法正文（國際パンフレット通信 480）昭 7

米國復興金融會社貸付資金運用報告（調査月報 22-5）昭 7
米國復興金融會社の輪廓（國際パンフレット通信 480）昭 7
米國復興金融會社設立計畫（商工月報 8-1）昭 7
米國の復興金融會社に關する調査（調査月報 22-9）昭 7
米國の復興金融會社條例（外國の新聞と雜誌 257）昭 7
復興金融會社案と米國財界の前途—スタンダアド統計會社の見解（世界經濟 9）昭 7

イギリス

三浦　實　銀行家產業助成會社（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

英國金融會社の事業融資新方法（海外經濟事情 540）昭 7

4. 保險會社

a. 一　般

天宅敬吉　信用組合と保險會社（庶民金融 5-8）昭 4
青木誠一　生命保險會社の金融管見（金融研究 2-9）大 14
荒木秀一　銀行と保險會社との聯絡（銀行研究 4-7）大 12
有原信隆　損害保險會社資金運用の特異點（金融三層 4-6）昭 8
同　損害保險會社の金融機能の實際（金融三層 5-9）昭 9
馬場克三　保險會社貸附資本とその原價（經濟學研究 5-2）昭 10
ドスカー　經濟生活に於ける信用と保險（保險銀行時報 1501）昭 5
江守名彥　生命保險會社の資產運用（社會及國家 200）昭 7
遠藤丈次郎　信託業者と生保業者との提携（金融三層 3-3）昭 7
ファーガソン，シー・シー　投資物の減價と契約者配當基準率（保險學雜誌 344）昭 10
後藤國吉　私營保險の投資政策（保險學雜誌 343）昭 9
堀久吉　歐米の保險會社の投資方針（保險評論 23-1）昭 5
細矢祐治　信託會社と保險の關係（商事研究 4-4）大 13
同　信託會社と保險業の關係（明大商學論叢 6-6；7-1）昭 4
伊吹貞治　低金利と生命保險（保險銀行時報 1714）昭 10
石川忠治　生保會社と信託會社との協同（金融三層 2-2/3）昭 6
石坂泰三　生命保險會社の投資に就て（ダイヤモンド 17-1）昭 4
同　保險會社の金融（金融大辭典 III 卷 10 頁）昭 9
*同　保險會社金融論　東京　改造社　昭 10　220 頁　四六〔現代金融經濟全集 23〕
磯野正登　ダランベルの原理と長期貸借問題（保險評論 21-10）昭 3
郭佩賢　壽險投資平均利率之研究（銀行週報 892）民 24
加唐讓吉　生命保險投資政策論（保險銀行時報 1657）昭 9
加藤直英　國家的資源としての生命保險會社の投資（保險評論 27-5）昭 9
加藤哲太郎　投資部見學（保險評論 23-1）昭 5
河野九峰　生保業者の投資方針（保險銀行通信 587）昭 5
川瀨竹治郎　アクチュアリー投資指數（保險學雜誌 328/29）昭 6
菊地良輝　保險證券擔保貸付に就て（保險評論 23-8）昭 5
*金融研究會　生命保險と金融　昭 4　144 頁　菊〔調書 3〕
*同　保險金融に就て（矢野恒太）昭 9　55 頁　菊〔講演集 12〕
米谷隆三　金融機關としての保險會社（保險評論 21-1）昭 3
小島昌太郎　金融機構に於ける保險事業（銀行研究 28-5）昭 10
*共保生命保險株式會社　生命保險の投資信託的機能　昭 6
*共濟生命保險株式會社　生命保險に於ける資產の運用と利益の配當　昭 3〔生命保險教材 10〕
三上勝　生保會社に於ける株式投資の機械化（保險銀行時報 1748）昭 10
同　低金利裡の保險（保險及金融 12-10）昭 10
森莊三郎　保險證券擔保貸付の減少策（生命保險經營 1-2）昭 4
森豐次　銀行業と生命保險業との關係（中央銀行會通信錄 284）昭 1

村越清一郎　生命保險は資金を如何に運用するか（工業要錄 5-2）昭 4
中村喜代嗣 譯　ロッチヘッド「責任準備金と剩餘金論」（保險學雜誌 343）昭 9
同　生命保險會社の投資の原理と實際の再吟味（生命保險會社協會會報 23-3）昭 9
名取夏司　保險會社資產と工業金融（工業要錄 6-1）昭 5
西山雄一　生命保險の投資と銀行信託の投資（生命保險會社協會會報 18-2）昭 5
同　金融機關としての生命保險會社（生命保險經營 3-2）昭 6
同　保險會社と銀行との結合（生命保險會社協會會報 20-1）昭 6
同　各國生保會社投資の傾向（生命保險會社協會會報 21-2/4）昭 7
*野口豐　生命保險の庶民金融化　東京　保險經濟社　昭 7　206 頁　四六
小野平三　金融機關としての生保會社の實際（金融三層 4-5）昭 8
志田鉀太郎　投資の本領と調査機關（保險銀行時報 1130）大 12
清水文之輔　生命保險の金融界に於ける地位（銀行論叢 6-2）昭 1
白杉三郎　生命保險會社の投資問題（國民經濟雜誌 58-1）昭 10
筵南明達　有價證券の評價問題（保險評論 24-1）昭 6
園乾治　生命保險事業の金融的職能（財政經濟時報 15-8）昭 3
*同　生命保險業の社會的並に金融的職能〔經營學講演集—長崎高商研究館の內〕昭 3
同　生命保險會社の投資（企業經營 1-1）昭 4
多田光治　生命保險會社の貸付金の將來（金融三層 5-12）昭 9
鷹取米夫　保險證券擔保貸付（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9
田中確一　生保會社の投資に就て（金融三層 5-6）昭 9
*遞信省簡易保險局　生命保險資金の運用に於ける普通株式の地位　昭 5
陳克勤　壽險與投資（銀行週報 876）民 23
塚原良作　生保會社の有價證券評價益に就て（金融三層 4-4）昭 8
中條秀雄 譯　國民需要の變化に順應する生命保險の投資（保險銀行通信 507/08, 511/13）昭 3
內田干城　保險會社の資產運用利廻計算に就て（保險評論 26-1）昭 8
ワルドハイム，ハラルド・フオン　保險投資の新しい考へ方とドイツ建築貯蓄組合（保險學雜誌 338）昭 8
吉原文之輔　投資市場に於ける損害保險會社の地位（金融三層 3-4）昭 7

E・C・ギル氏の生保會社資產運用論（社友 116）昭 9
保險契約者の社會的貢獻—生保會社の資產は各種事業に投資される（生保研究時報 146）昭 5
保險利用の年末金融（經濟知識 4-5）昭 5
保險と投資（保險銀行時報 1290）昭 1
再び有價證券對策に就て（保險銀行時報 1494）昭 5
歐洲生保會社の投資に於ける最近傾向（生命保險經營 3-3）昭 6
生命保險會社の放資（金融知識 4-6）昭 9
生命保險と金融（ダイヤモンド 14-5）昭 1
有價證券評價に關する資料（保險銀行通信 637）昭 7
有價證券評價に對する銀行と生保の態度（保險知識 2-11）昭 9
有價證券值下り對策を急げ（保險銀行時報 1479）昭 5

b. 各　國　別

日　本

馬場甚一　我國生保資產の金融資本的性質（保險評論 25-5）昭 7
遠藤丈次郎　我國の保險信託に就て（金融三層 4-4）昭 8
原竹正惠　豫定利率と長期金利の將來（保險評論 28-5）昭 10
服部則雄　生命保險金融の對象としての電氣企業（保險銀行時報 1726）昭 10
平井章　健康保健組合に對する低利資金融通に就て（健康保險時報 4-9）昭 5
細矢祐治　保險會社の金融的地位（財政經濟時報 18-5）昭 6
石原達彌　生命保險會社の有價證券投資に對する一考察（社友 101）昭 6
石川文吾　生命保險業と證券投資會社（明大商學論叢 9-1）昭 5
熊野耕人　金利引下げと生命保險（保險銀行時報 1341）昭 2
熊田克郎　生命保險會社の有價證券投資批判（會計 28-3）昭 6

楠見一正　我國保險會社の資金運用（經濟時報 2-10）昭 6
森莊三郎　保險證券擔保貸付の減少策（生命保險經營 1-2）昭 4
同　保險證券擔保貸付の回收策（生命保險經營 1-3）昭 4
同　保險約款に現はれたる保險證券擔保貸付條項（生命保險經營 6-1）昭 9
同　我が生命保險會社の資產及び投資（財政經濟時報 21-5）昭 9
村越清一郎　生命保險は資金を如何に運用するか（工業要錄 5-2）昭 4
西尾清一　金解禁と生命保險會社の投資（保險銀行時報 1398）昭 3
信岡重幸　金利低下と生保會社の投資（生命保險經營 6-6）昭 9
野崎龍七　五日會（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
小野平三　我國生保會社の資產運用に就て（金融三層 3-13）昭 7
佐波宣平　長期金融市場に進出する生命保險證券會社（經營と經濟 3-5）昭 8
清水文之輔　保險會社對國債問題（東京經濟雜誌 2083）大 10
多田光治　生命保險會社の貸付金の將來（金融三層 5-12）昭 9
鷹取米夫　生保投資團（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
竹田六郎　本邦生保投資界 20 年（生命保險經營 2-4/5）昭 5
竹內昇　劃期的低金利の發展と生命保險經營の將來性への一考察（保險評論 28-5）昭 10
田邊潔　生命保險會社の株式投資に就て（金融三層 6-11）昭 10
津村秀夫　生保證券會社の機能と其の効果（工業之大日本 27-10）昭 5
上田次郎　生保投資の原則と最近の實狀（生命保險經營 7-4）昭 10
山崎英雄　本邦保險會社資金の運用に關する一考察（商業經濟論叢 10-上）昭 7
矢野恒太　我國の生命保險事業と其金融界に於ける地位（龍門雜誌 476）昭 3
結城正　本邦生保投資界 20 年（生命保險經營 2-4）昭 5

銀行，生保資產運用成績の低下と今後の對策（保險知識 3-3）昭 10
銀行と保險一金融界に於ける生保事業の勢力擡頭（生保研究時報 83）昭 4
保險會社の貸付金檢討（金融三層 2-7）昭 6
保險投資と電鐵事業〔如電生〕（保險及金融 8-7）昭 6
不況と證券及不動產擔保貸（生命保險會社協會會報 22-2）昭 8
再び有價證券對策に就て（保險銀行時報 1494）昭 5
インフレ期の金利動向と生保資產利廻の將來（保險知識 1-7）昭 8
金利革命と生保會社の態度一敢へて低金利を怖れず（保險知識 3-8）昭 10
金融調査會と保險（保險銀行時報 1291）昭 1
高金利時代の出現と生命保險業〔K. Y. Z.〕（保險及金融 8-10）昭 6
共同投資機關の變遷と新生保證券の實體（保險知識 3-2）昭 10
共同投資の必要（保險銀行時報 1374）昭 3
生保會社近年の株式投資傾向（東洋經濟新報 1616）昭 9
生保會社の貸付運用は尙ほ減少を持續せん（東洋經濟新報 1624）昭 9
生保會社の金融市場進出を評す（ダイヤモンド 19-14）昭 6
生保會社の共同投資機關（金融知識 5-3）昭 10
生保會社の資產運用と株式投資（生保研究時報 136）昭 5
生保の資產運用傾向（保險銀行時報 1692）昭 9
〔生保〕證券會社に就て（保險銀行時報 1490）昭 5
生保證券會社創立（銀行通信錄 537）昭 5
生保證券會社約款（保險銀行時報 1490）昭 5
生保融資團の金融界進出（東洋經濟新報 1564）昭 8
生命保險會社の放資（金融知識 4-6）昭 9
生命保險會社の金融市場への進出（財界研究 8-1）昭 5
生命保險會社の資金運用（財政經濟時報 17-10）昭 5
生命保險證券擔保貸付の是非（金融知識 3-7）昭 9
生命保險唯一投資物件たる株式價格の前途如何〔S. K. 生〕（保險及金融 8-5）昭 6
資金は如何に運用されてゐるか一生命保險會社の資金（財政經濟時報 17-10）昭 5
資產運用の轉向と次の問題（保險知識 2-6）昭 9
證券投資から見た保險と信託（エコノミスト 12-22）昭 9
低金利と生保利益配當の將來（保險銀行時報 1631）昭 8
低金利と生保投資團の時局的意義（保險知識 1-6）昭 8
低金利時代に處する生命保險業者の覺悟（保險及金融 10-8）昭 8
投資團の設立に就て〔城南隱士〕（保險銀行通信 575）昭 5

有價證券値下り對策を急げ（保險銀行時報 1479）昭 5

アメリカ合衆國

林京三　經濟恐慌裡の米國生命保險會社投資狀態（保險銀行時報 1513/17）昭 6
平野不令　米國復興金融會社と保險界（保險銀行時報 1563）昭 7
岩本卯只光　米國生保會社の投資に就ての圓卓討議（保險及金融 10-2）昭 8
郭佩賢　美國人壽保險公司投資之研究（銀行週報 850）民 23
同　最近美國壽險公司投資之動向（民族 3-2）民 24
楠見一正　米國に於ける保險會社の資金運用（經濟時報 2-9）昭 5
森莊三郎　米國生命保險會社の投資の傾向（生命保險經營 1-1）昭 4
同　米國生命保險會社投資利廻の今昔（生命保險經營 3-1）昭 6
西山雄一　米國生保會社の投資規定（生命保險會社協會會報 23-2）昭 9
矢田恒久　恐慌期に於ける米國生保會社の投資（保險評論 26-7）昭 8
山崎英雄　北米合衆國生命保險會社の投資に就いて（商業經濟論叢 12-上）昭 9

米國銀行恐慌と生保のモラトリアム一恐慌に對する各州の非常對策（保險知識 1-5）昭 8
米國生保會社投資關係法規に就て（保險銀行通信 671/72）昭 8
經營恐慌裡の米國生保會社投資狀態（保險銀行時報 1511/12）昭 6
プルーデンシァル會社の保險證券擔保貸付（保險銀行時報 1383）昭 3
證券貸付問題に關する最近の情勢一合衆國生命保險會社の部分的モラトリウム（保險調査彙報 63）昭 8

ドイツ

後藤國吉　大戰前後に於る獨逸社會保險の投資政策（保險及金融 12-9）昭 10
三浦義道　獨逸に於ける國際强制投資問題（保險學雜誌 289）大 10
西山雄一　獨逸生命保險會社の抵當貸付と抵當生命保險（生命保險經營 2-1）昭 5
同　獨逸生命保險會社の投資（保險學雜誌 322/24）昭 4/5
野口正造　經濟恐慌と獨逸保險會社投資政策の變遷（保險評論 22-6）昭 4
霜山輝　獨逸生保會社の投資狀態（保險銀行通信 603/05）昭 6
*遞信省簡易保險局　歐洲戰爭開始以來獨逸生命保險會社資金運用の變遷　昭 3
ワルドハイム　保險投資の新しい考へ方とドイツ建築貯蓄組合（保險學雜誌 338）昭 8

大インフレーションに依つて影響された獨逸生命保險會社の投資（社友 114）昭 9
經濟恐慌と獨逸生命保險（保險調査彙報 69）昭 9

イギリス

レックネル，ジー・エッチ；マーレー，エー・シー　英國に於ける投資の研究一アクチュアリー，投資指數に就て　佐藤甲子郎譯（保險學雜誌 344）昭 10
*山崎英雄　英國保險會社投資概觀〔名古屋高等商業學校創立拾周年記念論文集の內〕昭 6〔非賣〕
同　英國保險會社投資概觀（保險評論 25-8）昭 7

英國生命保險會社に於ける普通株投資問題（藤本アナリスト 4-9）昭 5
金利低下と英國生保業の成績（保險知識 2-6）昭 9

カナダ

ギル　カナダに於ける生保會社の資產運用（保險評論 27-5）昭 9
森莊三郎　カナダ生保會社の投資の傾向（生命保險經營 2-3）昭 5
横山三郎　カナダ生保會社の投資に關する規定（生命保險經營 6-4）昭 9

支那

鄧賢　我國保險業之外資問題（銀行週報 898）民 24

XIX. 金融關係法規

1. 一　　般

榎　　潤　法律上より見たる市町村に對する貸付（銀行論叢 15-4）　昭 5

清成五六郎　貸金關係の手形，證書類に於ける見落し易き形式上の不備と附屬書類の取り洩れに就て　（銀行研究 18-4）　昭 5

松倉慶三郎　貸借關係の整理と貨幣價値（法學新報 230）　昭 5

松崎　壽　金融法規改廢整理の必要（銀行研究 9-6）　大 14

同　　新制定の金融法規に就て（經濟時報 3-3）　昭 6

高橋正雄　金融資本の法律學一經濟學の立場から（經濟往來 6-11）　昭 6

綱島克己　手形貸付債權の强制執行に就て（銀行研究 20-6）　昭 6

大戰後の各國金融政策及法規（內外調査資料 2-11）　昭 5

馬　寅初　對於錢莊法之意見（銀行週報 702；商業月刊 1-2）　民 20

馬場友義　銀行合併の法律問題（銀行研究 19-4）　昭 5

*大同書院編輯部　改正銀行法規　大阪　昭 2

*現行法規出版社編輯局　銀行無盡業〔現行法規綴合書 13 の內〕　昭 6

*銀行研究社　銀行關係法令集　昭 1 年版

*同　　銀行關係判例全集 12 版　東京　文雅堂　昭 6　704 頁　菊

*同　　休業銀行の法律問題　東京　文雅堂　昭 7　303 頁　四六

*同　　銀行關係判例全集追錄 第一輯 7 版　東京　文雅堂　昭 8　218 頁

*同　　銀行關係判例全集追錄 第二輯 3 版　東京　文雅堂　昭 7　262 頁　菊

*同　　銀行貸出業務判例研究　東京　文雅堂　昭 8　317 頁　菊

同　　銀行貸出行務判例研究　（銀行研究 24-4 附錄）　昭 8

*同　　銀行預金業務判例研究　東京　文雅堂〔不詳〕166 頁　菊

*同　　銀行家本位の法律辭典　東京　文雅堂　昭 9　503 頁　菊

*銀行問題研究會　銀行信託法規　昭 2

吳　菊初　錢業與錢莊法　（錢業月報 11-7）　民 20

潘　文安　讀儲蓄銀行法之意見　（銀行週報 856）　民 23

原　邦造　獨逸新銀行法に於ける發券銀行の制度に就て（銀行論叢 8-4）　昭 2

*長谷部正平　銀行業務に關する法律問題の解釋と判例　大連　昭 3

服部末治　貯蓄銀行法の供託制度　（銀行研究 10-6）　昭 1

林　久吉　ブルー・スカイ・ロー（Blue Sky Law）とバンカース・セアー・ツラスト（Banker's Share Trust）（明大商學論叢 7-1）　昭 4

薛　遺生　銀行營業習慣應參照法律修訂管見（銀行週報 772）　民 21

肥後藤吉　地方金融改善と地方銀行法の制定（銀行論叢 22-5）　昭 9

日置泰三　爲替尻付替の法性（銀行研究 18-4）　昭 5

2. 銀行關係法規

相田岩夫　銀行法と市街地信用組合（產業組合 279）　昭 4

*青木徹二　銀行法釋義〔銀行信託講座一斯文書院 4/5, 10 の內〕　昭 4/5

荒木光太郎　貨幣法と兌換條例改正私見（エコノミスト 8-11）　昭 5

淺野信一　法律上より觀たる定期預金（銀行研究 18-4）　昭 5

粟谷清一　商業信用狀取引の法規と實際（銀行研究 16-1）　昭 4

同　　爲替尻付替の法律上の性質（銀行研究 18-4）　昭 5

馬　寅初　新銀行法之特點　（經濟週報 38）　民 20

同　　儲蓄銀行法（經濟月刊 3-7）　民 20

平井信也　銀行關係判例研究（銀行研究 11-3/6；12-1/6；13-1/5）　昭 1/2

*同　　銀行取引の法律的準據　東京　文雅堂　昭 2　370 頁　四六〔銀行講座〕

*同　　銀行業務と法律との交涉　3 版　東京　文雅堂　昭 3　374 頁〔銀行講座〕

同　　休業銀行と新銀行法との交涉（銀行研究 14-1）　昭 3

堀確太郎　休業銀行の和議一更生か淸算か（法律新聞 3446/47）　昭 7

細矢祐治　新銀行法の政策的價値　（銀行研究 14-1）　昭 3

*藤本ビルブローカー銀行調査部　新法案の銀行業態に就いて　附：銀行法對照法案　昭 2　42 頁〔非賣〕

藤城敬二　商法より觀たる銀行帳簿（銀行研究 18-4）　昭 5

飯田淸三　アメリカ新銀行法案に就て（銀行研究 29-1）　昭 10

今來新之亟　所得稅法，資本利子稅法と銀行業務との交涉（銀行研究 20-5）　昭 6

同　　取引者死亡に伴ふ法律問題（銀行研究 20-4）　昭 6

稻垣直文　當座振込の法律的性質　（銀行研究 12-5）　昭 2

井上勝馬　貸出金の整理と法律關係（銀行研究 18-4）　昭 5

同　　預金に對する差押並に轉付命令と其對策（銀行研究 19-4）　昭 5

*同　　貸金整理の法律的注意事項　東京　文雅堂　昭 10　228 頁　四六〔最新銀行實務全集〕

入江昻　新銀行法と外國銀行　（法學協會雜誌 46-6/8）　昭 3

*同　　銀行法〔現代法學全集一日本評論社 17, 19 の內 183 頁, 127 頁〕昭 4

石田隆一　銀行券條例改正案の根本義（銀行論叢 18-6）　昭 7

石黑竹松　銀行の保證債務の本質に就て（銀行研究 4-6）　大 12

石卷良夫　貯蓄銀行法に對する疑義（中央銀行會通信錄 215）　大 10

同　　銀行組合法の制定を望む（銀行研究 8-6）　大 14

一野喜三郎　濠洲聯邦銀行法と正貨擁護（銀行論叢 14-5）　昭 5

一谷藤一郎　金融統制の一原理として觀たるピール銀行法（研究と資料 2）　昭 7

伊藤　健　信用狀發行銀行の法律上の地位（銀行研究 18-4）　昭 5

伊藤武夫　緊急銀行法とアメリカ國債（大阪銀行通信錄 430）　昭 8

伊藤由三郎　銀行法並に銀行法施行細則に就て（銀行論叢 10-1）　昭 3

岩井仙吉　國際決濟銀行定款譯文　（銀行研究 18-2）　昭 5

岩崎　博　マックファデン法案の通過と米國銀行條例の改正（銀行研究 13-4）　昭 2

同　　新銀行法と支拂準備制度の確立（銀行研究 14-1）　昭 3

*岩垂　至　法令對照銀行の會計　東京　大阪屋號書店　大 12　403 頁　四六

金井健四郎　當座振込の法律的考察　（商學討究 3-下）　昭 3

神戶正雄　新普通銀行法案と銀行資本金（時事經濟問題 57）　昭 2

同　　新銀行法の實施（時事經濟問題 67）　昭 3

片桐孝之助　當座貸越契約並に其根抵當の移轉に就て（法律新報 231）　昭 5

加藤榮一郎　新銀行法及同法施行細則に就て（銀行研究 14-1）　昭 3

加藤福太郎　元老院會議筆記：日本銀行條例（銀行通信錄 597/99）　昭 10

加藤正治　銀行と取引先の信用調査殊に其の債務者の支拂停止又は破產申立を知りたることの事實の認定〔判批〕（法學協會雜誌 51-1）　昭 8

川上良兄　ストロングの聯邦準備法改正案（銀行論叢 13-3）　昭 4

河村憲一　有價證券貸借の法律關係（銀行研究 19-4）　昭 5

加地良七　銀行取引上の保證人が負擔すべき債務の範圍（銀行研究 20-4）　昭 6

厭　　貞　銀行法之檢討　（錢業月報 14-12）　民 23

木村秀太郎　銀行監督の現狀と銀行條例改正の急務（金融研究 2-1）　大 14

*同　　改正銀行法規　東京　大同書院　昭 2　98 頁　菊

金國寶　銀行法中之票據問題　（銀行週報 693）　民 20

同　　儲蓄銀行法之研究　（銀行週報 856）　民 23

木曾榮作　信用狀發行銀行を繞る主なる法律關係に就て（商學討究 7-中）　昭 7

北崎　進　銀行法案の批評　（中外財界 2-5）　昭 2

同　　金融恐慌の跡始末たる特別融通法の運用（中外財界 3-9）　昭 3

*淸成五六郎 銀行の法律問題 5版 東京 文雅堂 昭5 311頁 〔銀行講座〕

同 貸付並に手形取引の際銀行が其取引者より取入るる總括的約定書に於ける若干の不備不充分なる條項に就て (銀行研究 20-4) 昭6

淸島梓 當座貸越の法的解說 (銀行論叢 17-3) 昭6

*國民同志會調査部 諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料 昭2

小坂珠城 手形割引取引の法律問題 (銀行研究 19-4) 昭5

小島精一 米國銀行統制の新段階——一九三五年銀行法の檢討 (社會政策時報 182) 昭10

栗栖赳夫 社債引受銀行及其法律的責任 (銀行研究 18-4) 昭5

黒田英雄 新貯蓄銀行法の精神 (大阪銀行通信錄 287) 大10

黒野忠雄 貯蓄銀行法規 (金融大辭典 II 卷 2頁) 昭9

草間秀雄 銀行令改正に就て (朝鮮 165) 昭4

串田萬藏・他 日銀特別融通及損失補償法 (財政經濟時報 14-6) 昭2

串本友三郎 新銀行法と銀行業の國民的監督 (銀行研究 14-1) 昭3

同 各國發券銀行規定對照 (銀行論叢 17-5) 昭6

*滿洲國財政部 貨幣滿洲中央銀行關係法規 〔日譯〕 滿洲 同部 大同1 29頁 菊

*滿鐵庶務部調査課 支那銀行關係規定集 大連 滿鐵 昭6 294頁 菊 〔調査資料 154〕

町田義一郎 一七九七年の金融恐慌と Bank Restriction Act の制定 (三田學會雜誌 24-3) 昭5

松崎壽 新銀行法の概括的批判 (銀行研究 14-1) 昭3

メリンガー 獨逸信用制度法要領 (調査月報 25-2) 昭2

三浦實 グラス・スティーゴール法 (金融大辭典 I 卷 8頁) 昭9

宮本弘 銀行預金の法律上の性質 (銀行研究 18-4) 昭5

三好重夫 貯蓄銀行業者に對する營業收益稅賦課の標準—貯蓄銀行法第二十二條と地方稅制限法第二條第二項との關係 (自治研究 7-7) 昭6

溝口幸太郎 法規上に於ける銀行の證券放資 (銀行論叢 25-2) 昭10

水口吉藏 貯蓄銀行に非ざる者の預金契約 (法律論叢 9-4) 昭5

水口吉藏 當座預金と消滅時效 (銀行研究 24-5) 昭8

同 預金振替指圖と商法第百七十六條〔判批〕(法律論叢 12-2) 昭8

水野淳二 新銀行法と施行細則 (銀行研究 14-1) 昭3

孟昭 銀行法應改金融業法芻議 (錢業月報 11-4) 民20

同 讀馬寅初對於錢莊法之意見書後 (錢業月報 11-6) 民20

向井章 印度支那銀行特權更新法 (東亞經濟研究 15-3) 昭6

*武藤山治 日本銀行條例改正私見 大阪 實業同志會 大12

同 日銀條例改正議 (ダイヤモンド 11-4) 大12

永見茂 預金金庫長の報告と銀行の責任〔獨逸大審院判例〕(法律新報 217) 昭5

長尾義三 小川鄕太郎博士著: 新銀行法理由 (研究論集 3) 昭6

中井省三 荷爲替信用狀の一珍型と其法律的吟味 (企業經營 2-6) 昭5

中村雅男 銀行重役の不當貸出に基く貸倒缺損の補償として該重役より受入れたる辨償金に對する所得稅課否の判例 (會計 6-4) 大9

中村光次 社寺院と銀行取引 (銀行研究 20-4) 昭6

同 貸付事務の法律的注意事項 (銀行研究 28-4) 昭10

中西賢三 獨逸金融界改善策 附: 銀行管理局新設と新銀行條例 (大阪銀行通信錄 450) 昭10

中田秀雄 吾國の法律上に於ける銀行 (銀行論叢 8-4; 9-1) 昭2

中山英次 銀行法の解釋 (銀行論叢 10-3) 昭3

成瀨義春 銀行條例を改正すべし (財政經濟時報 10-3) 大12

同 銀行法案を評す (財政經濟時報 14-3) 昭2

*日本銀行調査局 白耳義國立興業銀行法及定款 大9

*同 獨逸工業債務に關する法案要項 獨逸地方發券銀行條例要項 大13

*同 獨逸國家銀行法 附: 同行定款案 東京 同課 大13 36頁 菊

*同 獨逸新「ライヒスバンク」條例要項「レンテンバンク」銀行券銷却に關する法案要項 獨逸國鐵道會社法案要項 大13

*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 1: 日本の部 昭1 55頁 菊 〔改訂 昭9 95頁〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 2: イギリスの部 昭1 66頁 菊 〔追補 昭3 9頁〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 3: 佛蘭西の部 昭1 5頁 菊 〔追補 昭3 19頁 昭7〕〔改 74, 98〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 4: ドイツの部 昭1 143頁 菊 〔改刷 昭7 63頁〕〔追補 昭8 7頁〕〔改 131〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 5: アメリカ合衆國 昭1 147頁 菊 〔追補—マクファッデン法〕〔改 73, 86〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 6: 印度の部 昭1 70頁 菊 〔追補 昭4 4頁〕〔改 108〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 8: 和蘭の部 昭1 31頁 菊

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 9: 蘭領東印度の部 昭1 20頁 菊

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 10: 南阿聯邦の部 昭1 53頁 菊 〔改 66〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 11: フィンランドの部 昭1 〔改 67〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 12: 瑞西の部 昭2 30頁 菊 〔改 84〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 13: 白耳義の部 昭2 71頁 菊 〔改 88〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 14: 塊太利の部 昭3 〔追補 昭5 8頁〕〔改 98〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 15: 匈牙利の部 昭3 71頁 菊 〔改 95〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 16: チェッコ・スロヴァキヤ共和國の一部 昭3 55頁 菊 〔改 89〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 17: ルーマニアの部 昭5 39頁 菊 〔改 120〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 19: 諾威の部 昭6 20頁 菊 〔改 124〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 20: 土耳古の部 昭6 〔改 130〕

*同 各國發券銀行及通貨關係法規 21: 滿洲の部 昭7 36頁 菊

*日本銀行調査局 各國發券銀行及通貨關係法規 22: 波蘭の部 昭9 28頁 菊

*同 佛國新貨幣法竝同法附屬の政府及佛蘭西銀行間の協定に就て 昭3

*同 國際決濟銀行條例草案及定款 昭4

同 米國聯邦準備法及改正法〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 英國の紙幣及銀行券條例〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 匈牙利の銀行制度及國立銀行定款〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 芬蘭の銀行法〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 南阿聯邦の通貨及銀行法〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 塊太利の發券銀行〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

同 羅馬尼の貨幣法及國立銀行〔大戰後の各國金融政策及法規〕(內外調査資料 11 月) 昭5

*同 米國銀行法の要旨 東京 昭10: 17頁 菊 〔海外經濟彙報號外 17〕

*西原寬一 銀行法解說 東京 日本評論社 昭2 295頁 菊

西村光夫 銀行法規 (金融大辭典 I 卷 4頁) 昭9

西島彌太郎 當座預金勘定契約の效力 (內外研究 5-2) 昭7

野中轍 銀行家の注目を要する判決〔手形面の合意管轄及自己宛約束手形の效力〕(大阪銀行通信錄 402) 昭6

王年官 銀行收益稅條例之得失比較觀 (錢業月報 11-12) 民20

小畑美雄 定期預金起算日の法律的解釋 (銀行研究 18-4) 昭5

同 貸付有價證券取引の法律關係 (銀行研究 19-4) 昭5

小川鄕太郎 新銀行法に就て (インヴェストメント 5-4) 昭2

*同 新銀行法理由 東京 日本評論社 昭5 454頁 菊

*小原正樹 改正銀行法釋義 東京 文信社書店; 大阪 大同書院 昭3 272頁 菊

岡田分平 印紙稅法適用の範圍と貯蓄銀行條例に就て (銀行通信錄 466) 大13

岡田純夫 新銀行法の實施に伴ふ三つの問題 (銀行研究 14-1) 昭3

岡本春三 米國に於ける銀行兼任重役禁止法（銀行論叢 12-2） 昭 3

岡野文之助 銀行法案を評す （銀行論叢 8-5） 昭 2

同 新銀行法と銀行政策（銀行研究 14-1） 昭 3

奥田勳 1844 年の銀行特許條例と其後の恐慌並に株式組織銀行の勃興（銀行論叢 8-4） 昭 2

*大藏省銀行局 銀行法規 6 版 昭 6

大藏省理財局 米國聯邦準備條例 （財政經濟調査 4-2） 大 12

同 米國聯邦準備法 （調査月報 16-2） 昭 1

*同 譯 聯邦準備局規則—1930, 4 月現行 昭 5

*小野正一 銀行取引法概論 東京 巖松堂 昭 6 310 頁 菊

大野龍太 兌換銀行券條例中改正法律，日本銀行納付金法及日本銀行參與會法に就て（法律時報 4-8） 昭 7

*大阪銀行集會所 （改正）銀行法令 大阪 同所 大 12 99 頁 菊

*同 銀行法規 7 版 昭 3 102 頁

太田孝平 銀行關係法律問題 （銀行論叢 4-4） 大 14

大谷顯太郎 四三銀行當座預金確認請求事件に關する若干問題（商業論集 1-2） 昭 2

同 新銀行法と會計上の若干問題（商業論集 2-2） 昭 3

大內兵衞 日本銀行金買入法の意義について（大原社會問題研究所雜誌 1-1） 昭 9

李文杰 美國銀行法之內容 （銀行週報 855） 民 23

林右銘 儲蓄銀行法原則商榷 （國聞週報 8-32） 民 20

齋藤信 新銀行法の施行に就いて（我觀 52） 昭 3

齋藤修一 銀行法は取締り規定なりや（銀行研究 14-1） 昭 3

同 銀行法施行細則第 13 條に就て（銀行研究 15-4） 昭 3

同 時效法より觀たる銀行預金（銀行研究 18-4） 昭 5

*齋藤常三郎 新銀行法と破產及び和議 昭 3 〔國民經濟雜誌 44-3 拔刷〕

同 獨逸の銀行監督法 （法律新報 273） 昭 6

坂上壽夫 銀行取引に於ける保證 〔債權確保〕（銀行研究 23-3, 5） 昭 7

*笹原正志 小川鄕太郎〔校閱〕 銀行法通釋 東京 啓明社 昭 4 423 頁 菊

同 銀行の淸算破產又は强制和議（金融三層 3-12） 昭 7

佐瀨昌光 銀行取引と法律との基礎的關係（銀行研究 20-2） 昭 6

佐藤治作 預金實務の法律的解說 （銀行論叢 14-6; 15-1/6; 16-1/4, 6; 17-1, 4） 昭 5/6

*澤田謙 銀行法案に就て（公民講座 29） 昭 2

關忠治 中華民國新銀行法と錢莊（內外研究 5-1） 昭 7

前溪 新銀行法之研究（國聞週報 8-10; 銀行週報 694） 民 20

錢成新 對於銀行業收益稅條例之批評（銀行週報 712） 民 20

妹尾一雄 電信爲替と銀行の權利義務（銀行研究 5-2） 大 12

同 銀行法第八條に所謂「利益」の意義（銀行研究 12-5） 昭 2

同 新銀行法及同法施行細則精義（銀行研究 14-1） 昭 3

同 爲替取引銀行間の法律問題（銀行研究 18-4） 昭 5

同 休業銀行和議手續の重要諸點（銀行研究 20-4） 昭 6

*同 銀行取引の法律的解說 東京 文雅堂 昭 8 903 頁 菊

*同 銀行取引法論 東京 文雅堂 昭 10 688 頁 菊〔參照 目次：XVII, 1〕

*司法省調査課 銀行取引の實際と之に關する法律問題の研究 昭 9

島田國丸 銀行判例の研究 （銀行論叢 9-6） 昭 2

下野直太郎 銀行業法私案（會計 22-3） 昭 3

新庄博 アメリカの銀行法改正（國民經濟雜誌 55-4） 昭 8

汐見三郎 銀行法と普通銀行の資本金（經濟論叢 24-6） 昭 2

白井芳太郎 一九三五年の米國銀行法案に對する全米銀行家協會の勸告案（銀行研究 29-1） 昭 10

婕馨 錢莊有制定特別法規之必要（錢業月報 11-3） 民 20

蒼生 銀行法與金融業 （錢業月報 11-6） 民 20

十龜盛次 獨逸の新銀行法 （銀行研究 29-6） 昭 10

菅谷幸一郎 銀行法に於ける計算問題に就て（銀行通信錄 520） 昭 4

*杉本正幸 不動產銀行法釋義 東京 巖松堂 昭 9 520 頁 菊

*鈴木徇路 銀行貸出業務の法律的解說 2 版 東京 文雅堂 昭 4 412 頁 菊

同 銀行業者より觀たる商法の缺陷（銀行判例 4-5） 昭 5

同 有價證券擔保貸付の法律問題（銀行研究 19-4） 昭 5

鈴木竹雄 當座預金勘定契約の効力—小切手の所持人は直接支拂人に對して權利を有するか 〔判批〕（法學協會雜誌 51-1） 昭 8

諸青來 銀行法平議（東方雜誌 28-11） 民 20

朱鼎 普通銀行法之解析 （銀行週報 694） 民 20

叔仁 對於銀行法之感想（錢業月報 11-4） 民 20

宿利英治 貯蓄銀行に對する營業收益稅附加稅の課稅標準（自治研究 7-11） 昭 6

*多田欽三 編 銀行法律質疑解答集 大阪 銀行問題研究會 昭 7

*同 第二編銀行法律質疑解說集 大阪 銀行問題研究會 昭 8 372 頁 四六

同 期間の定なき手形割引契約に於ける保證人の責任（銀行論叢 21-2） 昭 8

高垣寅次郎 新銀行法施行の効果 （企業と社會 23） 昭 3

平實 米國聯邦準備制度改革上の若干問題—1935 年の新銀行法案を中心として（中央銀行會通信錄 390） 昭 10

同 米國新銀行法に就て（中央銀行會通信錄 391） 昭 10

高瀨三郎 銀行判例解說—國稅滯納處分と抵當權者株主總會招集通知 （銀行論叢 15-4） 昭 5

同 銀行支店の債務と本店の債務（銀行論叢 16-2） 昭 6

高田三男 貯蓄銀行の免稅額に對する附加稅の賦課—判例（稅 8-11） 昭 5

*竹內恒吉 休業銀行の整理 東京 休業銀行問題研究會 昭 3 45 頁 四六

同 休業銀行に關する法律問題（銀行論叢 15-5/6; 16-3） 昭 5/6

*拓務省管理局 滿洲國貨幣法，滿洲中央銀行法，滿洲中央銀行組織辦法 昭 7

谷村一太郎 小川博士著「新銀行法理由」を讀む（藤本アナリスト 4-21） 昭 5

淡中政治 銀行の代理事務に於ける法律問題（銀行研究 19-4） 昭 5

田坂市松 新銀行法の實施過渡期の取扱ひに就て（銀行研究 14-3） 昭 3

同 銀行法運用上の缺陷（銀行研究 19-5） 昭 5

田島政一 普通銀行法九講（銀行論叢 22-1/6; 23-1/3） 昭 9

*遞信省貯金局 各國に於ける貯蓄銀行の組織及關係法規〔業務資料 14〕

陳言危 儲蓄銀行法與現代儲蓄銀行（錢業月報 14-8） 民 23

屠彥容 讀「錢莊法是否必要」後（錢業月報 11-6） 民 20

唐壽民 儲蓄銀行立法之意見 （銀行週報 692） 民 20

*東京銀行集會所 銀行法規全集 大 8

*同 改訂增補銀行法規全集 2 册 大 11

*同 新銀行法及各種補償法 昭 2 70 頁

友岡久雄 グラス・スチゴール法案「一九三三年の銀行法」の意義 （世界經濟 3-6） 昭 8

津田和夫 日銀金買入法（自由通商 7-5） 昭 9

綱島克己 過振預金取引の法律的意義（銀行研究 20-4） 昭 6

同 口座相違の責任について—主として當座預金口座の相違（銀行研究 25-1） 昭 8

張道淵 儲蓄銀行法中重農精神之研究（銀行週報 861） 民 23

張玆闓 立法院新通過儲蓄銀行法（國聞周報 11-27） 民 23

*朝鮮銀行調査課 中國普通銀行法（譯文） 昭 6

上田啓次 當座借越契約と受信者の相續（銀行研究 19-4） 昭 5

上田義三 新銀行法解說 （銀行論叢 10-4, 6,） 昭 3

藎齋 讀馬寅初「對於錢莊法之意見」感言（錢業月報 11-7） 民 20

我妻榮 貯蓄銀行の据置貯金と定期積立金の意義（法學協會雜誌 49-3） 昭 6

ワーゲマン 獨逸の信用制度に關する新法律に就いて（調査月報 25-2） 昭 10

渡邊佐平 ルーズベルトの「緊急銀行法」（世界經濟 2-5） 昭 8

山本正志 信用狀取引に於ける若干の法律的考察（銀行研究 18-4） 昭 5

*橫濱正金銀行調査課 米國舊銀行制度の缺點と聯邦準備法 大 10〔調査報告 25〕

*橫濱正金銀行調査課 聯邦準備條例に基く引受再割引制度並に紐育に於ける割引市場概觀 大 13

*同 米國加州銀行法 昭 8 206 頁 菊〔調査資料 28〕

有 道 再答錢莊法是否必要（錢業月報 11-6） 民 20

*實業同志會 諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料 昭 2 22 頁

アメリカ新銀行法の話（金融知識 6-4） 昭 10

馬寅初氏對於銀行法之解釋（銀行週報 689） 民 20

米國銀行法改正案（東洋經濟新報 841） 大 8

米國に於ける銀行法改正の意義 （金融知識 6-1） 昭 10

米國のモーリスプラン銀行法案 （庶民金融 9-8） 昭 8

米國の新銀行法に就て（銀行通信錄 571） 昭 8

米國聯盟準備條例（財政經濟調査 4-4） 大 12

米國聯邦準備法（調査月報 16-特2） 昭 1

米國聯邦準備法 （調査月報 23-3） 昭 8

米國聯邦準備改正法（調査月報 10-1） 大 9

米國聯邦準備條例改正法（調査月報 11-9） 大 10

米國一九三三年銀行法 （調査月報 23-10） 昭 8

米國新銀行法を繞る論爭（銀行通信錄 596） 昭 10

米國新銀行條例一米國金融恐慌史〔M. S. 生〕（大阪銀行通信錄 435） 昭 8

第三回全國貯蓄銀行大會に於ける深井日銀副總裁の演說（中央銀行會通信錄 349） 昭 7

第三回全國貯蓄銀行大會に於ける高橋大藏大臣の演說（中央銀行會通信錄 349） 昭 7

兌換券發行法改正に就て （東洋經濟新報 1034） 大 12

兌換券發行法の改正に就て （東洋經濟新報 1035） 大 12

兌換券發行法を改正せよ（東洋經濟新報 1072） 大 12

獨逸農業中央銀行設立に關する法律及定款（農業經濟研究 4-1） 昭 3

獨逸の信用制度に關する新法律に就て （調査月報 25-2） 昭 10

獨逸信用制度法の發布（海外經濟彙報 1） 昭 10

獨逸信用制度法要領（調査月報 25-2） 昭 10

銀行兌換券發行稅法（〔上海〕經濟月報 5-10） 昭 6

銀行合同延長案提出（銀行通信錄 542） 昭 6

銀行業務學說判例大集成〔手形割引篇 5〕（銀行研究 21-5/6；22-1/2, 4/5；23-2） 昭 6/7

銀行業務の範圍（銀行判例 3-1） 昭 5

銀行業者に於ける預金取引の習慣 （銀行判例 5-3） 昭 6

銀行業收益稅法（〔上海〕經濟月報 5-10） 昭 6

銀行法案 （大阪銀行通信錄 354） 昭 2

銀行法並に同施行細則の解釋 （大阪銀行通信錄 365） 昭 3

銀行法並に銀行法施行に關する勅令及省令（大阪銀行通信錄 363） 昭 2

銀行法之公開討論（銀行週報 693） 民 20

銀行法之訂定（銀行週報 689） 民 20

銀行法上より見たる銀行重役の責任 （銀行判例 2-3） 昭 4

銀行員の地位の變動と身元保證の効力 （銀行判例 6-6；7-5） 昭 6/7

銀行貸出業務判例研究（銀行研究 24-4） 昭 8

銀行休業後の一部支拂行爲と破產法上の支拂停止（銀行判例 8-2） 昭 7

銀行の支店並に支店支配人の競賣申立權限の有無（銀行判例 6-5） 昭 6

銀行支店の預金に對する差押並轉付命令を本店に爲したる場合の効力 （銀行判例 5-4） 昭 6

銀行支店長缺勤中に行はれた行員の不當貸付と支店長の責任（銀行判例 5-6） 昭 6

銀行と取引先の調査殊に其の債務者の支拂停止又は破產申立を知りたる事の事實の認定〔判批〕（銀行判例 9-3） 昭 8

銀行註册章程施行細則 （東三省官銀號經濟月刊 1-2） 民 18

銀行預金業務判例研究（銀行研究 26-4） 昭 9

銀行預金の時効とは（第一銀行の百萬圓事件に關聯して）（金融知識 5-4） 昭 10

銀行預金の讓渡禁止約款の効力 （銀行判例 5-4） 昭 6

銀行預金支拂の商慣習（銀行判例 7-3） 昭 7

銀行條例施行細則雛形の改正 （大阪銀行通信錄 341） 昭 1

銀行條例施行細則改正問題 （大阪銀行通信錄 273） 大 9

濠洲 1929 年コンモンウェルス銀行法 （調査月報 20-4） 昭 5

破產銀行行員の退職慰勞金請求權一廣島產業銀行事件を中心として （銀行判例 4-4） 昭 5

本公會申請訂立錢莊專法呈文 （錢業月報 11-9） 民 20

芬蘭銀行法 （調査月報 16-8） 昭 1

普通銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 72 頁） 昭 9

伊國に於ける銀行界の恐慌と支拂延期令の發布〔帝國臨時代理大使報告〕（通商公報 922） 大 11

海外銀行判例解說（銀行判例 2-6） 昭 4

漢口銀行公會章程 （漢口實業週報 436） 大 12

關西貯蓄銀行大會の演說 （大阪銀行通信錄 371） 昭 3

經濟制度研究會の特別融通法善後處理私案（東洋經濟新報 1295） 昭 3

記名株式の買入方法（銀行判例 5-7） 昭 6

記名株式の買入と第三者對抗要件〔S. T. 生〕（銀行論叢 14-6） 昭 5

記名株式の買入と其の對抗要件 （銀行判例 9-2） 昭 8

緊急銀行法 （調査月報 24-4） 昭 9

金對於銀行資本額股東負雙倍責任及儲蓄銀行董事監察人負連帶無限責任之意見（銀行週報 49） 民 23

國民政府の銀行法（大連商工月報 188） 昭 6

國民政府中央銀行組織規定（銀行週報 488） 民 16

國民政府中央銀行章程（銀行週報 490） 民 16

國立銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 17 頁） 昭 9

國際決濟銀行條令（商工月報 6-6） 昭 5

去臘修訂之上海市錢業々規（銀行週報 850） 民 23

休業銀行實務の法律的解說〔第一部休業銀行法務總說 外 7〕（銀行判例臨時增刊 5-2） 昭 6

休業銀行重役の法律的責任（銀行判例 5-4） 昭 6

舊貯蓄銀行條例第一條第二項の趣旨 （銀行判例 3-4；銀行通信錄 531） 昭 5

滿洲國銀行法 （東亞 6-12） 昭 8

滿洲國銀行法公布（大連商工月報 221） 昭 9

滿洲國銀行取締法令公布（外交時報 696） 昭 8

滿洲國銀行取締法令公布（支那時報 20-1） 昭 9

滿洲國の貨幣法及滿洲中央銀行法（大阪銀行通信錄 422） 昭 7

滿洲國政府の銀行法公布（銀行通信錄 575） 昭 8

滿洲國政府の銀行法公布（海外經濟彙報 11） 昭 8

滿洲國政府の舊幣整理辦法並新舊貨幣換算率 附：滿洲國中央銀行貨幣法銀行及組織辦法（露亞時報 153） 昭 7

滿洲中央銀行法（拓務時報 30） 昭 8

滿洲中央銀行法及同組織法の發布 （銀行通信錄 558） 昭 7

滿洲中央銀行の開業及銀行法 （銀行通信錄 558） 昭 7

無期限消費貸借と返濟の請求（銀行判例 3-6） 昭 5

無記名式有價證券貸借の性質（銀行判例 3-3） 昭 5

南阿聯邦貨幣及銀行法（調査月報 12-11） 大 11

日本銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 8 頁） 昭 9

日本銀行金買入法及金の問題 （貿易 34-6） 昭 9

日銀特融法の融通期限を延長せよ （東洋經濟新報 1295） 昭 3

農倉業法並中國農民銀行條例 （海外經濟事情 14） 昭 10

大藏省審議貯銀法改正案（無盡通信 4-8） 昭 5

北京中法實業銀行撫卹及華銀團之維持辦法（銀行月刊 1-7） 民 10

立法院起草儲蓄銀行法（銀行週報 689） 民 20

立法院通過之銀行法（銀行週報 689） 民 20

立法院通過中央銀行法（中央銀行月報 4-6） 民 24

勞農露國國立銀行條例（露亞時報 48） 大 12

流質契約に付て（銀行判例 8-7） 昭 8

錢業議決年度結束辦法 （銀行週報 836） 民 23

1933 年米國新銀行法解說 （國際パンフレット通信 625） 昭 8

1933 年の米國銀行條例に就いて （銀行通信錄 577, 79/80） 昭 9

錢莊法問題之談話（錢業月報 11-7） 民 20

支拂命令と時効中斷の効力（銀行判例 5-7） 昭 6

司法院解釋銀行停止兌現之責任 （中行月刊 3-5） 民 20

新銀行法の解釋統一に關する大藏省の通牒（銀行研究 14-1） 昭 3

新銀行法の施行（東洋經濟新報 1389） 昭 5

新貯蓄銀行法案（大阪銀行通信錄 283） 大 10

蘇議會決定之縣銀行條例（銀行月刊 1-5） 民 10

組織墨酒銀行之呈文（銀行週報 205） 民 10

瑞典の新銀行法に就て（銀行通信錄 581） 昭 9

上海銀行業同業會と章程 （〔上海〕經濟月報 5-11） 昭 6

上海銀行聯合準備委員會票據交換所暫行辦事細則（工商半月刊 5-4） 民 22

上海，漢口，北京銀行公會對於銀行法意見書 （銀行週報 697） 民 20

上海錢業公會章程（銀行週報 151） 民 9

上海市銀行業々規（上海商會商業月報 14-20） 民 23

上海市錢業同業公會章程 （〔上海〕經濟月報 60） 昭 6

上海市錢業業規（工商半月刊 6-11；錢業月報 14-5） 民 23

殖業銀行則例廢止に關する呈文 （財政月刊 8-94） 民 10

商店の儲蓄兼營取締辦法（銀行週報 690） 民 20
修正銀行法草案（銀行週報 210） 民 10
臺銀救濟緊急勅令（ダイヤモンド **15**-12） 昭 2
對於錢莊法之意見（銀行週報 702） 民 20
他人名義預金に對する銀行の支拂方法（銀行判例 **3**-5） 昭 5
擔保附貸付の法律問題（銀行判例 **6**-6/7） 昭 6
手形取立銀行はその支拂は現金のみにて受取るべし〔北ダコタ州の大審院判決〕（銀行判例 **3**-6） 昭 5
定期積金の法性（銀行判例 **7**-2） 昭 7
天津銀行公會對於銀行法意見書（銀行週報 697） 民 20
轉質を論ず（銀行判例 **6**-5/6） 昭 6
致和錢莊宣告清算與錢莊法（錢業月報 **11**-9） 民 20
特別銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 39 頁） 昭 9
取締役會は銀行資金を慈善事業に寄附することを得るや（銀行判例 **3**-4） 昭 5
取立銀行はそのコルレス先の怠慢若くは過失に對して責任なし〔ゼンソント對ホワイト・ファスト國立銀行事件〕（社會研究 **8**-6） 昭 5
トルコ中央銀行法案（海外經濟事情 **3**-32） 昭 5
東三省官銀號員商值班規則（東三省官銀號經濟月刊 **2**-10） 民 19
當座口振込の法律的考察（銀行判例 **5**-7） 昭 6
當座振込の法律的考察（銀行判例 **5**-7） 昭 6
當座貸越債務の更改と擔保權の運命〔批判〕（銀行判例 **3**-4） 昭 5
當座貸越と其債權の返還請求權（銀行判例 **5**-5） 昭 6
當座預金勘定契約の効力（銀行通信錄 551） 昭 6
當座預金通帳の性質—當座預金通帳は無配當證券的効力を有するや（銀行判例 **5**-7） 昭 6
チェッコスロヴァキア發券銀行條例（調査月報 **10**-7/8） 大 9
朝鮮の銀行令改正と貯蓄銀行令の制定（朝鮮經濟雜誌 157） 昭 4
儲蓄銀行法公布以後（上海市商會商業月報 **14**-8） 民 23
貯蓄銀行法に就て（大阪銀行通信錄 294） 大 11
儲蓄銀行法草案（銀行週報 211） 民 10
貯蓄銀行法と滿洲貯蓄預金（滿蒙實業彙報 81） 大 11
貯蓄銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 16 頁） 昭 9
中國銀行修改章程の經過（銀行月刊 **1**-6） 民 10
中國銀行修正條例（新中華 **3**-13） 民 24
中國國貨銀行監察人會規則（上海經濟月報 37） 昭 5
中國國貨銀行章程（銀行週報 **14**-47） 民 18
中國國貨銀行董事會規程（〔上海〕經濟月報 37） 昭 5
中國國貨銀行章程（〔上海〕經濟月報 37） 昭 5
中國實業銀行章程並招股章程の改正（財政月刊 71） 民 8
中法實業銀行清理債權辦法（銀行週報 305） 民 12
中央銀行章程（東三省官銀號經濟月刊 **1**-5） 民 18
預金者保護に關する歐米各國の法制（銀行通信錄 498） 昭 2
預金者の死亡と銀行の對策（銀行判例 **5**-5） 昭 6
預金者の署名僞造小切手支拂銀行の責任〔オハヨー州控訴院判決〕（銀行判例 **3**-6） 昭 5
預金擔保貸付擔保附貸付の法律問題（銀行判例 8-4） 昭 7
有價證券の賣買委託と受託者の責任（銀行判例 **10**-1） 昭 8
有價證券擔保の諸問題〔擔保附貸付の法律問題〕（銀行判例 **7**-5） 昭 7
有價證券の諸問題〔擔保附貸付の法律問題〕（銀行判例 **7**-6） 昭 7
財部公佈清理中華懇業銀行章程（銀行週報 678） 民 19

3. 信託法規

*有岡直治 編 信託法規 大阪 大阪銀行集會所 大 12
伴 藏人 信託會社不動產投資の法律的限界—生きた法律解釋の技巧の一例（銀行研究 **20**-4） 昭 6
同 信託契約の法律的構成を論ず（信託協會會報 **9**-5） 昭 10
稜 潤 信託會社の株主讓決權行使に就て（銀行論叢 **18**-4） 昭 7
*銀行研究社 信託關係法令集 東京 文雅堂 昭 1 163 頁
*銀行問題研究會 銀行信託法規 大阪 同所 昭 2 355 頁 四六
濱田德海 判例に現はれたる信託觀念の變遷に就て（會計 **18**-5） 昭 1
*同 信託法の新研究 東京 大鐙閣 昭 2 304 頁 四六
同 信託制度發達の歷史的考察（信託と證券 **2**-5/6） 昭 4

濱田德海 非任意信託論（商事法研究 **4**-1） 昭 5
*同 信託法概論 東京 自治館 昭 9 316 頁 菊
同 印度信託法概論（信託協會會報 **8**-5/6；**9**-1/4） 昭 9/10
*花岡敏夫 印度信託法〔岡野敬次郎先生教授在職 25 年祝賀紀念商法論文選第一輯の內 53 頁〕 大 10
原 靜 信託受益權の買入（銀行研究 **18**-4） 昭 5
原田宗藏 信託に依る不動產移轉の登記に對する登錄稅課否の區分問題 附：其相續稅及所得稅關係（信託協會會報 **4**-4） 昭 5
長谷部正平 信託の起源と信託法理の必要（朝鮮公論 208） 昭 5
林 繁藏 朝鮮信託業令と朝鮮無盡業令の改正に就て（朝鮮 194） 昭 6
久田博人 破產を豫期したる信託行爲に就て（法律新聞 2663） 昭 2
本莊鐵次郎 共同受託者の權利義務に就て（銀行論叢 **8**-1/4） 昭 2
堀江專一郎 蕩兒信託の觀念（正義 **6**-9） 昭 6
細矢祐治 信託讓渡と動產金融（商業及經濟研究 26） 大 11
同 本邦信託法制概論（國民經濟雜誌 **33**-6；**34**-1/2） 大 11/12
同 信託業法施行細則管見（法學協會雜誌 **41**-4/5） 大 12
同 信託關係諸命令概評（信託 **5**-1） 大 12
同 信託受益者（國民經濟雜誌 **34**-4） 大 12
同 信託行爲論（國民經濟雜誌 **35**-4/5） 大 12
同 讓渡擔保と信託（法學新報 **34**-6/9） 大 13
同 信託法理及信託法制概論（法學協會雜誌 **42**-8/10；**43**-1/8） 大 13/14
同 信託法制上の疑義と立法的評論（國家學會雜誌 **39**-1/2） 大 14
*同 信託法理及信託法制 東京 文雅堂 昭 1 1226 頁 菊

1. 信託法理及信託法制概論 2. 讓渡擔保と信託 3. 信託法制上の疑義と立法的評論 4. 信託上の費用指害賠に信託報酬 5. 我信託法に於ける受益權 6. 信託に於ける受託者の相手權 7. 信託法制立法經過概論 追補 信託法制概論

同 信託に於ける受託者の相手權（法學新報 **36**-2/5） 昭 1
細矢祐治 公益信託概論（明大商學論叢 **4**-6, **5**-1/3） 昭 3
同 信託業法改正の意義及効果（法學新報 **39**-9） 昭 4
同 信託存續期間に關する立法例と其の批評（信託協會會報 **3**-2/3） 昭 4
同 不動產信託證券制度に就て（明大商學論叢 **10**-2） 昭 6
同 設定信託（經濟學辭典 III 卷 1 頁） 昭 6
同 受益權擔保貸付の法律問題（銀行研究 **25**-2） 昭 8
同 社債金融と擔保附社債信託法の改正（明大商學論叢 **14**-2/3） 昭 8
深澤新一郎 朝鮮民事令の內容となりたる信託法に關して（朝鮮 194） 昭 6
池田寅二郎 信託法案の概要（法學協會雜誌 **38**-7） 大 9
同 信託法案說明書（法曹記事 **32**-3） 大 11
入江貞太郎 信託を論ず（法學志林 **28**-2） 昭 1
同 賣渡擔保は信託なりや（法學志林 **28**-4） 昭 1
同 信託の存續性を論ず（法學新報 **36**-5） 昭 1
同 從來の信託行爲と信託法に於ける信託との關係を論ず（法學新報 **38**-2） 昭 3
*同 信託法原論 東京 巖松堂 昭 8 584 頁 菊

I. 總論 1. 緒論 2. 信託及ビ信託法制ノ起源及ビ發達
II. 信託法 1. 信託法ノ意義竝ニ性質 2. 信託ノ意義竝ニ性質 3. 賣渡擔保ハ信託ナリヤ 4. 信託ノ本質 5. 信託ノ種類 6. 信託行爲 7. 信託關係人 8. 信託ノ目的 9. 信託ノ公示方法 10. 信託財產竝ニ信託財產ノ保護 11. 受託者ノ權利義務竝ニ責任 12. 共同受託者ノ權利義務竝ニ責任 13. 受益者ノ地位竝ニ權利義務 14. 信託違反 15. 信託ノ存續性 16. 受託者ノ更迭及ビ信託ノ承繼 17. 信託ノ終了 18. 信託事務ノ監督 19. 公益信託 20. 信託ニ關スル稅制 21. 信託法ト破產法トノ關係
III. 信託業法 1. 信託會社ノ組織 2. 信託會社ノ業務 3. 營業上ノ資金運用ノ制限 4. 信託會社ノ特別擔保制度竝ニ法定準備金制度 5. 主務大臣ノ認可ヲ得ベキ事項 6. 信託會社ニ對スル監督ト制裁

同 判例より見たる信託法規（信託協會會報 **7**-6） 昭 8
同 判例より見たる信託法上の信託（法曹會雜誌 **12**-1） 昭 9
板橋菊松 擔保附社債信託法の缺陷と其實例（法律經濟時潮 16） 昭 1
同 通俗擔保附社債信託法釋義（信託と證券 **1**-1/5） 昭 4

*板橋菊松 擔保付社債信託法釋義 東京 信託と證券社 昭5

同 擔保附社債の受託會社と信託違反(商法4-1) 昭5

伊藤重次 信託制度考 (正義 4-11; 5-2) 昭3/4

*岩田新 信託法新論 東京 有斐閣 昭8 235頁 菊

*同 信託行爲の意義及び本質 昭8 86頁 菊〔東京商科大學研究年報 法學研究 2 抜刷〕〔非賣〕

上山英三 擔保附社債信託法の改正に就て(信託協會會報 7-2) 昭8

同 擔保附社債信託法中改正法律に就て(法律時報 5-5) 昭8

金光庸夫 限月の復舊と信託業法の改正(信託と證券 1-3) 昭4

*勝田貞次 信託法規 大13

河村東洋 信託財産表示に關する判例(山口高商調査課時報 3-1) 昭6

小林德三郎 不動產信託に於ける親權者の地位(大阪銀行通信錄 428) 昭8

*神戸高商商業研究所 破產及和議と信託 昭3〔講演集 39〕

小西三郎 信託法に所謂信託財產と營業信託に於ける營業の觀察(銀行研究 21-3) 昭6

兒島高信 朝鮮に於ける信託無盡の二業令に就て(金融組合 36) 昭6

倉橋駿一 信託受益權の意義 (信託協會會報 3-4) 昭4

同 カリフォルニア州信託法の概說 (信託協會會報 7-3/4, 6; 8-1) 昭8

*吳文炳 信託業法研究 東京 秀廣社 大11 162頁 四六

同 信託會社法に關する日米の比較(銀行研究 2-4) 大11

同 信託の目的に就て (銀行研究 2-6) 大11

同 信託業法の實施と現存信託業問題(銀行研究 3-2) 大11

同 信託受益者の權利に就て(銀行研究 3-6) 大11

同 都市の公益事業と信託制度(都市問題 2-3) 昭1

同 信託業に關する日米法制の比較(インヴェストメント 5-1) 昭2

*栗栖赳夫 信託法規及信託會社發達史 大11

*同 本邦信託法規及信託會社發達史 東京 文雅堂 大12 223頁

栗栖赳夫 擔保附社債に關する信託の特質を論ず(金融研究 27) 大14

*同 擔保附社債信託法〔現代法學全集—日本評論社 23 の內 55頁〕 昭3

*同 擔保附社債信託法論 東京 文雅堂 昭3 295頁 菊

同 擔保附社債信託法第八十八條に就て(インヴェストメント 7-6) 昭3

同 擔保附社債信託法の改正に就て(インヴェストメント 8-4) 昭3

*同 社債信託法原論 東京 日本評論社 昭4 462頁 菊

同 擔保附社債信託法に關する三判例(法律時報 2-12) 昭5

同 擔保附社債信託法制定の由來(金融三層 2-6) 昭6

同 オープン・エンド・モアゲージ制度と擔保附社債信託法の改正(法律時報 4-12) 昭7

同 改正擔保附社債信託法と社債の分割發行制定(東洋經濟新報 1548) 昭8

同 社債制度の改正擔保付社債信託法改正案に就て(法律新聞 3530) 昭8

同 擔保附社債信託法改正の經過と內容に就て (法律新聞 3559, 3562/5) 昭8

同 擔保附社債信託法による社債權者集會の諸問題(銀行研究 25-1) 昭8

同 擔保附社債信託法中改正法(法學新報 43-6) 昭8

同 擔保附社債信託法中改正法に就て(銀行研究 24-4) 昭8

*同 擔保附社債信託法の研究 東京 文雅堂 昭9 664頁 菊〔參照 目次: XVIII, 1, b〕

黑田英雄 信託業法に就て (財政經濟時報 9-4) 大11

黑岩島 信託讓渡の法律的意義 (銀行研究 20-4) 昭6

前田直之助 賣渡擔保附信託行爲 (法曹會雜誌 8-7/9) 昭5

增永正一 信託に關聯して (〔朝鮮〕司法協會雜誌 9-3/5) 昭5

松本茂 信託の性質を論ず (〔朝鮮〕司法協會雜誌 2-6) 大12

松本烝治 商法雜題—信託會社に對する信託受益權の買入(法學新報 40-6) 昭5

松村眞一郎 信託法制定は必要なりや(法學志林 22-8/9) 大9

松永安左衞門 擔保附社債信託法の改正(エコノミスト 7-6) 昭4

*三潴忠彥 信託法通釋 4 版 東京 大岡山書店 昭2 580頁 菊

*同 信託業及信託業法〔現代法學全集—日本評論社 24 の內 178頁〕 昭3

*同 信託法大意 東京 梓書房 昭4 160頁 菊

同 遺言信託 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭9

三木義雄 公益信託制度に就て (インヴェストメント 4-2) 昭1

三苫茂 英法と對照して見たる日本信託の性質(法學協會雜誌 42-4) 大13

*三菱銀行 信託業法綱領に關する調査報告 大11

宮本英雄 信託の原理と新信託法 (大阪銀行通信錄 298/300, 302) 大11

同 英米信託法に於ける受益權の發達及び性質 (法學論叢 13-3; 15-1) 大14/昭1

同 信託行爲に關する二三の疑問 (信託協會會報 8-2, 4) 昭9

水口吉藏 信託法第三條第二項の意義 (法律論叢 9-4) 昭5

水野淳二 銀行株式の信託表示方法 (銀行研究 12-1) 昭2

森本健藏 信託の觀念に就て (法律新聞 2090/93) 大12

森下利雄 獨逸に於ける信託の判例 (信託協會會報 2-2) 昭3

同 獨逸に於ける受託者の法律的觀念 (銀行研究 15-3) 昭3

永井壽吉 信託行爲概說 (法律論叢 6-12; 7-1/2) 昭2/3

同 受益權に就いて (法律論叢 8-10) 昭4

同 受託者の權利義務に就いて (法律論叢 9-3/5) 昭5

同 受託者の信託違反に就いて (法律論叢 9-6/7) 昭5

同 信託の存續性に就て (法律論叢 11-2) 昭6

同 信託終了の場合に於ける信託財產の歸屬 (法律論叢 11-5) 昭7

同 信託に關する諸問題 (法律論叢 14-10) 昭10

長井伸之介 信託行爲の法律的構成に就て (司法協會雜誌 14-7) 昭10

中村宥吾 本邦信託業法の內容と其觀察 (銀行論叢 5-1) 大14

中根不羈雄 信託歸屬權利者の性質 (法學協會雜誌 46-7) 昭3

中根不羈雄 金錢信託の法律的構成 (銀行研究 19-4) 昭5

同 信託會社と貯蓄銀行法並に同法施行細則の改正 (金融三層 2-8) 昭6

同 スチブンソン「英國に於ける遺言執行者並に受託者の業務」(信託協會會報 22, 24, 26/30) 昭7

同 信託法第九條の解釋 (信託協會會報 8-1) 昭9

同 信託法第九條の適用例 (信託協會會報 8-2) 昭9

同 有償信託 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭9

同 信託法第二十二條解說 (信託協會會報 9-1) 昭10

同 信託業法第十條研究 (信託協會會報 9-2) 昭10

西本辰之助 信託受益權の相續に就て (インヴェストメント 3-6) 昭1

能見恒次郎 受益期待權の成立に就いて (信託と證券 1-5) 昭4

野守廣 信託法令適用上の疑義 (法學協會雜誌 44-12; 45-1) 昭1/2

能仁充乎 前任受託者の過失に對する後任受託者の法律的責任—亞米利加信託法制の一研究 (信託協會會報 9-4) 昭10

王金海 株券と信託法第十三條 (商事法研究 4-1) 昭5

同 朝鮮信託業令管見 (信託協會會報 5-3) 昭6

同 信託財產と法律第十六號 (金融三層 3-9) 昭7

*同 信託業法論 2 版 東京 王家 昭10 408頁 菊

I. 信託企業篇 1. 信託業法の沿革と其性質 2. 信託會社の意義と其機能 3. 信託會社の成立 4. 信託會社の供託金と準備金 5. 信託會社と固有財產の管理 6. 信託會社と信託財產の管理 7. 認可事項及屆出事項 8. 信託會社の消滅 9. 信託會社の監督及制裁 10. 業務報告書

II. 信託業務篇 1. 信託業務總說 2. 金錢信託 3. 金錢信託以外の金錢信託 4. 有價證券信託 5. 金錢債權信託 6. 動產信託 7. 不動產信託 8. 地上權信託 9. 土地賃借權信託 10. 兼營業務

岡崎悅治 信託期間の算定に就て (銀行研究 18-4) 昭5

奧野健一 擔保附社債信託法中改正法律の施行に伴ふ新法令の紹介說明 (法曹會雜誌 11-8) 昭8

大阪谷公雄 生命保險信託の法律的構成 (信託協會會報 9-1) 昭10

同 信託法に於ける受益期待權の成立に就いて (法學論叢 21-5) 昭4

大阪谷公雄 信託法第十四條の存在理由（法曹會雜誌 10–4） 昭 7

大谷留五郎 擔保附社債信託法改正鐵道抵當法改正に就いて（朝鮮鐵道協會雜誌 12–8/9） 昭 8

齋藤巖 信託契約と破產法第五十九條の關係（法律新報 332） 昭 8

齋藤常三郎 法人信任の傾向—再び信託會社に及ぶ（國民經濟雜誌 49–1） 昭 5

同 信託財產と取戻權（法律新聞 3617; 國民經濟雜誌 54–5） 昭 8

澤野三郎 米國に於ける浪費者信託に就て（信託と證券 1–6; 2–1/2） 昭 4

清水文之輔 信託法案を評す（東京經濟雜誌 2103） 大 11

*信託會社協會 信託業法に關する陳情 東京 同會 大 11 50 頁〔非賣〕

*同 信託法規の成立 山本吉之・菅原通敬〔監修〕 東京 同會 大 11 467 頁 菊

*同 信託法令集 東京 同會 大 12 332 頁

*同 擔保附社債信託法（改正） 昭 8〔信託協會會報 7–3 附錄〕

末弘巖太郎 信託目的の表示なき手形の被裏書人と手形債權の行使—信託法第三條の趣旨（法學協會雜誌 49–3） 昭 6

菅原通敬 信託法制の成立と信託業（大阪銀行通信錄 309） 大 12

陶山保次郎 公共信託の研究（信託協會會報 5–5; 6–1） 昭 6/7

同 紐育公共信託決議及宣言（信託協會會報 6–2） 昭 7

高橋諦 信託受益權と相續稅（稅 10–8） 昭 7

高橋直溫 擔保附社債信託法第 58 條論（信託協會會報 7–5） 昭 8

高柳賢三 英米信託法原理（法學協會雜誌 40–5/6） 大 11

武田貞之助 信託法と民法商法其他との關係を論ず（法律新聞 2105） 大 12

同 信託法第 11 條の解釋を論ず（法律新聞 2498） 昭 1

武川鐐雄 英國の遺言執行者と信託受託者（信託と證券 1–2） 昭 4

同 獨逸法に於ける信託（商事法研究 4–1） 昭 5

田中吉備彥 譯 遺言の執行と英國信託會社—料率表及「家庭顧問辯護士との關係」（信託協會會報 5–1） 昭 6

豐浦與七 信託の目的に關する研究（法學論叢 13–2） 大 14

同 英法上の Dower 並に其信託との關係（法學論叢 14–4/6） 大 14

戶澤芳樹 信託業の公益性と信託業法改正—遺言執行と會計檢査の新業務（エコノミスト 7–19） 昭 4

綱本鶴吉 有價證券の信託財產公示に就て（信託と證券 2–4） 昭 4

上山英三 擔保附社債信託法の改正に就て（信託協會會報 7–2） 昭 8

同 擔保附社債信託法中改正法律に就て（法律時報 5–5） 昭 8

渡邊辰雄 現今稅法に現はれたる信託關係稅法（稅 11–10） 昭 8

山本淳一 擔保附社債信託法の改正と社債金融上の効果（法律新聞 3487） 昭 7

*湯淺泰三 信託と遺言 東京 大同書院 昭 4 114 頁 四六

*遊佐慶夫 信託法提要 東京 有斐閣 大 8 325 頁 菊

同 信託法制評論（早稻田法學 2/3） 大 12/13

*同 信託法制評論 附：信託關係法規集 東京 巖松堂 昭 1 174 頁 菊〔參照 目次：XVIII, I, a〕

信託法及信託業法（銀行通信錄 439） 大 11

信託法と大連の信託會社（滿洲經濟時報 3–5） 大 11

信託關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 22 頁） 昭 9

信託課稅に關する最近の判決例（金融三屆 4–7） 昭 8

信託の精神は文明の根底の精神（信託と證券 1–2） 昭 4

信託受益權の買入—信託會社の自己發行信託證書に對する買權取得は有効なりや（銀行判例 10–1） 昭 8

擔保附社債信託法中改正法律（信託協會會報 7–2） 昭 8

有價證券の賣買委託と受託者の責任（銀行判例 10–1） 昭 8

4. 無盡法規

淺野信一 私案無盡業法施行細則（庶民金融 7–10） 昭 6

同 新無盡業法を讀みて（無盡通信 5–4） 昭 6

淺野信一 無盡會社取締役の辨償責任に就て（無盡通信 7–6） 昭 7

吾妻光俊 無盡一營業區域外に於ける無盡契約の効力（法學協會雜誌 49–3） 昭 6

*星野喜代治 無盡業法施行細則其他 東京 全國無盡集會所 昭 6 267 頁 菊〔無盡講習錄 1〕

古谷敬二 無盡法制定の必要（無盡通信 14–1） 昭 10

藤本豐 助成化を目的とする營業無盡業法改正の重點（無盡通信 14–3） 昭 10

飯田豐吉 無盡業法講義（無盡通信 2–4） 昭 4

*池田龍藏 新無盡業法逐條舊法對照解說 東京 無盡之研究社 昭 6

同 無盡業法改正案の逐條的批判（無盡通信 5–4） 昭 6

井關孝雄 無盡會社合併についての無盡業法の缺陷（無盡通信 5–5） 昭 6

同 無盡業法改正意見要綱 1〔加入者ノ立場ヨリ〕（庶民金融 11–7） 昭 10

石井照久 無盡會社取締役の責任—無盡契約に基く會社債務に付いての取締役の責任の要件〔判批〕（法學協會雜誌 51–7） 昭 8

戒能通孝 判例に現れた無盡の法律關係（法律時報 3–8） 昭 6

同 無盡講再論—立法問題を中心として（法律時報 5–4） 昭 8

小町谷操三 頼母子講の表現管理人の責任（法學協會雜誌 49–11） 昭 6

*栗栖趙夫 無盡業法講話 東京 啓明社 昭 5 404 頁 菊〔參照 目次：XIII, 3〕

同 無盡業法改正案を評す（財政經濟時報 18–1） 昭 6

同 無盡業法改正と營業主體の制限（無盡通信 5–2） 昭 6

楠見一正 無盡の概念と無盡業法改正の必要（經濟時報 7–4） 昭 10

前田美韶 營業區域外に於て爲されたる無盡契約に關して（金融三屆 1–7） 昭 5

松崎壽 無盡業法改正案に就て（經濟時報 2–12; 無盡通信 5–4） 昭 6

水口吉藏 營業區域外に於ける無盡契約の効力（法律論叢 9–4） 昭 5

大橋多計三 無盡講の法律的性質と講物代の選任方法（無盡通信 5–2） 昭 6

同 免許取消を受けた無盡會社の法律關係（無盡通信 5–3） 昭 6

同 營業無盡に基く債權の時効（無盡通信 5–4） 昭 6

大橋多計三 講掛金懈怠の宥恕（無盡通信 6–3） 昭 6

同 頼母子講と落札後の掛金義務（無盡通信 6–4） 昭 6

同 頼母子講の管理人たる事を表示したるものの責任（無盡通信 6–5） 昭 6

同 缺口及掛金滯納に基く損害金の請求（無盡通信 6–6） 昭 6

同 制限區域外に於ける營業無盡契約の効力（無盡通信 7–1） 昭 7

同 無盡契約解除の撤回と請求の基礎の判斷（無盡通信 7–2） 昭 7

同 債務者保證人間の無盡債務保證の取消（無盡通信 7–3） 昭 7

同 無盡金取立委任と受任者の死亡（無盡通信 7–4） 昭 7

同 無盡契約に基く權利義務讓渡制限の約款（無盡通信 7–6） 昭 7

同 一般債權と無盡講掛戻債權との相殺（無盡通信 8–1） 昭 7

同 無盡會社取締役の辨償責任（無盡通信 8–2/3） 昭 7

同 無盡講持口權を目的とする流質契約（無盡通信 8–4） 昭 7

同 確定日附なき無盡債權讓渡に對する第三者の承認並に業法十二條に關して（無盡通信 9–1） 昭 8

同 無盡講世話人の爲したる掛戻債權の讓渡（無盡通信 9–3） 昭 8

*同 無盡判例集 東京 全國無盡集會所 昭 9 657 頁 菊

同 無盡業法改善管見（無盡通信 14–2/3） 昭 10

岡良賢 實際に現れたる無盡に關する法律問題（無盡通信 5–1/3） 昭 6

同 無盡契約復活問題に關する判例と其研究（無盡通信 6–1/2） 昭 6

同 無盡の債權と其擔保（無盡通信 7–1） 昭 7

同 無盡と代理權（無盡通信 9–4/5） 昭 8

小野久 無盡債權と賣渡擔保（法曹公論 36–7） 昭 7

*大野龍太・星野喜代治 無盡業法講義 東京 全國無盡集會所 昭 6 266 頁 菊（無盡講習錄 1）

末弘巖太郎 無盡業法を徹底的に改正せよ〔法律時觀〕（法律時報 5–8） 昭 8

田部廣 頼母子講（融通講）給付金請求權差押に就いて（法曹會雜誌 10-1）昭 7

同 頼母子講の非訟關係人能力に就て（法曹會雜誌 10-4）昭 7

高際敏彌 契約々款に加除したき條項 五（無盡通信 6-1）昭 6

*全國無盡集會所 新無盡業法經過 昭 6

*同 無盡業法規 昭 6

*同 金錢債務臨時調停法と營業無盡の機構に就いて 昭 7 11 頁 菊

無盡業法第六條違反行爲と取引の効力—批判—無盡金請求事件上告棄却（企業經營 2-1）昭 5

無盡業改善意見（無盡通信 14-1）昭 10

無盡業關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 11 頁）昭 9

無盡業令改正ニ關スル要望書〔資料〕（無盡通信 4-1）昭 5

無盡掛戻債權の讓渡〔判批〕（銀行判例 9-1）昭 8

無盡の法律問題（銀行判例 9-1/3）昭 8

無盡事業方法書改正案，無盡契約約款改正案（法律時報 5-4）昭 8

大藏省の無盡業法改正案（無盡通信 5-2）昭 6

5. 利息法規

土井榮知 利息制限法改正に就て（日本公證人雜誌 4-7）昭 8

永並豐吉 高利禁止法（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

本多良策 利息制限法の研究（庶民金融 9-9/10; 10-1, 3/11; 11-1, 3, 5/10）昭 8/10

猪股薰 利息制限法（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

*神戸商業大學商業研究所 利息制限法改正論（柚木馨）昭 8 20 頁 菊〔講演集 61〕

小町谷操三 商法第二七五條第二項に所謂立替金の性質一同條に依る法定利息と支拂猶豫令との關係（法學協會雜誌 48-10）昭 5

小坂珠城 庶民金融と利息制限法（金融三層 4-3）昭 8

小島愛三郎 改正前の利息制限法と年二割の利息（法學新報 30-10）大 9

栗生武夫 獨逸に於ける暴利取締令の一問題（法學論叢 13-4）大 14

中川善之助 利息制限法の社會的價値（中央法律新報 1-17/19）大 10

同 高利取締法への傾向（中央法律新報 2-1）大 11

同 現實の利息法（中央法律新報 2-7）大 11

西末顯 利息法の變遷（法學論叢 24-1）昭 5

末弘嚴太郎 制限超過利息の控除と消費貸借の成立（法學協會雜誌 49-6）昭 6

高瀨三郎 利息に關する諸種の法律問題（大阪銀行通信錄 427/28）昭 8

田中忠夫 支那の利息制限法に就て（東亞經濟研究 10-2）昭 1

田岡嘉壽彥 利息制限法（經濟學辭典 V 卷 1頁）昭 7

吉野義憲 利息制限法論（日本公證人雜誌 1-2）昭 5

柚木馨 利息制限法改正論（國民經濟雜誌 53-6）昭 7

過大なる賠償額豫定の効力—利息制限法第五條と民法第九〇條の交涉（銀行判例 6-1）昭 6

利息制限法に關する朝野座談會（法曹公論 37-3）昭 8

6. 擔保法規

*新井正三郎 新定抵當證券法詳解 東京 新井正三郎自治館 昭 6 254 頁 菊

*同 抵當證券法 改正登記法及施行法令增補 2 版 東京 新井正三郎自治館 昭 6 98 頁 菊

*同 抵當證券法疑問解說 昭 6 菊

*荒川五郎 新制不動產抵當證券法解釋 東京 清水書店 昭 6 239 頁 四六

有井守 抵當證券法の梗概（大阪銀行通信錄 408）昭 6

栗谷清一 記名株式の質權設定に關する法的考察並に其對策私見（銀行研究 17-4）昭 4

永並豐吉 財團抵當法（經濟學辭典 III 卷 2 頁）昭 6

榎潤 抵當證券法の概要（銀行論叢 17-2）昭 6

長谷川泰助 抵當證券法に就て（北海財務 62）昭 7

*平尾廉平 抵當證券法並關係法規集 附：大審院參考判例 東京 大同書院 昭 6 569 頁 菊

蛭川正夫 抵當證券法の運用と不動產銀行の機能（金融三層 2-9）昭 6

*堀武芳 抵當證券法釋義 附：抵當證券擔保貸付實務取扱要綱關係書式及關係法規 東京 巖松堂 昭 6 250 頁 菊

復堂 抵當證券法實施に就て（法律新聞 3251）昭 6

百武平太 數筆中一筆未申請の抵當權登記（法曹會雜誌 9-10）昭 6

同 根抵當權の本質（法曹會雜誌 10-8）昭 7

石田文次郎 所有者抵當論（司法協會雜誌 48-5）昭 5

同 抵當法改正論（法律時報 2-9）昭 5

*同 投資抵當權の研究 東京 有斐閣 昭 7 324 頁 菊

同 投資抵當の起原（法學 1-1/2）昭 7

同 農業用動產抵當法に就て（法學 2-10）昭 8

石田隆一 不動產融資及損失補償法に就て（銀行論叢 19-4）昭 7

岩田新 抵當證券法（大學と社會 2）昭 6

片山金章 記名株式の買入と其の對抗要件〔判批〕（法律新聞 3530）昭 8

加藤正治 否認權の効力—抵當權設定行爲の否認—虛僞の意志表示の効力（法學協會雜誌 48-7）昭 5

同 未ダ支拂不能ニ陷ラザル當時ニ於ケル根抵當設定ト無償行爲（法學協會雜誌 48-7）昭 5

同 抵當權の實行に依る競賣には民訴第 656 條の準用がない（法學協會雜誌 50-4）昭 7

同 借用金受領ト同時ニ抵當權ヲ設定スル行爲ノ否認（法學協會雜誌 50-5）昭 7

北崎進 不動產金融と抵當證券法の制定（金融三層 2-4）昭 6

同 抵當證券法はどう運用されるか（中外財界 6-8）昭 6

小橋壽夫 抵當證券法（法律新聞 3309, 3311/13）昭 6

小池隆一 轉質に付いて（銀行研究 28-2）昭 10

小町谷操三 記名株式の買入と第三者對抗要件（法學 2-7）昭 8

*菰淵清雄 改正不動產登記法註釋 東京 巖松堂 昭 6 370 頁 菊

窪田角一 農業倉庫證券擔保貸出についての法律關係（產業組合 288）昭 4

同 農業倉庫證券擔保貸出に就ての法律關係再論（產業組合 295）昭 5

吳文炳 經濟と信託法及其の發達（經濟法律論叢 6-1）昭 10

*栗栖赳夫 財團金融の重要問題 附：各種抵當法規 東京 昭 3 328 頁 四六〔銀行講座〕

1. 緒論 i. 財團の觀念及特質 ii. 財團の種類 iii 財團法の發達 iv. 英國の浮動擔保と獨逸の財團 2. 工場抵當論 i. 工場の觀念 ii. 工場抵當法第二條乃至第七條に依る工場抵當 iii. 工場財團 iv. 工場財團抵當 v. 工場抵當登記 3. 鑛業抵當論 i. 鑛業の觀念 ii. 鑛業財團 iii. 鑛業財團抵當 4. 漁業財團抵當論 i. 漁業の觀念 ii. 漁業財團 iii. 漁業財團抵當 5. 鐵道抵當論 i. 鐵道の觀念 ii. 鐵道財團 iii. 鐵道財團抵當 iv. 鐵道財團に關する登錄 6. 軌道抵當及運河抵當論 i. 軌道抵當 ii. 運河抵當 附：各種抵當法規

同 工場抵當法の改正（法律春秋 5-2）昭 5

同 擔保附社債信託法の研究（法學研究 9-1）昭 5

*楠野泰夫 抵當證券法と刑事訴訟法に就て 昭 6

前馬治一 農業倉庫證券擔保貸出に關する法律關係に就て（商業經濟論叢 8-下）昭 5

同 農業倉庫證券擔保貸出に關する疑義再論—窪田角一氏に教を乞ふ（產業組合 203）昭 5

松本烝治 從物又は附加物に對する抵當權の効力（法律時報 2-9）昭 5

松岡松平・大貫淸 抵當證券法の役割と金融資本の跋扈（法曹公論 35-4）昭 6

三上太一 抵當權濫除の承諾に就て（銀行研究 20-4）昭 6

水口吉藏 質權と株式の銷却金—批判（法律論叢 9-5）昭 5

同 記名株式買入の方式（法律論叢 10-9）昭 6

同 株券を以て質權の目的とする質權の對抗力（法律論叢 12-2）昭 8

*水本信夫 抵當證券法要義 大阪 大同書院 昭 6 258 頁 四六

村瀨傳一郎 不動產抵當權者と賃借人との法律關係（銀行研究 20-4）昭 6

長島毅 抵當證券法及關係法の說明（法律時報 3-5/6）昭 6

*同 ・關宏二郎 抵當證券法及關係法令註解 東京 清水書店 昭 6 454 頁 菊

中川十一郎　抵當證券法に就て（法曹公論 35-7/9）昭 6

中村光次　決定無能力者の財產を擔保とするに就て（銀行研究 18-4）昭 5

同　質權設定の定期預金に就て（銀行研究 19-3）昭 5

中田薫　德川時代の不動產擔保法續考（法學協會雜誌 49-7/8）昭 6

中島玉吉　根抵當設定當座借越契約の期限の延長（法學論叢 24-5）昭 5

二村康　根抵當に就いて（中央銀行會通信錄 324）昭 5

*野本千尋・後藤丈夫　抵當證券法註義　東京　立興社　昭 6　226 頁　四六

岡田直策　根抵當と國稅徵集法第三條の適用（稅 10-3）昭 7

奥野平　不動產抵當證券制度と不動產信託債權制度〔時事經濟問題の解說〕（銀行論叢 15-1）昭 5

太田義繁　抵當權者と火災保險（銀行研究 19-4）昭 5

崔容達　流抵當，流質禁止の崩壞と賣渡抵當（司法協會雜誌 10-10/12；11-2/3）昭 6/7

齋藤巖　代位辨濟に因る抵當債權の移轉登記に就て（法律新聞 3216）昭 6

齋藤直一　抵當證券法に就て（銀行通信錄 545）昭 6

坂上壽夫　株式の讓渡並に質入に就て（銀行研究 20-4）昭 6

關宏二郎　抵當證券法に就て（法曹公論 35-10/11）昭 6

同　抵當證券法の梗概（帝國農會報 21-9）昭 6

同　抵當證券法に就て　承前（法曹公論 36-2）昭 7

妹尾一雄　抵當證券關係法解說（銀行判例 6-5）昭 6

同　抵當權に對する擔保權設定（銀行研究 24-1）昭 8

澁谷三郎　抵當權は如何なる場合に消滅するか（裁判と法律 26）昭 8

末弘巖太郎　根抵當—被擔保債權の更改と抵當權の同一性—競賣の効力〔批判〕（法學協會雜誌 48-4）昭 5

末川博　消滅したる抵當權の登記の利用（法學論叢 27-6）昭 7

同　不動產質權設定契約と虛僞の意思表示（法學論叢 28-2）昭 7

同　抵當權の登記と民法第 602 條の期間を超ゆる賃貸借（法學論叢 29-5）昭 7

須賀喜三郎　抵當不動產の賃貸借と其對抗力（經濟法律論叢 4-1）昭 8

杉之原舜一　根抵當設定當座借越契約の期限の延長と其の第三者に對する效力（法學協會雜誌 50-4）昭 7

鈴木徇路　不動產擔保權の取得と權利實行に伴ふ諸問題（銀行研究 18-4）昭 5

*高村壽惠雄　新制抵當證券法釋義　東京　森山書店　昭 7　320 頁　菊

高瀨三郎　根抵當權の存續期間の延長と次順位抵當權者との關係（銀行論叢 15-5）昭 5

高島佐一郎　抵當證券法に聯想される經濟的諸影響（大學と社會）昭 6

竹井廉　抵當保險と我商法—とある判決の抵當保險無効論を中心に（司法協會雜誌 12-5）昭 8

武市春男　抵當證券法略解（中央銀行會通信錄 342）昭 6

*竹内恒吉　抵當證券法研究　大阪　銀行問題研究會　昭 7　514 頁　菊

同　抵當證券法疑問解說（中央銀行會通信錄 350）昭 7

谷井辰藏　抵當權の順位の讓渡並に拋棄に就て（法曹會雜誌 8-5/6）昭 5

同　抵當權實行に就ての現行法上の不備（法律時報 2-4）昭 5

*同　書式用例抵當證券法解疑　東京　立興社　昭 6　249 頁

上田啓次　權利質取引の法律的手續（銀行研究 19-4）昭 5

上山英三　抵當證券法に就て（斯民 26-5）昭 6

同　抵當證券制度概說（政治經濟時論 6-2）昭 6

*上崎孝之助　不動產抵當證券法の解說と其利用法　東京　大文館　昭 6　162 頁　四六

鵜崎充矢　抵當證券法の基礎概念（經濟評論—青山學院 13）昭 6

我妻榮　資本主義と抵當制度の發達（法律時報 2-9）昭 5

吉山眞禎　都市不動產金融改善と抵當證券法（都市問題 12-1）昭 6

不動產金融關係法令中改正希望（大阪銀行通信錄 436）昭 8

不動產信託債券法案の決定（保險及金融 7-11）昭 5

不動產擔保の法律問題（銀行判例 4-3）昭 5

不動產抵當證券法案要綱（法律時報 2-9）昭 5

不動產抵當證券法解說—不動產金融の沿革—抵當證券法の誕生—不動產銀行の重大使命—不動產抵當證券法解說—抵當證券法問答（經濟知識 6-2）昭 6

不動產抵當證券法に就ての座談會（法律新報 274/76）昭 6

不動產融資及損失補償法（銀行通信錄 560）昭 7

不動產融資及損失補償法に依る融通規程（銀行通信錄 561）昭 7

國稅滯納處分と抵當權者の地位（銀行判例 4-2）昭 5

根抵當期間の延長に就て（銀行判例 7-6）昭 7

根抵當期間の變更と次順位抵當權者に對する効力（銀行判例 4-4）昭 5

根抵當を單純抵當として登記したる効力（銀行判例 6-5）昭 6

大藏省審議貯銀法改正案（無盡通信 4-8）昭 5

帝國議會に於ける抵當證券法審議經過（銀行判例 6-2）昭 6

抵當權の侵害と損害賠償額竝定の標準時期（銀行判例 9-2）昭 8

抵當權流用の特約と第三者に對する對抗力（銀行判例 3-5）昭 5

抵當權順位の讓渡と拋棄（銀行判例 9-1）昭 8

抵當證券法解說，抵當證券法關係法令全集，帝國議會に於ける抵當證券法審議經過（銀行判例 6-2）昭 6

抵當證券法關係法令全集—昭 6 年 8 月 1 日施行〔資料〕（銀行研究 21-2）昭 6

抵當證券法の誕生（經濟知識 6-2）昭 6

抵當證券關係法解說（銀行判例 6-4/5）昭 6

土地の一部に對する抵當權實行方法（銀行判例 4-3）昭 5

財團抵當關係法規〔金融關係法全集の內〕（金融大辭典 III 卷 26 頁）昭 9

7. 手形及小切手法規

有井守　白地手形の性質と効力（大阪銀行通信錄 398）昭 5

同　手形統一法と我商法との差異（大阪銀行通信錄 401/03）昭 6

栗谷清一　小切手の支拂保證と手形法の改正案（銀行研究 20-4）昭 6

*銀行研究社　小切手法解說（銀行判例特輯）東京　文雅堂　昭 9　235 頁　菊

*同　手形法及小切手法（昭和 9 年 1 月 1 日施行）昭 9　79 頁

*同　手形法及小切手法條文 50 版　東京　文雅堂　昭 10　100 頁　四六

*平尾廉平　模範手形法講話　大 10

堀部靖雄　英國手形法第二編爲替手形の概說（長崎高商研究館彙報 10-4）昭 2

不二門龍觀　新手形法に就て（商學 9）昭 7

稻坂晧　新手形法上に於ける無權代理人の責任（銀行論叢 19-6）昭 7

井上勝馬　本人名義に依る手形代理に就て（大阪銀行通信錄 344）昭 1

同　手形呈示と時效中斷（大阪銀行通信錄 377）昭 4

同　手形の呈示と時效中斷の効力（銀行研究 22-6）昭 7

石井照久　時效に因り手形債券消滅したる場合に於ける擔保手形取得者の責任〔判批〕（法學協會雜誌 51-4）昭 8

石卷良夫　郵便爲替手形交換所參加規則第五號に對する疑義（中央銀行會通信錄 212）大 9

伊藤孝平　一覽拂手形に關する判例に就て（法律論叢 10-8）昭 6

同　小切手法註解（法學 2-3, 5/6）昭 8

*同　新小切手法　昭 9　201 頁

金子義雄　國際手形法に於ける手形行爲效力の準據法問題（神戶高商學生研究雜誌 1）昭 1

加藤行吉　手形取扱上注意すべき點と權利保全手續に就て（銀行通信錄 558）昭 7

加地良七　手形交換所に於ける不渡手形の證明行爲（銀行研究 19-4）昭 5

同　新統一手形法の我現行手形法に對する新規定（銀行研究 19-6）昭 5

*梶康郎　判例書式手形法要覽　東京　帝國教育會　昭 5

菊川早水　震災手形兩法案の通過を望む（東洋經濟新報 1237）昭 2

北村榮次　新手形法及小切手法に關する帳簿樣式（銀行論叢 20-6）昭 8

清島梓　自己宛約束手形は有效なりや（銀行論叢 16-3）昭 6

同　補箋に署名せる手形の振出行爲（銀行論叢 16-4）昭 6

同　再び補箋に署名せる手形の振出行爲に就て（銀行論叢 16-6）昭 6

同　商慣習法として認められたる白地手形の補充權（銀行論叢 17-3）昭 6

升本重夫　手形抗辯を論ず（法學新報 41-2, 5, 7/8, 10, 12）昭 6

同　白地手形本質論（法學新報 42-1, 3, 5, 7, 9, 12）昭 7

同　手形債權を以てする相殺の方法と效力（法學新報 42-8）昭 7

升本重夫 時效中斷の爲めにする手形質權の請求（催告）と呈示の場所（法學新報 42-9） 昭 7

同 手形行爲と要素の錯誤（法學新報 42-12） 昭 7

水口吉藏 裏書禁止の有價證券に就て（法律論叢 9-2） 昭 5

同 他人の作成交付したる手形に付責任負擔の要件（法律論叢 9-3） 昭 5

同 白地約束手形の要件補充時期（法律論叢 9-8） 昭 5

同 隱れたる取立委託の裏書と手形債務者の對抗事由（法律論叢 10-2） 昭 6

同 手形の利得償還請求權者（法律論叢 10-2） 昭 6

同 受取人の記載なき白地手形の補充權行使の要件（法律論叢 10-3） 昭 6

同 自己指圖約束手形の效力（法律論叢 10-3） 昭 6

同 補箋を以て爲したる振出人の署名（法律論叢 10-5） 昭 6

同 裏書抹消の效果（法律論叢 10-5） 昭 6

同 自働手形債權の相殺と手形交付の要否（法律論叢 11-6） 昭 7

同 白地手形の引渡に依る取得者の補充權（法律論叢 11-7） 昭 7

同 手形の呈示（法律論叢 11-8） 昭 7

同 白地手形讓受人の振出人に對する地位（法律論叢 11-11） 昭 7

同 手形の轉付命令に因る取得者の地位（法律論叢 11-12） 昭 7

同 無權代理人の手形振出行爲の追認（法律論叢 12-1） 昭 8

同 手形割引契約に於ける保證人の責任（法律論叢 12-4） 昭 8

森永英三郎 改正手形法重要問題十五題（國家試驗 6-17） 昭 9

武藤山治 震災手形法案に就て（東方公論 2-4） 昭 2

長野宏 勝訴の判決を得た手形債權と消滅時效（銀行論叢 18-5） 昭 7

*中井眞太郎 新手形法要論：（第一，第二分冊合本） 大阪 大同書院 昭 8 415 頁 菊

中山榮太郎 手形法の改正（國家試驗 5-1） 昭 8

西島彌太郎 二箇月振置三日前通知拂爲替手形の效力（內外研究 4-4） 昭 6

同 曆に存在せざる振出日附手形（內外研究 4-4） 昭 6

野口洪基 爲替手形振出人の義務免除に就て（商業論集 1-1） 昭 1

納富義光 手形交付の原因關係に及ぼす影響と利得返還請求權（法學論叢 29-5） 昭 8

*大橋光雄 新統一手形法諸條約正文 東京 有斐閣 昭 6 110 頁 菊

同 新統一手形法に於ける手形時効（大阪銀行通信錄 417/18） 昭 7

同 伊太利新手形法（緊急勅令）及新手形法案〔紹介〕（法學論叢 29-3） 昭 8

同 新手形法に於ける「法定休日」（大阪銀行通信錄 428） 昭 8

同 手形の實質關係殊に佛國資金學說（經濟時報 5-7） 昭 8

小野正一 手形上の意志表示と表示主義（法曹公論 35-4） 昭 6

同 爲替手形振出の意思表示を論ず（法曹公論 36-8/9） 昭 7

大隅健一郎 手形の隱れたる取立委任裏書（法學論叢 25-5/6） 昭 6

尾崎行雄・他 震災手形法案（財政經濟時報 14-4） 昭 2

齋藤直一 新手形法の解說（法律時報 4-5, 9） 昭 7

同 新手形法と現行商法との主要なる差異（銀行通信錄 562） 昭 7

坂下久雄 新手形法の改正要點（銀行研究 23-3） 昭 7

*司法省調査課 英米獨佛の手形法及小切手法 昭 5〔司法資料 150〕

島田鐵吉 第三回國際手形統一會議に就て（正義 7-2） 昭 6

島本英夫 改正されんとする我手形法に就きて（國民經濟雜誌 51-4/5） 昭 6

須賀喜三郎 新手形法に就て（經濟法律論叢 3-2） 昭 7

鈴木竹雄 白地手形の要件補充の時期（法學協會雜誌 49-4） 昭 6

同 裏書の連續せる手形の所持人は其の裏書の眞正なる事を立證する要なし（法學協會雜誌 49-9） 昭 6

同 手形裏書の抹消—裏書の資格授與力に關する一研究（法學協會雜誌 50-1） 昭 7

同 手形の補箋に振出人として爲した署名の効力（法學協會雜誌 50-8） 昭 7

同 曆にない日を振出の日付として記載したる定日拂約束手形の効力〔判批〕（法學協會雜誌 51-5） 昭 8

高瀨三郎 手形引受行爲に就て英手形法の研究（銀行論叢 13-4） 昭 4

同 白地約束手形の要件の補充（銀行論叢 15-6） 昭 5

同 手形呈示の要件と時効中斷（銀行論叢 16-1） 昭 6

同 手形の白地補充權の喪失と準消費貸借（銀行論叢 16-4） 昭 6

竹內恒吉 新舊手形法の比較其の差異點の解說（中央銀行會通信錄 352/58） 昭 7

同 手形法は如何に改正せらるるか（銀行論叢 18-3/6; 19-1/2） 昭 7

田中耕太郎 譯 新手形統一法正文（法學協會雜誌 48-9） 昭 5

同 手形一除權判決前の承認と時効の中斷（法律論叢 49-9） 昭 6

同 白地手形と商法第四百四十一條の適用—受取人の記載なき指圖式手形は白地手形なりや（法學協會雜誌 50-4） 昭 7

同 自己を受取人とする約束手形の効力（法學協會雜誌 50-5） 昭 7

谷井辰藏 手形債權の差押に就て（法律新報 231/33） 昭 5

同 手形債權の差押に就て（法曹會雜誌 8-9） 昭 5

田岡嘉壽彥 野口教授の新著手形法要義に就て（研究資料彙報 3-4） 昭 3

綱島克己 約束手形の共同振出人の地位—主として保證人，裏書人の義務との比較（中央銀行會通信錄 324） 昭 5

藥師寺志光 新手形法の諸問題（法學新報 44-4/6, 8） 昭 9

山田秀苗 手形取立業務の法律關係（銀行研究 18-4） 昭 5

山口直 銀行を經由せざる横線小切手の効力（法學新聞 2310） 大 13

山下文次郎 手形取引期間の延長と根抵當權の効力（日本公證人雜誌 2-1） 昭 6

*横濱正金銀行調査課 銀行實務より見たる英國手形法解說 昭 6〔調査資料 26〕

米澤逸郎 手形取引と民法第八條（銀行研究 23-6） 昭 7

吉丸儀六 手形貸付取引の法律問題（銀行研究 20-4） 昭 6

英米獨佛の手形法及小切手法（司法資料 150） 昭 5

銀行の手形決濟の慣習（銀行判例 6-7） 昭 6

爲替手形の複本と謄本（銀行判例 5-3） 昭 6

小切手の支拂保證契約と銀行の對第三者關係—銀行は第三者に對して支拂保證をなす義務を負ふか（銀行判例 6-4） 昭 6

曆に存在せざる手形日附の效力（銀行判例 6-7） 昭 6

無權代理人の手形行爲と其の追認〔判批〕（銀行判例 8-7） 昭 7

無效なる手形行爲に基く手形債務を消費貸借に更改したる効力（銀行判例 9-2） 昭 8

無能力者の手形行爲（銀行判例 5-5） 昭 6

白地手形行爲の意義と手形保證の獨立性（銀行判例 9-4） 昭 8

白地手形の取得と補充權（銀行判例 4-7） 昭 5

白地手形の取得と商法第四四一條（銀行判例 5-7） 昭 6

白地手形と時效の進行〔判批〕（銀行判例 9-3） 昭 8

白地約束手形の要件補充の時期（銀行判例 4-2） 昭 5

足し紙に爲された手形行爲の効力（銀行判例 3-3; 5-6） 昭 5/6

手形保證の獨立性〔判批〕（銀行判例 9-3） 昭 8

手形貸付に於ける手形裏書人の責任（銀行判例 3-4） 昭 5

手形貸付に於ける手形時効完成の效果（銀行判例 4-6） 昭 5

手形金額の法定代位辯濟と其の效果（銀行判例 10-1） 昭 8

手形行爲と捺印〔判批〕（銀行判例 9-3） 昭 8

手形面に記載せる裁判管轄合意の効力（銀行判例 5-5） 昭 6

手形に於ける延滯日歩四錢の特約の効力（銀行判例 8-4） 昭 7

手形に於ける記名捺印の代理（銀行判例 9-5） 昭 8

手形の保證（銀行判例 5-1） 昭 6

手形の參加制度（銀行判例 5-4） 昭 6

手形の他事記載〔要件外の記載事項〕と其効力〔K・M 生〕（銀行判例 8-4） 昭 7

手形の他事記載と其効力〔K・M 生〕（大阪銀行通信錄 421） 昭 7

手形の裏書（銀行判例 3-3/4） 昭 5

手形の事故（銀行判例 4-2/4） 昭 5

手形債務の承認と手形呈示の要否（銀行判例 8-4） 昭 7

手形裏書の方式と捺印の意義（銀行判例 5-3） 昭 6

取締役が會社の信用を利用して爲したる手形行爲と監査役の承認（銀行判例 4-3） 昭 5

取立委任裏書の効力（銀行判例 5-3） 昭 6

當座勘定小切手契約の性質—小切手支拂銀行は所持人に對し支拂保證を爲す義務ありや（銀行判例 5-6） 昭 6

約束手形に付いて（銀行判例 5-5） 昭 6

約束手形の呈示方法（銀行判例 6-6） 昭 6

預金殘高不足の場合，同時に呈示されたる數枚の小切手に對する支拂〔米國判例〕（銀行判例 3-4） 昭 5

自己宛約束手形の効力を論ず—大審院判例を中心として（銀行判例 5-1） 昭 6

8. 雜

*新井正三郎 農村負債整理組合法，農村動產信用法詳解 東京 泰文館 昭 8 4162頁 四六

淺田惠一 エッジ法（金融大辭典 I 卷 4 頁） 昭 9

同 マックファデン法（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

同 ピットマン條例（金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

淺野信一 小口貸付會社法案に就て（無盡通信 10-6） 昭 8

粟谷淸一 荷受式船荷證券の效用と我商法上の地位（銀行研究 20-4） 昭 6

馬寅初 中國之合作社法原則（銀行週報 781） 民 21

同 對最近幾件金融立法的說明（銀行週報 889） 民 24

*岐阜縣內務部 農村負債整理組合法 附：關係法令 昭 8

*同 佛國公益質屋に關する法令 昭 5

後藤駒吉 農業動產信用法の要旨（帝國農會報 23-6） 昭 8

*群馬縣學務部 公益質屋關係法規 昭 5

播磨龍城 政客心理と金貸氣質（法律新聞 2554） 昭 1

*廣島縣內務部 農村負債整理組合法概說 昭 8

*同 負債整理組合設立手續 昭 9

*北海道廳內務部 農村負債整理組合法及關係法規 昭 8

*同 預金部普通地方資金融通關係例規 昭 8

堀江歸一 支拂猶豫法の結末如何（エコノミスト 1-13） 大 12

*福島縣學務部 公益質屋關係法規 昭 3

古谷敬二 農村負債整理組合法に就て（無盡通信 10-3） 昭 8

古次俊介 農村負債整理組合法に就いて（產業組合時代 24-9） 昭 8

藤村忠 獨逸に於ける小作金融法（帝國農會報 18-3） 昭 3

*藤野惠 公益質屋法要論 2 版 東京 良書普及會 昭 3 343 頁 菊

*兵庫縣內務部 預金部普通地方資金融通規則及同實施取扱規程 昭 9

井川忠雄 露西亞產業組合法（國家學會雜誌 24-1/2） 大 9

同 アメリカ合衆國に於ける聯邦信用組合法の創定（產業組合 348） 昭 9

色川俊次郎 外貨債と資本逃避防止法（信託協會會報 7-2） 昭 8

石田文次郎 農業動產信用法釋義（法律時報 5-11） 昭 8

磯谷幸次郎 金錢債務臨時調停法と英國貸金業者法との對照（法學新報 42-10） 昭 7

伊藤健 B・L 保證の法律關係（銀行研究 19-4） 昭 5

井關孝雄 小額金融法の研究（庶民金融 9-2） 昭 8

同 庶民金融關係法規の改正と新法令（庶民金融 9-6） 昭 8

同 庶民金融法の改正及新法規設定に關して當局に望む數點（庶民金融 10-9） 昭 9

飯塚敏夫 農業動產信用法の罰則（法曹會雜誌 11-7） 昭 8

加藤福太郎 元老院會議筆記兩替營業規則（銀行通信錄 596） 昭 10

河村東洋 典權について（東亞經濟研究 19-1） 昭 10

*神戶高商商業研究所 支拂猶豫に關する法律的考察（齋藤常三郎） 昭 2 28 頁 菊〔講演集 30〕

小平權一 農業動產信用法の要旨（法律時報 5-5） 昭 8

同 農村負債整理組合法の要旨（法律時報 5-5；庶民金融 9-6/7） 昭 8

同 農村負債整理組合法の要旨並農業動產信用法の要旨（產業組合 331） 昭 8

同 產業組合關係法規の改正及產業組合中央金庫特別融通及損失補償法制定の主旨と其の要旨（庶民金融 9-2） 昭 8

小久江美代吉 負債整理の「調停法」制定の提唱（法律新聞 3295） 昭 6

小町谷操三 船荷證券の形式—運送賃の記載欠缺と船荷證券の效力（法學協會雜誌 50-11） 昭 7

栗栖趙夫 米國金融恐慌と外債金貨約款の法律的考察（法律時報 5-5） 昭 8

同 米國の證券法と起債界の現狀（ダイヤモンド 23-29） 昭 10

栗山茂二 金錢の消費貸借及債務の辨濟は詐害行爲と爲り得るか（司法協會雜誌 9-4/6） 昭 5

黑羽兵治郎 質屋取締條例改正請願運動（經濟史研究 41） 昭 8

黑河內透 農村負債整理組合法解說（斯民 28-5/6） 昭 8

*車田篤 金融組合關係例規集 3 版 昭 2〔非賣〕

草間季雄 金融組合令改正に就て（朝鮮 169） 昭 4

串本友三郎 新たに制定されたる獨乙の小作人金融法に就て（銀行研究 13-6） 昭 2

同 獨逸の小作人金融法に就て（銀行研究 13-6） 昭 2

牧內正男 米國金融恐慌の法的考察（法律時報 5-4） 昭 8

*松井驥 農村負債整理組合法解說 東京 中央報德會 昭 10 322 頁 四六

*綠川光雄 資本逃避防止法の解釋と運用 附：關係法令及外貨債所有の手續 大阪 昭 7

三浦實 オールドリッチ・リーランド法（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

同 ゴールド・レザーブ・アクト（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

三宅發士郎 農村負債整理組合法要旨（斯民 28-4） 昭 8

*村田俊夫 負債整理組合法通解 東京 淸英社 昭 8 170 頁 四六

村山道雄 金融組合令と朝鮮產業組合令（產業組合 288） 昭 4

長滿欽司 產業組合中央金庫法の趣旨（產業組合 212） 大 12

*內務省社會局 佛國公益質屋に關する法令 昭 2

*奈良縣內務部 自作農創設維持資金貸付關係諸規定 昭 6

*同 預金部普通地方資金融通關係法令〔年刊〕

日本銀行調查局 印度の通貨法〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調查資料 11 月） 昭 5

*日本勸業銀行調查課 北米合衆國に於ける農業金融制度—昭 1，6 月 附：米國聯邦農業地貸付制度竝に貸付法；米國に於ける市街地不動產金融概況；北米合衆國に於ける市街土地建物金融現況 東京 昭 1 216 頁〔農業及動產金融制度調查資料 2〕

*同 佛蘭西に於ける農業金融制度
附 佛國の農業相互信用組合及農業共同組合に關する法律；農業相互信用組合法施行細則；法律に依る改革後の農業金融狀況（1923）；農業證券の性質；佛國に於ける農業金融機關狀況
昭 1 100 頁〔農業及不動產金融制度調查資料 3〕

同 獨逸の不動產金融制度概觀〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調查資料 11 月） 昭 5

西島彌太郎 享益證券に關する佛蘭西新立法に就て（法學論叢 27-4） 昭 7

*農業經濟研究所 農村負債整理組合法問答 東京 泰文館 昭 8 412 頁 四六

野間海造 農業信用に關する獨逸法制（帝國農會報 17-12） 昭 2

*小田島積治郎編 農村負債整理組合法の實際 東京 銀行信託通信社 昭 8 90 頁 四六

*岡山縣內務部 負債整理組合關係法令及手續例 昭 8〔經濟更生叢書 7〕

奧田勳 エッヂ法（經濟學辭典 I 卷 1 頁） 昭 5

同 マックファッデン法（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

奧町健一 農村負債整理組合法に就いて（法曹會雜誌 11-11/12） 昭 8

奧野平 絲價安定融資補償法 附 法の發動と金融上の影響（銀行論叢 14-4） 昭 5

*大藏省理財局臨時調查課 米國農業信用法制定の經過並內容 附：1923 年農業信用法全文 大 12〔財政經濟調查 4, 9〕

*大阪府內務部 農村負債整理組合法並關係規則 附 負債整理組合規約例 昭 8

大山郁夫 損失補償法と無產階級（エコノミスト 5-11） 昭 2

ロング，アール・シー 獨逸の弗債券買戾し法（外國の新聞と雜誌 275） 昭 7

崔昌烈 金融組合の時効問題とその中斷手續について（金融組合 58） 昭 8

*齋藤淸治 改正金融組合令要義 京城 朝鮮金融組合協會 昭 6 188 頁 菊

齋藤常三郎 希臘の取引信用保全に關する法律制度（法曹會雜誌 9-9） 昭 6

*産業組合中央金庫　産業組合中央金庫關係法規定款及業務細則　大 14

澤田　謙　公益質屋法案（公民講座 29）　昭 2

*滋賀縣內務部　農村負債整理組合法に就て　昭 8

*司法省調査課　不正金融と之に關聯する犯罪の研究　昭 9　〔司法研究第 18 輯報告書集 6〕

師尾誠治　證券投資者保護法に就て（インヴェストメント **5**-3, 5/6；**6**-1/3）　昭 2

*靜岡縣內務部　農村負債整理組合法關係法規便覽〔年刊〕

末弘巖太郎　庶民金融の法律問題（法律時報 **3**-8）　昭 6

周東英雄　農業金融の現況と農業動產信用法（自治研究 **9**-6）　昭 8

同　農村負債整理組合法案に就て（帝國農會報 **23**-3；地方行政 **41**-4；自治研究 **9**-4）　昭 8

同　農業動產信用法要旨（斯民 **28**-5）　昭 8

進達之輔　農業動產信用法について（產業組合時代 **24**-7, 9）　昭 8

鈴木竹雄　有價證券割賦販賣業法一第七條に所謂「割賦販賣契約に基く退任前の會社の債務」の意義（法學協會雜誌 **50**-2）　昭 7

庶民金融研究所　英國の金貸業法（1927 年）（庶民金融 **11**-7）　昭 10

高松南海夫　組合金融の法律的對策（庶民金融 8-6）　昭 7

高落松男　長袖者流逐に事を誤まる一負債整理組合法案の運命（農政時報 82）昭 7

竹田省　信用狀の法律的關係（法學論叢 **9**-4）　大 12

武市春男　金錢債務臨時調停法略解（中央銀行會通信錄 354）　昭 7

谷瀨平文　國民政府の制定せる「應用外國技術資本辯法」の意義（滿洲評論 **2**-25）　昭 7

*遞信省簡易保險局　郵便年金法規〔年刊〕

東井金平「農村負債整理法案」とルーマニアの農家負債整理法（法學新報 **43**-3）　昭 8

*東京府內務部　農村負債整理組合法關係法令集 昭 8

*東京市政調査會　公益質舖に關する參考法律案　大 15

*東京商工會議所　獨佛兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令一商工調査 43 昭 7 215 頁　菊

富永祐治　フランス海事金融法一最近フランス海運補助政策（經濟時報 **5**-2/3）昭 8

*富山縣內務部　失業救濟農山漁村臨時對策低利資金貸付に關する令規　昭 6

*同　農村負債整理組合法並關係法規　昭 8

*朝鮮經濟協會　金融組合關係例規類纂　京城　大 12　432 頁

*朝鮮金融組合協會　金融組合令の金融組合業務監督規程　昭 4

*同　改訂金融組合關係例規集　京城　同會　昭 7　706 頁　菊袖珍

*朝鮮總督府財務局　金融組合關係例規集 改訂　京城　朝鮮金融組合協會　昭 7 706 頁　菊

烏賀陽然良　中華民國海商法に於ける船荷證券（裁貨證券）に關する規定に就て（法學論叢 **28**-2）　昭 7

梅林卯之助　產業組合令の發布と地方金融組合（朝鮮經濟雜誌 94）　大 12

若林正臣　產業組合中央金庫法の改正（帝國農會報 **21**-7）　昭 6

*和歌山縣經濟部　農村負債整理組合關係法規　附：負債整理組合規約例　昭 8

矢留文雄　信用組合及重役理事に對する責任を決定したる判決に就て（中央銀行會通信錄 306/08）　昭 3

楊暢子　1933 年美國農業金融立法（社會經濟月報 **1**-6）　民 23

米國銀行恐慌に伴ふ生命保險緊急命令（生命保險會社協會會報 **22**-2）　昭 8

米國緊急金融擴張法案の意義及其の效果（財界觀測 **12**-5）　昭 7

米國農業信用法全文（調査月報 **13**-6）　大 12

米國の復興金融會社法成立（海外經濟彙報 **5**-4）昭 7

米國の農業信用條例（藤本ビルブローカー週報 351）　大 12

米國生保會社投資關係法規に就て（保險銀行通信 671/72）　昭 8

獨逸に於ける產業組合法の改正（法律評論 **2**-27）　昭 8

英國輸出貿易信用保險法に就て（貿易 **26**-8）　昭 1

白國商工農業の信用取引に政府保證法制定（海外經濟事情 **6**-26）　昭 8

佛國海事金融法實施成績（郵船調査資料 3）　昭 5

〔1928 年〕佛國船舶金融法修正案〔佛國造船業振興策〕（貿易 9）　昭 7

船荷證券に關する 1922 年海牙規則（海運月報 8-2）　大 12

金融補償制度關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 15 頁）　昭 9

金融關係法規の話一法規的に見た日本金融網（金融知識 **6**-4）　昭 10

金融關係新法律展望（銀行判例 8-4）　昭 7

吉林省商工復興貸款關係規則（經濟金融概況 16）　大同 2

黑龍江省特產貸款關係規則（經濟金融概況 16）　大同 2

救農法中トーマス修正條項（調査月報 **24**-4）昭 9

救濟匪區農村金融條例（銀行週報 836）　民 23

滿洲國金融關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 7 頁）　昭 9

露西亞產業組合法（國家學會雜誌 **34**-1/2）　大 9

遼寧省官理金融暫行章程（滿蒙事情 113）　昭 6

遼寧省金融救濟辦法（滿洲評論 **1**-3）　昭 6

產業金融投資に關する統制法實施の近況（東洋經濟新報 1601）　昭 9

產業組合關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 41 頁）　昭 9

產業組合中央金庫法案に對する疑問（東京經濟雜誌 2126）　大 12

產業組合中央金庫法案に就て（大阪銀行通信錄 307）　大 12

山西金融公債條例（銀行週報 730）　民 20

山西省金融公債條例（國聞週報 **8**-33）　民 20

絲價安定融資補償法問題の論戰（蠶絲界報 469）昭 6

信用組合法改正要綱（無盡通信 **4**-3）　昭 5

質屋關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 3 頁）　昭 9

瑞西に於ける擔保附責務證券制度要領一資料（法律時報 **2**-9）　昭 5

取締金業投機辦法（銀行週報 684）　民 20

關引發行の國庫證券賣差額に關する判例に就て（會計 **7**-4）　大 9

郵便關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 5 頁）　昭 9

財部發言人對馬寅初「金融立法說明」之辨正（銀行週報 889）　民 24

財界安定に關する法令解說（銀行研究 **12**-6）　昭 2

實績遲々たる負債整理組合法（地方行政 **43**-11）　昭 10

XX. 金融關係統計

*愛知縣內務部　最近五ヶ年銀行資本，預金，貸出等の推移　昭 2

*同　銀行，預金，貸出〔年刊〕

荒木秀一　金利變動の統計的研究（銀行論叢 1-2, 4/5）大 12

*有澤廣巳　金融統計〔銀行信託講座—斯文書院 1, 3/4, 8, 11/12 の內 288 頁〕昭 4/6

*大連商業會議所　滿洲金融統計（大正 7 年乃至 12 年）大連　大 13　45 頁

長谷川安兵衞　信用分析用としての指數法とその價値（銀行研究 22-6）昭 7

*北海道拓殖銀行　北海道樺太對各地間出入金高調　同行　昭 5　10 頁　四六倍

*同　北海道及樺太預金貸付金高調〔年刊，昭 6　廢刊〕

*北海道廳內務部　本道銀行金融概況—昭 1. 12 月　昭 2〔商工資料 7〕

*藤本ビルブローカー銀行調査部　金融統計年鑑

*兵庫縣內務部商工課　兵庫縣金融要覽　昭 5　85 頁　菊

*兵庫縣知事官房　兵庫縣統計書（3 年）第三編　工業商業及會社金融　昭 4

石卷良夫　金融統計の種類と樣式（銀行研究 6-2）大 13

同　金融統計と其の材料（銀行研究 7-6）大 13

同　金融統計の大量觀察法（銀行研究 9-4）大 14

同　金融統計の本質（銀行研究 10-3）昭 1

*同　金融統計論 2 版 東京 文雅堂 昭 2 348 頁 四六〔銀行講座〕

1. 緒論 2. 金融統計學の槪念 3. 金融統計の性質 4. 金融統計の種類 5. 本邦の金融統計 6. 調査機關 7. 統計調査の準備 8. 統計調査の實施 9. 原材料の整理 10. 統計算術 11. 圖表法 12. 大量現象の規則性 13. 大量現象の法則性 14. 銀行の經營統計 15. 結論
附錄：金融統計圖表諸例

同　金融現象の統計的觀察（金融知識 4-1）昭 9

同　金融統計と其の材料（金融知識 4-2）昭 9

同　金融統計の類別と其の根據（金融知識 4-4）昭 9

石卷良夫　金融統計の解析と其の方法（金融知識 4-5）昭 9

同　金融統計資料（金融大辭典 I 卷 6 頁）昭 9

*改造社　貨幣金融統計資料解說〔不詳〕

神戶正雄　不動產抵當債務統計（時事經濟問題 89）昭 4

*金融統計社　全國銀行預金一覽（昭和七年上半期末）大阪　同社　昭 7　四六

*神戶市　公益質屋事業概況　昭 10〔公益質屋參考資料 1〕

*滿洲國民政部　滿洲金融關係統計集　昭 7

*滿洲中央銀行調查課 經濟金融統計年報〔康德 2 年〕康德 3　123 頁　菊

增田貫一　季節的金利變動の統計的研究（統計學雜誌 502/03）昭 3

*三井銀行調查課　銀行會社新設擴張計畫登記濟資本累年比較表　東京　昭 3

見山信　銀行に於ける統計圖表（銀行研究 22-6）昭 7

長崎精男　手形交換高の統計的研究（內外研究 5-2）昭 7

中谷實　金融統計特に通貨統計に就いて（經濟論叢 32-1）昭 6

*日本銀行調查局　資金集散概算調—大 8/9　大 10　15 頁

*同　外債調〔年二回〕

*同　銀行會社計畫資本調〔月刊〕

*同　銀行會社資本調〔月刊〕

*同　銀行債券調〔年二回〕

*同　拂込金調〔年刊〕

*同　府縣債調〔年二回〕

*同　會社社債調〔年二回〕

*同　經濟統計〔年刊〕

*同　金融〔月刊〕

*同　公債社債並株式調〔月刊〕

*同　六大都市市債調〔年刊〕

*日本勸業銀行調查課　普通銀行に於ける不動產抵當貸付金調查〔年刊〕

*同　本邦不動產金融に關する諸統計〔年刊〕

*日本勸業銀行　拂込金調〔月刊〕

*同　不動產抵當個人間貸借狀況調

*同　工業會社に關する諸統計〔年二回〕

*同　農業及び不動產金融制度調查資料

*同　主要株式利廻調〔月刊〕

*同　主要債券利廻調〔月刊〕

*同　株式會社資本調〔月刊〕

*日本興業銀行調查課　金融經濟統計—昭和八年上半期　昭 8　37 頁　菊

*同　公社債發行概算〔月刊〕

*農林省經濟更生部　頼母子講に關する調查　昭 10〔農村金融資料 1〕

*農林省農務局　各國に於ける產業組合中央金融機關に關する統計（宮城孝治譯）昭 1〔產業組合參考資料 11〕

*同　地方自治體の產業資金融通狀況調查　昭 4〔產業組合參考資料 15〕

*大藏省銀行局　各種銀行資產負債表　4 册　東京　昭 1/3

*同　銀行局年報

*同　銀行總覽〔年刊〕

*同　市街地信用組合概況〔年刊〕

*同　全國銀行資產負債表〔年二回〕

*同　全國普通銀行貯蓄銀行諸貸出金職業別並金額別調〔五年每〕

*同　全國主要銀行勘定調〔月刊〕

*大藏省理財局　金融事項參考書〔年刊〕

*同　國債統計年報

*同　國債額明細表〔月刊〕

*同　歐米財政經濟統計要覽 3 輯 1. 英國 大 14, 2. 米國 大 15, 3. 獨逸 昭 2

*大阪手形交換所　大阪手形交換所交換成績一覽〔年刊〕

*產業組合中央會　肥料金融等に關する調查　昭 9

*產業組合中央金庫　全國道府縣區域信用組合聯合會資金概況　昭 2

*同　農村市街地信用組合金融事情調查 4 回　昭 3

*同　產業組合中央金庫十年誌要　昭 8

*同　預り金貸出金地方別調　昭 9

佐藤正雄　貸出資金に關する統計的調查標識としての用途別，商品別，業種別（銀行研究 24-4）昭 8

*下關商業會議所　下關市金融統計累年比較表 大 11

*信託協會　全國信託會社信託財產調〔月刊〕

*臺灣銀行調查課　臺灣金融事項參考書〔年刊〕

*同　臺灣金融經濟月報

*遞信省簡易保險局　金利及利廻に關する調查 3 卷　昭 5

*遞信省爲替貯金局 編　爲替貯金局統計年報

*遞信省貯金局　貯金局統計年報

*同　貯金局統計月報

*同　郵便貯金府縣別職業別統計表（昭 7）東京　昭 10　98 頁　菊

*同　郵便年金概況〔月刊〕

*同　郵便貯金地方別概況〔月刊〕

*同　郵便貯金郵便局別狀況表〔年刊〕

寺尾琢磨　金融統計（金融大辭典 1 卷 3 頁）昭 9

*鎭南浦商業會議所　鎭南浦金融統計表　昭 2〔時報 50〕

*東京市政調查會　都市庶民金融に關する調查 4: 公設質舖　大 15

*東京市統計課　質屋業の統計調查　東京　昭 1　104 頁

*東京手形交換所　金融經濟參考資料〔月刊〕

*同　東京手形交換所年報

*朝鮮銀行調查課　統計月報

*朝鮮金融組合聯合會　金融組合統計年報

*同　金融組合年鑑

*朝鮮總督府江原道理財課　江原道金融經濟一般〔年刊〕

*朝鮮總督府財務局　朝鮮金融事項參考書〔年刊〕

*山岡龍次　金融財政一般數理　東京　三松堂　昭 8　396 頁　菊

*橫濱正金銀行　正金週報

既往 85 年間の英陽銀行の金利と其統計的觀察（銀行通信錄 519）昭 4

銀行局年報の分析（東洋經濟新報 1499/1500）昭 7

金融統計の見方（經濟知識 4-4）昭 5

日鮮の資本關係の統計的觀察（財界研究 6-1）昭 4

政府發表の金融財政資料（經濟 1-2）昭 9

統計上より見たる最近の英國銀行業（銀行通信錄 559）昭 7

郵便貯金の職業別統計（國勢グラフ 3-3）昭 9

XXI. 雜

*愛知縣內務部　銀行, 所在地, 重役　附表: 無盡, 信託〔年刊〕

*秋田縣內務部商工水產課　秋田縣金融業要覽　昭 2

荒木秀一　諸銀行創立調べ (大阪銀行通信錄 416) 昭 7

*ダイヤモンド社　銀行會社の實質 (A) (B) 昭 6〔ダイヤモンド 19-11, 28 臨時增刊〕

*同　銀行會社年鑑　東京　同社

*愛媛縣內務部　愛媛縣銀行要覽〔年刊〕

江頭恒治　ロスチャイルド家 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

遠藤佐々喜　松好貞夫著「日本兩替金融史論」を味ふ (社會經濟史學 2-11) 昭 7

*岐阜縣內務部　銀行營業所一覽 附: 縣外本店銀行營業所及信託會社, 無盡會社一覽

*同　銀行, 信託會社, 無盡會社, 資本金'積立金, 諸預り金, 諸貸金, 信託高, 掛金高, 配當率一覽

*同　金融機關要覽(信用組合を除く)〔年二回〕

*銀行研究社　信託辭典　東京 文雅堂 昭 8 182 頁 菊

*同　金融辭典 30 版　東京 文雅堂 昭 9 387 頁 菊

*銀行週報社　中華民國銀行年鑑

*群馬縣內務部商工課　群馬縣金融要覽〔年刊〕

濱岡縉松　譯　東三省金融整理委員會報告書 (滿鐵調査月報 13-1/2) 昭 8

*橋爪明男　編　金融大辭典 3 卷 東京 日本評論社 昭 9/10 1, 686 頁; 2, 687/1045 頁; 3, 1047/1808 頁 附錄: 金融關係法令集 368 頁 四六倍

*廣島縣內務部　負債整理組合書式便覽〔不詳〕

*同　產業組合書式便覽 昭 2

*同　負債整理事業資金特別融通損失補償契約及負債整理事業資金起債許可申請關係書類書式 昭 9

堀經夫　ジョン・ロー (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

堀江保藏　三浦梅園 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

*細井藤兵衞　銀行會社實務用語辭典　東京 ダイヤモンド社 昭 10 216 頁 三六

*福岡縣內務部　福岡縣金融要覽〔年刊〕

藤原泰　ジェームス・ウイリアム・ギルバート (經濟學辭典 II 卷 1 頁) 昭 6

*兵庫縣內務部　兵庫縣金融要覽〔年刊〕

*井上準之助論叢編纂會　井上準之助論叢 4 卷 東京 同會 昭 10 1, 653; 2, 591; 3, 591; 4, 560 頁 菊

井川忠雄　米國に於ける住宅信用組合の百年祭 (產業組合 305) 昭 6

*池田無盡研究所　無盡研究資料總覽　東京 同所 昭 6 46 頁 四六

池田榮　ユダヤ人 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

*石川縣內務部　石川縣下本店銀行一覽〔年二回〕

岩田新　石田氏「投資抵當權の研究」(法律時報 5-1) 昭 8

*岩塚源也　銀行からくり物語　東京 明日社 昭 2 323 頁 四六

*泉屋清次郎・早藤石太郎　最新銀行簿記教科書參考資料　東京 大倉書店 大 11

*甲斐精一　銀行と顧客の爲めに　東京 文雅堂 昭 2 395 頁 四六

菅野和太郎　住友家 (經濟學辭典 III 卷 2 頁) 昭 6

同　三菱 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

同　三井家 (經濟學辭典 V 卷 3 頁) 昭 7

同　住友家 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同　鴻池家 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同　三井家 (金融大辭典 III 卷 3 頁) 昭 9

同　三菱 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

春日井薰　竹中龍雄氏の拙著「貨幣金融及物價の史的研究」御高評に答ふ (明大商學論叢 3-1) 昭 2

片山金章　岩田新氏「信託法新論」(法學新報 44-4) 昭 9

吉川秀造　松方正義 (經濟學辭典 V 卷 2 頁) 昭 7

*金融經濟研究會　金融用語解說と金融知識　大阪 大文館 昭 8 194 頁 四六

小泉計太郎　チヤールズ・アーサー・コナント (經濟學辭典 II 卷 1 頁) 昭 6

同　ウオルター・バジヨツト (經濟學辭典 IV 卷 2 頁) 昭 6

同　チヤールス・フランクリン・ダンバー (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6

同　ロバート・ハーリ・イングリス・パルグレーヴ (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6

同　ヘンリー・ダンニング・マクロード (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

吳文炳　投資信託に關する二良著 (商學論叢 2) 昭 6

栗栖赳夫　王金海氏著:「信託業法論」を讀む (法律時報 4-2) 昭 7

黑羽兵治郎　錢屋五兵衞 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6

串本友三郎　獨逸に於ける銀行論の二名篇と其著書 (銀行研究 4-7) 大 12

同　フランスに於ける新刊銀行論書 (銀行研究 6-3) 大 13

楠見一正　フランツ・ヘルマン・シユルツェ・デーリッツ (經濟學辭典 III 卷 2 頁) 昭 6

同　ライファイゼン (經濟學辭典 V 卷 2頁) 昭 7

*滿洲國國務院總務廳　財政金融篇 上, 下 康德 1 79 頁, 98 頁〔滿洲國大系 15 輯〕

*滿洲國中央銀行　經濟金融概況〔日文〕新京〔月刊〕

*同　滿洲中央銀行要覽　大同 2

滿鐵總務部調査課　譯　東三省金融整理委員會報告書一中華民國 20 年 5 月 (滿鐵調査月報 12-11) 昭 7

*增田邦雄　金融用語解說と金融知識　東京 大文館 昭 8 四六

松好貞夫　淀屋辰五郎 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

綠川光雄　マクミラン〔金融及產業に關する〕委員會の報告に就て (銀行論叢 17-3) 昭 6

*三井合名會社調査課　重要銀行會社營業成績〔年二回〕

宮本一郎　交換組合銀行の報告に就て (銀行研究 3-5) 大 11

宮田喜代藏　高島佐一郎教授著「信用統制と景氣變動」(商業經濟論叢 8-下) 昭 5

水谷武右衞門　相田氏の「財界恐慌と信用組合」を讀みて (產業組合 264, 266) 昭 2

長尾義三　小川鄉太郎博士著「新銀行法理由」(研究論集 3) 昭 6

中根不羈雄　スチブンソン「英國に於ける遺言執行者並に受託者の業務」(信託協會會報 6-3) 昭 7

同　信託業に成功せるフライス氏の生涯 (信託協會會報 7-1/3) 昭 8

*中西有三　印度支那銀行報告　橫濱 橫濱正金銀行 大 8 36 頁 菊〔橫濱正金銀行調査報告 8〕

*新潟縣內務部　銀行, 無盡, 信託營業成績一覽表〔年二回〕

*日本銀行調査局　英國ロイズ銀行見學報告書 (勝田信) 大 10〔調活 214〕

*同　國際決濟銀行第三回營業報告〔自昭 6 年刊〕

*同　ライヒスバンク營業報告〔年刊〕

*同　英國五大銀行頭取の演說要旨〔年刊〕

*同　商業登記銀行會社資本調〔年刊〕

*日本勸業銀行調査課　年賦金算出定率表 大 9

*同　農業及不動產金融制度調査資料 1/5 大 15/昭 3

*同　都市及農村に區別したる抵當債務設定高 大 15

*日本經濟研究會　全國銀行事業總覽　同會 昭 1

*日本經濟聯盟會　金融問題調査資料 昭 7 99 頁 菊〔經濟聯盟調査彙報 17〕

西野入愛一　クーン・ローブ商會 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同　モルガン商會 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

同　ロックフエラー (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

同　ロスチャイルド (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

*野村證券株式會社　公社債年鑑〔自昭和 3 年〕

荻山健吉　ヘンリー・フオーセット (經濟學典 V 卷 1 頁) 昭 7

*岡新太郎　銀行會社の知識と內容の調べ方　東京 昭 2

岡田純夫　銀行關係の稅制整理に就て (銀行研究 9-5) 大 14

*岡山縣經濟部　岡山縣金融要覽〔年刊〕

奧田唯輔　カルベラム銀行經營論を讀む (長崎高商研究館彙報 20-1/5; 21-6) 昭 7/8

*大藏省理財局　Financial and economic annual of Japan.〔佛文もあり〕

*大藏省臨時調査局　世界戰爭に於ける主要交戰國金融事項要覽　東京 大 8

*大阪府內務部　大阪府金融概覽〔年刊〕

大山敷太郎　フッガー家（經濟學辭典Ⅴ卷1頁）昭7
*佐賀縣內務部　銀行一覽〔商工彙報17〕
*佐賀　進　バンコの氣焰—當世銀行氣質の批判　東京　同人社　昭2　148頁　四六
*埼玉縣內務部　埼玉縣金融要覽〔年刊〕
齋藤龍治　肥料金融調査の數字の當否に關する檢討（產業組合347）昭9
*產業組合中央金庫　全國道府縣區域信用組合聯合會資金概況（自昭2）
*同　全國道府縣區域信用組合聯合會事業狀況表　昭3
*三十四銀行　小山健三傳　大阪　同銀行　昭5　972頁　菊
佐々木道雄　利息表に就て（經濟學論集6-4）昭3
千石興太郎　神戸博士の「信用組合の預金協定加入問題」に就て（產業組合249）昭1
柴田　敬　フリードリッヒ・ベンディックセン（經濟學辭典Ⅴ卷1頁）昭7
澁澤榮一　井上日本銀行總裁の演說を聽きて（銀行通信錄425）大10
篠田七郎　ウオルレンボルグ博士と伊太利農村信用組合（產業組合285）昭4
新庄　博　ライヒスバンク前總裁に對する一批評（國民經濟雜誌54-6）昭8
*靜岡縣內務部　金融要覽　昭4
*臺灣銀行調査課　島內銀行會社摘要（大8年12月末現在）大9
田中二郎　獨逸銀行業見聞記（大阪銀行通信錄302/3）大11
*帝國經濟通信社編　全國銀行會社事業成績調査錄〔年刊〕
*帝國興信所　帝國銀行會社要錄　23版　四六倍〔年刊〕
*遞信省貯金局　貯金局統計年報
*東京府內務部　東京府金融要覽　昭5
*東京府產業部　郡區別銀行要覽〔大正10年度上半期末現在〕東京　金融タイムス社　大11　28頁
*東京興信所　銀行會社要錄　39版　四六倍
*東京手形交換所　社員及代理交換銀行，公社債利札取扱銀行，會社配當金取扱銀行一覽　昭6
*同　金融經濟參考資料〔第202回〕昭9　40頁　四六倍
*同　東京交換所年報
トーマス，エス・イー　銀行業者に對する非難と其辨疏　門脇良教譯（大阪銀行通信錄415）昭7
富井政治郎　米國に於ける銀行犯罪の實例（銀行研究10-7）昭1
友岡久雄　マックミラン報告に就て（世界經濟4）昭6
*栃木縣內務部　栃木縣金融要覽〔年刊〕
*東洋經濟新報社　株式會社及銀行年鑑〔年刊〕
*同　東洋經濟銀行年鑑〔年刊〕
*同　全國公債社債明細表　27-36
*戸澤　鼎　英文銀行用語　東京　朝日書房　昭9　73頁　三五
*塚本文治　金融財政一般數理　東京　三松堂　昭8　386頁　菊
*朝鮮銀行調査部　朝鮮會社銀行要錄　大10
*朝鮮金融組合協會　金融組合要覽〔年刊〕
*朝鮮總督府財務局　金融組合及同聯合會名稱表　昭5
*中國銀行總理處　全國銀行年鑑
*浦松德太郎　無盡業要鑑　東京　全國無盡集會所　大12　92頁
內田藤四郎　金融漫談，財界の七不思議（銀行論叢14-5）昭5
*和歌山縣內務部　和歌山縣金融要覽〔年刊〕
*山形縣經濟部　山形縣金融要覽〔年刊〕
山口正太郎　メジチ家（經濟學辭典Ⅴ卷2頁）昭7
同　ニコラス・ゼラールド・ピーアソン（經濟學辭典Ⅴ卷1頁）昭7
同　エミール・ドウ・ラヴレー（經濟學辭典Ⅴ卷1頁）昭7
ヤング　米國銀行界の怪傑ヂアニュ（外國の新聞と雜誌175）昭3
*全國無盡集會所　全國無盡會社要覽〔年刊〕
*事業の日本社　全國銀行信用調査錄　東京　同社

米賓招待會に於けるヴアンダーリップ氏の演說（銀行通信錄415）大9
米國第一聯合對外貿易金融組合の宣言書〔紐育總領事報告〕（通商公報810）大10
米國銀行局長の1918年度報告（調査月報9-3）大8
米國金融界現況報告摘要（調査月報13-4）大12
米國金融恐慌に關する調査資料（調査月報23-4/6）昭8
米國戰債と獨逸賠償金の各國分布圖（財界要報105）昭6
獨逸銀行營業報告にあらわれたる同國經濟狀況〔在漢堡總領事報告〕（通商公報757）大9
銀行法務文獻論旨集（銀行判例5-1）昭6

銀行會社總覽（東洋經濟新報1588）昭9
銀行研究社編　信託辭典（銀行研究25-4附錄）昭8
銀行生活の體驗を語る〔海風樓主人〕（銀行論叢15-2/6）昭5
本邦普通銀行制度に關する調査—大15，11月大藏省金融制度調査會決定（內外調査資料2-11）昭5
井上日銀總裁の金融經濟演說（大阪銀行通信錄291）大10
メーク・マネー〔關々子〕（銀行論叢14-4/5；15-1/2）昭5
日銀營業週報の見方（銀行研究9-3）大14
日銀半季報の變化（東洋經濟新報1490）昭7
日銀總裁の演說（ダイヤモンド9-12）大10
農林省蠶糸局調査　製糸金融調査成績（蠶絲界報484）昭7
北京金融機關一覽表（統計月刊22）民9
利息制限法に關する朝野座談會（法曹公論37-3）昭8
津島壽一氏とその近業一篇（商工經濟研究3-4）昭3
全支銀行公會聯合大會に就て（支那15-6）大13

Foreign Section

ABBREVIATION

A.=Archiv
Abdr.=Abdruck(e)
Abh.=Abhandlung(e)
Abt.=Abteilung(en)
acad.=academy
Akad.=Akademie
Am.=American
Ann.=Annal, annual, Annale, Annalen
assoc.=association
Aufl.=Auflage
Ausg.=Ausgabe(n)
Bd.(e)=Band (Bände)
Bearb. (bearb.) = Bearbeitung, Bearbeiter (bearbeitet)
Ber.=Berichte
Berücks.=Berücksichtigung
bes.=besonder
Bespr.=Besprechung
Bibl. (bibl.)=Bibliothek (bibliothèque)
Bl.=Blatt, Blätter
Boll.=Bolletino
Bull.=Bulletin
comp.=compiled, compiler
dargest.=dargestellt
Dept.=Department
Dict.=Dictionary
Dt.=Deutsch
Diss.=Dissertation
ed.=editor, edition, edizione
éd.=édition
Einf.=Einführung
Einl.=Einleitung
Encycl.=Encyclopædia, Encyclopédie
enl.=enlarged
Erg.-Bd.=Ergänzungs-Band
Erg.-H.=Ergänzungs-Heft
Erl. (erl.)=Erläuterung (en), (erläutert)
Forsch.=Forschungen
Gaz.=Gazette
H.=Heft
HB.=Handbuch
hist.=histoire, historical, historisch, history
Hrsg.(hrsg.)=Herausgabe, Herausgeber, (herausgegeben)
HWB.=Handwörterbuch
Impr.=Imprimerie
Inst.=Institut, Institute
Int. (Internat.)=International
J.=Journal
JB.=Jahrbuch
jurist.=juristisch
Lehrb.=Lehrbuch
Lfg.=Lieferung
Libr.=Librairie
M.=Monthly
Mag.=Magazine
MH.=Monatsheft
Mitarb. = Mitarbeiter, Mitarbeitung
Mitt.=Mitteilung
Mitw.=Mitwirkung
Nachr.=Nachrichte
Nachtr.=Nachtrag
N. F.=Neue Folge
Nouv.=Nouvelle
österr.=österreichisch
Pr.=Press, Presse
preuss.=preussisch
Pt.=Part
R.=Review, Revue, Rivista
Repr.=Reprinted
rev.=revised, revue
Q.=Quarterly
Rdsch=Rundschau
Sachreg.=Sachregister
Samml.=Sammlung
Schr.=Schriften
Sci.=Science
S. d. N.=Société des Nations
ser.=series
sér.=série
Soc.=Society, Société, Società
Suppl. (suppl.) = Supplement (supplement, supplément)
T.=Tome
tir=tirage
Tl.(e)=Teil(e)
trad.=traduction, traduit
transl. = translated, translation, translator
Uebers. (übers.)=Uebersetzer, Uebersetzung, (übersetzt)
Uebertr.=Uebertragung
Umschl.=Umschlag
Univ. (univ.) = Universität, university, université
verb.=verbessert
Verl.=Verlag
VJH.=Vierteljahrsheft
VJSchr.=Vierteiljahresschrift
Vol.(s)=Volume(s), Volumi
Volksw.=Volkswirtschaft
vollst=vollständig
W.=Weekly
WB.=Wörterbuch
Wiss. (wiss.) = Wissenschaft, (wissenschaftlich)
Z.=Zeitschrift
Ztg.=Zeitung

Alb.=Albania
Arg.=Argentina
Aust.=Austria
Austral.=Australia
Belg.=Belgium
Boliv.=Bolivia
Braz.=Brazil
Bulg.=Bulgaria
Can.=Canada
Colom.=Colombia
Czecho.=Czecho-Slovakia
Den.=Denmark
Egy.=Egypt
Eng.=England
Esto.=Estonia
Fin.=Finland
Fr.=France
Ger.=Germany
Gr.=Greece
Guate.=Guatemala
Hun.=Hungary
Ind.=India
Ire.=Ireland
It.=Italy
Jugo.=Jugoslavia
Lat.=Latvia
Lith.=Lithuania
Luxem.=Luxemburg
Manchou.=Manchoukuo
Mex.=Mexico
Mongo.=Mongolia
Mor.=Morocco
Neth.=Netherlands
Norw.=Norway
N. Z.=New Zealand
Pan.=Panama
Para.=Paraguay
Pers.=Persia
Pol.=Poland
Port.=Portugal
Rou.=Roumania
Sp.=Spain
Swed.=Sweden
Switz.=Switzerland
Turk.=Turkey
Urg.=Uruguay
U.S.A.=UnitedStates of America
U.S.Afr.=Union of South Africa
U.S.S.R.=Union of Soviet Socialist Republics
Venez.=Venezuela

INTRODUCTORY REMARKS

I. General Principles Followed in the Compilation of this Bibliography.

1. In compiling this Bibliography an impartial attitude has been maintained throughout in the selection of materials, and copiousness of literature as well as accuracy of description, has been aimed at to the greatest possible extent.

2. The scope of this Bibliography is limited to works written in Japanese, English, German, French, and Italian. The works in Russian that are listed, with only their titles translated into English or German, are marked [Russ.] at the end of the descriptive entries.

3. Works in this Bibliography are chiefly books, articles contributed to leading periodicals, items appearing in authoritative dictionaries of economics, essays published in commemoration publications, etc. Newspaper articles are limited to those that have been contributed to foreign newspapers dealing with money and finance.

4. Only works published between 1919 and 1935 are included in this Bibliography.

5. Works included are first divided into (I) Japanese and (II) Foreign. Each of these sections is then classified by subjects, and works coming under each heading are listed in the alphabetical order of the authors' names. In the Japanese Section such arrangement is based on the Nipponsiki Rômazi spelling of the authors' names, which is slightly different from the Hepburnian system of Romanization. The same rule is followed also in the case of foreign authors' names.

6. In the Foreign Section, English is chiefly used, when making descriptive entries, except in cases where it is deemed more convenient to use words belonging to other foreign languages, such as Aufl., Bd., éd., T., instead of ed., and Vol.

II. Subject Matter.

A. Classification.

1. Works covering two or more classified subjects are listed under each heading.

2. Works dealing with general principles, or those covering various countries in a general way, are included under the heading "General", and those having reference to some particular countries are listed under "Individual countries".

i. Regions, such as, India, Canada, New Zealand, and other self-governing British dominions, and the French territory of Morocco are treated here as individual countries. Thus, works having reference to these regions are listed under each separate heading.

ii. Works covering four or more countries are listed under the heading "General", instead of under "Individual countries".

3. Under the section "Finance in general: general" (I, 1) are also included works dealing with banking in general and financial capital.

4. Under the section "Financial systems" (I, 3) are also listed works dealing with financial institutions in general.

5. Under the section "Funds" (I, 4, i) are also included works on the formation of capital.

6. Under the section "Capital market" (II, 3) are also listed works dealing with the brokers' loan.

7. Under the section "Commercial banks: general" (VI, 2, i, A) are also included works on mixed banks, bank failure and liquidation.

8. Under the section "Concentration of commercial banks" (VI, 2, i, B) are also included works dealing with branch banking, chain banking and group banking.

9. Under the section "Commercial finance: other organizations" (VI, 2, ii) are listed works on discount houses, accepting houses, bill brokers, etc.

10. Under the section "Emergency finance" (XV, 2) are included works dealing with the financing of calamity relief works, unemployment relief programmes, measures for overcoming the depression, etc.

11. Under the section "Insurance companies" (XVIII, 4) are included only those works that deal with the financial activities of insurance companies.

12. Under the heading "Miscellaneous" (XXI) are listed names of men, bibliographies, dictionaries, reports, etc.

13. At the end of this volume, supplementing the Table of Contents, the Subject Index is appended so as to facilitate reference.

B. Books.

1. Books are distinguished from articles contributed to periodicals and others by affixing "*" before the author's name.

2. In the Foreign Section articles reprinted in book from periodicals are so indicated by the abbreviation "Repr."

3. Typewritten or mimeographed articles are excluded as a rule.

4. Descriptive entries are entered in the following order: author, title, volume, edition, place of publication, name of publisher, date of publication, number of pages, and size. Books belonging to a series are so indicated by giving the name of the series at the end.

a. Authors.

i. Books of joint authorship are listed according to the author's name given first on the title-page.

ii. Such prefixes as *de*, *von*, and *van* occurring before the surnames of certain authors have been placed after the surname, so that books written by those authors are listed according to the author's surname without such prefixes.

iii. Books of corporate authorship are sometimes arranged according to the title of the book.

iv. The compiler of any book is distinguished from the author by the abbreviation (comp.) or (Hrsg.) placed after the name.

b. The main title is given in full, but the sub-title is sometimes omitted.

c. Of the books that have gone through several editions the date of the latest edition is given, but in case the date of the first edition is deemed necessary, such date is given in square brackets at the end of the descriptive entries.

d. In indicating the number of pages, the character 頁 is used for Japanese books and "p." for foreign books, instead of "ss." or "pp." Small Roman figures show the number of pages of preliminary and colophon.

e. Sizes are indicated by such terms as 四六倍, 菊, 四六, 三五, 袖珍 in the Japanese Section, while in the Foreign Section "°" is placed in the upper right-hand corner of Arabic figures. No particular indication as to the size of the page is given.

f. In the Foreign Section Arabic figures are used to indicate the

volume of books published in a series. Dissertations are marked [Diss.] or [Thèse].

C. Contents.

1. Chief contents of books are given when such detail is deemed necessary and is possible.

2. In case of duplicate entry, giving the contents in one section, but not in the other, reference is made to the former entry with the indication "For *contents* see . . ." together with the classification marks in the latter entry.

3. Figures such as I, 1, i are used to denote various parts, chapters and sections in the contents, respectively. A, a, /, aa are also made use of as auxiliary symbols for similar or further divisions in the contents.

D. Articles contributed to periodicals.

1. Periodicals listed here are limited to leading Japanese and foreign journals dealing with economic problems, so that some periodicals that are considered indispensable in other fields have been left out.

2. Descriptive entries are made in the following order: writer, title, periodical to which the article has been contributed, volume and number of the periodical, number of pages occupied by the article (which is omitted in the Japanese Section, but is given in the Foreign Section when known), date of publication of the periodical.

a. The writer's name has been treated in the same way as in the case of books.

b. Titles of great length have sometimes been omitted or cut short.

c. In the Japanese Section the titles of periodicals are given in full, while in the Foreign Section they are abridged. Their full titles are found in the List of Periodicals in Foreign Languages at the end of this Bibliography.

d. The volume is indicated by Arabic figures in heavy type, while the number is shown by ordinary Arabic figures, a dash being inserted between the two figures. In the Foreign Section, the year (Jahrgang, Année) indicates the volume.

i. In some cases the running number is given instead of the volume.

ii. In other cases the month or the day of publication is given instead of the number.

iii. Articles extending over several succeeding numbers are indicated by "/", and those contributed intermittenly are shown by ",".

e. The number of pages given here does not necessarily mean the number of full pages, as the article may start or end anywhere on the page. In exceptional cases reference is made to the actual page-numbers in the periodical containing such article.

3. The order of arrangement is the same as in the case of books. But in the Japanese Section articles wanting the authors' names are grouped together and placed at the end of each classified heading.

E. Dictionaries.

Items contained in dictionaries are classified in much the same way as in the case of periodicals.

F. Collections of Essays, etc.

These are also treated in much the same way as in the case of articles contributed to periodicals. The title of the collection containing the essay is placed in square brackets, and in the Foreign Section "In:" is affixed. In the Japanese Section it has been found convenient to treat such collections as books, giving the number of pages occupied by the essay.

G. Index.

1. The Subject Index is added to supplement the Table of Contents for the purpose of reference, subjects being indicated by classification marks, instead of by the actual page-numbers.

2. In the Author Index are included the names of authors, corporate authors, compilers, or translators, together with the names of the persons quoted or referred to, and also the names of the persons mentioned in the contents.

i. Books or articles written under pseudonyms have been grouped together and placed at the end of the Index.

ii. The Arabic figures in square brackets following the page-number indicate the number of articles by the same author listed in the page of the Bibliography.

ORGANIZATIONS FOR COMPILATION

1. The compilation of this Bibliography has been conducted under the direction of Dr. Sirô Kawada, President of the Osaka University of Commerce and of the Institute for Economic Research. As the organ for deciding the general principles in the work of compilation, the faculty of the Osaka University of Commerce has been appointed the General Committee for Compilation.

2. The General Committee for Compilation, serving as the Standing Committee for the compilation of succeeding volumes, appoints a Special Committee for compiling each volume. For the present work, Part II of "Money and Finance," Yutaka Huziwara, Professor of the Preparatory Course, Kazumasa Kusumi, Professor of the Higher Commercial Department, Keitarô Koizumi, Assistant Professor of the University, and Syôzô Yosida, Assistant, Isao Koizumi, Assistant, Sigesi Iida, member of the Institute for Economic Research, Minoru Taira, member of the Institute, have served on the Special Committee.

3. With the co-operation of the two above-mentioned bodies, the actual work of compiling this section of the Bibliography has been carried out by Keizô Huzita, Professor of the Osaka University of Commerce, Yukio Komatu, Kenzi Yamanaka, Minoru Taira, Kozirô Kurose, members of the Institute.

Contents

I. Finance in general 1
1. General 1
2. Financial History 10
a. General 10
b. Individual countries 13
3. Financial Systems 19
a. General 19
b. Individual countries 23
4. Funds and Credit 58
i. Funds 58
ii. Credit 63
5. Interest Rate 81
a. General 81
b. Individual countries 86

II. Financial Market 92
1. General 92
a. General 92
b. Individual countries 93
2. Money Market 96
a. General 96
b. Individual countries 98
3. Capital Market 105
a. General 105
b. Individual countries 107

III. Financial Conditions and Crises 116
1. Financial Conditions 116
a. General 116
b. Individual countries 121
2. Financial Crises 150
a. General 150
b. Individual countries 152

IV. Financial Policy 160
1. General 160
a. General 160
b. Individual countries 164

2. Central Banking Policy 175
i. General 175
a. General 175
b. Individual countries 177
ii. Discount Policy 186
a. General 186
b. Individual countries 187
iii. Open Market Policy 190
a. General 190
b. Individual countries 190
3. Policy concerning Financial Organizations 191
a. General 191
b. Indiuidual countries 192

V. Central Banks 199
a. General 199
b. Individual countries 202

VI. Commercial Finance 223
1. General 223
a. General 223
b. Individual countries 223
2. Organizations 225
i. Commercial Banks 225
A. General 225
a. General 225
b. Individual countries 228
B. Concentration of Commercial Banks 241
a. General 241
b. Individual countries 241
ii. Other Organizations 246
Individual countries 246

VII. Industrial Finance 247
1. General 247
a. General 247
b. Individual countries 249
2. Organizations 252
Individual countries 252

VIII. Agricultural Finance 255
1. General 255
a. General 255
b. Individual countries 258

2. Organizations 271
a. General 271
b. Individual countries 271

IX. Mortgage Finance 277
1. General 277
a. General 277
b. Individual countries 280
2. Organizations 295
a. General 295
b. Individual countries 295
3. Mortgage Bond System 301
a. General 301
b. Individual countries 301

X. Finance on Movable Property 304
a. General 304
b. Individual countries 304

XI. Corporation Finance 306
a. General 306
b. Individual countries 310

XII. Saving and Saving Organizations 311
1. Saving 311
2. Savings-Banks 321
a. General 321
b. Individual countries 327
3. Post-Office Savings-Banks 352
a. General 352
b. Individual countries 353

XIII. Small Credit for the People 355
1. General 355
a. General 355
b. Individual countries 355
2. Credit Unions 356
a. General 356
b. Individual countries 359
3. Mutual Financing (*Mujin*) 368
4. Labour Banks 368
a. General 368
b. Individual countries 369
5. Pawnshops and Money Lenders 371
i. Pawnshops 371
a. General 371
b. Individual countries 372

ii. Money Lenders 372
a. General 372
b. Individual countries 373

6. Credits for Middle and Small Industry and Commerce 373
a. General 373
b. Individual countries 374

7. Consumer's Credit 376
a. General 376
b. Individual countries 378

8. Miscellaneous 380

XIV. International Finance 381

1. General 381
a. General 381
b. Individual countries 386

2. Foreign Trade Finance and its Organizations 389
a. General 389
b. Individual countries 393

3. International Banks 399

4. International Investment and International Movement of Capital . 405
a. General 405
b. Individual countries 422

5. War Debts and Reparations 462
i. General 462
ii. War Debts 466
a. General 466
b. Individual countries 474
iii. Reparations 482
a. General 482
b. Individual countries 514

XV. War Finance and Emergency Finance 538

1. War Finance 538
a. General 538
b. Individual countries 539

2. Emergency Finance 541
a. General 541
b. Individual countries 542

XVI. Other Kinds of Finance 545

1. Building Finance 545
a. General 545
b. Individual countries 551

2. Shipping Finance 570
a. General 570
b. Individual countries 571

3. Colonial Finance 571
a. General 571
b. Individual countries 571

4. Finance for Individual Industries 573
a. General 573
b. Individual countries 575

XVII. Bank Management 580

1. General 580

2. Bank Employees and Internal Organization 590

3. Passive Business 595
i. General 595
ii. Deposits 595
iii. Cheques 600
iv. Systems for Protecting Depositors 604

4. Active Business 605
i. General 605
ii. Loans 609
iii. Discount 612
iv. Investment 613
v. Credit Investigation 614
vi. Credit Insurance 614
vii. Security Problems 617

5. Deposit Reserve 620

6. Acceptance 622

7. Domestic Exchange 624

8. *Zahlungsverkehr* 625

9. Clearing System and Transfer System 627
i. Clearing System 627
ii. Transfer System 628

10. Subsidiary Business 632

11. Bank Accounting 633

12. Miscellaneous 640

XVIII. Trust Companies, Financial Companies, Insurance Companies 648

1. Trust Companies (Trustee Companies) 648
a. General 648
b. Individual countries 650

2. Investment Trusts 652
a. General 652
b. Individual countries 654
3. Financial Companies 657
a. General 657
b. Individual countries 657
4. Insurance Companies 658
a. General 658
b. Individual countries 660

XIX. Commentaries on Laws relating to Finance 662
a. General 662
b. Individual countries 665

XX. Commentaries on Statistics relating to Finance 703

XXI. Miscellaneous 706

I. Finance in general

1. General

Aberdeen University lectureship in banking, currency and foreign exchanges. (Bankers' Mag.—Lond. 921, 2 p.) 1920

Allix, E. La banque et l'industrie. (R. pol. et parl. 314, 10 p.) 1921

***Antoine, L.** Les doctrines financières de Tifaut de la Noue. 1920. 104 p. 8° [Thèse, Poitiers]

***Ashby, J. F.** The story of the banks. London: Hutchinson 1934. 283 p.

Bachi, R. Che cosa è la banca? (R. bancaria. **11**-4, 13 p., 5, 14 p.) 1930

Bankers and the budget. (Banker. 52, 4 p.) 1930

*Banks and banking. Albany, New York: State House 1925. 315 p.

***Barriol, A.** Théorie et pratique des opérations financières. 4. éd. rev. et augm. Paris: Doin 1931. 16° [Encycl. scientif.] [3. éd. 1925. vi, 399 p.]

***Bell, J. W.** A guide to the study of money and banking. 3. ed. rev. Evanston: Privately publ. 1935. xxvii, 251 p. 8°

***Bendixen, F.** Geld und Kapital. Gesammelte Aufsätze. 3. Aufl. Jena: Fischer 1922. vi, 222 p. 8°

I. (Omitted)

II. Die Reichsbank und ihre Politik. 13. Der Charakter der Reichsbank (1908). 14. Die Reichsbank "auf Kündigung" (1909). 15. Geldknappheit und Notendeckung (1907). 16. Goldeinfuhr und Goldabfluss. Ein Gutachten zur Bankenquete (1908). 17. Weitere Gutachten zur Bankenquete (1908). 18. Devisenhandel und Reichsbankausweise (1910). 19. Die Lombardverteuerung an den Quartalsterminen (1911). 20. Die Lombardverteuerung in der Praxis (1911).

III. Das Kapital. 21. Die nationale Bedeutung der Kapitalbildung (1910). 22. Fremde Werte an deutschen Börsen (1911). 23. Industrieller Hypothekarkredit (1910). 24. Die Amortisationshypothek (1914).

***Beretta, C.** Un fervente propagatore dei principi della banca moderna vissuto a Milano nel secolo 16. Milano: Trevisini 1924. 53 p.

***Bradford, F. A.** Banking. Rev. ed. New York: Longmans 1933. 536 p. [1932. viii, 499 p.]

1. The nature and functions of banking. 2. The typical banking system. 4. Early American banking. 4. The national banking system. 5. The Federal Reserve System. 6. Deposits. 7. The collection of checks. 8. Reserves against deposits. 9. Secondary reserves and investments. 10. Loans and discounts. 11. The interrelation of deposits, reserves, and loans. 12. Foreign exchange functions. 13. Rates of exchange. 14. The bank statement. 15. Bank earnings and expenses. 16. Trust functions. 17. Invesment banking functions. 18. Agricultural credit. 19. Recent banking changes. 20. Federal Reserve banking development. 21. International banking relations.

*—— Money and banking. 2. ed. New York: Longmans 1935. xii, 814 p.

***Brooks, W. C.** The theory and practice of finance. London, New York: Pitman 1929. xiv, 411, 24 p. 8°

***Cabanes, F.** Traité de banque. (Théorie et pratique.) Paris: Michel 1924. 252 p. 8°

Cabiati, A. A. de Viti de Marco: La funzione della Banca. Dt. Ausg.: Die Funktion der Bank. (Z. f. Nationalökon. **6**-2, 10 p.) 1935

Cambell, M. Geld, Kredit und Banken. [In: Die rote Wirtschaft, Probleme u. Tatsachen. Ein Sammelwerk hrsg. von G. Dobbert.] 1932

***Campbell, H. A.** Banking, finance and currency. London: London School of Econ. 1919. 15 p.

***Cauboue, P.** Le rôle social des banques. Paris: Dauer 1933. 292 p. 16°

*—— Traité des opérations financières de banque. Paris: Dauer 1933. 292 p. 16°

***Chapman, J. M.** & **Westerfield, R. B.** Problems in banking, money and credit. New York: Ronald 1927. xxv, 757 p. 8°

1. Introd. 2. Money and coinage. 3. Credit and credit instruments. 4. Functions and operations of banks. 5. Administration and management. 6. Deposit function. 7. Loans and discounts. 8. Credit analysis. 9. Interbank relations. 10. Financing the business man. 11. Bank investments. 12. Bank earnings and dividends. 13. Bank organization.

consolidation and regulation. 14. Foreign exchange. 15. Financing foreign trade. 16. International movement of capital. 17. Non-commercial banking. 18. The small loan business. 19. Agricultural credit. 20. Foreign banking systems. 21. History of banking in the United States. 22. The Federal Reserve System. 23. The money market. 24. Branch banking. 25. Money, credit and prices. 26. Business cycles. 27. Financial panics. 28. Materials for study.

***Combat, F.** Les opérations de banque (2. éd. du volume "Banques et opérations de banque"). Nouv. éd. Paris: Berger-Levrault 1919. 8°

*—— Etudes de sciences financières. Les effets de commerce, escompte et recouvrement, changes et monnaies, précis théorique et pratique. 3. éd. (2. éd. du "Manuel du portefeuilliste"). Paris: Berger-Levrault 1920. 8°

*—— Etudes de science financière. Banques et opérations de banque. Les opérations de banque. Précis pratique à l'usage des capitalistes, des industriels et des commerçants, des employés, des banques, de la bourse et du commerce. Paris: Berger-Levrault 1924. xvi, 299 p. 8°

Coonley, H. Financing as the manager sees it. (Annals. 85, 7 p.) 1919

***Cooper, O.** How the banks serve business. New York: Hamilton Inst. 1922. 28 p.

***Courcelle-Seneuil, J. G.** Les opérations de banque. 13. éd. rev. et mise à jour, par A. Liesse. Paris: Alcan 1929. xii, 723 p. 8°

I. Notions générales sur les monnaies, les capitaux et le crédit. 1. Richesses.—Utilité. 2. Echange.—Valeur.—Valeur courante. 3. La monnaie. 4. Qu'est-ce qu'un capital? Des capitaux. 6. Du contrat de crédit. 7. De la légitimité de l'intérêt. 8. De l'usure. 9. Du cours de l'intérêt. 10. De l'aptitude des capitaux. 11. De la réalisation. 12. Des crises commerciales. 13. Variations du prix des capitaux. 14. Variations des monnaies. 15. Des titres fiduciaires. 16. But et esprit des institutions de banque.

II. Des diverses opérations de banque. 1. Commerce des métaux précieux. 2. Change des monnaies. 3. Dépôts. 4. Virements. 5. Du papier de commerce. 6. Recouvrements. 7. Changes. 8. Arbitrages. 9. Escompte. 10. Comptes courants. 11. Emission des billets au porteur. 12. Prêts sur nantissement ou consignation. 13. Contrats hypothécaires. 14. Commissions diverses.—Assurance contre le remboursement au pair des obligations. 15. Négociations directes d'emprunts et d'actions. 16. Spéculations sur les fonds publics et sur les actions ou obligations des grandes compagnies. 17. Deux sortes d'opérations de banque.

III. Comment se combinent les diverses opérations de banque. 1. Change sur place. 2. Banques du commerce. 3. Comptoir d'escompte. 4. Banques de circulation. 5. Banque de France.—Banques départementales. 6. La Banque de France pendant et depuis la guerre. 7. Banques hypothécaires. 8. Crédit agricole. 9. Banques coloniales. 10. Banques de placement et de spéculation. 11. Haute banque par compagnies. 12. Les sociétés de dépôts ou de crédit.

IV. Systèmes divers d'organisation générale des banques.—Projets. 1. Banques d'Ecosse. 2. Banques américaines. 3. Banques anglaises. 4. Banques belges. 5. Banques suisses. 6. Banques italiennes et espagnoles. 7. Banques allemandes. 8. Comparaison des divers systèmes. 9. Problèmes relatifs aux banques de circulation. 10. Des divers systèmes monétaires. 11. Banques d'échange.

V. Maximes et notions pratiques. 1. Caractère, habitudes et administration du banquier. 2. Législation et jurisprudence. 3. Comptabilité générale. 4. Changes. 5. Arbitrages. 6. Les changes étrangers pendant la guerre et les trois années suivantes. 7. Des comptes courants.

***Cross, I. B.** Money and banking. New York: Am. Inst. of Banking 1931. 544 p. 8°

*Currency, banking, finance. London: Labour Party 1932. 11 p. [Policy rep. 1]

***Damien, R.** Etude mathématique et graphique des opérations financières. Paris: Pr. univ. de France 1930. 8°

***Delaporte, R.** La banque. Ses opérations. Son organisation. Son exploitation, aux points de vue juridique, administratif et comptable. T. 1: Les opérations. L'organisation et l'exploitation. 2 éd. Paris: Syndicat des employés 1924. 310 p. 4° [3. éd. 1928]

***Deutsch, E.** Einführung in das Bank- und Börsenwesen. 2. verb. u. verm. Aufl. Wien: Kuppit 1921. 37 p. 8°. [Samml. Deutsch. 3] [1. Aufl. 1920]

***Dewey, D. R.** & **Shugrue, M. J.** Banking and credit. A textbook for colleges and schools of business administration. New York: Ronald 1922. 506 p. 8°

Dieterlen, P. Les banques. (R. d'écon. pol. **48**-3, 19 p.) 1934

***Disbrow, C. W.** Fundamentals of banking, finance, and economics. Garden City, New York: Doubleday 1927. 210 p. 8°

***Döring, F.** Kreditwirtschaft und Bankenreform. München: Heerschild 1934. 69 p.

Drucker, A. Aufgaben des Finanzkapitals [für die Uebergangs- u. Folgezeit]. (Oesterr. Volksw. **11**-27, 4 p.) 1919

***Dufayel, H.** Banque. 11. éd. Paris: Dunod 1930. 16°. [Agenda Dunod. 1930]

***Dunbar, Ch. F.** Theory and history of banking; with supplementary chapter presenting the record of the Federal Reserve System, by H. P. Willis. 5. ed. rev. and in part rewritten with add. material by O. M. W. Sprague. New York: Putnam 1929. viii, 320 p. 12°

***Dunham, W. L.** Banking and industry in Michigan. Detroit: Madeira Publ. Co. 1929. 179 p.

***Dupre, J. A.** Lessons in finance; an attempt to popularize economy to blow out poverty. Boston: Meador Publ. Co. 1929. vii, 128 p. 8°

***Durand, P.** Qu'est-ce qu'une banque? Paris: Grasset 1919. 12°

***Easton, H. T.** History and principles of banks and banking. 3. ed. enl. London: Wilson 1924. 316 p. 8°

***Eaton, W. D.** (ed.) Library of law, banking and business. 5 vols. Chicago: Hertel Co. 1919

*—— Explanatory outline of the functions and requirements of bankers, trustees, registrars, transfer agents, and lawyers in connection with the issue of investment securities. London: Routledge 1928. 72 p. 8°

***Edie, L. D.** Banks and prosperity. New York: Harper 1932. xi, 179 p. 8°

***Edwards, G. W.** Problems and questions on banking; New York University School of commerce, accounts and finance. New York: Univ. Book Store 1924. 32 p. 8°

*—— Principles of banking and finance. New York: Ronald 1932. xiv, 612 p. 8°

*Elementary banking. New York: Am. Inst. of Banking 1922. 480 p.

***Emanuel, M.** Banking; law, theory and practice: with a pref. by E. Sykes 3. ed. including agricultural credits act, 1928. London: 1929. xxx, 519 p. [1. ed. 1926]

*The ethical problems of modern finance. New York: Ronald 1930. iii, 141 p. 8°

***Fairchild, F. R.**; **Furniss, E. S.** & **Buck, N. S.** Elementary economics. Pt. 3. Money, banking, and exchange. New York: Macmillan 1926. xviii, 568 p. 8°

Federn, W. Staat und Banken. (Oesterr. Volksw. **23**-48, 5 p.) 1931

***Fontaine, H.** A. B. C. des opérations de bourse et de banque. Paris: Delagrave 1924. 16°

***Forsyth, C. H.** Introduction to the mathematical theory of finance. London: Chapman & Hall 1928. 212 p. 8°

***Foster, M. B.** Banking. New York: Hamilton Inst. 1923. 336 p. [Modern business]

***François, L.** Traité des opérations de change-bourse-banque. Théorie. Pratique. Comptabilité. 6. éd. mise à jour et considérablement modifiée avec la collaboration de N. Henry. Paris: Dunod 1929. viii, 350 p. 8°. [3. éd. Liége: Wykmans 1921. 382 p.]

I. Change. 1. La monnaie. 2. Commerce des métaux précieux. 3. Changes étrangers. 4. Des voies de change.

II. Bourse des valeurs. 1. Généralités. 2. Règlements et usages des principales Bourses de valeurs. 3. Arbitrages de bourse. 4. Comptabilité de l'agent de change.

III. Banque. 1. Généralités. 2. Opérations usuelles et organisation comptable d'une grande banque de commerce. 3. Etude de quelques d'un type spécial.

***Friederichsen, V.** Teoria del commercio e della banca. Padova: Istit. delle ed. accad. 1932. 423 p.

Fubini, R. Teoria del credito e della banca. (R. bancaria. **11**-3, 20 p.) 1930

The functions of a bank. *by* A. W. K. (Bankers' Mag.—Lond. 1085, 3 p.) 1934

***Gandy, J. P.** The elements of banking a guide to the principles and practice of banking. London: Pitman 1921. viii, 132 p. [Pitman's Practical Primers of Business]

Garino-Canina, A. Finanza e moneta. [In: Saggi di storia e teoria econ. In onore di G. Prato.] 1931

Garrett, P. W. Investment and finance. (Bankers Mag.—N.Y. **120**-2, 6 p.) 1930

Geld, Kredit und Kapital in der nationalsozialistischen Wirtschaft. (Nationale Wirtschaft. **2**-10, 6 p.) 1934

***Gilbart, J. W.** The history, principles and practice of banking. 2 vols. Rev. ed. by E. Sykes. London: Bell 1922. 12°. [1. ed 1919] Vol. 1. xxi, 435 p.

1. The origin and progress of banking. 2. The rise of banking in England. 3. The history of the Bank of England. 4. The London bankers. 5. Country banks. 6. Joint-stock banks. 7. Branch banks. 8. Banks of deposit. 9. Banks of remittance. 10. Banks of circulation. 11. Banks of discount. 12. Cash credit banks. 13. Loan banks. 14. Savings' banks. 15. The nature of banking. 16. The utility

of banking. 17. The general administration of a bank. 18. The administration of a bank with regard to proceedings on bills of exchange. 19. The administration of a bank with regard to the employment of its surplus funds. 20. The administration of a bank during seasons of pressure. 21. The administration of a bank under the act of 1844. 22. The administration of the banking department of the Bank of England. 23. The administration of joint-stock banks, with an inquiry into the causes of their failures.

2. 510 p.

24. The administration of the office. 25. Bank book-keeping. 26. The Bank of England. 27. The London private bankers. 28. The London joint-stock banks. 29. The country private banks. 30. The Scotch banks. 31. The Irish banks. 32. The London bankers' clearing-house. 33. The panics of 1857 and of 1866. 34. The crises of 1875 and of 1878. 35. Banking legislation, 1879/80. 36. The baring crisis and its lessons. 37. The development of joint-stock banking. 38. The note circulation.

***Greco, P.** Le operazioni di banca. Appunti delle lezioni di diritto commerciale tenute nell'anno accademico 1929/30 (r. Istituto superiore di scienze economiche e commerciali di Bari). Padova: Milani 1930. xxx, 516 p.

***Gregory, T. E.** An introduction to finance. London: Gollancz 1932. 144 p. 8°

Grünfeld, J. Das amerikanische Finanzkapital und die europäische Wirtschaft. (Arbeit. 1-6, 8 p.) 1924

***Halm, G.** Geld, Kredit, Banken. München: Duncker & Humblot 1935. vii, 164 p.

Haristoy, J. Le financement de l'économie nationale. (R. de sci. fin. **27**-1, 43p.) 1929

***Harr, L. & Harris, W. C.** Banking theory and practice. New York: McGraw-Hill 1930. ix, 562 p.

***Harsin, P.** Les doctrines monétaires et financières en France, du 16. au 18. siècle. Paris: Alcan 1928. xxiii, 326 p. 8°

Introd. La théorie de la monnaie avant le 16. siècle. 1. La doctrine du mercantilisme français. 2. L'afflux des métaux précieux au 16. et la théorie de la monnaie. 3. La naissance et le développement du mercantilisme. 4. La crise des finances publiques à la fin du 17. et au commencement du 18. siècle. 5. Jean Law. 6. Les théories monétaires de l'époque néomercantiliste. Conclusion. Annexes.

***Heath, F. R.** Money and banking. 9. ed. of the Peirce manual of business forms and customs. Philadelphia: Peirce School of Business Admin. 1924. viii, 195 p.

***Heizmann-Hauser, F.** Banken und Konjunktur, mit bes. Berücks. der schweizerischen Volkswirtschaft. St. Gallen: Selbstverl. 1931. 93 p. 8°

***Helms, L. A.** The contribution of Lord Overstone to the theory of currency and banking. 1931. [Diss. Illinois]

***Henderson, F.** Money power and human life. [Credit control]. New York: Day 1933. 205 p. 8°

***Hilferding, R.** Das Finanzkapital. Eine Studie üb. d. jüngste Entwicklung d. Kapitalismus. [Manuldr. 1927]. Wien: Volksbuchh; Berlin: Dietz 1927. xii, 477p. 8°. [Marx-Stud. 3]

I. Geld und Kredit. 1. Die Notwendigkeit des Geldes. 2. Das Geld im Zirkulationsprozess. 3. Das Geld als Zahlungsmittel. Das Kreditgeld. 4. Das Geld in der Zirkulation des industriellen Kapitals. 5. Die Banken und der industrielle Kredit. 6. Der Zinsfuss.

II. Die Mobilisierung des Kapitals. Das fiktive Kapital. 7. Die Aktiengesellschaft. 8. Die Effektenbörse. 9. Die Warenbörse. 10. Bankkapital und Bankgewinn.

III. Das Finanzkapital und die Einschränkung der freien Konkurrenz. 11. Hindernisse in der Ausgleichung der Profitraten und ihre Ueberwindung. 12. Kartelle und Trusts. 13. Die kapitalistischen Monopole und der Handel. 14. Die kapitalistischen Monopole und die Banken. Verwandlung des Kapitals in Finanzkapital. 15. Die Preisbestimmung der kapitalistischen Monopole. Geschichtliche Tendenz des Finanzkapitals.

IV. Das Finanzkapital und die Krisen. 16. Die allgemeinen Bedingungen der Krise. 17. Die Ursachen der Krise. 18. Die Kreditverhältnisse im Ablauf der Konjunktur. 19. Geldkapital und produktives Kapital während der Depression. 20. Die Aenderungen im Krisencharakter. Kartelle und Krisen.

V. Zur Wirtschaftspolitik des Finanzkapitals. 21. Die Wandlung in der Handelspolitik. 22. Der Kapitalexport und der Kampf um das Wirtschaftsgebiet. 23. Das Finanzkapital und die Klassen. 24. Der Kampf um den Arbeitsvertrag. 25. Das Proletariat und der Imperialismus.

***Holdsworth, J. T.** Money and banking. 5. ed. rev. enl. London, New York: Appleton 1928. xix, 563 p. 8°

I. Money. (Omitted)

II. Banking. 9. Origin and evolution of banking. 10. Classes and functions of banks. 11. The national banking system.

Organization and administration. 13. Bank supervision. 14. Deposits and depositors. 15. Clearings and collections. 16. Loans and discounts. 17. Savings institutions. 18. Trust companies. 19. Foreign exchange. 20. Foreign banking system. 21. Defects of the old national banking system. 22. The Federal Reserve System: Organization and structure. 23. The Federal Reserve System: Functions and operations.

***Hunt, A. R.** Revelations concerning money and banking, with proposed reforms. Philadelphia: Dorrance 1934. 88 p.

Internal communications in banks. (Banker. 59, 6 p.) 1930

Is the financier a parasite? (Economist. 4429, 2 p.) 1928

***Jack, D. T.** Currency and banking. London: Pitman 1932. vii 196 p. 8°

***James, F. C.** The economics of money, credit and banking. New York: Ronald 1930. xvi, 482 p. 8°. [2. ed. 1935. xvii, 678 p.]

1. Money and the social order. 2. A. medium of exchange. 3. Metallic and paper money. 4. The standard of value. 5. Money in the Great War. 6. Post-war monetary standards. 7. The supply of gold and the price level. 8. The nature and functions of credit. 9. Credit instruments. 10. The foreign exchanges. 11. The evolution of modern banking. 12. The nature and functions of a commercial bank. 13. Bank credit and business fluctuations. 14. Bank credit and capital. 15. Inter-bank relations. 16. Commercial paper houses. 17. Commercial credit and discount companies. 18. The creation of the Federal Reserve System. 19. The structure and functions of the Federal Reserve System. 20. Central banking and credit control. 21. The aims of credit policy. 22. International cooperation of central banks. 23. Savings institutions. 24. Investment banking institutions. 25. Agricultural credit facilities in the United States. 26. Consumptive credit institutions. 27. Government and banking. 28. Banking concentration. 29. The financial system. Appendix. Convention respecting the bank for international settlements.

***Jores, C.** Grundzüge d. Geld-, Kredit- u. Bankwesens. 4. verm. u. verb. Aufl., hrsg. von K. H. Lemke. Berlin: Heymann; Leipzig: Gloeckner 1920. iv, 296 p. 8°

I. (Omitted)

II. Der Kreditverkehr. 1. Begriff und Wesen des Kredits. 2. Die Arten des Kredits und der Kreditgeschäfte. i. Notwendige oder natürliche Kreditgeschäfte. ii. Eigentliche Kreditgeschäfte. iii. Der öffentliche Kredit. 3. Wirkungen des Kredits auf die Preise und den Tauschwert des Geldes.

III. Das Bankwesen. 1. Entwicklung des Bankwesens. 2. Die Arten der Banken. 3. Die Banken und ihr Geschäftsbereich. i. Aktivgeschäfte der Banken. ii. Passivgeschäfte der Banken. iii. Nebengeschäfte der Banken. iv. Zusammenfassende Schlussbetrachtungen. 4. Die Notenbanken und die herrschenden Systeme. i. Die britische Bestimmung über Notendeckung. ii. Das kontinentale oder deutsche Notendeckungssystem. iii. Das französische Notendeckungssystem. iv. Das nordamerikanische Notendeckungssystem. v. Die Oesterreichisch-Ungarische Bank. vi. Die Russische Reichsbank. vii. Die Diskontpolitik der Notenbanken.

Kalveram, W. Finanzierung. [In: Beamten-Hochschule. 4, 83 p.] 1929

***Katzenellenbaum, Z.** Die Lehre vom Geld- und Kreditwesen. 4. Aufl. 2 Tle. Moskau: Verl. Ekonomitscheskaya Jizn · 1928. iv, 520 p.; 567 p. 8°. [Russ.]

Keynes, J. M. Ein Klassiker der Bank-Literatur. (Wirtschaftsdienst. **11**-18, 3p.) 1926

Kiddy, A. W. Banking and democracy. Greater publicity desirable. (Spectator. 221, 2 p.) 1928

***Kilborne, R. D.** Principles of money and banking. Chicago, New York: Shaw 1927. xx, 559 p. 8°. [3. ed. 1912. xxii, 591 p.]

I. Money. (Omitted)

II. Foreign exchange. 14. The economic roots of foreign exchange. 15. Foreign exchange instruments and transactions. 16. The foreign exchange market. 17. Foreign exchange rates.

III. Commercial banking and the Federal Reserve System. 18. The nature and function of bank credit. 19. Bank deposits. 20. Banks loans. 21. Bank credit and the price level. 22. The clearing-house. 23. Bank supervision. 24. Commercial paper houses. 25. The defects of the old national banking system. 26. The fundamentals of the Federal Reserve System. 27. The operations of the Federal Reserve System.

IV. Non-commercial banking. 28. Trust companies. 29. Savings banks. 30. Investment trusts. 32. The federal farm loan system. 33. The federal intermediate credit system.

Kincaid, E. A. R. D. Kilborne: Principles of money and banking. (Am. Econ. R. **18**-1, 3 p.) 1928

***King, R. H.** Principles of banking, currency and foreign exchange. London: Pitman 1930. vii, 174 p. 8°

*__Kniffin, W. H.__ Better banking; a treatise on bank management in the light of the depression. New York: McGraw-Hill 1934. 444 p.

*__Konz, H.__ Der Einfluss der Besteuerung auf die Finanzierung durch Effekten. 1932. 121 p. [Diss. Köln]

*__Kraitchik__ Théorie mathématique des opérations financières. 2. éd. Paris: Gauthier-Villars 1927. 8°

*__Lair, L. M.__ & __Mutel, G.__ Notions sommaires sur les banques. Historique. Banques modernes. Rôle, Classification. Opérations. Banques d'émission: Définition. Le billet de banque. Différents systèmes d'émission. Banques étrangères d'émission. La Banque de France. Brionne: Impr. Amelot 1921. 198 p. 16°

*__Leaf, W.__ Banking. London: Williams & Norgate 1926; New York: Holt 1927. viii, 255 p. 16°. [Home Univ. Lib. of Modern Knowledge] [London: Butterworth 1928]

1. What is a bank? 2. Central banking. 3. The English banking system. 4. Deposit banks. 5. A bank balance sheet. 6. Advances to customers. 7. The accepting houses. 8. The discount market. 9. Bank organisation.

*__Lejeune, Ch.__ Traité des opérations de banque, de bourse et de change. Paris: Garnier 1923. 8°

*—— Notions élémentaires de banque à l'usage des capitalistes, des employés de banque, des candidats aux administrations financières, des écoles primaires supérieures et des établissements d'enseignement commercial. Nouv. éd. rev. et mise à jour. Paris: Garnier frères 1927. vi, 286 p. 8°

__Loriot, J.__ Les banques. [In: La France annuaire pour 1924 (3. année).] 1925. [Repr.: R. d'écon. pol. mars/avril]

*__McLaughlin, R.__ Banks: an essay adapted for the use of schools. Boston: Christopher Pub. House 1934. 32 p.

*__McVey, F. L.__ (ed.) Banking and business ethics. Chicago: 1921. viii, 223 p.

*__Magee, J. D.__ Materials for the study of banking. New York: Prentice-Hall 1923. xii, 769 p. 8°

1. Introduction: Financial institutions. 2. General idea of a commercial bank from its balance sheet. 3. Negotiable instruments. 4. Credit analysis. 5. Deposits and loans. 6. Note brokerage—acceptances. 7. Clearing. 8. Correspondent relations between banks: check collections. 9. Bank organization and management. 10. Savings banks. 11. Trust companies. 12. Government regulation of banking in the United States to 1860. 13. The national banking system. 14. States regulation of banking—illustrated by New York. 15. European banking. 16. The Canadian banking system. 17. The Federal Reserve System. 18. Co-operative and agricultural credit. 19. Financing foreign trade. 20. Cattle loan and automobile financing companies.

__Mallock, W. H.__ Capital and money. (Outlook. 1156, 2 p.) 1920

*__Marvill, A. H.__ & __Leonard, J. L.__ Banks and banking: the business man and his bank. Philadelphia: La Fayette Inst. 1930. 48 p.

__Mayr, E.__ Das Finanzkapital in Staat und Wirtschaft. Bedenkliche Personalunion in den leitenden Stellungen der Banken und Handelskammern. (ZBl. d. christl. Gewerkschaften Deutschlands. **27**-6, 2 p.) 1927

*__Mazzantini, M.__ Struttura e funzionamento di una banca di credito ordinario con particolare riguardo ad un banca con filiali. Spoleto: Panetto & Petrelli 1927. xv, 317 p. 4 tav. 8°

__Mazzucchelli, M.__ Banche, moneta e finanze (alcuni insegnamenti italiani). (R. bancaria. p. 111 seq.) 1932

*__Messineo, F.__ Operazione di borsa e di banca: Studi giuridici. Roma: Garroni 1926. 223 p. 8°. [Coll. di scritti giuridici. 2]

*__Meulen, H.__ Free banking: an outline of a policy of individualism. London: Macmillan 1934. xiv, 429 p. 8°

__Michel, O.__ Zur Einteilung der Banken (rechtlich und ökonomisch; mit Literaturnachweis). (Z. f. Betriebsw. **12**-2, 6 p.) 1935

*__Michie, A. H.__ & __Stedman, B.__ (ed.) Michie on banks and banking. Permanent ed. Vol. 8. Chalottesville, Va.: Michie Co. 1932. viii, 291 p.

*__Miller, H. E.__ Banking theories in the United States before 1860. Cambridge: Harvard Univ. Pr.; London: Oxford Univ. Pr. 1927. xi, 240 p. 8°. [Harvard econ. stud. 30]

*__Milnes, A.__ Economics for to-day: an elementary view (Bank and exchange). London, Toronto: Dent 1920. 256 p. 8°

__Mischke, L.__ Die Finanzmacht der Vereinigten Staaten. (Oesterr. Volksw. **18**-16, 2 p.) 1926

*__Mitchell, C. E.__ The economic stage and the banker's rôle. An address. New York: Author, Nat. City Bank 1923. 16 p.

*__Moffett, L. B.__ Money and banking. 9. ed. of the Peirce manual of business forms and customs. Philadelphia: Peirce School of Business Admin. 1924. viii, 195 p. 12°

*__Morris, J. F. L.__ The gateway to finance: the fundamentals of money and banking. Philadelphia, Yardley, Pa.: Cook 1926. vii, 131 p. 8°

*__Munn, G. G.__ Bank credit principles and operating procedure. New York: McGraw-Hill 1925. vii, 284 p. 12°

__Neubauer, T.__ Die Diktatur des Finanzkapitals. (Internationale. **13**-1/2, 9 p.) 1930

*__Nickel, K. E.__ Grundrïss zu meinen Vorlesungen über die gesamte wirtschaft- u. Finanzwissenschaft, einschl. der Sozialpolitik (mit Arbeitsrecht), des Geld-, Bank- u. Börsenwesens, der Genossenschafts-, Versicherungs-, Unternehmungs- und Betriebslehre, sowie der Wirtschaftswissenschaft u. Statistik. 3. verm. u. verb. Aufl. Nach d. neuesten Tatsachen in Stichworten u. Tab. Greifswald: Kurth 1924. xvi, 127 p. 8°

*__Obst, G.__ Geld-, Bank- und Börsenwesen. Eine gemeinverstandliche Darstellung. 28. völlig veränderte Neuaufl. Stuttgart: Poeschel 1933. xv, 545 p. 8°. [29. völlig veränd Neuaufl. 1935. xvi, 554 p.]

I. (Omitted)

II. Banken und Bankgeschäfte. 1. Skizze der geschichtlichen Entwicklung des Bankwesens. 2. Arten der Banken. 3. Passivgeschäfte der Banken. 4. Aktivgeschäfte der Banken. 5. Die indifferenten Geschäfte der Banken (Dienstleistungsgeschäfte). 6. Bankbetriebe des öffentlichen Rechts. 7. Organisation der grossen ausländischen Notenbanken.

III. Börse und Börsengeschäfte. 1. Skizze geschichtlichen Entwicklung der Börse. 2. Arten der Börsen. 3. Organisation der Börse. 4. Zulassung von Wertpapieren zum Börsenhandel. 5. Arten der an der Börse gehandelten Wertpapiere. 6. Der Börsenauftrag. 7. Die Kurse. 8. Arten der Börsengeschäfte. 9. Arbitragen. 10. Die wichtigsten Effektenbörsen des Auslandes.

__Ostrolenk, B.__ The revolution in banking theory. (Atlantic M. **145**-2, 6 p.) 1930

*__Paine, W. W.__ Banking. London: Benn 1930. 80 p. 8°

*__Palmer, A. R.__ Finance. Vol. 1. Banking, stockbroking, currency, exchange. London: Bell 1922. xiii, 189 p. 12°. [Bell's Handbooks of comm. & fin.]

*__Papi, G. U.__ Lezioni di scienza bancaria raccolte a cura del rag. S. Galeani. 2. ed. Messina: Coletta. 1929. ix, 409 p. 8°

*__Patschau, H.__ Die Entwicklung der Bankingtheorie in Deutschland. Ein dogmenkrit. Beitr. Ohlau i. Schl.: Eschenhagen 1931. viii, 59 p. 8°. [Diss. Freiburg i. B.]

__Pease, J. B.__ Banking and currency. (Lloyds Bank Ltd. M. R. 120, 8 p.) 1927

*__Phillips, C. A.__ Readings in money and banking. Selected and adapted. New York: 1920

*__Pigier, A.__ Notions générales de banque et de bourse. 4. éd. Paris: Pigier 1920. 4°

*__Polak, N. J.__ Grundzüge der Finanzierung mit Rücksicht auf die Kreditdauer. Aus d. Holländ. übers. von __R. Philips__. Berlin: Speath & Linde 1926. 169 p. 8°. [Betriebs- u. finanzwirtschaftl. Forsch. 2, 25]

1. Kapital und Kredit. 2. Formen und Arten der Kreditgewährung. 3. Das Kapital der Unternehmung. 4. Das Kapital der Kreditunternehmungen. 5. Das Kapital der Produktionsunternehmungen. 6. Die Unternehmung als Sparein. 7. Die Banken und die Liquidität der Wirtschaft.

__Polier, L.__ Monnaie, banque, change. (Europe nouv. 67, 2 p.) 1919

*__Powell, E. T.__ Modern finance; how the machine works. London: 1921. 21 p.

*__Putnam, T. M.__ Mathematical theory of finance. 2. ed. New York: Wiley 1925. 135 p. [1. ed. 1923. 117 p.]

*__Putney, A. H.__ Currency, banking and exchange. Chicago: Lincoln Inst. of Business 1921. vii, 418 p.

__Reisch, R.__ Die »Deposit«-Legende in der Banktheorie. (Z. f. Nationalökon **1**-4, 1 p.) 1930

__Rheiner, W.__ Die Stellung der Banken in der Volkswirtschaft. (Schweiz. handelswiss. Z. **21**-11, 5 p.) 1927

*__Rotholz, W.__ Geld-, Bank- u. Börsenwesen. Prakt. Ratgeber f. d. Verkehr m. d. Bank u. m. d. Börse. Mit zahlr. in d. Text gedr. Beispielen u. in gemeinverständl. Darstellung. 3. neubearb. u. erw. Aufl. v. F. Böttger. Leipzig: Verl. d. Modern kaufmänn. Bibl. 1921. 196 p. 8°. [Monderne kaufmänn. Bibl.]

*__Ruggiero, A.__ La banca e la borsa. 3 vols. Foligno: Campitelli 1922. 8°

*__Schacht, H.__ Nationale Kreditwirtschaft. (Die Erhebung.) Berlin: Steegemann 1934. 51 p. 8°

__Schäffner, K.__ Banken und Sparkassen. (Kaufmann in Wirtschaft. **7**-4, 8 p.) 1928

__Schanz, G. v.__ Banken. (WB. d. Volksw. 4. Aufl. 1, 25 p.) 1931

*__Schmalenbach, E.__ Finanzierungen. 5. Aufl. (2 Tle.) Tl. 1: Beteiligungsfinanzierungen, mit vorangesetztem einleit. Tl. Leipzig: Gloeckner 1932. viii, 362 p. 8°. [1. Aufl. 1915. vi, 200 p.]